

コリヤ英和! 英語を「読む・書く・話す・調べる・学ぶ」が
この1本で!

一発翻訳 **2014** for Win

User's Guide

ユーザーズガイド

for Windows

LOGOVISTA



お願い

コリヤ英和！一発翻訳 2014 for Win をお買い上げいただき、有り難うございました。

本ユーザーズガイドは、コリヤ英和！一発翻訳 2014 for Win の主要な使い方を説明しています。本ガイドに記載のない事柄につきましては、オンラインヘルプやLVナビをご参照いただけますようお願いいたします。

また本製品は、CD-ROMから実行することはできません。製品パッケージに同梱されている『インストールガイド』をご覧ください、お使いのコンピュータに本製品をインストールしてからお使いください。

©Logovista Corporation 1994-2013 U.S.Patent No. 5,528,491; 6,278,967; 6,470,306; 6,760,695.

※LogoVista, コリヤ英和！、LogoVista電子辞典はロゴヴィスタ株式会社の商標または登録商標です。

Readiris Pro© 1989-2012 Image Recognition Integrated Systems SA All rights reserved.

※Microsoft, Windows, Microsoft Internet Explorerは米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

Includes Microsoft Agent technology.

※TextBrige の著作権は、米国 Scansoft 社に帰属します。TextBrige は、米国 Scansoft 社の米国及びその他の国における登録商標です。

※「研究社新英和・和英中辞典」は株式会社研究社の著作物です。

※医学英和大辞典第12版©2005 監修：佐藤登志郎、編集：西元寺克禮、発行：株式会社南山堂

※「海外生活で役立つ英文手紙文例集」（著者：久野揚子）は株式会社 DHC の著作物です。

※ロジカルテック株式会社 LT-CAT'S EYE PRO エンジンを搭載しています。

※本製品は日本語声読み上げに（株）アクエストの規則音声合成ライブラリ AquesTalk® を使用しており、その著作権は 同社に帰属します。

※記載された会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 本製品は、優れた翻訳技術を備えた製品ですが、翻訳する原文によっては翻訳結果の内容が正確でない場合があります。予めご了承ください。なお、ロゴヴィスタ(株)は本製品の翻訳結果の内容を保証するものではありません。翻訳結果につきましては、お客様の責任においてご使用ください。
- お客様が本ソフトウェアをインストールし、使用するためには、使用許諾契約の各条項をよくお読みいただき、お客様が本ソフトウェアをご使用された場合は、使用許諾契約の各条項にご同意いただいたものとみなされます。
- 本製品のレンタルおよび中古販売による再使用を禁じます。
- 本製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。



Chapter 1

コリヤ英和! 一発翻訳の機能概要

1

こんなときにお使いください

コリヤ英和！一発翻訳には、いろいろな作業に適合する複数の翻訳アプレットがあります。翻訳アプレットは、翻訳作業を行うためのインターフェースです。また、Internet Explorer や Office アプリケーション、一太郎、Acrobat などに翻訳機能を組み込んで翻訳する機能も用意しています。作業場面に合った、適切な翻訳アプレットをお使いください。

いろいろなアプリケーションの使用中に翻訳したいときは……操作パネル

コリヤ英和！一発翻訳の翻訳機能、辞書引き機能などを効率的に呼び出すために操作パネルを用意しています。ワープロ、表計算、Web ブラウザ、メールソフトなど、文書を扱う様々なアプリケーションで翻訳を行うことが可能になります。

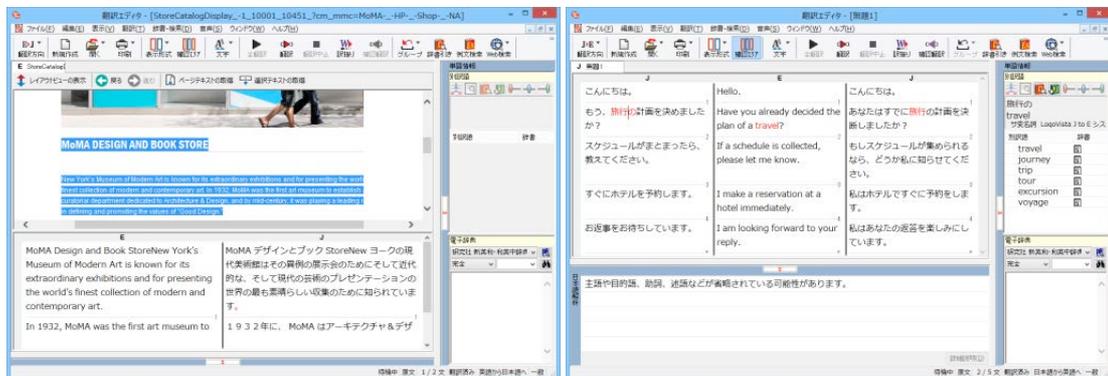
⇒ 第 2 章



主要な翻訳アプレット

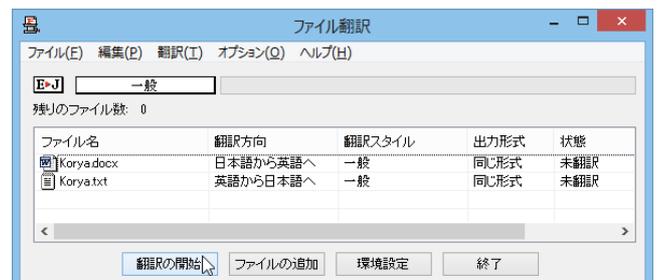
原文と訳文を比較対照しながら翻訳したいときは……翻訳エディタ ⇒ 第 3 章

原文と訳文を比較検討しながら逐一翻訳結果を向上させることができるアプレットです。テキストファイルをはじめ、HTML 形式などの Web ページ、PDF ファイルなど、いろいろな形式の文書ファイルを読み込んで翻訳することができます。さらに、翻訳エディタに Web ページを呼び出して翻訳・辞書引きなどを行うこともできるようになりました。



複数の原文ファイルをいっきに翻訳したいときは……ファイル翻訳 ⇒ 第 7 章

原文が保存されているファイルを翻訳し、翻訳結果をファイルに保存します。複数のファイルを一度に翻訳できるほか、テキストファイル、HTML ファイル、Word 文書ファイルなど多様な形式に文書ファイルを翻訳することができます。



原文をタイプしながら訳文をアプリケーションに入力したいときは.....タイピング翻訳

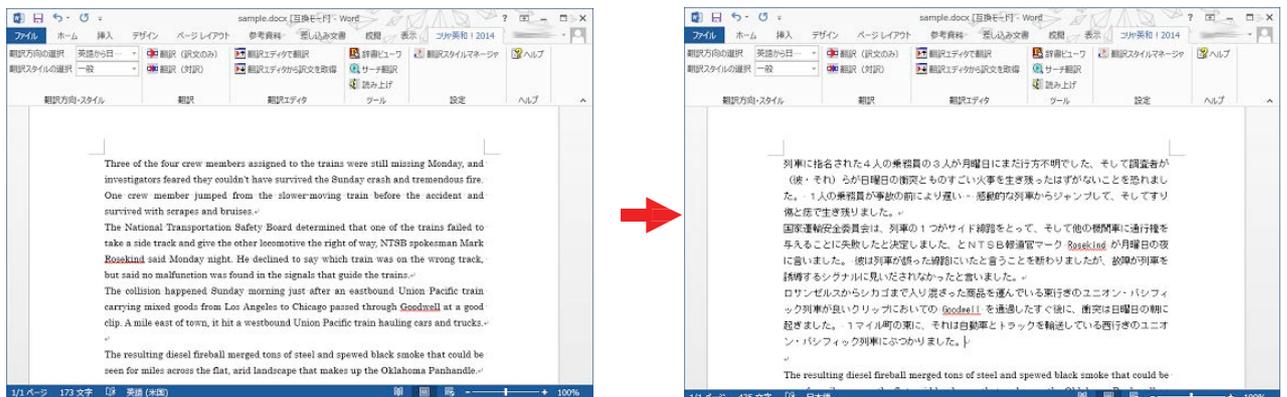
タイピングされた原文を翻訳し、アプリケーションの文書に訳文を入力するツールです。

⇒ **第2章**



アプリケーションから直接翻訳したいときは.....アドイン翻訳 ⇒ 第6章

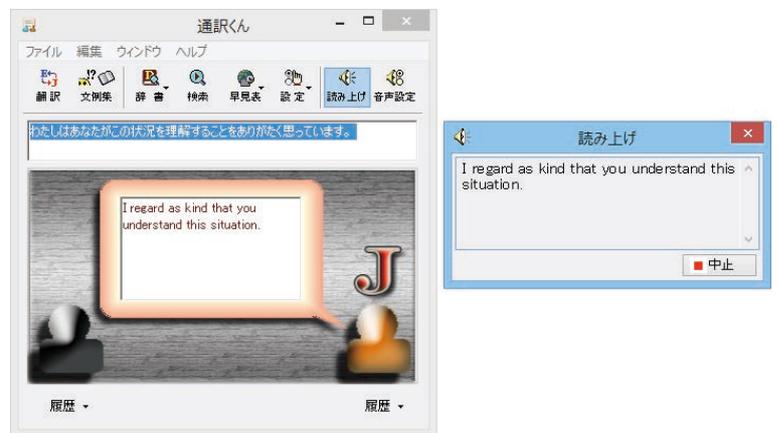
Microsoft Office、一太郎、Adobe Acrobat, Adobe Reader などのアプリケーションに翻訳機能を組み込むことができます。これにより、それぞれのアプリケーションで直接翻訳を実行できるようになります。



通訳感覚で翻訳したい.....通訳くん

会話をを入力すると翻訳し、翻訳結果を読み上げてくれるツールです。英会話の勉強に「持ってこい」です。

⇒ **第2章**



翻訳しながらインターネット検索

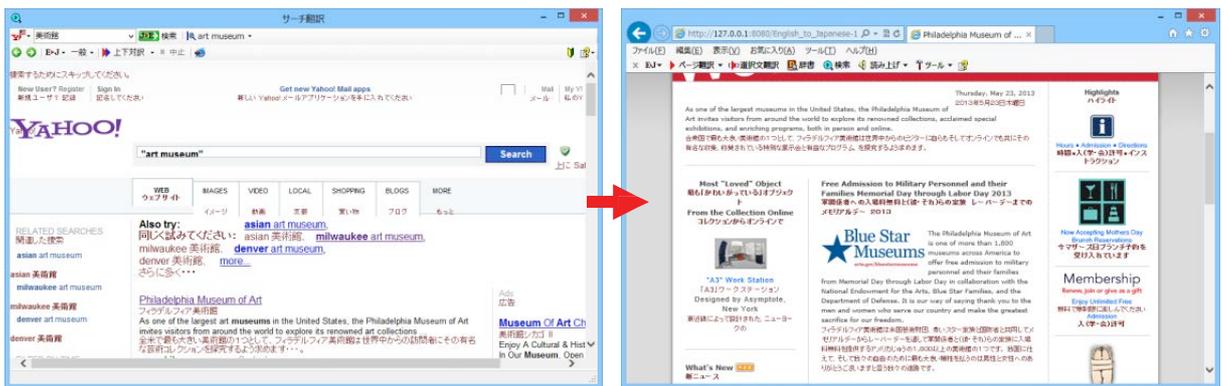
Internet Explorer で呼び出した Web ページを翻訳 ⇨ 第4章

Internet Explorer がインストールされている環境では、コリヤ英和！一発翻訳の翻訳機能が組み込まれます。これらを使って、いつでも翻訳・辞書引きを行うことができます。下図は、呼び出した英文サイトを日本語に翻訳する例です。



海外のサイトを日本語キーワードで検索して翻訳したいときは…サーチ翻訳 ⇨ 第2章

日本語キーワードを入力すると、翻訳結果の外国語でサイトを検索します。「検索サイトの自動翻訳」機能をオンにしておけば、検索したサイトを翻訳して表示します。



辞書ツール&支援ツール

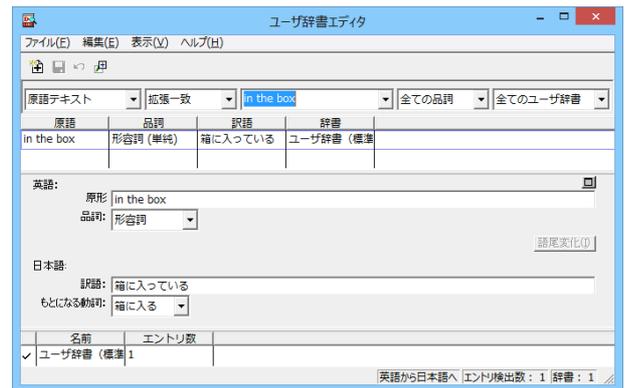
簡単操作で辞書引きしたいときは……辞書ビューワ ⇨ 第2章

研究社の新英和・和英中辞典やクイック辞書、翻訳辞書で辞書引きできる「辞書ビューワ」を用意しています。LogoVista電子辞典がインストールされていると、それらの辞書でも辞書引きできます。



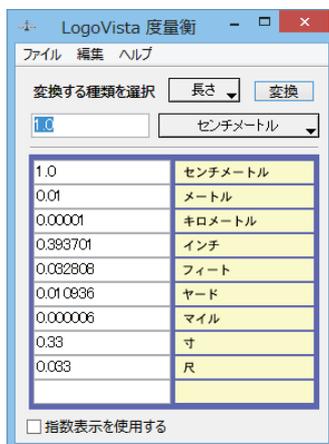
ユーザ辞書を編集したいときは……ユーザ辞書エディタ ⇨ 第2章

コリヤ英和！一発翻訳（英日・日英）では、特異な語句をユーザ辞書に登録し、翻訳に活用することができます。ユーザ辞書に登録した内容は、編集したり、ファイルに書き出ししたりすることができます。もちろん、テキストファイルに保存した用語を読み込んでユーザ辞書を充実させることもできます。

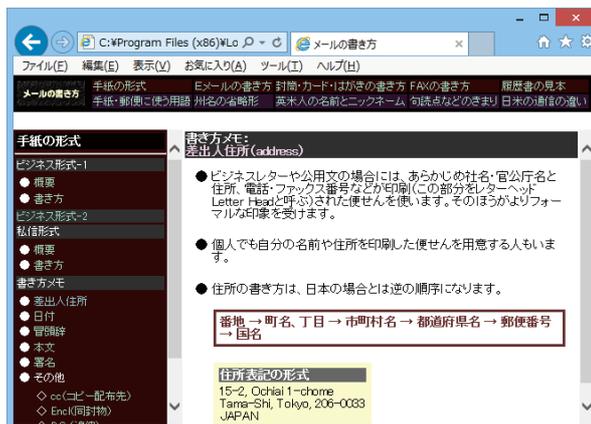


役立つ支援ツールも揃っています

度量衡は、単位などをちょっと確認したいときに便利なツールです。 ⇨ 第2章



また、手紙の書き方や英文法などを確認したいときに役立つツールも揃っています。



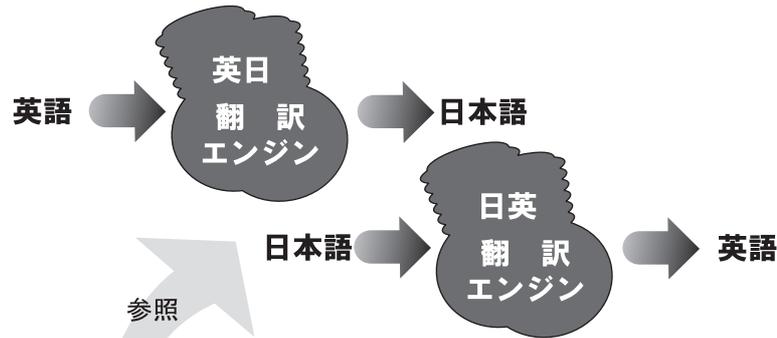
2

コリヤ英和! 一発翻訳の翻訳エンジンについて

「翻訳エンジン」とは、コリヤ英和!一発翻訳の中で、実際に翻訳を実行するソフトウェアを指します。ここでは、翻訳エンジンの概要を説明します。

翻訳エンジンの働き

コリヤ英和!一発翻訳では、英日翻訳と日英翻訳を行う2つの翻訳エンジンが働き、英日・日英の双方向の翻訳を行います。



翻訳スタイル(英日・日英のみ)

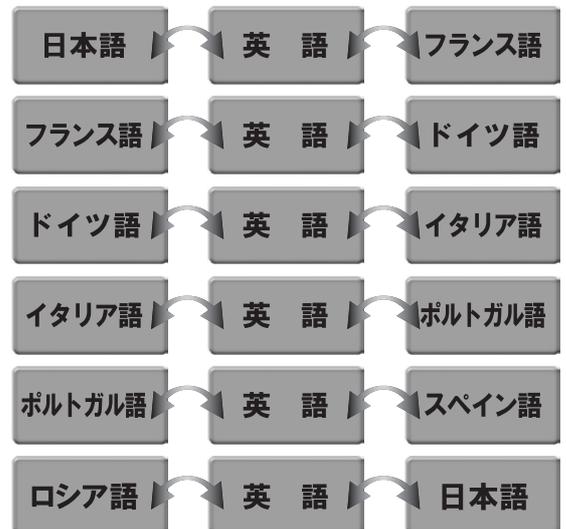
英日・日英翻訳では、翻訳に使う辞書、訳文の生成方法など、翻訳結果を左右するいくつかの条件を設定できます。これを総称して「翻訳スタイル」といいます。翻訳スタイルは複数作成し、名前を付け区別して保存しておくことができます。状況に応じて翻訳スタイルを変更して、より正確な翻訳結果を得ることができるようになります。

マルチリンガル版の翻訳方法

「コリヤ英和!一発翻訳 2014 マルチリンガル」(以下「マルチリンガル」と略記します)では、日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語、韓国語、ロシア語、中国語

(簡・繁)の双方向翻訳を行うことができます。マルチリンガルは英語を介して多言語の翻訳を行います。例えば 日本語の場合、英語を介して各国語との双方向翻訳を行います。同様に、英語を介してフランス語⇄ドイツ語、イタリア語⇄スペイン語といった翻訳を行うこともできます。

ただし、韓国語と中国語は直接日本語との双方向翻訳が行われません。韓国語と中国語を英語にする場合、日本語を介して翻訳されます。



前記のようなしくみで翻訳を行う性質上、より良い翻訳結果を導くためには、いったん中間になる言語(英語または日本語)に翻訳し、その結果を修正してから目的の言語に再度翻訳することで訳質を向上させることができます。

3

コリヤ英和! 一発翻訳の翻訳スタイルについて(英日・日英のみ)

「翻訳スタイル」とは、翻訳するための複数の条件をセットとしてまとめたものです。翻訳スタイルには、使用する辞書と翻訳設定が含まれます。ここでは、翻訳スタイルの概要を紹介します。

☞ 翻訳スタイルの操作方法については、「第2章 操作パネルの使い方」の「3. 翻訳スタイルの選択ボタンの使い方」をご覧ください。

翻訳スタイルとは

翻訳スタイルとは、使用する辞書、翻訳設定（訳出する方法）を定義したひとまとまりの条件を言います。翻訳スタイルは名前を付けて登録しておくことができますので、翻訳目的にしたがって翻訳スタイルを切り替えるだけで、訳出方法を変えることができます。翻訳のたびに辞書や翻訳設定をいちいち変更する手間が無くなります。以下は英日用翻訳スタイル「趣味・娯楽」の設定例（初期値）です。

● 翻訳に使う辞書

ユーザ辞書: ユーザ辞書(標準)



システム辞書: LogoVista E to J システム辞書



専門辞書: エンターテイメントV2(標準)



● 翻訳設定

文体:	～です調
固有名詞の訳出形式:	日本語のみ
英数字:	そのまま
全角と半角の間にスペースを挿入する:	はい

翻訳に使う辞書（システム辞書・専門辞書・分野辞書・ユーザ辞書）

コリヤ英和!一発翻訳では、システム辞書、専門辞書（分野辞書）、ユーザ辞書の3種類の辞書を利用できます。

システム辞書は、常に使用する基本的な辞書です。

専門辞書は分野別の専門用語を収録した辞書です。ユーザ辞書はお使いになる方が独自に使用する語句を登録しておく辞書で、複数作成することができます。英日・日英翻訳では事例文をまとめた事例文ファイルを活用することもできます。使用する辞書を翻訳スタイルに登録すると、翻訳に利用されます。

システム辞書



専門辞書(複数可)



ユーザ辞書(複数可)



事例文ファイル
(日英翻訳のみ)

■ 使用できる辞書の種類

使用できる辞書については、次節「4. コリヤ英和!一発翻訳 2014 での翻訳に使用できる辞書について」をご覧ください。

翻訳設定

翻訳設定には、以下の訳出方法が定義されます。翻訳目的にそって設定を変更します。

英日

設定項目	選択できる値
文体	「～だ調」、「～です調」※、「～である調」のいずれか
固有名詞の訳出形式	「英語のみ」、「日本語のみ」※、「日本語（英語）」のいずれか
英数字	「そのまま」※、「半角（1バイト）」、「全角（2バイト）」のいずれか
全角と半角の間にスペースを入れる	「はい」※、「いいえ」のいずれか

※印は、翻訳スタイル「一般」に初期値として設定されている値

日英

設定項目	選択できる値
箇条書きの表現	「命令文」※、「平叙文」、「動名詞」、「to-不定詞」、「3 人称単数現在形の動詞句」のいずれか
主語のない文	「"it"を主語に補う」、「受動態で表現する」※、「人称代名詞を主語に補う」、「命令文で表現する」、「3 人称単数現在形の動詞句で表現する」のいずれか
冠詞の付け方	「冠詞"the"を出力」、「冠詞"a/an"を出力」、「無冠詞」、「無指定」※のいずれか
略語・数字間のブランク	「ブランクあり」※、「ブランクなし」のいずれか

※印は、翻訳スタイル「一般」に初期値として設定されている値

4

コリヤ英和! 一発翻訳 2014での翻訳に使用できる辞書について

コリヤ英和!一発翻訳 2014 では、翻訳に必ず使用されるシステム辞書のほかに、以下の辞書を使用することができます。



これらの辞書は、いずれも「翻訳スタイル」に設定して有効になります。設定方法については、「第2章 操作パネルの使い方」の「3. 翻訳スタイルの選択ボタンの使い方」をご覧ください。

ユーザ辞書

翻訳に必要な単語をユーザ自身が登録していく辞書です。ユーザ辞書はあらかじめ英日・日英用それぞれ1つずつ空の辞書が用意されています。マルチリンガルでは、以下の点にご注意ください。

- ・日韓、韓日翻訳以外でユーザ辞書を使用することができます。
- ・使用できるユーザ辞書は、「ユーザ辞書(標準)」の1つだけです。
- ・翻訳設定は、変更できません。

分野辞書

コリヤ英和!一発翻訳 2014 にあらかじめ搭載されている翻訳用の辞書です。翻訳を行う文章に合った分野辞書を指定して使用します。分野辞書は専門辞書的一种として扱われます。

英日翻訳用の分野辞書のジャンル.....

英日翻訳用には、以下のジャンルの分野辞書を用意しています。

ビジネス一般	科学技術一般	コンピュータ	エンターテイメント	パソコン用語
法律	ライフサイエンス	金融・経済	情報一般	軍事
医学	機械	電気電子通信	バイオ	応用物理
材料資源	建築	船舶鉄道	地球科学	応用化学
農業	化学	都市工学	物理	航空宇宙
土木	動物	生物	プラント	
固有名詞：日本人名	固有名詞：日本地名	コンピュータ IT 総合		

日英翻訳用の分野辞書.....

日英翻訳用には、以下のジャンルの分野辞書を用意しています。

ビジネス一般	科学技術一般	コンピュータ	カルチャー	パソコン用語
法律	ライフサイエンス	金融・経済	情報一般	軍事
医学	機械	電気電子通信	バイオ	応用物理
材料資源	建築	船舶鉄道	地球科学	応用化学
農業	化学	都市工学	物理	航空宇宙
土木	動物	生物	プラント	
固有名詞	インターネット	コンピュータ IT 総合	自然・社会科学	
住所	航空分野	ビジネスレター	トラベル	

専門辞書

複数の「コリヤ英和!一発翻訳 2014 for Win」のシリーズをご購入した場合、追加インストールして使用する翻訳用の専門辞書です。翻訳を行う文章に合った専門辞書を指定して使用します。

新たに「コリヤ英和!一発翻訳 2014 for Win」の他シリーズ製品（「ビジネス・技術専門辞書パック」・「医歯薬ベーシック」・「医歯薬南山堂パック」）をご購入いただいた場合、各製品に搭載の専門辞書をインストールすることができます。

英日翻訳の専門辞書.....

ビジネス・法律（日外アソシエーツ）※ ¹	科学技術（日外アソシエーツ）※ ¹
電気・電子・情報（日外アソシエーツ）※ ¹	コンピュータ・IT（日中韓辞典研究所）※ ¹
機械・工学（日外アソシエーツ）※ ¹	医学総合※ ²
医学（南山堂）※ ³	バイオ・メディカル（日外アソシエーツ）※ ²
歯学※ ²	医療機器※ ²
学術（31分野）※ ³	

日英翻訳用の専門辞書.....

ビジネス・法律（日外アソシエーツ）※ ¹	科学技術（日外アソシエーツ）※ ¹
電気・電子・情報（日外アソシエーツ）※ ¹	コンピュータ・IT（日中韓辞典研究所）※ ¹
機械・工学（日外アソシエーツ）※ ¹	医学総合※ ²
医学（南山堂）※ ³	バイオ・メディカル（日外アソシエーツ）※ ²
歯学※ ²	医療機器※ ²
学術（31分野）※ ³	

※1 は「コリヤ英和!一発翻訳 2014 for Win ビジネス・技術専門辞書パック」に標準で付属している専門辞書です。

※2 は「コリヤ英和!一発翻訳 2014 for Win 医歯薬ベーシック」に標準で付属している専門辞書です。

※3 は「コリヤ英和!一発翻訳 2014 for Win 医歯薬南山堂パック」に標準で付属している専門辞書です。

5

ユーザデータを別のコンピュータに移すには

ここでは、使用したユーザ辞書や事例文ファイルなどのユーザデータを、別のコンピュータへ移動する方法を説明します。

ユーザデータを移動するには

ユーザデータの保存場所はお使いのOSによって異なります。初期設定では下記の場所にユーザデータが保存されます。

Windows XPをお使いの場合

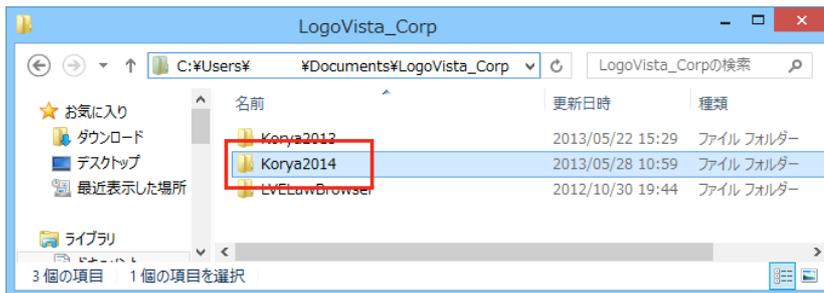
C:\¥Documents and Settings¥(ユーザーアカウント名)\¥My Documents¥LogoVista_Corp¥Korya2014

Windows Vista, 7, 8をお使いの場合

C:\¥Users¥(ユーザーアカウント名)\¥Documents¥LogoVista_Corp¥Korya2014

全てのユーザデータを移動するには

- 1 移動先のコンピュータにコリヤ英和! 一発翻訳 2014 をインストールします。
- 2 ユーザデータが保存されている[Korya2014]フォルダをコピーし、移動先のコンピュータ上の[Korya2014]フォルダに上書きします。



Windows8での[Korya2014]フォルダ

移動したユーザ辞書や事例文ファイルを使用するには、翻訳スタイルマネージャで該当する辞書をロードします。

辞書のロード方法については、「第2章 操作パネルの使い方」の「3. 翻訳スタイルの選択ボタンの使い方」をご覧ください。

任意のユーザ辞書を移動するには

英日ユーザ辞書は初期設定では下記の場所に保存されます。

Windows XPをお使いの場合

C:\¥Documents and Settings¥(ユーザーアカウント名)\¥My Documents¥LogoVista_Corp¥Korya2014¥15.5¥EJTranslation¥USER

Windows Vista, 7, 8をお使いの場合

C:\¥Users¥(ユーザーアカウント名)\¥Documents¥LogoVista_Corp¥Korya2014¥15.5¥EJTranslation¥USER

日英ユーザ辞書は初期設定では下記の場所に保存されます。

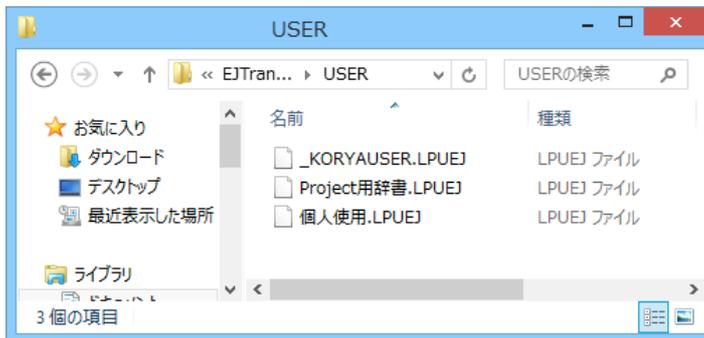
Windows XPをお使いの場合

C:\Documents and Settings\%ユーザーアカウント名%\My Documents\LogoVista_Corp\Korya2014\15.5\JETranslation\USER

Windows Vista, 7, 8をお使いの場合

C:\Users\%ユーザーアカウント名%\Documents\LogoVista_Corp\Korya2014\15.5\JETranslation\USER

- 1 移動先のコンピュータにコリヤ英和！一発翻訳 2014 をインストールします。
- 2 ユーザ辞書が保存されている[USER] から、移したいユーザ辞書ファイル（拡張子「.LPUEJ」）をコピーし、移動先のコンピュータ上の[USER]フォルダに置きます。



移動したユーザ辞書を使用するには、翻訳スタイルマネージャで該当する辞書をロードします。

辞書のロード方法については、「第2章 操作パネルの使い方」の「3. 翻訳スタイルの選択ボタンの使い方」をご覧ください。

注意！

旧製品のユーザデータを別のコンピュータに移す場合は、事前に「ユーザデータ更新ツール」を使用し、旧データファイルを本製品で使用可能にするための更新処理を行ってください。
「ユーザデータ更新ツール」の詳しい使い方は、「ユーザデータ更新ツール」のオンラインヘルプをご参照ください。

Chapter 2

操作パネルの使い方

1

操作パネルの名称と機能

コリヤ英和！2014操作パネルには、翻訳エディタをはじめとする翻訳のためのツールや、翻訳を補助するための便利なツールが集められています。これらの機能は、コリヤ英和！2014操作パネル上のボタンをクリックすることで、ご利用いただけます。

コリヤ英和！2014 操作パネルを起動するには

デスクトップの【コリヤ英和！2014 操作パネル】または【コリヤ英和！2014 マルチリンガルパネル】アイコンをダブルクリックします。



■【コリヤ英和！2014 操作パネル】アイコン

注意！

デスクトップに【コリヤ英和！2014 操作パネル】または【コリヤ英和！2014 マルチリンガルパネル】が見当たらないときは、【スタート】ボタン→【(すべての)プログラム】→【コリヤ英和！一発翻訳 2014 (マルチリンガル)】→【操作パネル】の順に選択します。Windows 8の場合は、【スタート】→【操作パネル】を選択します。

【コリヤ英和！2014 操作パネル】が表示されます。また、デスクトップのタスクトレイに【操作パネル】アイコンが表示されます。



■操作パネル



■操作パネルアイコン

タスクトレイの【操作パネル】アイコンをクリックすると操作パネルが最前面に表示されます。操作パネルが非表示になっているときや、他のウィンドウに隠れているときに使います。

■Windows7, 8ならではの短縮操作

タスクバーの操作パネルにマウスをあてると、よく使う機能のショートカットがサムネイルウィンドウに表示されます。同様に、右クリックで表示されるコンテキストメニューにもよく使う機能のショートカットを配置。

操作パネル起動中なら画面を前面に表示することなく、タスクバーからよく使う機能を実行できます。



マウスをあてた状態で選択



右クリックで選択

操作パネルの名称と機能

操作パネルのボタンのうち、右側に▼が表示されているものは、複数の機能が用意されています。ボタンをクリックするとプルダウンメニューが表示されます。プルダウンメニューから機能させるコマンドを選択して実行します。その他のボタンもクリックして実行します。ただし、「監視」ボタンは、監視機能のオン/オフを切り替えるボタンです。右側の▼をクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。

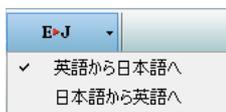
以下では、それぞれのボタンの概要を紹介します。



翻訳・辞書引きの実行

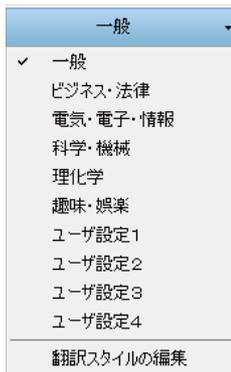
翻訳方向の設定や翻訳スタイルの選択、選択翻訳、選択辞書引きなどを行うことができます。

翻訳方向の選択



翻訳方向を選択するときに使います。

翻訳スタイルの選択



翻訳スタイルを選択したり、現在使用している翻訳スタイルを編集するときに使います。

翻訳エディタ



翻訳エディタを起動します。

選択翻訳



メモ帳や Internet Explorer など、他のアプリケーションで選択したテキストを翻訳するときに使います。

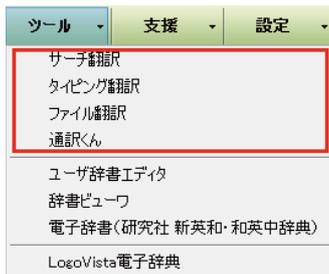
選択辞書引き



メモ帳や Internet Explorer など、他のアプリケーションで選択したテキストを辞書引きするときに使います。

様々なツールの起動.....

翻訳ツール



次のツールを選択して起動することができます。

サーチ翻訳	[サーチ翻訳] ウィンドウを開きます。日本語のキーワードが入力されると、それを翻訳した語句をキーワードにサイトを検索し、検索結果のサイトを翻訳します。
タイピング翻訳	タイピング翻訳を起動します。テキストを扱うことができるアプリケーションで、日本語を入力しながら翻訳してアプリケーションに入力することができるシンプルな翻訳アプレットです。
ファイル翻訳	[ファイル翻訳] ウィンドウを開きます。ファイルごとに翻訳します。1つから複数のファイルを一括して翻訳することができます。
通訳くん	[通訳くん] ウィンドウを開きます。日本語を英語に、英語を日本語に翻訳しながら会話することができます。

辞書ツール



次のツールを選択して起動することができます。

ユーザ辞書エディタ	[ユーザ辞書エディタ] ウィンドウを開きます。コリヤ英和！2014 の翻訳アプレットで使用するユーザ辞書に語句を登録したり、登録済みの語句を編集することができます。
辞書ビューフ	[辞書ビューフ] ウィンドウを開きます。研究社 新英和・和英中辞典、コリヤ英和！で使用する辞書で辞書引きができます。
電子辞書（研究社 新英和・和英中辞典）	[電子辞書（研究社 新英和・和英中辞典）] ウィンドウが開きます。研究社 新英和・和英中辞典で辞書引きができます。
LogoVista電子辞典	LogoVista電子辞典がインストールされているときは、LogoVista電子辞典で辞書引きができます。

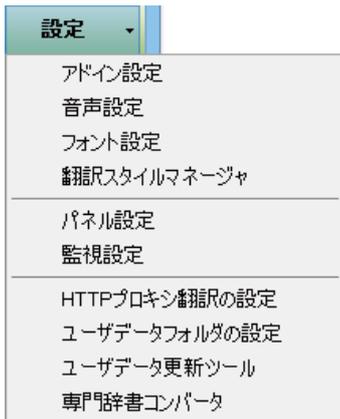
支援ツールの起動.....



度量衡、メールの書き方などの翻訳作業を支援するツールを起動します。音声合成エンジンがインストールされているときは、アプリケーションで選択されている語句を読み上げることができます。音声合成エンジンは、コリヤ英和！一発翻訳 2014（マルチリンガル）の製品CD-ROMからインストールすることができます。

設定ツールの起動.....

設定



以下の設定を行うときに使います。

アドイン設定	Microsoft Office のアプリケーションや一太郎などに翻訳機能をアドインしたり、解除したりします。
音声設定	音声合成エンジンがインストールされているとき、音声に関する設定を行います。音声合成エンジンは、コリヤ英和！一発翻訳 2014（マルチリンガル）の製品CD-ROMからインストールすることができます。
フォントの設定	コリヤ英和！一発翻訳 2014 の翻訳アプレットで使用するフォントの設定を行います。
翻訳スタイルマネージャ	翻訳スタイルマネージャを起動します。翻訳に使用する専門辞書などを設定できます。
パネル設定	操作パネルの表示方法を変更できます。「操作パネルの表示方法を設定するには」の項目をご参照ください。
監視設定	監視ボタンで使用する機能を設定できます。「11 監視ボタンの使い方」をご参照ください。
HTTPプロキシ翻訳の設定	Firefoxなどの、Internet Explorer以外のブラウザでホームページを翻訳するための設定を行います。
ユーザーデータフォルダの設定	ユーザ辞書などのユーザーデータファイルを保存するフォルダを変更することができます。
ユーザーデータ更新ツール	弊社旧製品で作成されたユーザーデータを本製品で利用できるようにするために、旧データファイルの内容を解析して、本製品のデータファイルへの更新、または追加処理を行います。
専門辞書コンバータ	弊社旧製品で利用している専門辞書を本製品で利用できるようにするために変換処理を行います。

監視機能.....

監視



テキストにマウスカーソルを合わせると翻訳したり辞書引きしたりする「タッチ機能」や、コピーコマンドなどでクリップボードに格納されたテキストの翻訳や、辞書引きを行う機能のオン・オフなどを行います。

その他の機能

サポート



コリヤ英和！アップデート	インターネット上のサーバからコリヤ英和！2014の更新情報を取得し、最新バージョンが存在すれば、アップデートデータをダウンロードします。
バージョンチェッカー	現在お使いのコリヤ英和！一発翻訳のバージョン情報や状態が表示されます。
LVナビ	コリヤ英和！の使い方やサポート情報などを参照できます。
LogoVistaホームページへ	LogoVistaホームページを開きます。
LogoVistaニュース	[LogoVista ニュース] ウィンドウを開きます。LogoVista の製品に関するニュースを参照できます。
IEアドインについて	Internet Explorerを使用してホームページを翻訳する際の注意事項について記述しています。
LogoVistaライセンス認証	ライセンス認証を起動します。
ユーザ登録/Q&Aページへ	製品のユーザ登録、サポートQ&Aページを開きます。

OCR



OCRを起動します。

操作パネルの表示方法を設定するには

ワープロなどのアプリケーションと同時に起動して、操作パネルを使う場合、翻訳を中心に作業を進めたいときは、操作パネルが常に前面に表示されていると便利です。また、翻訳を補助的に使いたいときなど、操作パネルが隠れていた方が便利な場合もあります。コリヤ英和！一発翻訳 2014 では、このような使い方に合わせて操作パネルの表示方法を変更できます。

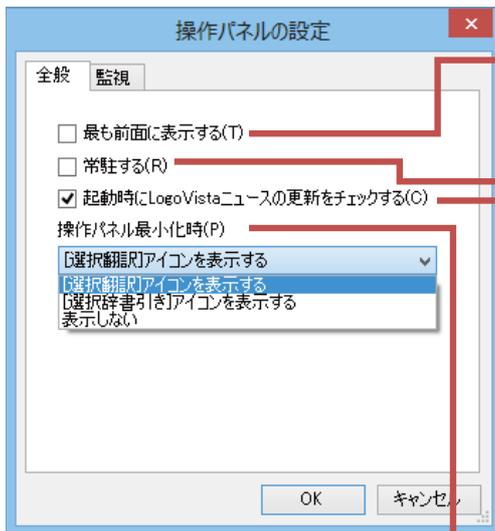
1

【設定】 ボタンをクリックし、表示されるメニューから【パネル設定】 コマンドを選択します。



【操作パネルの設定】 ダイアログボックスが表示されます。

【全般タブ】 でパネルの表示方法を設定し、【OK】 ボタンをクリックします。



【最も前面に表示する】 チェックボックス

チェックしておく、操作パネルを常に画面の最前面に表示しておくことができます。

【常駐する】 チェックボックス

【操作パネル】を終了させても、タスクトレイに【操作パネル】アイコンを残します。Windows を起動したときにも表示されますので、いつでもコリヤ英和！一発翻訳の機能を活用できます。

【起動時に LogoVista ニュースの更新をチェックする】 チェック ボックス

チェックしておく、操作パネルの起動時にインターネットに接続し、LogoVista ニュースの更新をチェックします。インターネットに接続したくない場合は、チェックを外しておきます。

【パネル最小化時】 ドロップダウンメニュー

操作パネルウィンドウを最小化している状態の時に、マウスカーソル横に【選択翻訳】アイコンを表示するか、【選択辞書引き】アイコンを表示するか、何も表示させないかを設定できます。

☞ 【監視】 タブの使い方については、「11 監視ボタンの使い方」をご参照ください。

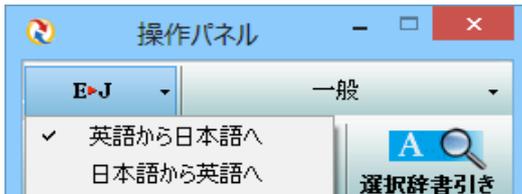
2

翻訳方向の選択ボタンの使い方

〔翻訳方向の選択〕ボタンは、〔操作パネル〕で翻訳を行う際の翻訳方向を切り替えるときに使用します。

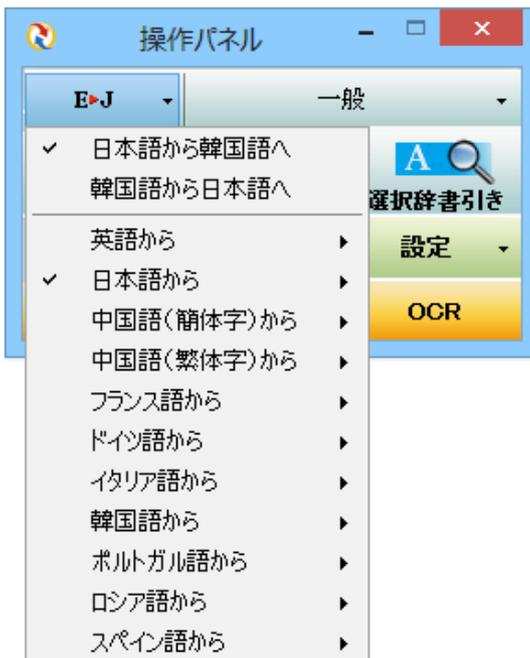
コリヤ英和！一発翻訳2014での翻訳方向の変更方法

翻訳方向を変更する場合は、〔翻訳方向〕ボタンをクリックして開くメニューから「英語から日本語へ」または「日本語から英語へ」を選択して切り替えます。



マルチリンガル版の翻訳方向の変更方法

マルチリンガル版の操作パネルで翻訳方向を設定するときは、〔翻訳方向〕ボタンをクリックして開くメニューから翻訳方向を選択して設定します。例えば、日本語から韓国語に翻訳するときは、〔翻訳方向〕ボタン→〔日本語から〕→〔韓国語へ〕の順にクリックして設定します。



3

翻訳スタイルの選択ボタンの使い方

翻訳スタイルは、翻訳結果を左右する条件をまとめたもので、使用する辞書（専門辞書、分野辞書、ユーザ辞書）と文体や固有名詞の訳出方法などの「翻訳設定」が含まれます。ここでは、翻訳スタイルの選択方法と、翻訳スタイルの編集方法を説明します。

翻訳スタイルについて（英日・日英を含む翻訳専用）

あらかじめ用意されている翻訳スタイルには、それぞれに名前がつけられています。コリヤ英和！一発翻訳 2014では、次の翻訳スタイルを用意しています。このうち、「一般」がデフォルトの翻訳スタイルです。「ユーザ設定1」～「ユーザ設定4」は、用意されたジャンル以外の翻訳スタイルを使いたいときに設定していただく翻訳スタイルです。以下の翻訳スタイルがあります。英日、日英ともに名称は同じです。

一般	ビジネス・法律	電気・電子・情報	科学・機械	理化学
趣味・娯楽	ユーザ設定1	ユーザ設定2	ユーザ設定3	ユーザ設定4

これを使い分けることによって、原文をより正確に翻訳できるようになります。

注意！

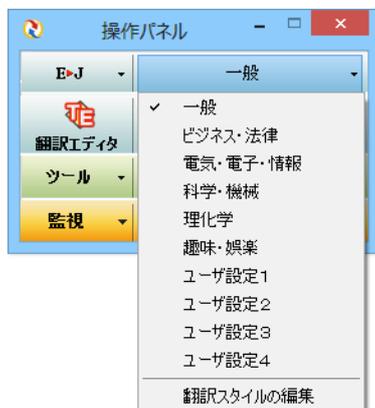
- 翻訳スタイルは、英日・日英専用の機能です。
- 用意されている翻訳スタイルは、製品によって異なります。

注意！

翻訳スタイルの編集は、翻訳方向が「英語から日本語へ」、「日本語から英語へ」の場合と、これを含む翻訳方向の場合に可能です。たとえば、マルチリンガル版に搭載の「フランス語から日本語へ」の場合には、「フランス語から英語へ」と「英語から日本語へ」で構成されますので、「英語から日本語へ」の翻訳方向における翻訳スタイルが選択でき、編集も可能になります。

翻訳スタイルを変更するには

翻訳スタイルは、[翻訳スタイルの選択] ボタンをクリックして開くメニューから選択して設定できます。[操作パネル] では、以下のメニューが表示されます。

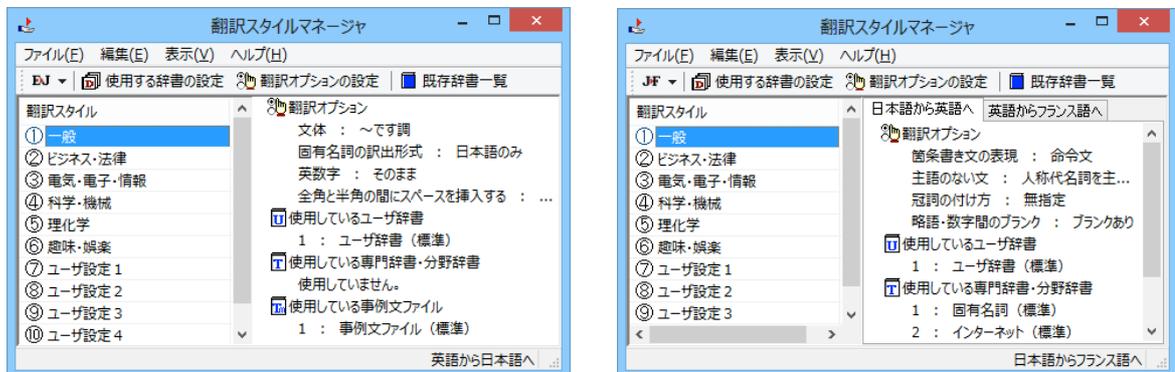


- [翻訳スタイルの選択] ボタンをクリックして開くメニュー

このメニューから使用する翻訳スタイルを選択すると、その翻訳スタイルに設定されている辞書や翻訳設定が活用されて翻訳されます。

翻訳スタイルを編集するには

翻訳スタイルに設定されている内容は、[翻訳スタイルの選択] ボタンのメニューにある[翻訳スタイルの編集]で、いつでも編集することができます。このボタンをクリックすると、[翻訳スタイルマネージャ]が起動します。右はマルチリンガルの例です。言語により、タブで分類されています。

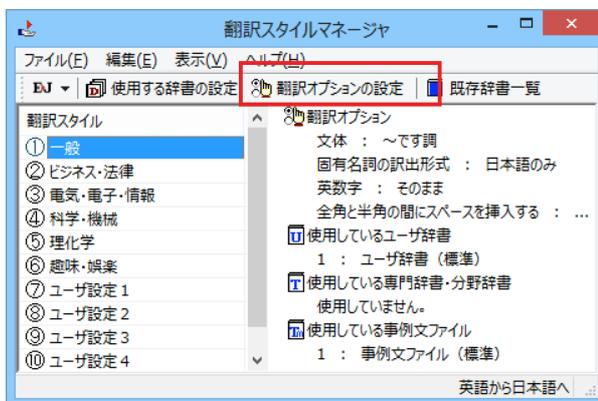


このダイアログの左側には、設定されている翻訳スタイルが一覧表示されます。その1つを選択すると、右側に設定されている内容が表示されます。

ヒント ▶ アプレットによっては、呼び出し方が異なることがあります。その場合は、オンラインヘルプをご覧ください。

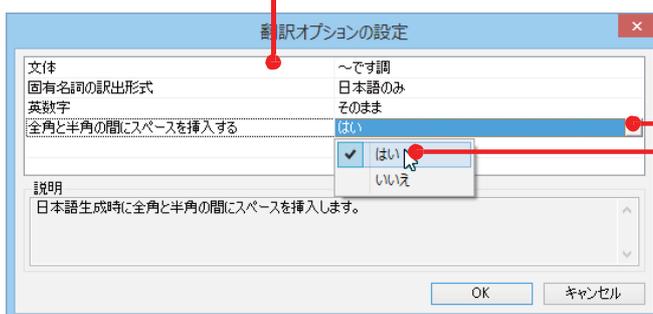
翻訳オプションを変更するには

[翻訳スタイルマネージャ] ウィンドウで、翻訳オプションを変更する翻訳スタイルを選択し、[翻訳オプションの設定] ボタンをクリックします。



これで、[翻訳オプションの設定] ダイアログが開きます。翻訳オプションでは、それぞれの項目をクリックすると、▼マークが出ますので、これをクリックして開くメニューから選択して設定します。

① 編集する項目をクリック



② ▼マークが出たら、クリック

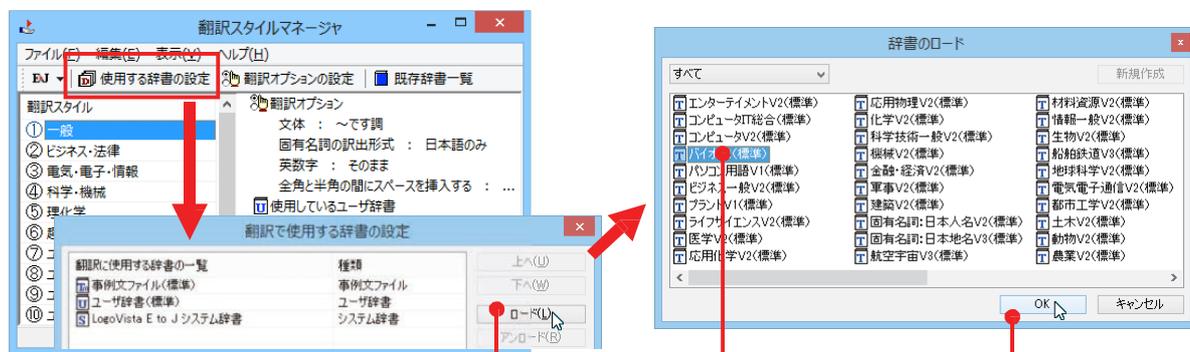
③ リストが表示されたら、リストから項目を選択

ヒント ▶ 翻訳オプションの変更は、「英語から日本語へ」、「日本語から英語へ」の場合と、マルチリンガル版の場合、これらを含む翻訳方向の「英語から日本語へ」、「日本語から英語へ」へのタブでのみ可能です。

分野辞書・専門辞書をロード（登録）するには

翻訳スタイル「一般」や「ユーザ設定」には分野辞書・専門辞書はロードされていません。ロードすることで翻訳に使用されます。

〔翻訳スタイルマネージャ〕ウィンドウで、辞書をロードする翻訳スタイルを選択し、〔使用する辞書の設定〕ボタンをクリックします。これで、〔翻訳で使用する辞書の設定〕ダイアログが開きます。

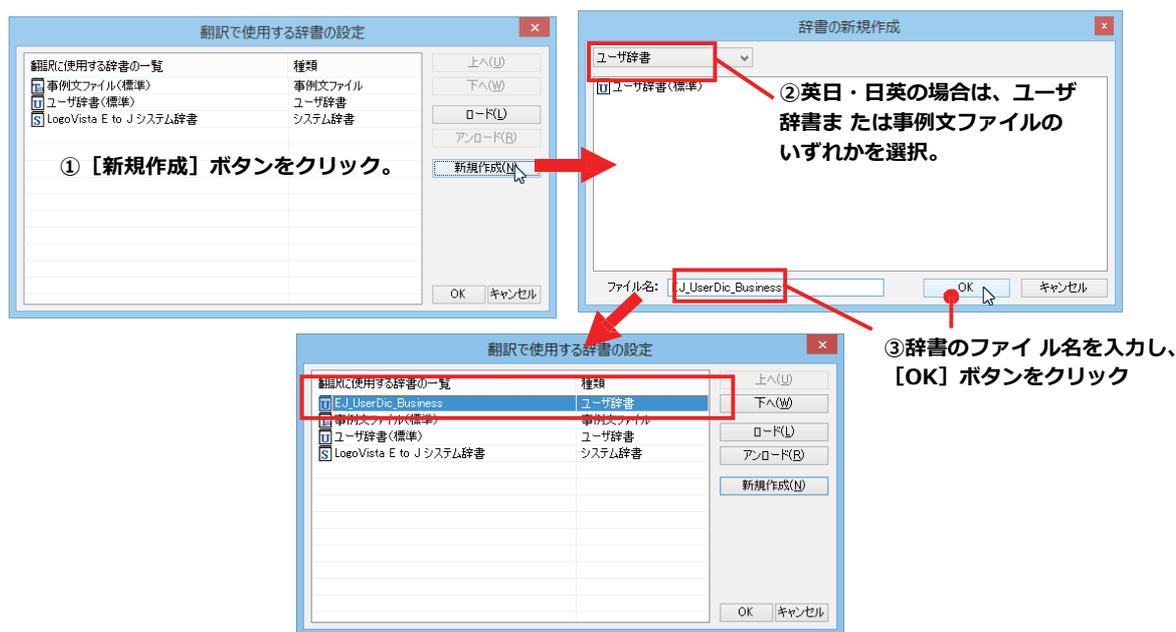


① [ロード] ボタンをクリック

② ロードする辞書を選択し、[OK] ボタンをクリック

ユーザ辞書や事例文ファイルを新規に作成するには

ユーザ辞書は、デフォルトでは「ユーザ辞書（標準）」が用意されていますが、複数作成し、目的にそって使い分けることができます。また、英日・日英翻訳では、事例文を登録しておく事例文ファイルを活用することもできます。これらが必要になったときは、新規にファイルを作成し、翻訳スタイルにロードしておく必要があります。



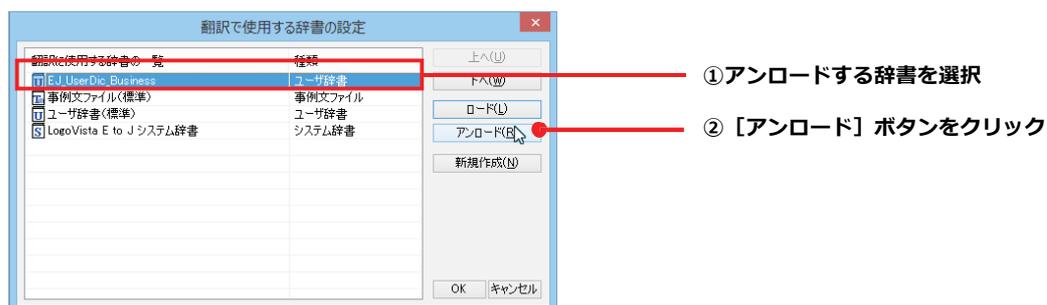
① [新規作成] ボタンをクリック。

② 英日・日英の場合は、ユーザ辞書または事例文ファイルのいずれかを選択。

③ 辞書のファイル名を入力し、[OK] ボタンをクリック

辞書をアンロード（解除）するには

使わない辞書をロードしたままにしておくと、翻訳速度が低下したり、思わぬ翻訳結果になったりします。使わない辞書はアンロードしておきます。



① アンロードする辞書を選択

② [アンロード] ボタンをクリック

4

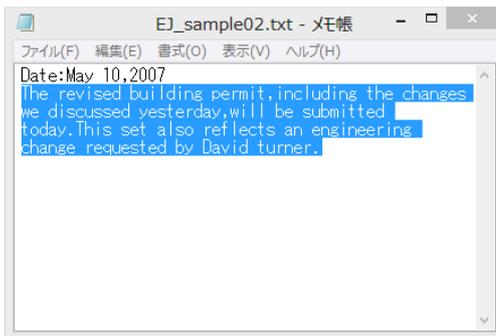
選択翻訳ボタンの使い方

〔選択翻訳〕ボタンはアプリケーション上で選択された文章を翻訳するときに使います。実行すると、翻訳エディタが起動し、翻訳結果を表示します。

操作パネルで翻訳するには

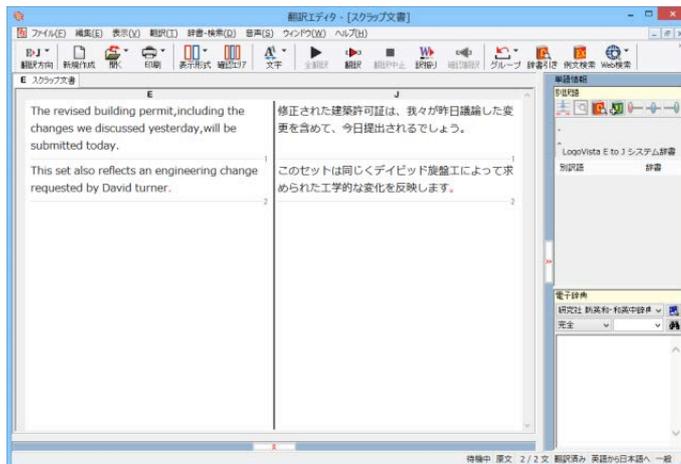
操作パネルを使って翻訳してみましょう。

1



アプリケーションで翻訳するテキストを選択し、操作パネルで翻訳方向を設定して〔選択翻訳〕ボタンをクリックします。

2



翻訳エディタが起動し、選択したテキストが翻訳され、〔翻訳〕ウィンドウに結果が表示されます。

☞ 翻訳エディタの使い方については、「第3章 翻訳エディタで翻訳するには」をご参照ください。

5

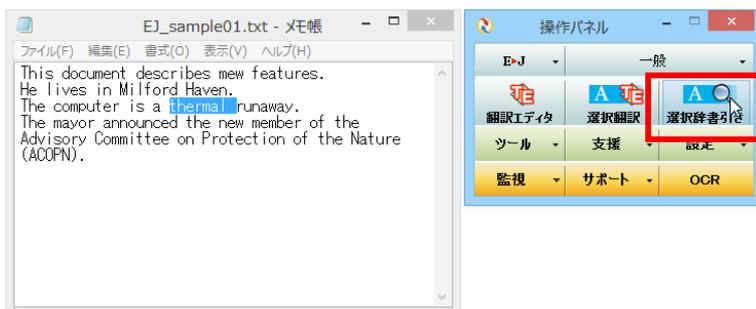
選択辞書引きボタンの使い方

〔選択辞書引き〕ボタンは、アプリケーション上で選択された語句の辞書引きを行うときに使います。このとき、英日・日英翻訳では、次のいずれかの辞書で辞書引きできます。その他の翻訳方向では、翻訳辞書で辞書引きすることができます。

- 翻訳辞書
- 研究社新英和・和英中辞典
- クイック辞書

辞書引きするには

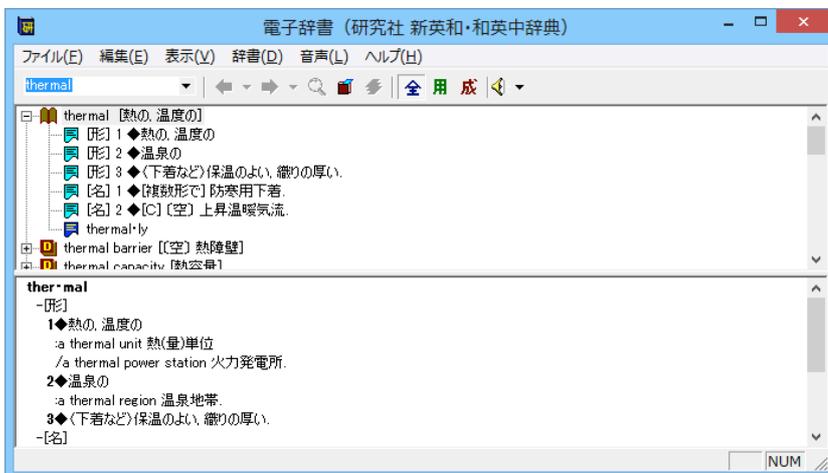
1



アプリケーションで辞書引きしたい語句を選択し、操作パネルで翻訳方向を設定して〔選択辞書引き〕ボタンをクリックします。

2

〔電子辞書（研究社 新英和・和英中辞典）〕ウィンドウが開き、辞書引き結果を表示します。



6

翻訳ツールの使い方

【ツール】ボタンには、コリヤ英和！一発翻訳のいろいろな翻訳アプレットや辞書ツールが用意されています。ここでは、いろいろな翻訳アプレットの概要を紹介します。

☞ 「ファイル翻訳」については、「第7章 ファイル単位で翻訳するには」を参照してください。

サーチ翻訳の使い方

【ツール】ボタン→【サーチ翻訳】は、日本語の語句を外国語に翻訳し、その語句をキーワードにして海外のインターネットサイトにアクセスし、ページ（サイト）を翻訳するための機能です。実行すると、【サーチ翻訳】ウィンドウが開きます。この機能の基本的な使い方を説明します。

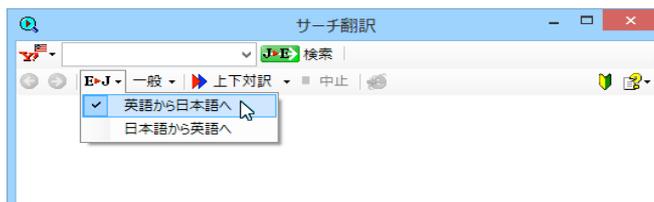
【サーチ翻訳】ウィンドウを呼び出し翻訳方向・翻訳スタイルを決める

【サーチ翻訳】ウィンドウを呼び出し、翻訳方向や翻訳スタイルを決めます。ここで決めるのは、サーチしたサイトを翻訳する方向のことです。

- 1** 操作パネルの【翻訳】ボタンをクリックして開くメニューから【サーチ翻訳】を選択します。

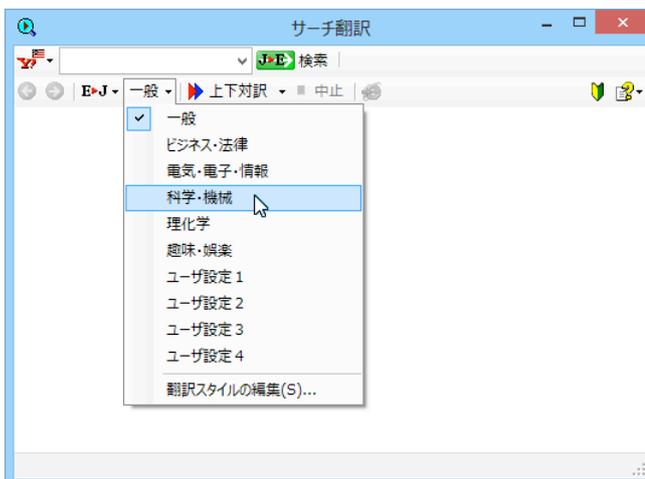
【サーチ翻訳】ウィンドウが表示されます。

2



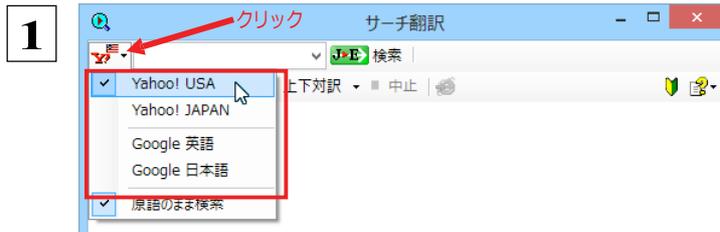
翻訳方向を決めます。

3



翻訳スタイルを選択します。

日本語を入力してサーチ



ウィンドウの左上のボタンをクリックし、表示されるリストから検索サイトを選択します。



キーワードの入力ボックスに日本語の語句を入力し、[検索] ボタンをクリックします。

注意!

マルチリンガルでは、キーワードの翻訳方向は、日本語→多言語となります。

入力した語句の訳語をキーワードにし、海外のサイトが検索されます。同時に、検索したサイトの翻訳が始まります。終了すると、検索結果が表示されます。



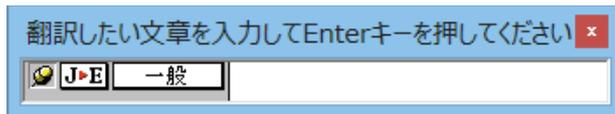
タイピング翻訳を行うには

タイピング翻訳は、日本語入力システムでかな漢字変換するような感覚で、入力した原文を訳文に変換していくシンプルな翻訳アプリレットです。メールソフトやワープロソフトなどのアプリケーションとともに使用すると、翻訳した訳文を [Enter] キーひとつで編集中の文書に入力できます。

タイピング翻訳の機能

タイピング翻訳の起動方法

操作パネルの [ツール] ボタンをクリックして開くメニューから [タイピング翻訳] を選択します。 [タイピング翻訳] ウィンドウが表示されます。



- [タイピング翻訳] ウィンドウ



必要に応じてワープロやメールソフトなど、タイピング翻訳で翻訳した訳文を入力したいアプリケーションを起動しておきます。

[タイピング翻訳] ウィンドウ各部の名称と機能

[タイピング翻訳] ウィンドウには、左側のボタン表示部と右側のテキスト域があります。



[プッシュピン] ボタン

タイピング翻訳を常に表示するかしないかの表示モードを切り替えます。ボタンをクリックするたびに、この2つの状態が切り替わります。



: 固定位置表示



: 浮動表示

J-E 【翻訳方向の選択】 ボタン

現在選択されている翻訳方向が表示されます。変更するときはクリックして、ポップアップリストから目的の翻訳方向を選択します。

一般 【翻訳スタイルの選択】 ボタン

現在選択されている翻訳スタイルが表示されます。変更するときはクリックして、ポップアップリストから目的の翻訳スタイルを選択します。

テキスト域

原文を入力します。原文は青で表示されます。入力後、[Enter] キーを押すと翻訳が行われ、原文が訳文に入れ替わり、確認翻訳の結果が下に表示されます。また、このテキスト域で訳文を編集することもできます。

タイピング翻訳メニュー

タイピング翻訳のコマンドメニューは、以下のいずれかの方法で表示できます。

- [タイピング翻訳] ウィンドウのタイトルバーの上で、マウスの右ボタンをクリックします。
- タスクトレイのタイピング翻訳アイコンを右ボタンでクリックします。



タイピング翻訳アイコン

Windows のタスクトレイに表示されます。クリックするとタイピング翻訳ウィンドウが Windows の最前面に表示されます。また、右クリックすると、タイピング翻訳メニューが表示されます。（上右図）

タイピング翻訳ウィンドウの表示モード

タイピング翻訳には、固定位置表示と浮動表示の 2 通りの表示モードがあります。作業の形態に合わせて、使いやすいモードを選択してください。

固定位置表示

常にウィンドウが画面上の一定の位置に表示されます。他のアプリケーションと重なる場合は、常にその前面に表示されます。表示する位置は自由に変更できます。翻訳結果を [Enter] キーでアプリケーションの文書に入力した後も、ウィンドウはアクティブなままになるので、すぐに別の原文を入力できます。タイピング翻訳で翻訳しながらアプリケーションに訳文を入力していくような場合に便利です。

浮動表示

【タイピング翻訳】ウィンドウが通常は非表示となり、ホットキーを押す、またはタスクトレイの「タイピング翻訳」アイコンをクリックしたときに表示されます。[Enter] キーで翻訳結果をアプリケーションの文書に入力した後は、自動的に非表示に戻ります。

タイピング翻訳を終了するには

タイピング翻訳を終了するには、タイトルバーの  をクリックします。またはタイピング翻訳メニュー（タイトルバー上で右クリック）から [閉じる] コマンドを選択します。【タイピング翻訳】ウィンドウおよびタスクトレイのアイコンが消え、プログラムが終了します。

タイピング翻訳を常駐させるには

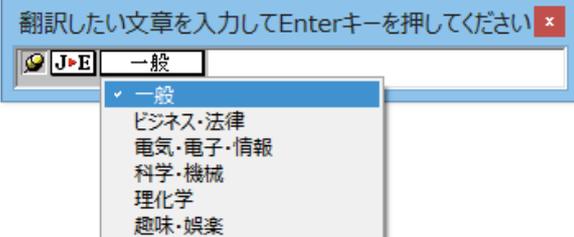
タイピング翻訳を常に使う場合、常駐させておくことができます。常駐させると、タイトルバーの  をクリックしてウィンドウを閉じて、タスクトレイにタイピング翻訳のアイコンが残ります。これをクリックするといつでもタイピング翻訳を起動できます。常駐させるときは、タイピング翻訳メニュー（タイトルバー上で右クリック）から [常駐する] コマンドを選択してチェックマークをつけます。常駐を解除するときはチェックマークを外します。

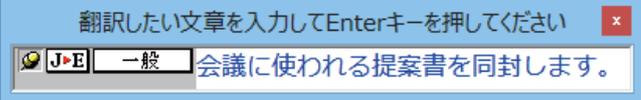
翻訳を実行するには

タイピング翻訳では [Enter] キーを押すだけで、テキスト域に入力した文書を翻訳できます。翻訳後は、別訳語への置き換えや、訳文の手直しができます。タイピング翻訳のテキスト域に、キーボードから原文を入力しながら翻訳できます。訳文は、同時に開かれていたワープロやメールソフトなどの文書に、[Enter] キーで入力できます。

1 あらかじめ、ワープロやメールソフトなど、テキストを扱えるアプリケーションソフトを起動し、文書を開いておきます。

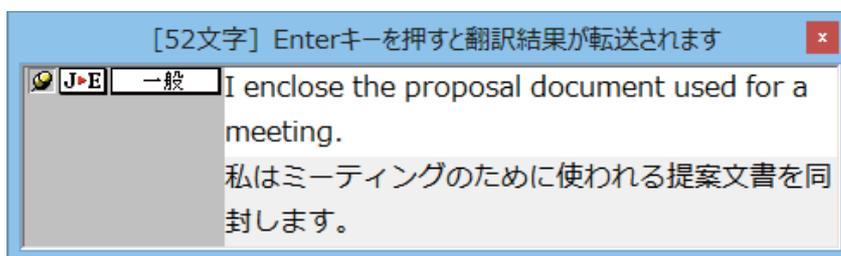
2  タイピング翻訳を起動します。【翻訳方向の選択】ボタンに使用したい翻訳方向が表示されているか確認します。変更するときは、【翻訳方向の選択】ボタンをクリックして、ポップアップリストから目的の翻訳方向を選びます。

- 3  **【翻訳スタイルの選択】** ボタンに使用したい翻訳スタイルが表示されているか確認します。変更するときは**【翻訳スタイルの選択】** ボタンをクリックして、ポップアップリストから目的の翻訳スタイルを選びます。

- 4  キーボードから原文を入力します。
原文が青で表示されます。

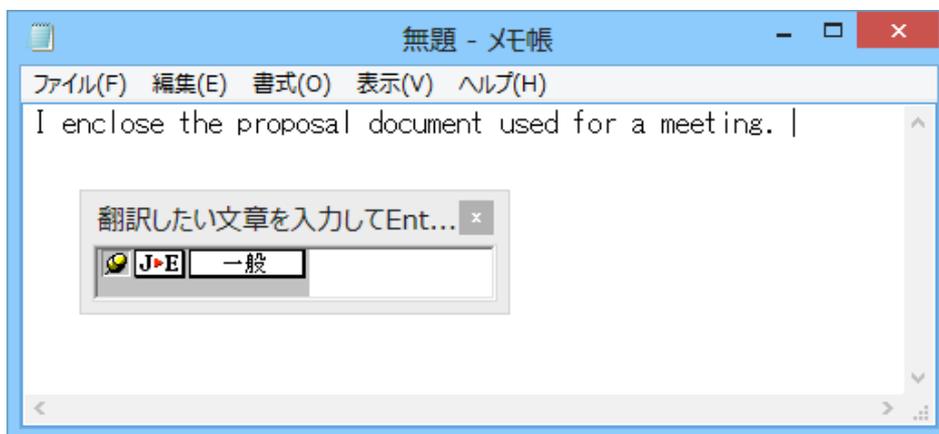
ヒント 原文の入力を最初からやり直したい場合は、[Esc] キーを押して、入力テキストをクリアします。

- 5 **【Enter】** キーを押します。原文が翻訳され、訳文に入れ替わり、確認翻訳の結果が下に表示されます。同時に訳文の文字数がタイトルに表示されます。Twitterなどの文字数制限のある場合の入力時に参考にしてください。



この時点で、必要に応じて訳文を編集することができます。

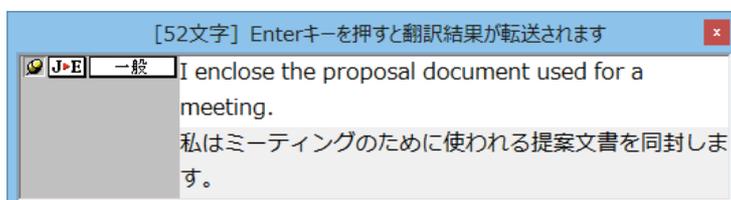
- 6 もう一度**【Enter】** キーを押します。訳文がアプリケーションソフトのカーソル位置に入力され、**【タイピング翻訳】** ウィンドウのテキスト域はクリアされます。



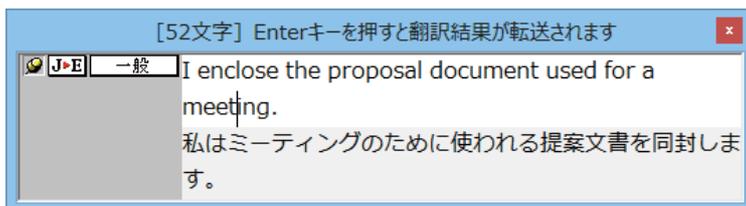
ヒント 固定位置表示モードになっている場合は、**【タイピング翻訳】** ウィンドウがアクティブなままになり、テキスト域にカーソルが表示され続けます。そのまま続けて、別の翻訳を行うことができます。浮動表示モードになっている場合は、**【タイピング翻訳】** ウィンドウは見えなくなります。

テキスト域の訳文を編集するには

- 1 翻訳後、別訳語への置き換えを行って、訳文を改良することができます。
【タイピング翻訳】 で翻訳を行います。翻訳結果は黒の文字で表示されます。

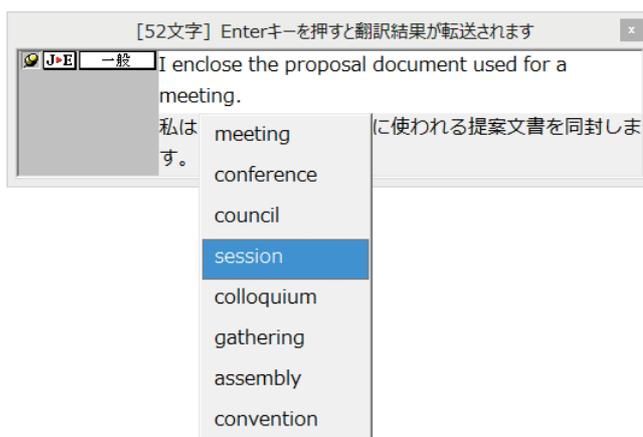


- 2 別訳語に置き換えたい単語にカレットを立てます。

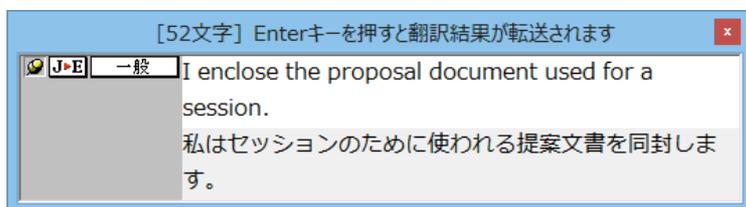


- 3 カレットが立っている状態で Ctrl キーを押したまま上矢印キーまたは下矢印キーを押すと、別訳語のリストが表示されます。選択されていた単語の、別訳語のリストが表示されます。

- 4 リストの中に使用したい訳語があるときは、さらに上または下矢印キーを押して、その訳語を選択し、[Enter] キーを押します。



翻訳結果のテキストの該当部分が別訳語に置き換わります。



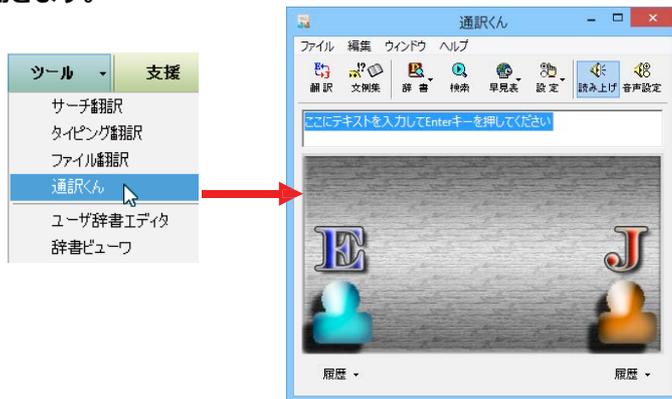
- 翻訳結果テキストは、手作業で自由に編集することもできます。ただし、いったん手作業で修正を加えると、そのテキスト内での矢印キーによる語句の選択、別訳語の表示・選択はできなくなります。

通訳くんを使うには（英日・日英翻訳専用）

通訳くんは、キーボードから入力された文が英文か和文かを自動的に判断し、翻訳して結果を表示するアプレットです。コンピュータ上で筆談による会話を実現することができます。また「読み上げ」ボタンをオンにしておき訳文を読み上げさせることもできます。

通訳くんに起動するには.....

「ツール」ボタンをクリックし、表示されるメニューから「通訳くん」を選択します。「通訳くん」ウィンドウが開きます。



通訳くんの機能.....



入力フィールド

翻訳したい語句または文を入力します。

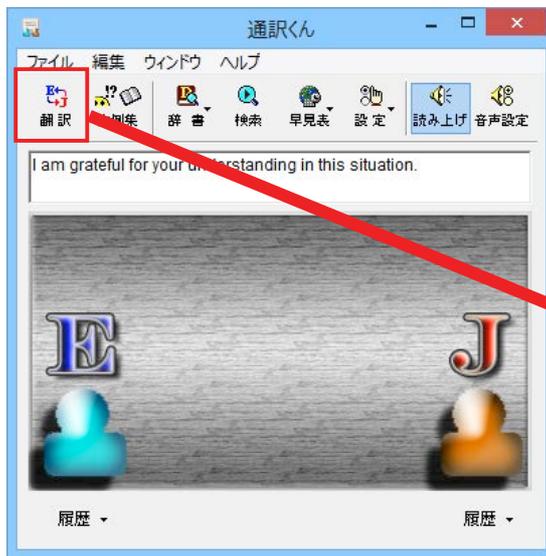
ツールバー

- 【翻訳】ボタン 入力フィールドに入力された語句または文を翻訳します。
- 【文例集】ボタン [応答例・文例集] ウィンドウを開きます。
- 【辞書】ボタン [電子辞典（研究社 新英和・和英中辞典）] 又は[LogoVista電子辞典]を開き、辞書引きします。
- 【検索】ボタン [サーチ翻訳] ウィンドウを開き、日本語を入力して海外の Web サイトをサーチします。
- 【早見表】ボタン 度量衡を表示します。
- 【設定】ボタン [環境設定] ウィンドウまたは[翻訳設定] ウィンドウを開きます。
- 【読み上げ】ボタン オンにすると、翻訳結果を自動的に読み上げます。
- 【音声設定】ボタン [音声設定のプロパティ] ダイアログボックスを開きます。
- 【履歴】ボタン 過去に翻訳した語句または文の履歴を参照するときに使います。

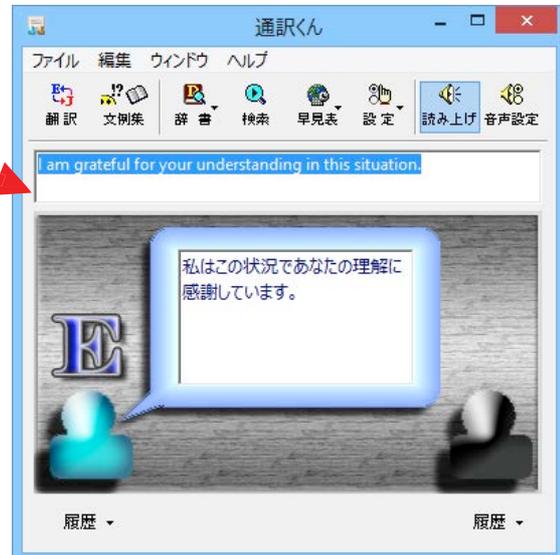
翻訳させるには

次の手順で翻訳します。

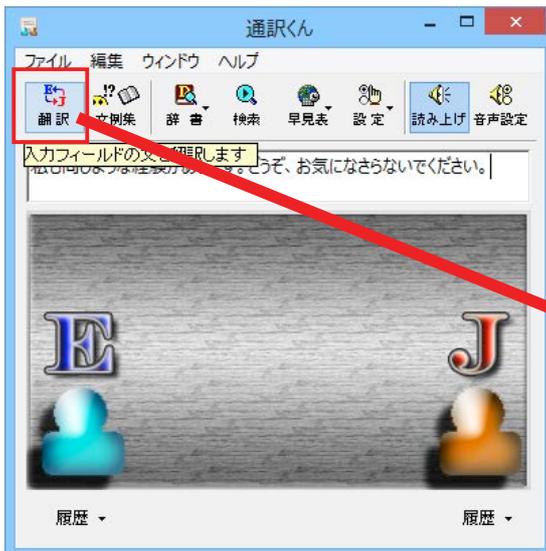
1



入力フィールドに翻訳したい英文を入力し、[翻訳] ボタンをクリック、または [Enter] キーを押します。翻訳結果が表示され、音声読み上げが行われます。

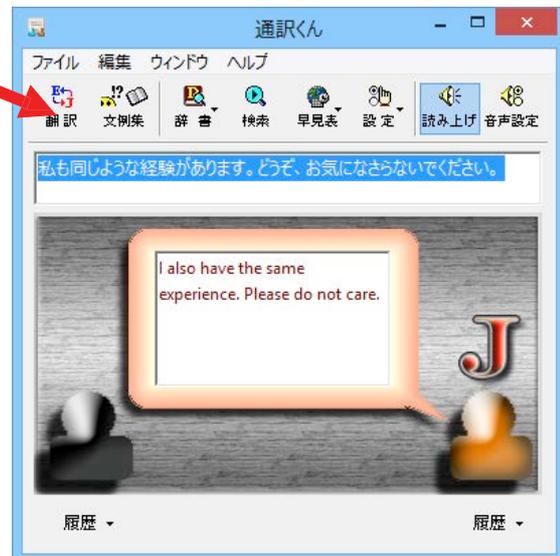


2



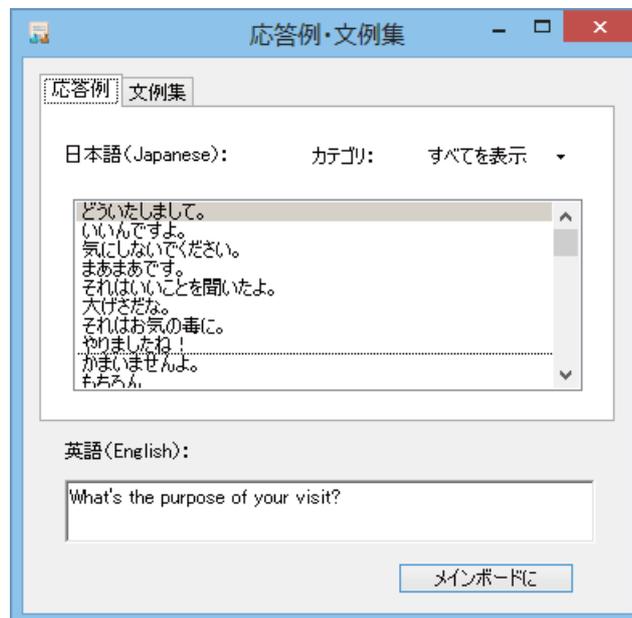
こんどは和文を入力し、[翻訳] ボタンをクリック、または [Enter] キーを押します。

翻訳結果が表示され、[読み上げ] ボタンがオンになっている場合は、音声読み上げが行われます。





【文例集】ボタンをクリックすると、【応答例・文例集】ウィンドウが開きます。このウィンドウで会話例を参照することができます。例を選択してから【メインボードに】ボタンをクリックする、もしくはリスト上の例をダブルクリックすると、その文例が【通訳くん】ウィンドウの入力フィールドに自動的に入力されます。



7 辞書ツールの使い方

【ツール】ボタンには、コリヤ英和！一発翻訳のいろいろな翻訳アプレットや辞書ツールが用意されています。ここでは、辞書ツールの概要を紹介します。

ユーザ辞書エディタを使うには（英日・日英翻訳専用）

ユーザ辞書は、お使いになる方が独自に語句を登録し、地名や人名など辞書にはない独特な語句を翻訳するときなどに活用します。このユーザ辞書に登録された語句などの編集を行うアプレットが「ユーザ辞書エディタ」です。ここではユーザ辞書エディタの概要を紹介します。

ユーザ辞書エディタを起動するには.....

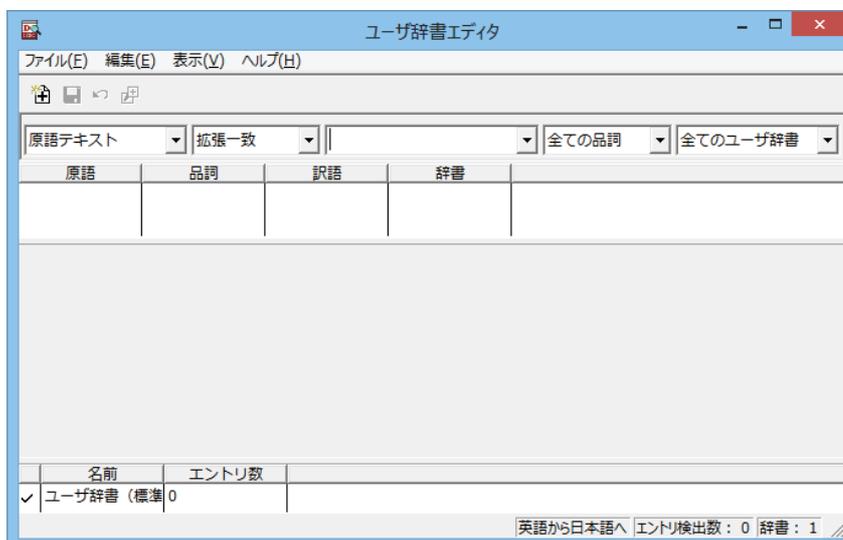
1 【ツール】ボタンをクリックし、表示されるメニューから【ユーザ辞書エディタ】を選択します。ユーザ辞書エディタが起動し、次のウィンドウが開きます。。



最初にユーザ辞書エディタを起動したときは、【英語から日本語へ】が選択されています。【ファイル】メニューから【翻訳スタイルに対応する辞書を開く】を選択し、翻訳方向と翻訳スタイルを指定します（この例では【英語から日本語へ】の「一般」）。

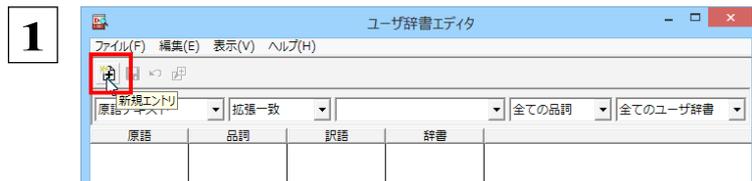
ヒント ユーザ辞書は複数作成でき、用途に合わせて使い分けことができます。使用するユーザ辞書は、翻訳スタイルを編集するときに指定できます。実際の翻訳作業では、翻訳スタイルを選択することで使用するユーザ辞書を使い分けます。「翻訳スタイルに対応する辞書を開く」というのは、英日または日英の翻訳スタイルに登録（ロード）されているユーザ辞書のことです。複数のユーザ辞書をロードしているときは、すべてのユーザ辞書を対象にします。ここでは、翻訳スタイル「一般」にはあらかじめ用意されている「ユーザ辞書（標準）」だけがロードされているものとして説明しています。

「ユーザ辞書（標準）」が開きます。



語句を登録するには

ユーザ辞書エディタで語句を登録するときは、以下の手順で行います。



【新規エントリ】ボタンをクリックします。
登録画面（詳細表示）に変わります



これは名詞の語句を登録するための画面です。登録する語句の品詞によって画面が異なります。たとえば、【品詞】のプルダウンリストから【動詞】を選択します。

動詞の登録画面になります。



例として、英語の語句「live」を他動詞で日本語訳を「～の生活をする」として登録する場合は、文型を「他動詞」にし、活用形や日本語訳を図のように入力、設定します。

【不定詞形】を入力し、【語尾変化】ボタンをクリックすると、活用形が表示されます。必要に応じて修正します。

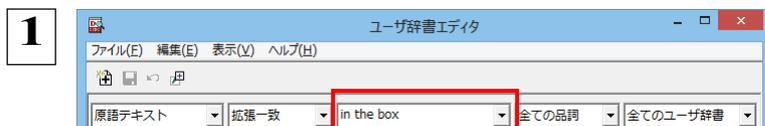
設定できたら、【エントリ保存】ボタン () をクリックします。

画面が戻ります。登録した語句がリストに表示されます。

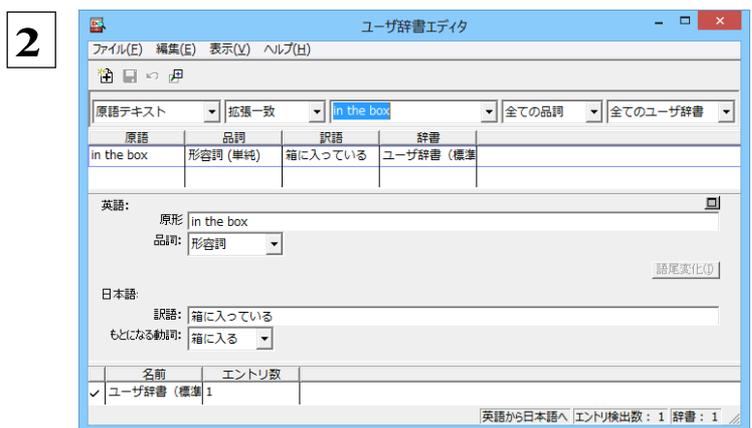
終了するときは、【ファイル】メニューから【終了】を選択するか、右上のクローズボックスをクリックします。

語句を編集するには

ユーザ辞書に登録した語句はユーザ辞書エディタで編集することができます。ユーザ辞書エディタで編集する語句を検索し、目的の語句を呼び出して編集します。



検索フィールドの見出し語入力ボックスに編集する語句を入力します。



見出し語が入力されると、検索され、結果がリストに表示されます。

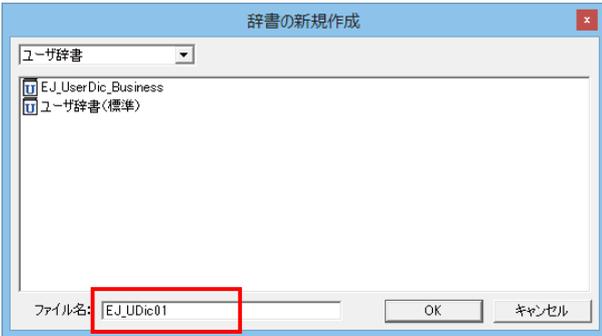
必要な編集作業を行い、【エントリ保存】ボタンをクリックして保存し直します。

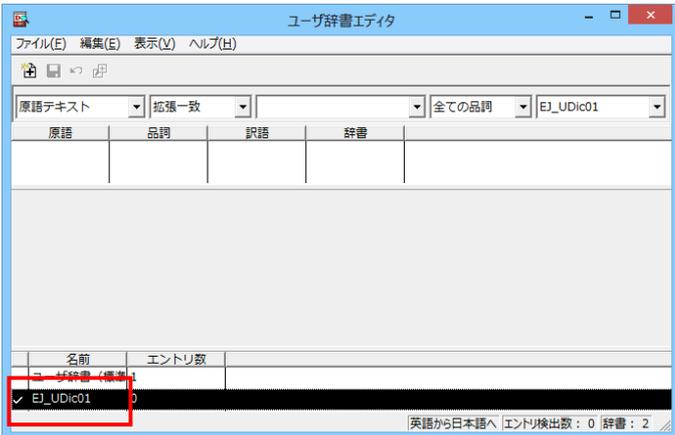
新規にユーザ辞書を作成するには.....

ユーザ辞書エディタから新規にユーザ辞書を作成することもできます。

- 

【ファイル】メニューから【新規ユーザ辞書】を選択します。

【辞書の新規作成】ダイアログが開きます。
- 

任意のファイル名を入力し、【OK】ボタンをクリックします。
- 

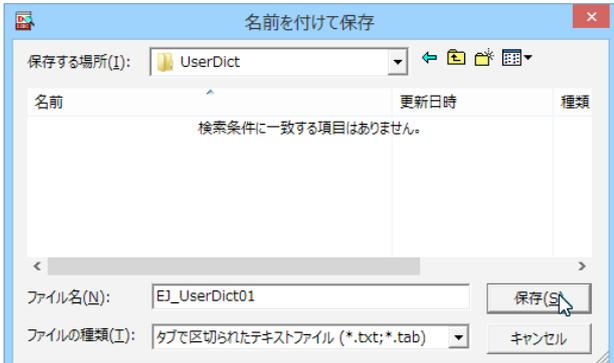
ユーザ辞書エディタに戻ります。作成したユーザ辞書はオープンされた状態になっています。これで新規にユーザ辞書を作成できます。

登録した語句を書き出すには.....

ユーザ辞書に登録した語句やその情報は、テキストファイルに書き出すことができます。テキストファイルに書き出すと、ワープロソフトや表計算ソフトで語句を管理・編集することができます。また、他のユーザ辞書にテキストファイルを読み込んで語句を一括して登録することができます。

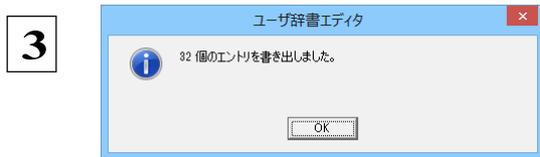
- 

【ファイル】メニューから【全てのエントリの書き出し】を選択し、対象のユーザ辞書（この例では「ユーザ辞書（標準）」）を選択します。

【名前を付けて保存】ダイアログボックスが開きます。
- 

保存先のフォルダに移動し、任意にファイル名を入力して【保存】ボタンをクリックし。

メッセージが表示されます



[OK] ボタンをクリックします。これで、ユーザー辞書の内容をテキストファイルに書き出すことができます。

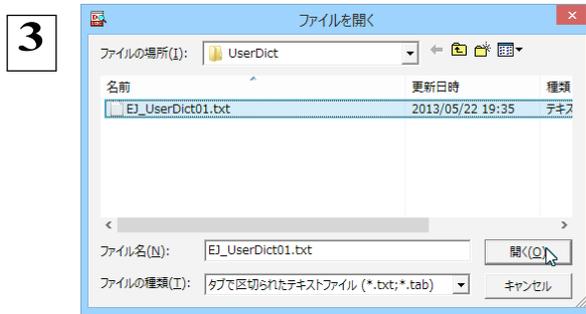
テキストファイルの語句を読み込むには.....

「登録した語句を書き出すには」で書き出したテキストファイルを別のユーザー辞書を読み込むことができます。これを一括して語句を登録することができます。

1 読み込むユーザー辞書を開いておきます。



【ファイル】メニューから【エントリの読み込み】を選択し、読み込み先のユーザー辞書を選択します。



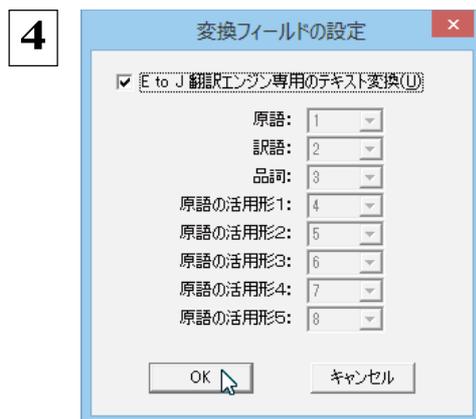
【ファイルを開く】ダイアログボックスが開きます。

ユーザー辞書形式のテキストファイルを選択し、【開く】ボタンをクリックします。

【変換フィールドの設定】ダイアログボックスが表示されます。



ユーザー辞書から書き出したテキストファイルは、1つのエントリが1行にまとめられ、項目間はタブ記号で区切られます。項目には順番があります。順番が異なると不正な内容が登録されてしまいます。【変換フィールドの設定】ダイアログボックスは項目の順番を調整するためにあります。通常は、このまま [OK] ボタンをクリックしてかまいません。



ここではこのまま [OK] ボタンをクリックします。これでテキストファイルを読み込むことができます。

☞ 変換フィールドの設定の詳細は、オンラインヘルプをご覧ください。

ユーザ辞書エディタ（マルチリンガル）を使うには

ここでは、マルチリンガル版のユーザ辞書エディタの概要を紹介します。なお、マルチリンガル版で使用できるユーザ辞書は、英語→フランス語、英語→ドイツ語、英語→イタリア語、英語→ポルトガル語、英語→スペイン語、英語→ロシア語、日本語→韓国語、フランス語→英語、ドイツ語→英語、イタリア語→英語、ポルトガル語→英語、スペイン語→英語、ロシア語→英語、韓国語→日本語の各翻訳方向で1つずつです。



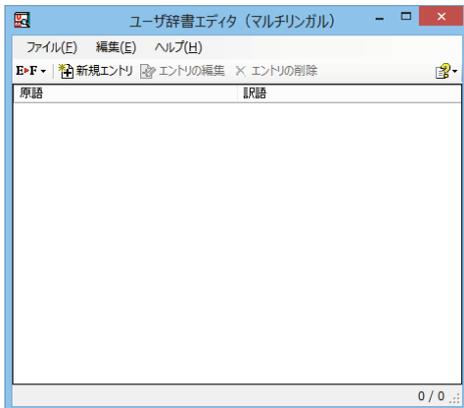
日本語→中国語、中国語→日本語のユーザ辞書は、ユーザ辞書エディタ（日中・中日）を利用します。マルチリンガルの場合、使用できるユーザ辞書は1つだけです。名詞だけを登録することができます。

ユーザ辞書エディタ（マルチリンガル）を起動するには.....

1

【辞書】ボタンをクリックし、表示されるプルダウンメニューから【ユーザ辞書エディタ（マルチリンガル）】を選択します。

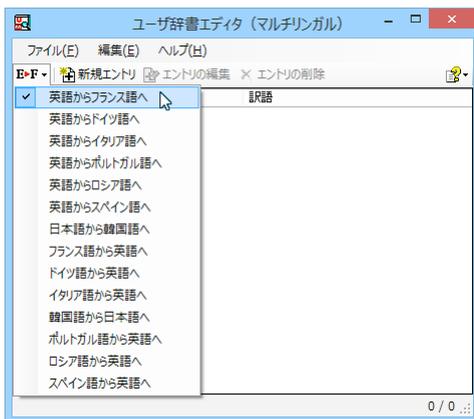
ユーザ辞書エディタが起動し、次のウィンドウが開きます。



語句を登録するには.....

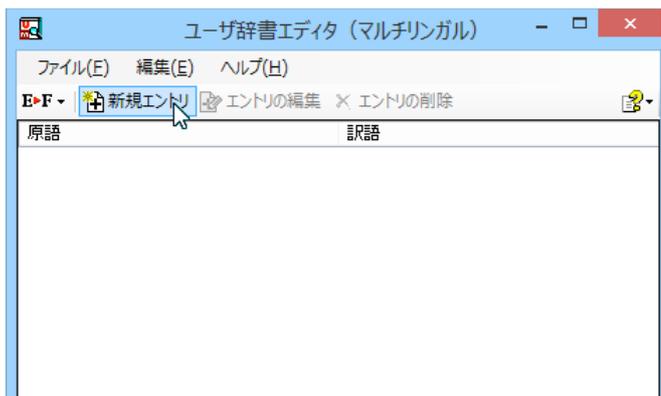
ユーザ辞書に語句を登録するときは、以下の手順で行います。ここでは、英語→フランス語で登録する例を紹介します。

1



【翻訳方向の選択】ボタンをクリックし、翻訳方向を選択します。この例では、英語→フランス語で説明します。

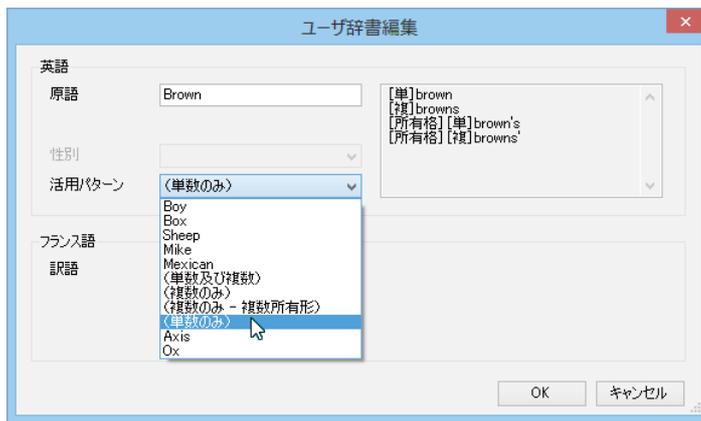
2



【新規エントリ】ボタンをクリックします。

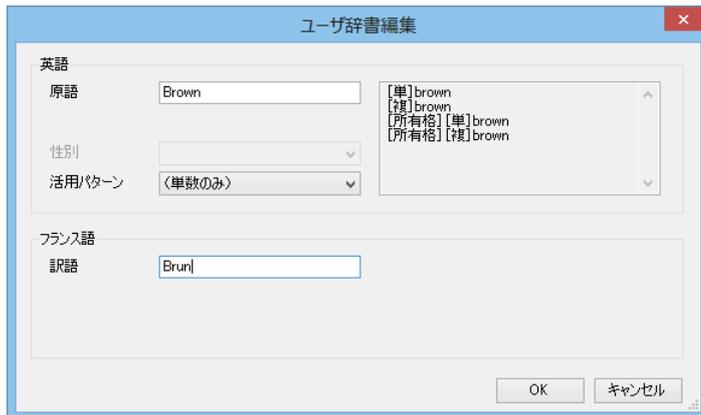
【ユーザ辞書編集】ダイアログが開きます。

3



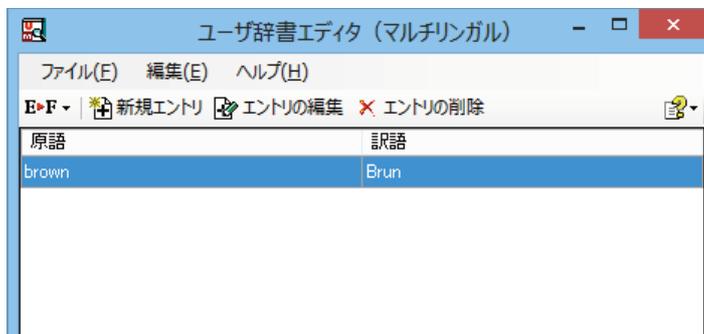
【原語】ボックスに英語の固有名詞「Brown」を入力し、【活用パターン】で「単数のみ」を選択します。

4



【フランス語】（訳語）ボックスに、訳語を入力し、【OK】ボタンをクリックします。

【ユーザー辞書編集】ダイアログが閉じ、語句が登録され、【ユーザー辞書エディタ (マルチリンガル)】ウィンドウに一覧表示されます。



これで、語句を登録することができました。

注意!

翻訳エンジンの制限により、登録する原語の大・小文字を変換いたします。

ドイツ語から英語へ

先頭文字だけを大文字、先頭文字以外はすべて小文字に変換します。

英語からスペイン語へ

変換しません。

その他 (英語からフランス語へ、英語からドイツ語へ、英語からイタリア語へ、英語からポルトガル語へ、フランス語から英語へ、イタリア語から英語へ、ポルトガル語から英語へ、スペイン語から英語へ)

すべて小文字に変換します。

ヒント

- ・【エントリの編集】ボタンで、登録した語句を編集することができます。
- ・【エントリの削除】ボタンで、登録した語句を削除することができます。

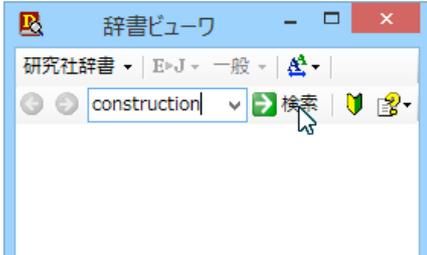
辞書ビューワで辞書引きするには

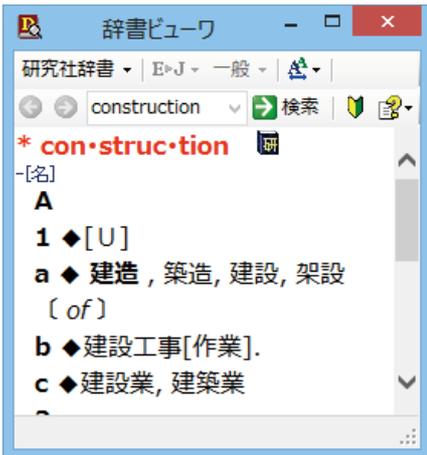
[ツール] ボタンのリストから [辞書ビューワ] を選択すると、[辞書ビューワ] ウィンドウが開きます。辞書ビューワでは、英日・日英翻訳で、次のいずれかの辞書で辞書引きすることができます。その他の翻訳方向では、翻訳 辞書で辞書引きすることができます。

- 研究社 新英和・和英中辞典
- クイック辞書
- 翻訳辞書

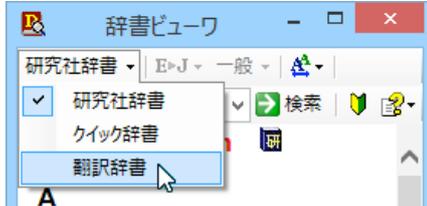
基本的な辞書引き

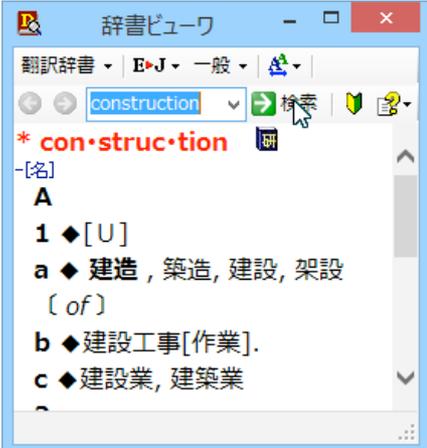
- 1 [ツール] ボタンをクリックして表示されるメニューから「辞書ビューワ」を選択します。
[辞書ビューワ] ウィンドウが開きます。

- 2  ツールバーの入力フィールドに辞書引きする語句を入力し、
[検索] ボタンをクリックします。

- 3  辞書引き結果が表示されます。この例では、研究社 新英和・和英中辞典で辞書引きが行われました。

辞書の変更

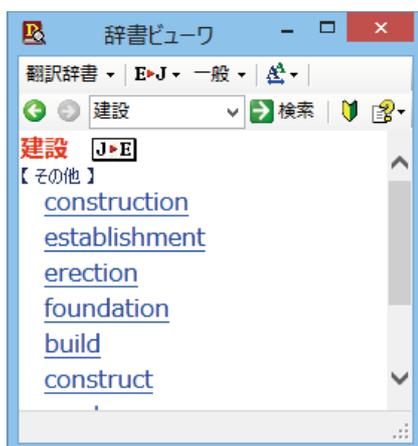
- 4  今度は、別の辞書で辞書引きします。辞書のリストから「翻訳辞書」を選択します。

- 5  [検索] ボタンをクリックします。

翻訳辞書による辞書引き結果が表示されます。



6



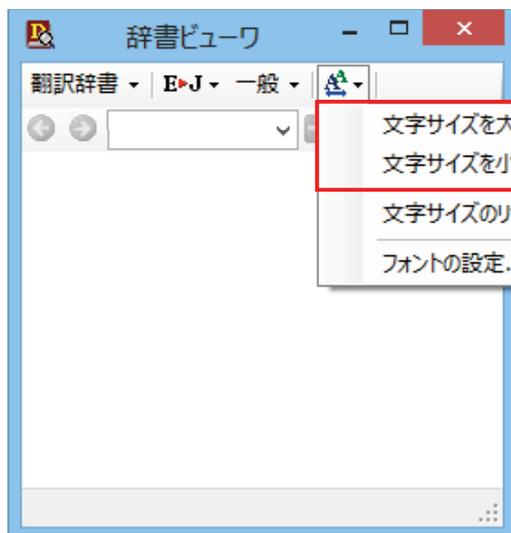
青字をクリックすると、関連する項目を参照できます。



- [戻る] ボタンをクリックすると、1つ前の辞書引き結果に戻ることができます。[進む] ボタンで1つ後の辞書引き結果に進むことができます。
- 「クイック辞書」を選択した場合は、より高速な辞書引きが可能な専用の辞書から辞書引きすることができます。語句によっては、英語の発音記号を確認することもできます。

表示フォントを変更する

[フォントの設定] ボタンをクリックするとメニューが表示され、文字サイズやフォントを変更することができます。



文字サイズを一段階変更します。

文字サイズをデフォルトに戻します。

言語別にフォントと文字サイズを設定します。

☞ その他の機能については、オンラインヘルプをご覧ください。

8

支援ボタンの使い方

〔支援〕ボタンには、翻訳作業を支援するための便利なツールが用意されています。ここでは、それぞれの概要を紹介します。

音声ボタンで読み上げを行うには

〔音声〕ボタンは、選択した文や単語の発音を音声で確認したいときに使います。コリヤ英和！一発翻訳 2013 の各翻訳アプリレットだけでなく、他のアプリケーションでも利用できます。

注意！

●音声が聞こえないときは、Windows の [Volume Control] パネルの音量を確認してください。

- 1 コリヤ英和！一発翻訳 2014 の各翻訳アプリレットや他のアプリケーションで、発音を聴きたいテキストを選択します。
- 2 翻訳方向や翻訳スタイルを設定します。
〔支援〕ボタンをクリックして開くメニューから〔音声読み上げ〕を選択し、読み上げる言語を選択します。



音声でテキストを読み上げます。

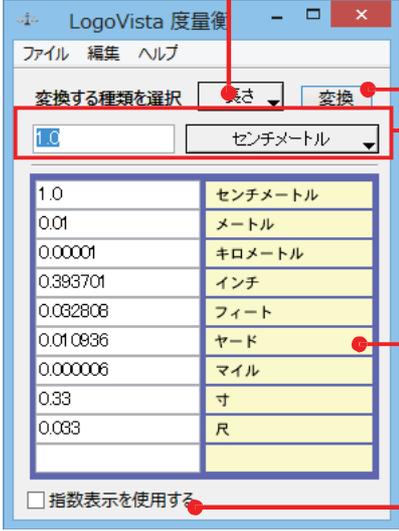
- ☞ 音声機能では、読み上げる音量、速度を調整できます。読み上げ機能の設定方法については、「9 設定ボタンの使い方」をご覧ください。

度量衡を使うには

長さ、容積、重さ、通貨レートなど、さまざまな単位の換算ができます。

1

【支援】ボタンをクリックし、表示されるメニューから【度量衡】を選択します。度量衡が起動します。



【単位の種類選択】ボタン
換算する単位の種類を選択します。次の6種類があります。
長さ・面積・容積・重さ・通貨・温度

【変換】ボタン
入力ボックスに入力した数値を、各単位の換算します。

入力ボックス (左) / 【基準単位選択】ボタン (右)
換算の元になる数値と単位を入力します。換算したい数値は入力ボックスに入力します。単位は【基準単位選択】ボタンをクリックし、プルダウンメニューから選択します。

換算結果一覧
入力ボックスと【基準単位選択】ボタンで指定した数値を、各単位の換算した結果を表示します。

【指数表示を使用する】
換算結果が表示しきれない場合などに、指数を使って表示します。

1.0	センチメートル
0.01	メートル
0.00001	キロメートル
0.393701	インチ
0.032808	フィート
0.010936	ヤード
0.000006	マイル
0.33	寸
0.033	尺



- ヒント**
- 通貨を換算するときは、【編集】メニューの【通貨設定】コマンドで通貨のレートを設定してください。
 - 【通貨設定】ダイアログの【レートを取得】ボタンで、自動的に最新のレートを取得することもできます。

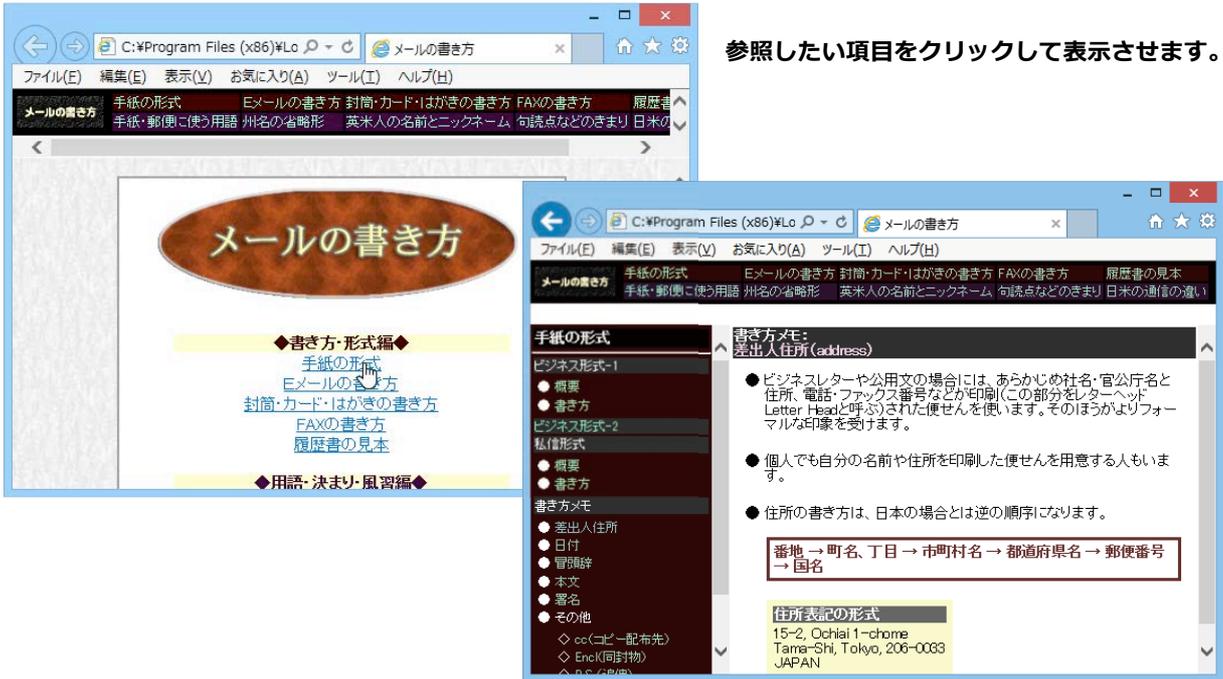
メールの書き方を参照するには

メールの書き方にはいろいろな手紙の作成基準がまとめられています。英文メールを作成する際の参考にお使いください。

1

【支援】ボタンをクリックし、表示されるメニューから【メールの書き方】を選択します。メールの書き方が表示されます。

2



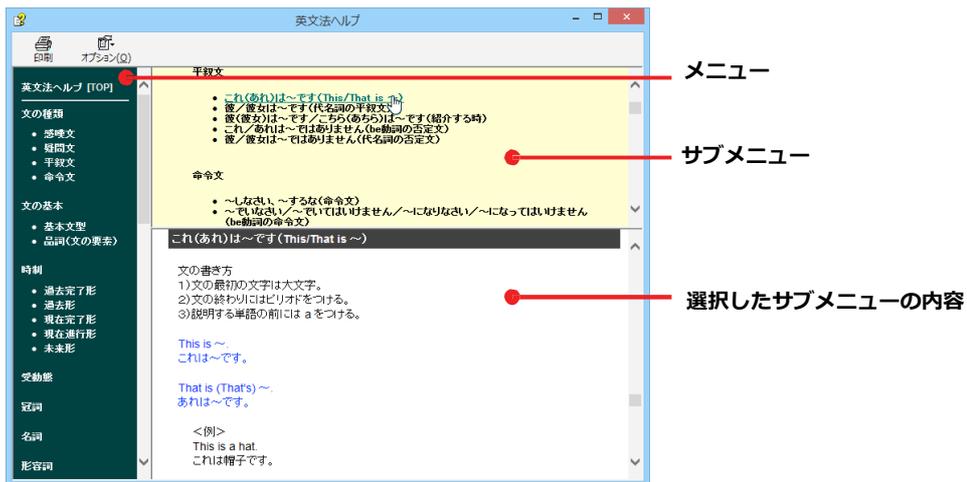
参照したい項目をクリックして表示させます。

英文法ヘルプを参照するには

英文法ヘルプでは、英文法の基本がまとめられています。ちょっとした疑問を解決したいときにお使いください。

- 1 [支援] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [英文法ヘルプ] を選択します。
英文法ヘルプが表示されます。

- 2 左側のメニューから、読みたいタイトルをクリックし、上のフレームに表示されたサブメニューからサブタイトルをクリックします。選択した内容が、下のフレームに表示されます。



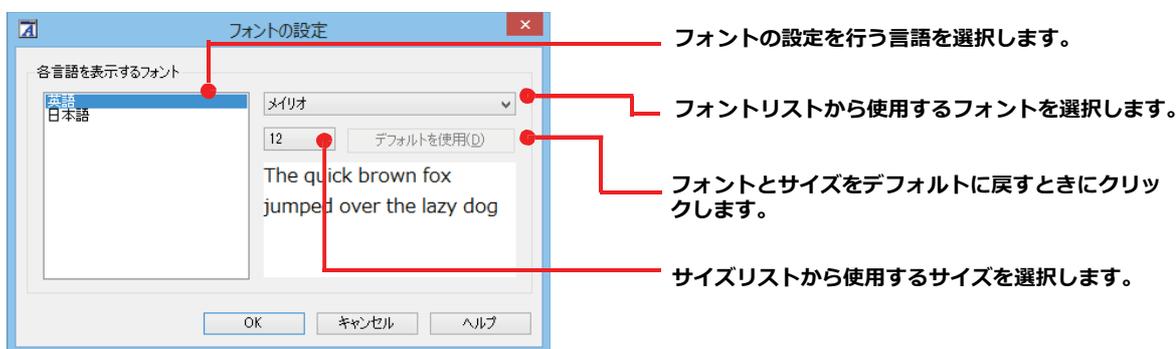
9 設定ボタンの使い方

〔設定〕ボタンには、翻訳機能を Office アプリケーションや一太郎、Acrobat などに組み込み「アドイン設定」、コリヤ英和！の翻訳アプレットで使用するフォントの種類やサイズを設定する「フォント設定」、音声読み上げのキャラクタや音量、速度を調節する「音声設定」を行う機能などが用意されています。

☞ 「アドイン設定」については、「第6章 アプリケーションで翻訳するには」をご覧ください。

フォントを設定するには

コリヤ英和！一発翻訳の各アプレットで表示するフォントの種類とサイズを設定します。〔設定〕ボタンから〔フォント設定〕を選択して〔フォントの設定〕ダイアログボックスを開いて設定します。



アプレットによっては、処理の都合上、「フォント設定」で選択した表示フォントが使われない場合があります。

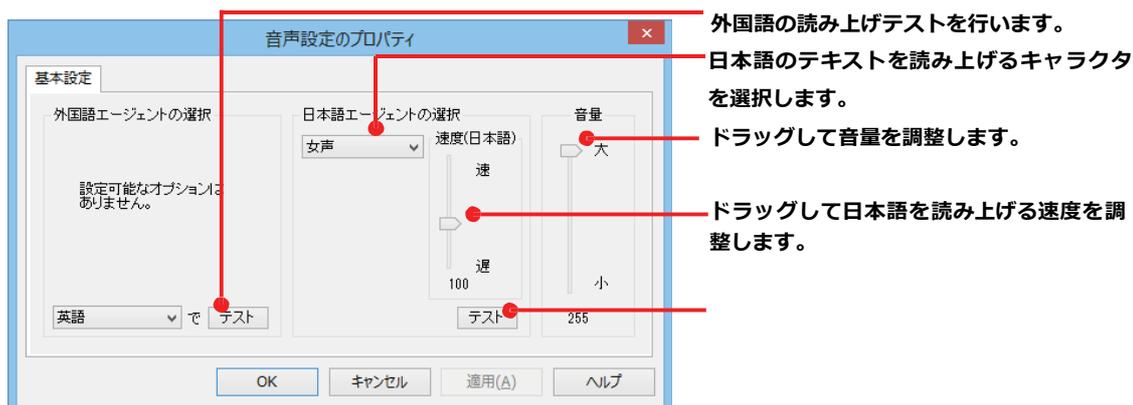
読み上げ機能を設定するには

読み上げ機能について、キャラクタを選択したり音量を調整したりすることができます。

1 〔設定〕ボタンをクリックし、表示されるメニューから〔音声設定〕コマンドを選択します。

〔音声設定のプロパティ〕ダイアログボックスが表示されます。

2 各項目を設定し、〔OK〕ボタンをクリックします。



10 監視ボタンの使い方

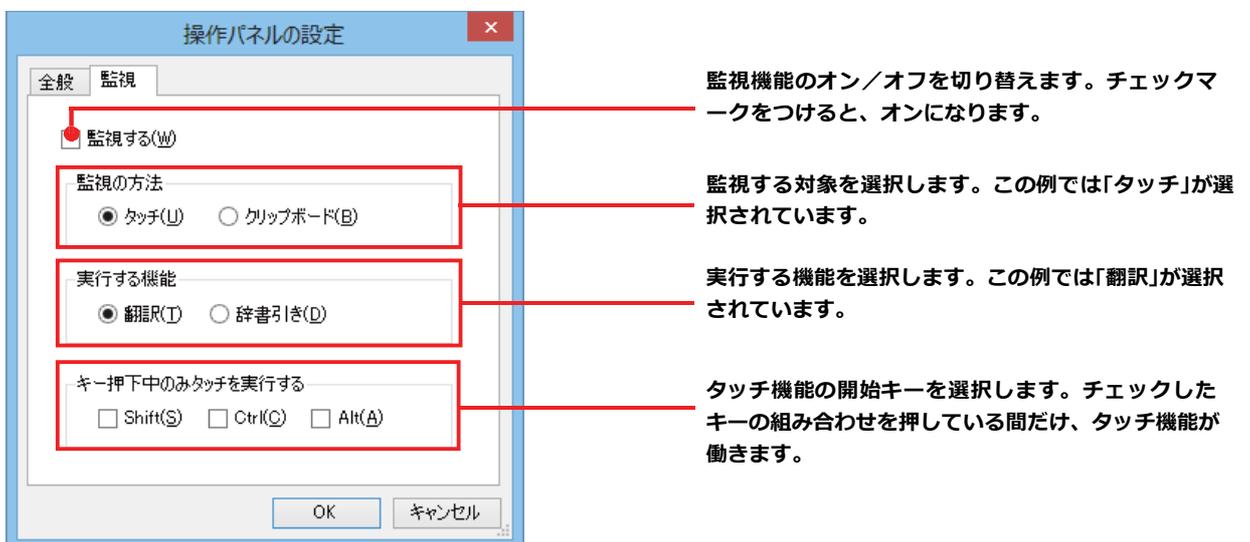
監視機能は、タッチ機能とクリップボードを監視し、カーソルが置かれた場所にあるテキスト、あるいはクリップボードに収納されたテキストに対し、次のいずれかを実行させる機能です。

- [タッチ翻訳] ウィンドウで翻訳
- [タッチ辞書引き] ウィンドウで辞書引き

監視ボタンは、この機能のオン/オフを切り替えます。クリックするごとにオン/オフが切り替わります。

監視ボタンの機能を変更するには

監視ボタンの機能は [操作パネルの設定] ダイアログの [監視] タブで変更します。[監視] タブは、操作パネルの [設定] ボタンをクリックして表示されるメニューから「監視設定」を選択して表示させます。



監視対象を切り替えるには

[監視] タブの [タッチ] または [クリップボード] のいずれかを選択して監視対象を変更することができます。また、操作パネルの [監視] ボタンの右にある▼をクリックして開くプルダウンメニューで変更することもできます。左側にチェックマークが付いている機能が現在監視対象に設定されている機能です。クリックして対象を切り替えることができます。

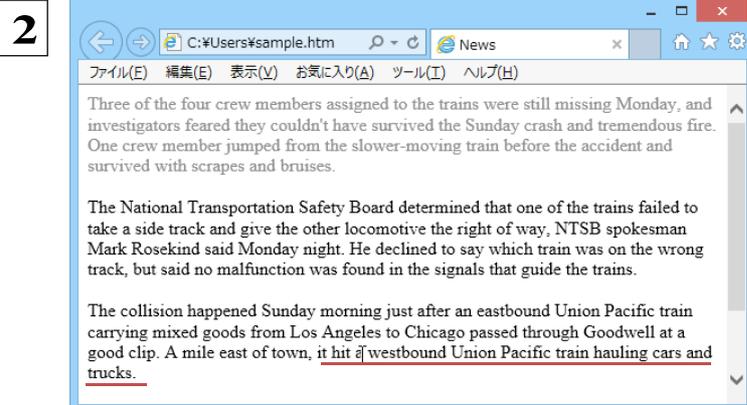


実行する機能を変更するには

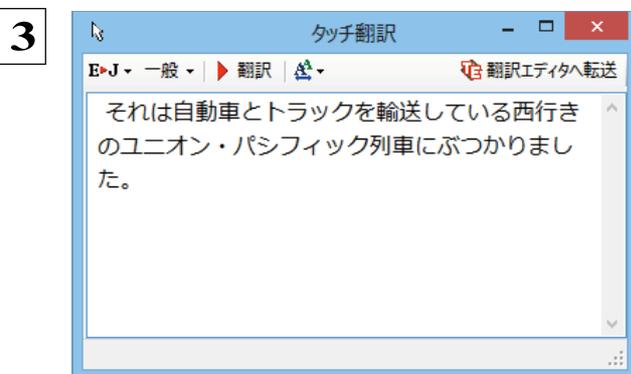
[監視] タブの [実行する機能] にある [翻訳]、[辞書引き] ラジオボタンのいずれかを選択して、監視機能が実行する機能を変更することができます。

監視ボタンでタッチ翻訳を行うには

1 [監視] ボタンの機能を「タッチ」 - 「翻訳」に設定し、[監視] ボタンをクリックしてオンにします。



操作パネルで翻訳方向を設定し、アプリケーション上の翻訳したいテキストにカーソルを移動します。

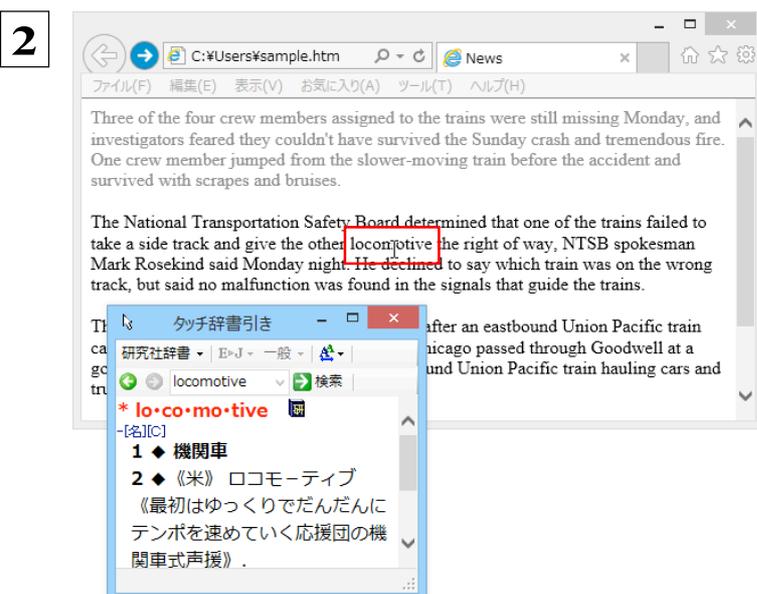


カーソルがある文が翻訳され、翻訳結果が[タッチ翻訳] ウィンドウに表示されます。

カーソルを移動するごとに翻訳が実行されます。

監視ボタンでタッチ辞書引きを行うには

1 [監視] ボタンの機能を「タッチ」 - 「辞書引き」に設定し、[監視] ボタンをクリックしてオンにします。



操作パネルで翻訳方向を設定し、アプリケーションのテキストの上にカーソルを移動します。

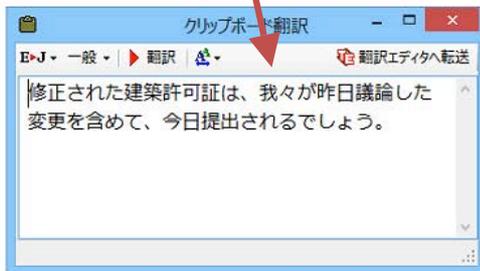
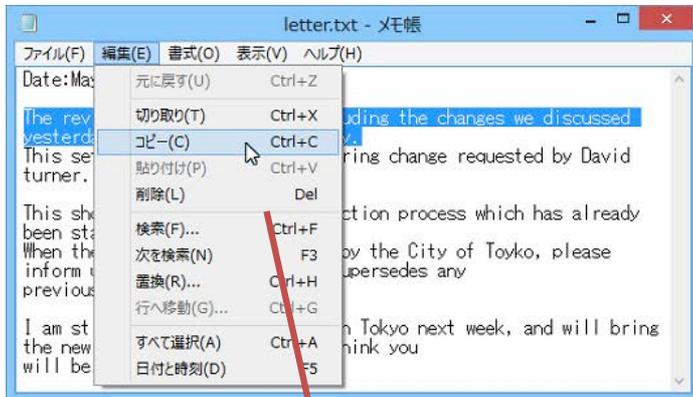
カーソルがある語句が辞書引きされ、辞書引き結果が[タッチ辞書引き] ウィンドウに表示されます。

カーソルを移動するごとに辞書引きが実行されます。

クリップボード監視機能を使うには

監視対象をクリップボードに設定したときは、アプリケーション上のテキストをコピーやり取りコマンドで、クリップボードに収納すると、翻訳、辞書引き、読み上げのいずれかの機能を実行します。

翻訳



辞書引き

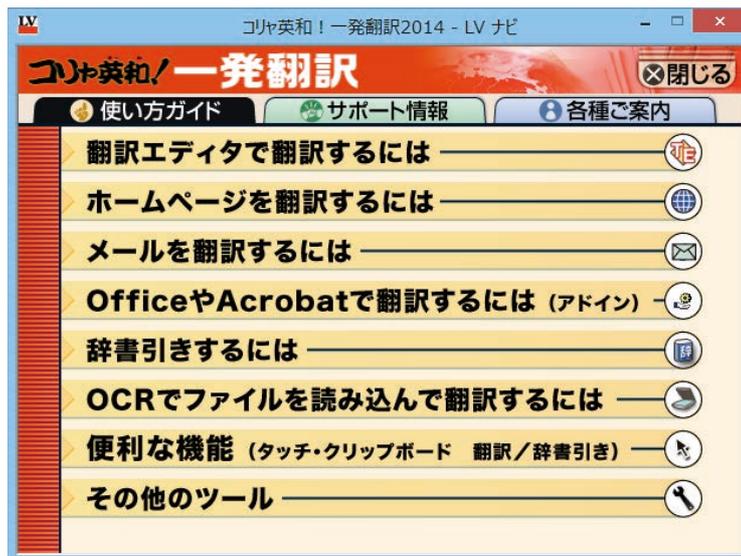


11 LVナビの使い方

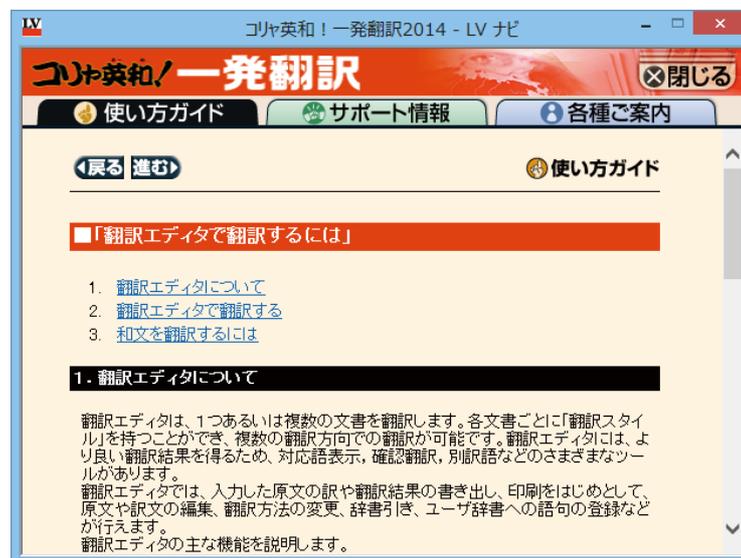
【LVナビ】では、コリヤ英和！一発翻訳の使い方やサポート情報などを確認することができます。

LV ナビの起動と参照方法

【サポート】ボタンをクリックし、表示されるメニューから【LVナビ】を選択すると、次の【コリヤ英和！一発翻訳 2014・LV ナビ】ウィンドウが開きます。



参照したい項目をクリックすると、ガイドが表示されます。



使い方がわからなくなったときに参照してください。

Chapter 3

翻訳エディタで翻訳するには

1

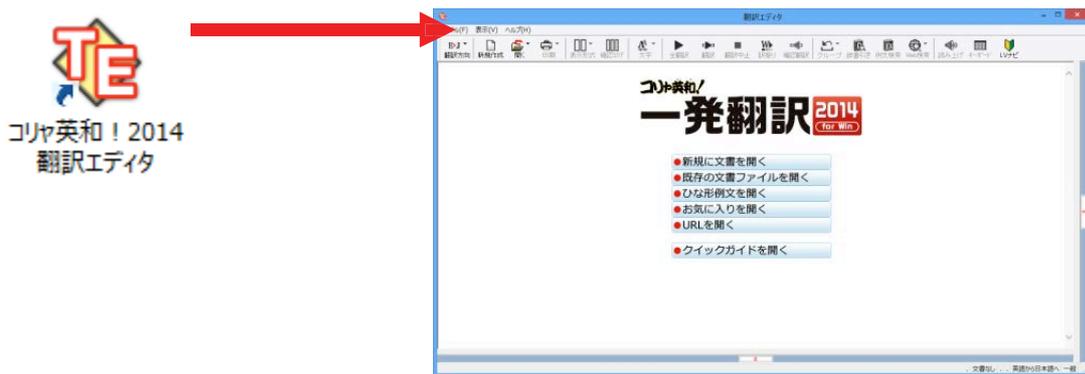
翻訳エディタについて

翻訳エディタでは、入力した原文の訳や翻訳結果の書き出し、印刷をはじめとして、原文や訳文の編集、翻訳方法の変更、辞書引き、ユーザ辞書への語句の登録などが行えます。この章では、翻訳エディタの主な機能やよりよい翻訳結果を得るためのコツを実際の翻訳例に添って説明します。

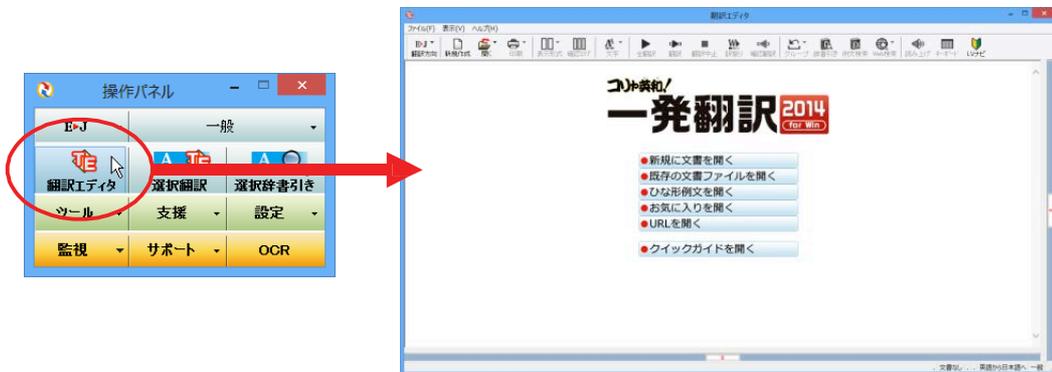
翻訳エディタを起動するには

次の3つの方法で翻訳エディタを起動できます。

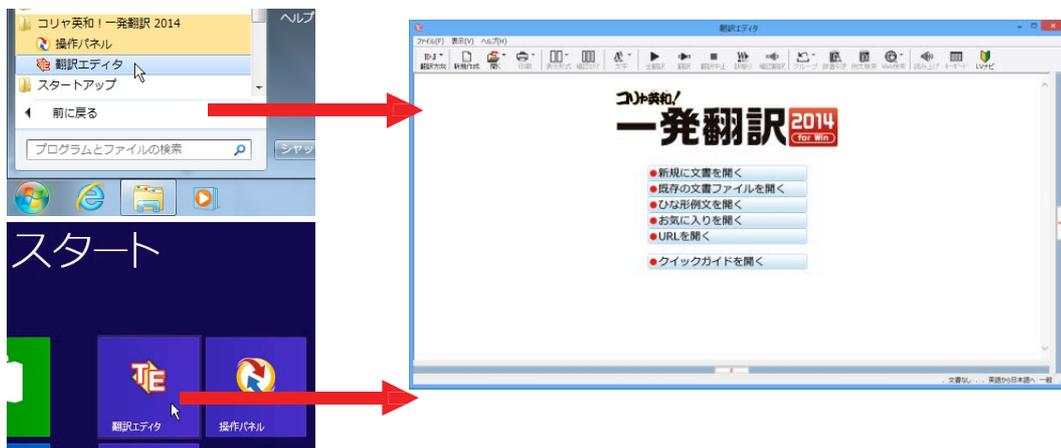
- デスクトップの [コリヤ英和! 2014 翻訳エディタ] をダブルクリックします。[翻訳エディタ] ウィンドウが表示されます。



- デスクトップの [コリヤ英和! 2014 操作パネル] をダブルクリックして [操作パネル] を起動し、[翻訳エディタ] ボタンをクリックします。[翻訳エディタ] ウィンドウが表示されます。



- [スタート] ボタン → [すべてのプログラム] → [コリヤ英和! 一発翻訳 2014 (マルチリンガル)] → [翻訳エディタ] の順に選択します。[翻訳エディタ] ウィンドウが表示されます。Windows 8の場合はスタート画面の [翻訳エディタ] を選択します。



翻訳エディタで扱えるファイル形式

翻訳エディタでは、原文として以下のファイル形式の文書を開いて翻訳することができます。

- テキストファイル（拡張子「.txt」）
- HTMLファイル（Webブラウザで保存されたファイルまたは Web ページ、拡張子「.htm」「.html」など）
- Word の文書ファイル（拡張子「.doc」「.docx」）
- リッチテキスト形式のファイル（拡張子「.rtf」）
- Acrobat ファイル（拡張子「.pdf」）

ヒント

- HTML ファイル、Word の文書ファイルやリッチテキスト形式のファイルを読み込んだときは、フォントやスタイルなどの書式情報は失われます。
- 読み込めるファイルのサイズは、約 4MB (30,000 文程度) までです。
- Word の文書ファイル、リッチテキストファイルを読み込むためには、Word 2000～2013 のいずれかが必要です。

注意!

- 英語・フランス語・ドイツ語・イタリア語・ポルトガル語・スペイン語・ロシア語の文は、大文字で始まり、ピリオド・疑問符・感嘆符で終わるのが原則です。ピリオド (.)・疑問符 (?)・感嘆符 (!) の後にスペース・タブ・改行コードのいずれかが続き、更に次の語句が大文字で始まる場合、文の切れ目と認識します。タブ・コロン (:)・セミコロン (;) は、見出しなど翻訳の区切りとして認識しますが文の切れ目とは認識されません。
- 日本語の文は、句点・疑問符・感嘆符で終わるのが原則です。全角の句点 (。)・疑問符 (?)・感嘆符 (!) で文の区切りとします。これらの後に括弧が続いても構いません。
- 韓国語の文は、ピリオド・疑問符・感嘆符で終わるのが原則です。半角のピリオド (.)・疑問符 (?)・感嘆符 (!) を文の区切れとします。
- 中国語の文は、句点・疑問符・感嘆符で終わるのが原則です。全角の句点 (。)・全角または半角の疑問符 (? / ?)・感嘆符 (! / !) で文の区切りとします。
- 2つ以上の改行コードは文末と認識します。見出しや箇条書きのように句読点を含まない文の場合は、次の文とつながらないように、改行を 2つ以上入れます。

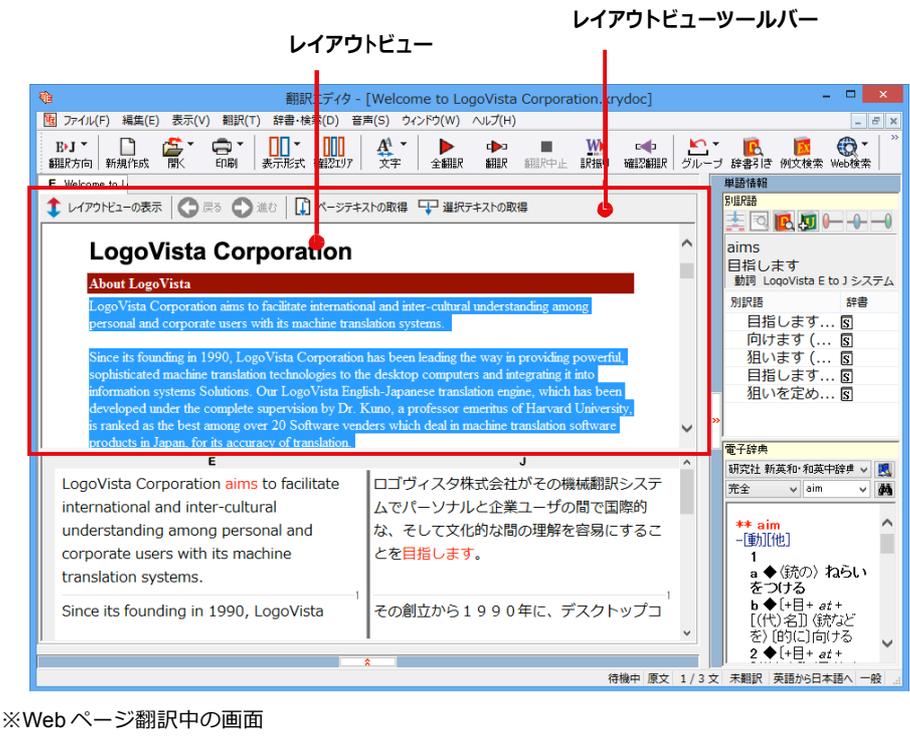
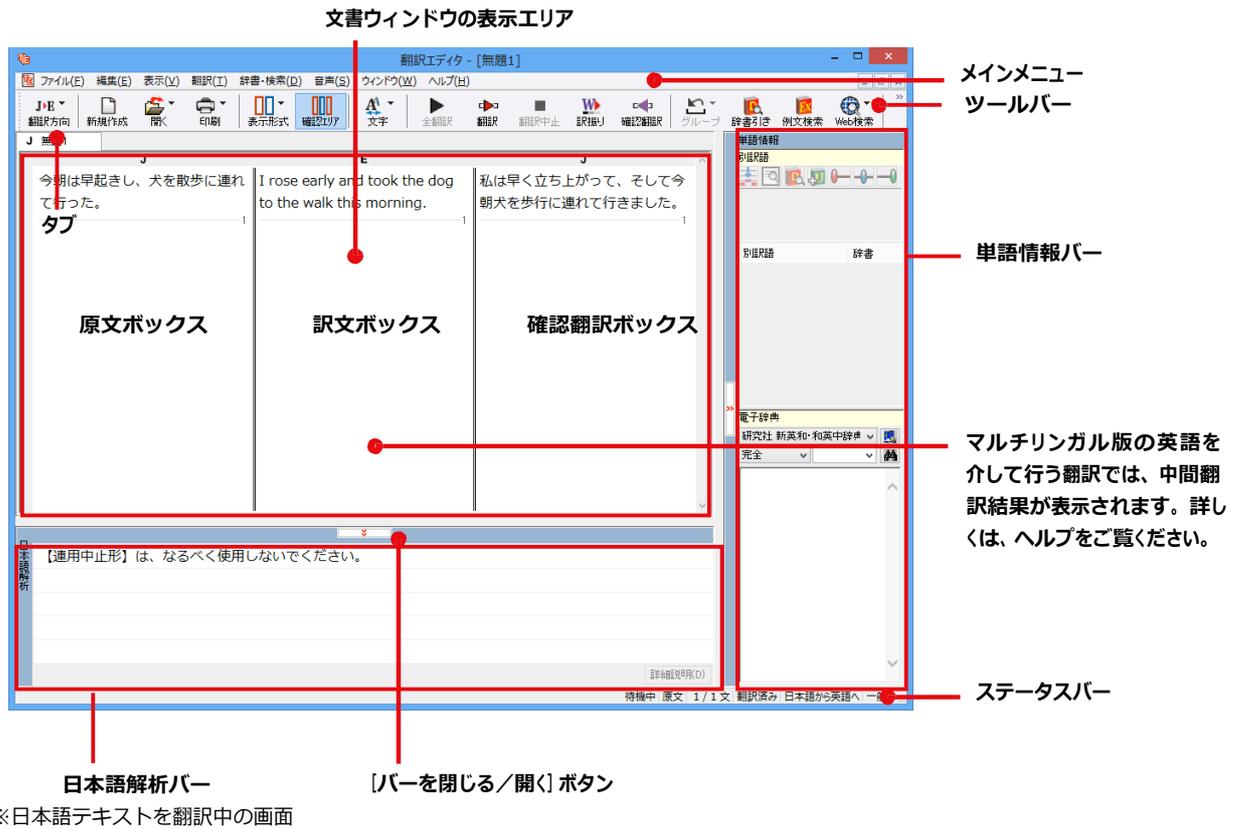
ヒント

英文の場合、単語の区切りに 3つ以上の連続したスペース記号を入れると、タブ記号として処理され、スペース記号が 2つ以下のときと翻訳結果が異なります。特に必要がなければ、スペース記号の入力は、2つ以下にしてください。

翻訳結果は、次のファイル形式に保存、書き出しができます。

- 翻訳エディタ専用の文書ファイル（拡張子「.krydoc」）原文や訳文以外に、翻訳方向、翻訳に使用した辞書、翻訳のしかたに関する情報などが含まれます。
- テキストファイル（拡張子「.txt」）原文のみ、訳文のみ、左右対訳、上下対訳のいずれかの形式でテキストファイルに書き出せます。

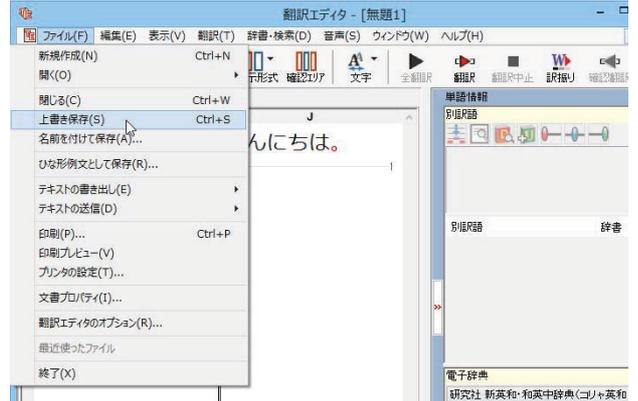
翻訳エディタの名称と機能



メインメニュー

翻訳エディタのコマンドがメニュー形式でまとめられています。メニュー項目をクリックするとプルダウンメニューが表示され、その中から実行するコマンドを選択します。

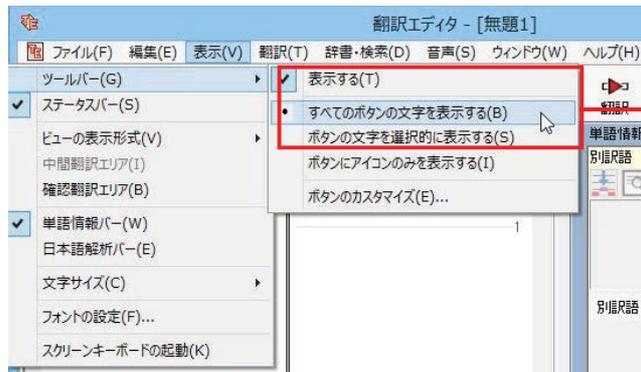
☞メインメニューのコマンドについてはオンラインヘルプをご覧ください。



■プルダウンメニューの例（[ファイル]メニュー）

ツールバー

よく使用する翻訳エディタのコマンドがボタンの形式でまとめられています。クリックすると、実行できます。ツールバーの表示形式は、[表示]メニューの[ツールバー]のサブメニューで設定できます。[すべてのボタンに文字を表示する] [ボタンの文字を選択的に表示する] [ボタンにアイコンのみを表示する]のいずれかを選択できます。



ツールバーにコマンド名を表示するかどうかを設定

[すべてのボタンの文字を表示する]



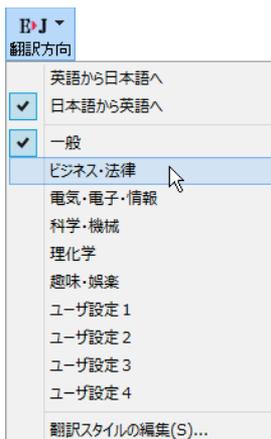
[ボタンの文字を選択的に表示する]



[ボタンにアイコンのみを表示する]



[翻訳方向] ボタン



翻訳方向の選択と翻訳スタイルの選択を行います。



新規作成 [新規作成] ボタン

新しい文書を開き、空の文書ウィンドウを表示します。

【開く】 ボタン



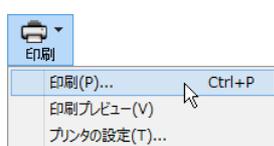
クリックすると、文書や Web ページを開くためのメニューが表示されます。

【開く】では、保存してある翻訳エディタ専用の文書ファイル（拡張子「.krydoc」）や、翻訳したいテキストファイル、Word 文書ファイル、PDF などを開くことができます。

【ひな形を開く】では、300以上の英文レターのひな形例文から作成したい英文のサンプルとして文書を開くことができます。

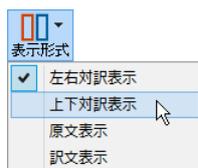
【お気に入りを開く】、【URLを開く】では、Web ページを開くことができます。

【印刷】 ボタン



クリックすると、文書の印刷に関するメニューが表示されます。

【表示形式】 ボタン



文書ウィンドウの表示形式を変更できます。【左右対訳表示】 【上下対訳表示】 【原文表示】 【訳文表示】 のいずれかの形式を選択できます。

【確認翻訳エリア表示】 ボタン

【確認翻訳エリア】の表示／非表示を切り替えます。



【文字】 ボタン



文書ウィンドウに表示する文字サイズやフォントを変更します。

【文字サイズを大きく】 【文字サイズを小さく】 【文字サイズのリセット】では、原文ボックス、訳文ボックス、日本語解析バー、単語情報バーすべての文字サイズを同時に変更します。【フォントの設定】では、言語ごとにフォントと文字サイズを指定できます。

【全翻訳】 ボタン



原文ボックスのすべての未翻訳の原文を翻訳し、訳文ボックスに訳文を表示します。翻訳後、編集した原文も翻訳対象にします。



【選択文翻訳】 ボタン

ポインタが置かれている原文、または選択されている複数の原文を翻訳し、訳文を訳文ボックスに表示します。



【翻訳中止】 ボタン

実行中の翻訳を中止します。



【訳振り】 ボタン

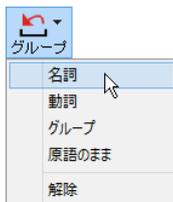
クリックしてオンにすると、文書ウィンドウの表示が訳振りモードになります。訳振りモードでは、原文の主要単語の上に訳語が表示されます。



【確認翻訳の実行】 ボタン

ポインタが置かれている文の翻訳結果の文、再度、オリジナル言語へと逆方向に翻訳し直し、結果を表示します。確認翻訳された文が原文テキストとほぼ同じ意味であれば、翻訳がかなり正確だと判断できます。

【グループ指定】 ボタン



英語から日本語へ翻訳する場合に有効になります。翻訳結果が思わしくないとき、特に文節の区切りや品詞を取り違えて翻訳されているときに使います。選択した語句の品詞（[名詞] [動詞]）の設定、文節を明確にするために選択した語句の[グループ]の指定、[原語のまま]訳したい語句の指定、または、これらの[解除]をすることができます。



辞書引き 【辞書引き】 ボタン

選択した語句を研究社 新英和・和英中辞典、クイック辞書、翻訳辞書で辞書引きします。

【例文検索】 ボタン



例文検索

ビジネスレターや私的な手紙、案内状などのひな形や、状況に応じたさまざまな例文を検索して、編集中の文書に転送できます。

【Web 検索】 ボタン



選択した語句を、検索サイトで検索します。[Google Web 検索] [Yahoo! Web 検索] [翻訳サーチ] のいずれかを選択できます。



読み上げ 【読み上げ】 ボタン

選択した文を音声読み上げします。



キーボード 【スクリーンキーボードの起動】 ボタン

スクリーンキーボードを起動します。マルチリンガル版をお使いのとき、英語に含まれないアルファベットやアクセント記号などを入力するときに便利です。



LVナビ 【ナビ】 ボタン

簡単な操作説明を記述したLVナビのウィンドウを表示します。

文書ウィンドウの表示エリア

翻訳エディタでは、原文と訳文を含む文章のセットを1つの文書として扱い、文書ウィンドウに表示します。翻訳エディタを起動後の最初に新規文書や既存の文書を開くと文書ウィンドウは最大化され、[翻訳エディタ] ウィンドウと一体化しています。複数の文書を開いたときは、タブまたはウィンドウメニューで編集する文書を選択できます。

編集中の文書を閉じるときは、[ファイル] メニューの [閉じる] を選択するか、 [閉じる] ボタンをクリックするか、タブを右クリックしてコンテキストメニューから [閉じる] を選択します。

タブ

原文の言語を表わすアルファベットと、文書名が表示されます。クリックした文書が表示されます。

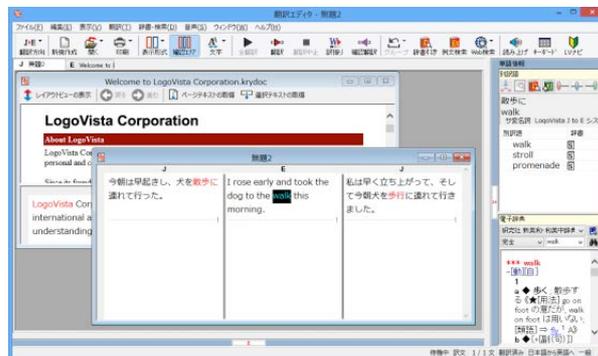


【閉じる】ボタン

表示中の文書を閉じます。



文書ウィンドウを最小化または拡大表示して、複数の文書を同時に表示することもできます。



文書ウィンドウ

原文ボックス

翻訳元のテキストを入力するボックスです。翻訳エディタはこのボックスにあるテキストを翻訳します。原文ボックスには、次のいずれかの方法でテキストを入力します。

- キーボードから直接入力する、ファイルに保存されたテキストを読み込む、アプリケーション上からテキストをコピー&貼り付け、またはドラッグ&ドロップする
- OCRソフトでテキストファイルに保存されたテキストを読み込む

原文ボックスのテキストは [編集] メニューのコマンドやキーボードで編集できます。翻訳済みの原文テキストを編集すると、その文が自動的に再翻訳されます。(自動的に再翻訳しないオプションもあります。)

訳文ボックス

翻訳された訳文が表示されます。1文ごとに原文に対応する形で表示されます。訳文ボックスのテキストは、[編集] メニューのコマンドやキーボードで編集できます。

確認翻訳ボックス

[確認翻訳] には、翻訳結果の文を、再度、オリジナル言語へと逆方向に翻訳し直した結果が表示されます。確認翻訳された文が原文テキストとほぼ同じ意味であれば、翻訳がかなり正確だと判断できます。

中間翻訳結果

マルチリンガル版で、日本語と欧州言語間の翻訳など、英語を介して翻訳するときに表示されます。原文を中間言語である英語に翻訳した結果が表示されます。[中間翻訳結果] の内容を編集すると、訳文に翻訳されます。

文書ウィンドウ.....

原文ボックス

翻訳元のテキストを入力するボックスです。翻訳エディタはこのボックスにあるテキストを翻訳します。原文ボックスには、次のいずれかの方法でテキストを入力します。

- キーボードから直接入力する、ファイルに保存されたテキストを読み込む、アプリケーション上からテキストをコピー&貼り付け、またはドラッグ&ドロップする
- OCRソフトでテキストファイルに保存されたテキストを読み込む

原文ボックスのテキストは[編集]メニューのコマンドやキーボードで編集できます。翻訳済みの原文テキストを編集すると、その文が自動的に再翻訳されます。(自動的に再翻訳しないオプションもあります。)

訳文ボックス

翻訳された訳文が表示されます。1文ごとに原文に対応する形で表示されます。訳文ボックスのテキストは、[編集]メニューのコマンドやキーボードで編集できます。

確認翻訳ボックス

[確認翻訳]には、翻訳結果の文を、再度、オリジナル言語へと逆方向に翻訳し直した結果が表示されます。確認翻訳された文が原文テキストとほぼ同じ意味であれば、翻訳がかなり正確だと判断できます。

中間翻訳結果

マルチリンガル版で、日本語と欧州言語間の翻訳など、英語を介して翻訳するときに表示されます。原文を中間言語である英語に翻訳した結果が表示されます。[中間翻訳結果]の内容を編集すると、訳文に翻訳されます。

単語情報バー.....

単語情報バーには、原文ボックスまたは訳文ボックスで選択した単語に関する情報が表示されます。▶▶ [バーを閉じる] ボタン / ◀◀ [バーを開く] ボタンで表示/非表示を切り替えられます。

[別訳語]には、単語対応表示させた単語の別訳語が表示されます。

[電子辞典]では電子辞典での辞書引きが可能です。

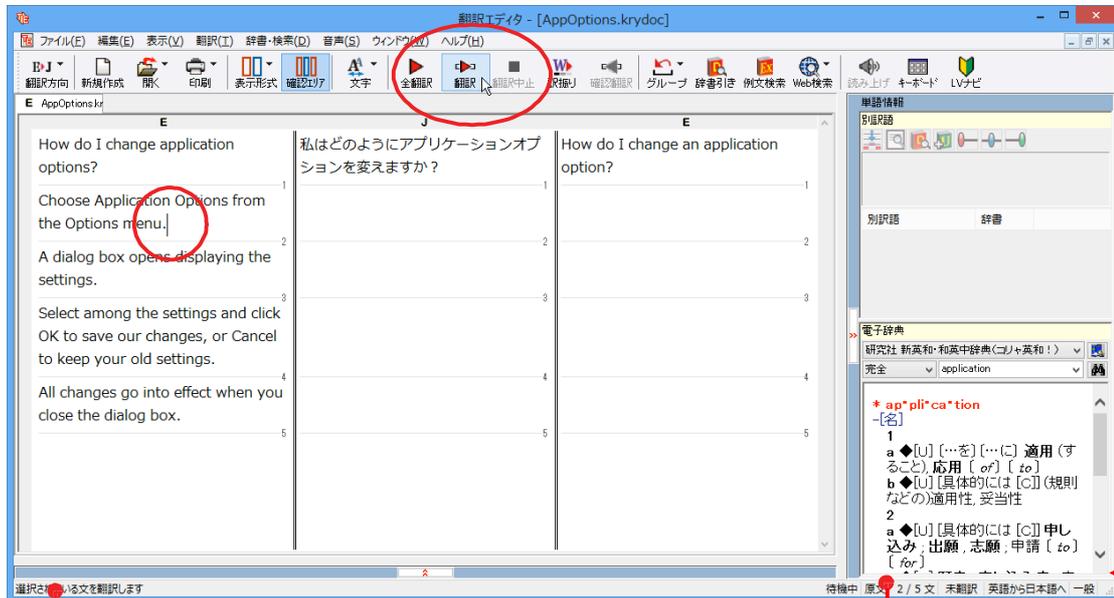
- 原文ボックスまたは訳文ボックスで単語を選択後 [辞書引き] コマンド
- [別訳語] のリストでリスト内の項目を選択したとき
- 電子辞典の入力ボックスに語句を入力して辞書引き

日本語解析バー.....

[日本語解析]は、日本語から英語または別の言語に翻訳する時に有効になります。原文を分析し、翻訳に誤りが起きそうなあいまい要素があった場合は、その情報を表示します。読みたい情報を選択して [詳細説明] をクリックすると、[日本語解析の詳細説明] ウィンドウが開き、情報の詳細が表示されます。情報を参考に原文を修正することで、訳文がより正確になることが期待できます。▼ [バーを閉じる] ボタン / ▲ [バーを開く] ボタンで表示/非表示を切り替えられます。

ステータスバー

コマンドボタンの説明や、現在行われている作業の内容（待機中、翻訳中など）、ポインタの位置の情報（原文か訳文か、行数）を表示します。また、選択されている翻訳方向や翻訳スタイルも表示されます。



マウスカーソルが置かれている
ツールバーボタンの説明

ポインタの位置の情報

ステータスバー

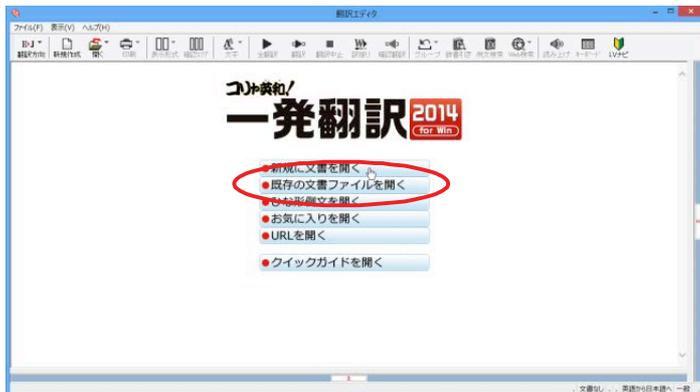
2 基本的な翻訳の流れ

翻訳エディタの最も基本的な機能を使って、原文の翻訳から、結果を保存・印刷するまでの流れを説明します。

翻訳の準備

翻訳エディタを起動したら、起動メニューから「新規に文書を開く」を選択して新規文書を開きます。翻訳方向と翻訳スタイルを設定し、翻訳する原文を入力します。

1



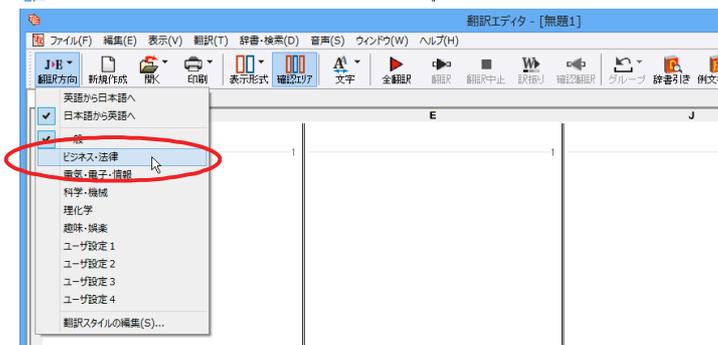
翻訳エディタを起動します。
起動メニューから「新規に文書を開く」ボタンをクリックし、新規文書を開きます。

2



「翻訳方向と翻訳スタイルの選択」ボタンをクリックし、翻訳方向を選択します。
この例では、「日本語から英語へ」を選択します。

3

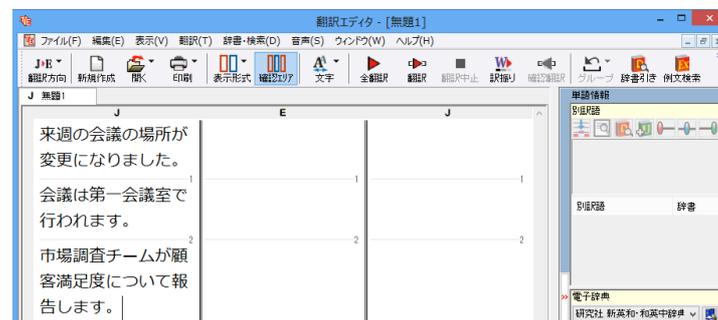


再び、「翻訳方向と翻訳スタイルの選択」ボタンをクリックし、翻訳スタイルを選択します。
この例では、「ビジネス・法」を選択します。



選択した翻訳方向と翻訳スタイルがステータスバーに表示されます。

4



翻訳する原文を入力します。
これで翻訳の準備ができました。

翻訳する

入力した原文は、[全翻訳] または [翻訳] ボタンで翻訳できます。

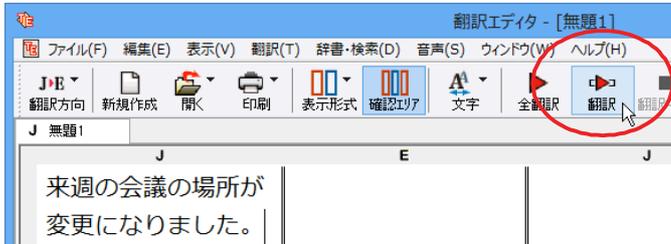


- [選択翻訳] は、翻訳未翻訳に関わらず、ポイントが置かれている文または選択している複数の文を翻訳します。
- [すべて翻訳] は、未翻訳のすべての原文を頭の子から順次翻訳します。

注意!

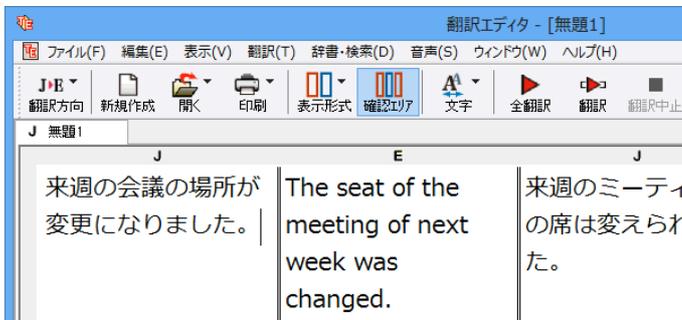
いちど翻訳した後に原文を編集した場合、その原文も「未翻訳」として扱われます。

1



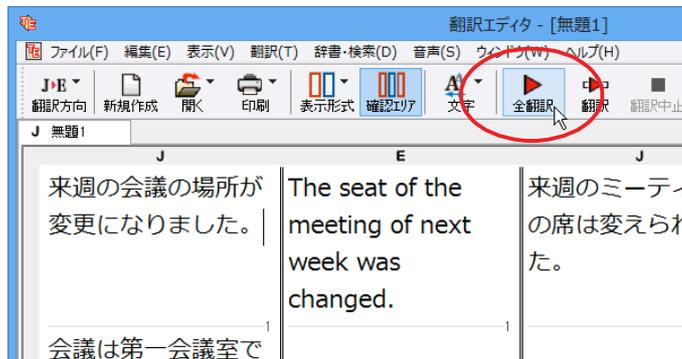
最初の文だけを翻訳してみましょう。

1 文目の原文にポイントを置き、[翻訳] ボタンをクリックします。



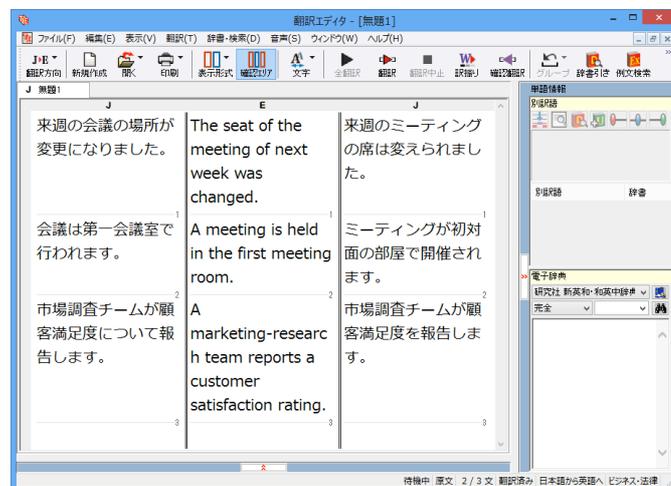
1文目が翻訳され、訳文ボックスに訳文が表示されます。このように[翻訳]では、ポイントの置かれた文だけを翻訳します。

2



残りの文をまとめて翻訳してみましょう。

[全翻訳] ボタンをクリックします。



未翻訳のすべての原文が翻訳され、訳文ボックスのそれぞれの行に訳文が表示されます。



- 翻訳エディタには、訳文の精度を上げていくためのさまざまな機能が用意されています。詳しくは「3 英文を翻訳してみよう」、「4 和文を翻訳してみよう」をお読みください。

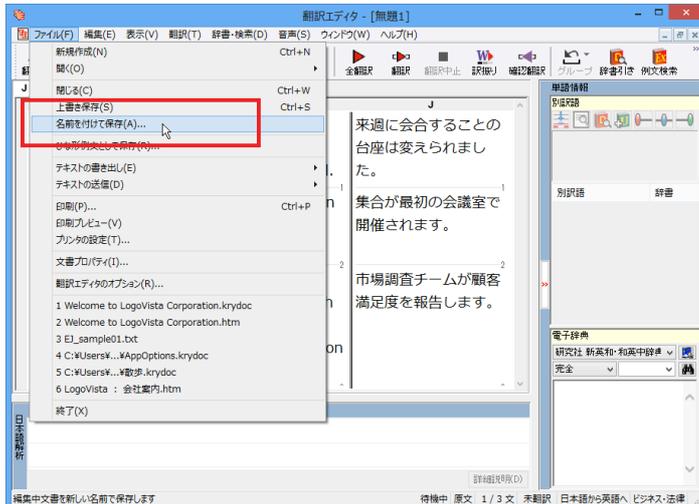
翻訳結果を保存する

翻訳結果は翻訳エディタ専用の文書ファイルに保存できます。文書ファイルには、原文と訳文のほか、翻訳方向や使用した翻訳スタイルなどの情報も記録され、翻訳エディタでの作業内容がそのまま保存されます。また、翻訳結果を別のアプリケーションソフトなどで利用したい場合は、テキスト形式のファイルに書き出すことができます。

文書ファイルに保存する

翻訳結果を翻訳エディタ専用の文書ファイルに保存します。

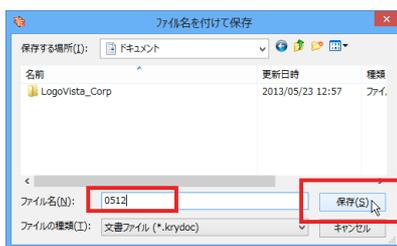
1



〔ファイル〕メニューから〔名前を付けて保存〕を選択します。

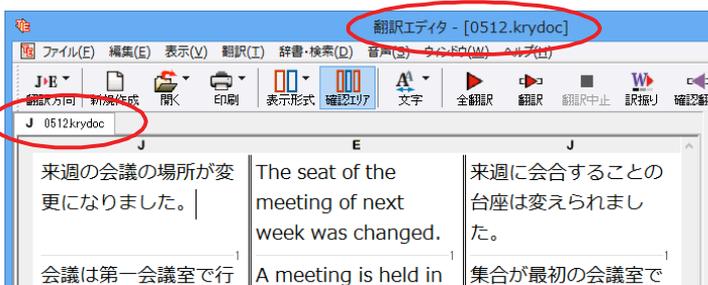
〔ファイル名を付けて保存〕ダイアログボックスが表示されます。

2



必要に応じて、保存先のフォルダに移動し、ファイル名を入力して〔保存〕ボタンをクリックします。

これで文書ファイルに保存できます。



保存されると、ファイル名がウィンドウに表示されます。



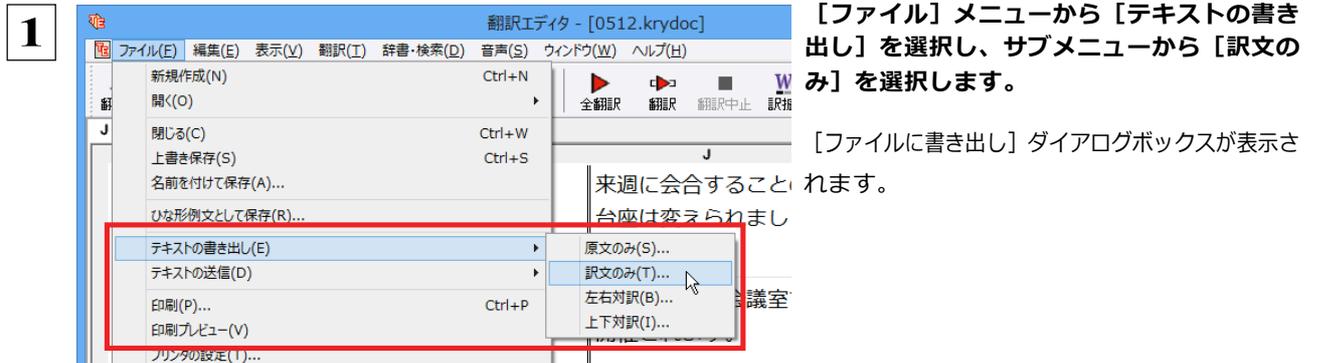
すでに保存してある文書ファイルに上書き保存するときは、〔上書き保存〕コマンドか〔保存〕ボタンを使います。まだ保存したことがない文書の場合は、〔ファイル名を付けて保存〕ダイアログボックスが表示されます。

テキストファイルに書き出す

テキストファイルには、次のいずれかの形式で書き出しができます。

- 原文のみ
- 訳文のみ
- 左右対訳
- 上下対訳

ここでは「訳文のみ」の形式で書き出してみましょう。

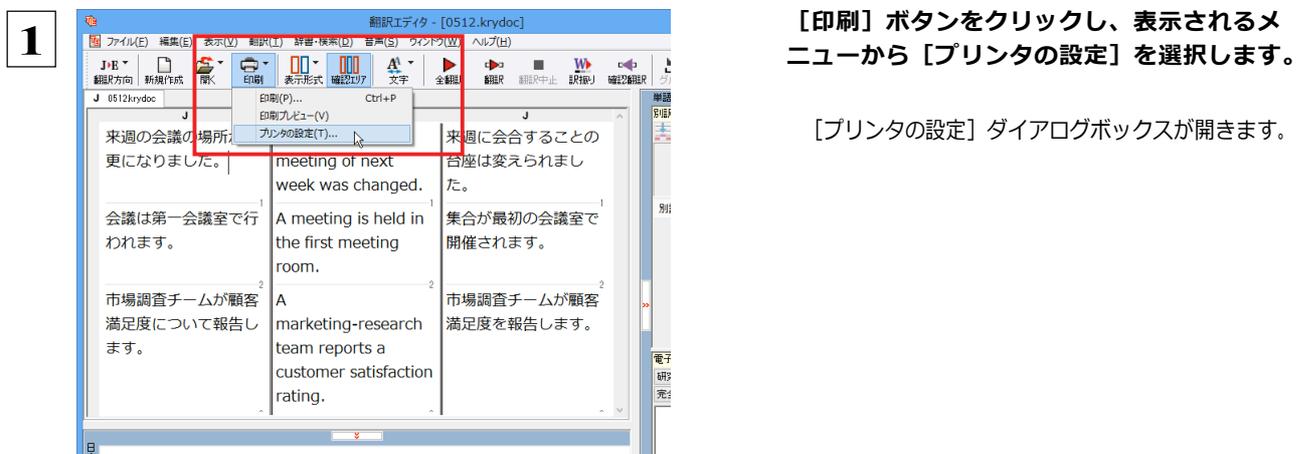


翻訳結果を印刷する

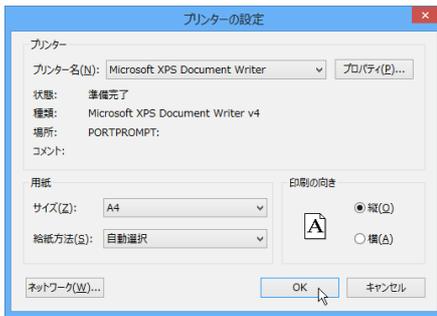
翻訳結果を印刷してみましょう。翻訳エディタではビューの表示形式に応じて印刷することができます。最初に表示形式ボタンから、印刷する表示形式を決めておきます。

プリンタの設定

最初に印刷するプリンタや用紙サイズ、用紙の向きなどの設定を行います。



2



印刷するプリンタや用紙サイズ、用紙の向きなどを設定します。このダイアログの機能は、他のWindowsのアプリケーションと共通です。設定できたら [OK] ボタンをクリックします。

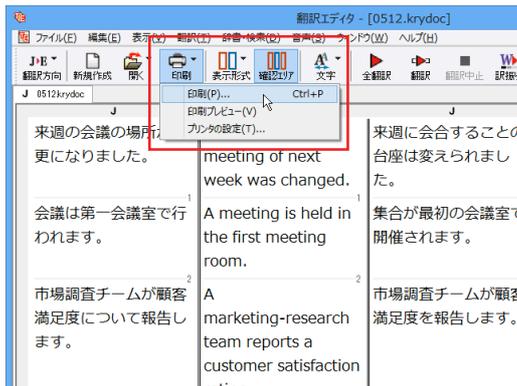
注意！

ご使用のプリンタによって、ダイアログの内容は異なります。

印刷の実行

印刷を実行する前に、プリンタが接続され、印刷できる状態になっていることを確認してください。

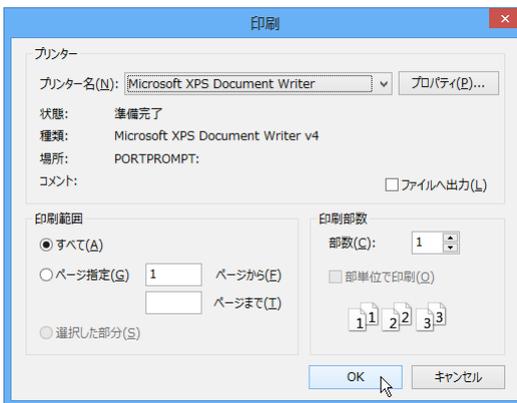
1



【印刷】 ボタンをクリックし、表示されるメニューから【印刷】を選択します。

【印刷】 ダイアログボックスが表示されます。

2



印刷部数などを設定し、【OK】 ボタンをクリックします。

注意！

ご使用のプリンタによって、ダイアログの内容は異なります。

印刷が実行されます。



- 印刷前に、印刷されるイメージを画面に表示して確認できます。確認するときは、【印刷】 ボタンをクリックし、表示されるメニューから【印刷プレビュー】コマンドを選択します。図のようなプレビュー画面が表示され、どのように印刷されるかが確認できます。



- 【ファイル】メニューの【翻訳エディタのオプション】コマンド【印刷】タブでは、印刷に関する次の設定ができます。
 - ・ 原文表示や訳文表示の印刷時に、文のセパレータを印刷するかどうか。
 - ・ ヘッダーを付けるかどうか。
 - ・ 余白をあけるかどうか。
 - ・ 左右対訳表示の印刷時に文番号を付けるかどうか

3

英文を翻訳してみよう

翻訳エディタの基本的な機能を理解していただくために、サンプルのテキストファイルを読み込んで翻訳したり、翻訳結果を改良したりする方法を練習してみましょう。サンプルのテキストファイルは、コリヤ英和！一発翻訳 2014をインストールしたフォルダの [Sample] フォルダ内にあります。規定値のままインストールした場合は以下のフォルダです。

C:\Program Files\LogoVista Corp\Korya2014\Sample (32bit OSの場合)

C:\Program Files (x86)\LogoVista Corp\Korya2014\Sample (64bit OSの場合)

英文を読み込んで翻訳する

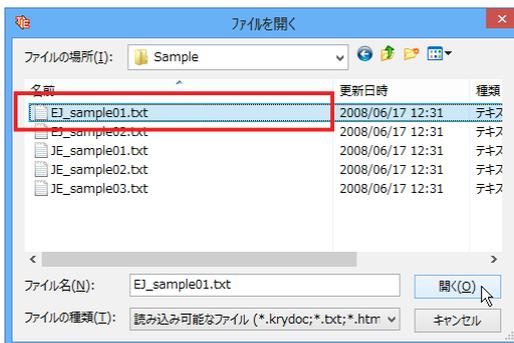
1



翻訳エディタを起動します。
起動メニューから「既存の文書ファイルを開く」ボタンをクリックします。

「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。

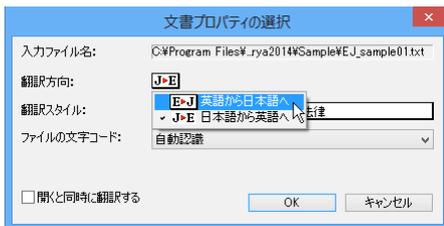
2



サンプルのテキストファイルがあるフォルダに移動し、「EJ_sample01 (.txt)」を選択して「開く」ボタンをクリックします。

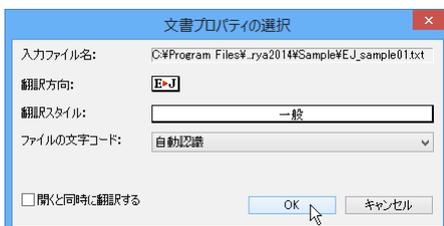
「文書プロパティの選択」ダイアログボックスが開きます。

3



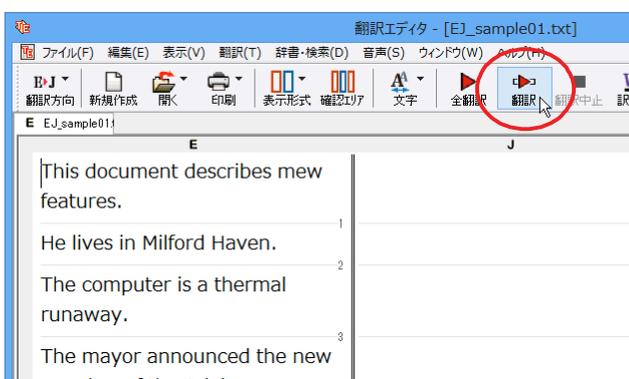
このダイアログボックスは、テキストファイル、リッチテキストファイル、Wordの文書ファイルなどを開いたときに表示されます。翻訳方向と翻訳スタイルを設定できます。ここでは翻訳方向で「EJ」、翻訳スタイルで「一般」を設定します。

4

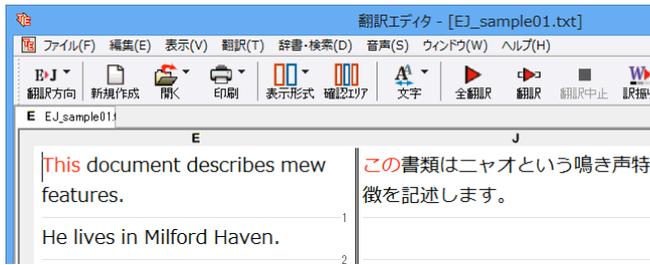


「OK」ボタンをクリックします。
テキストファイルが読み込まれます。

5



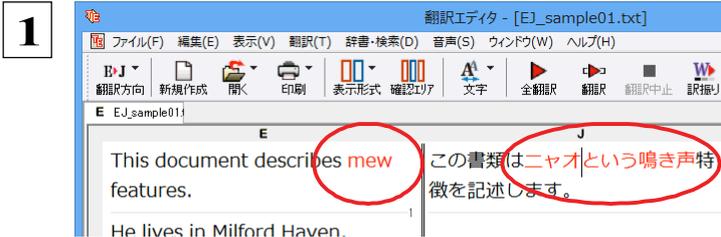
1文目の原文をクリックしてポインタを置き、「翻訳」ボタンをクリックします。



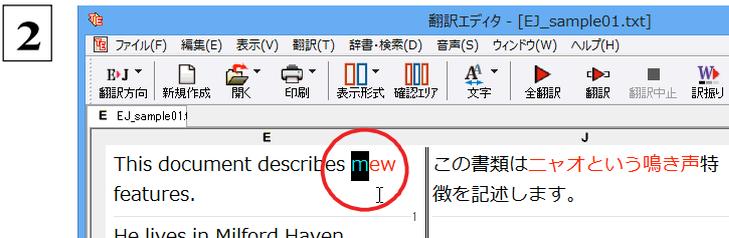
原文が翻訳され、翻訳結果が訳文ボックスに表示されます。

翻訳結果を検討して、再翻訳する

"new"という単語が"mew"と入力されていたため、おかしな訳文になっています。そこで、英文の誤りを修正し、再度翻訳してみましょう。ここではすでに、修正すべき単語がわかっています。しかし実際の翻訳では、まず、間違っている単語を見つけなければなりません。この作業は、翻訳エディタの単語対応の機能を使えば簡単にできます。

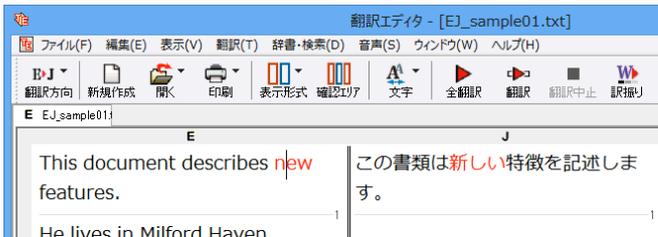


訳文の"ニャオ"という部分をクリックします。英文の"mew"、訳文の"ニャオという鳴き声"が赤で表示され、この部分が対応していることを示します。これで"ニャオという鳴き声"を改善するためには、"mew"を修正すればよいことが分かります。



"mew"の m をマウスでドラッグして選択し、"new"に修正します。

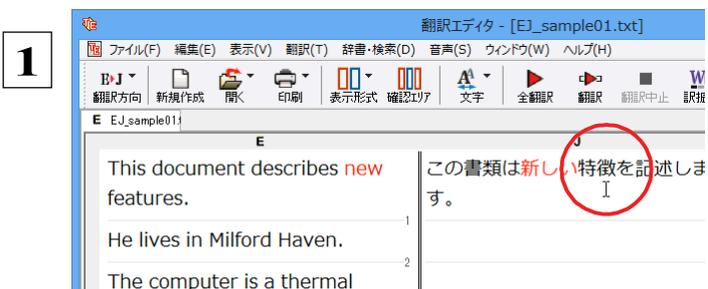
翻訳済みの原文を編集すると、すぐに再翻訳が実行されます。



適切な訳文になりました。このように、翻訳結果が思わしくないときは、まず不自然な部分を単語対応で検討することで、元の英文にタイプミスやOCRの認識ミス等による不備がなかったかどうかをチェックできます。

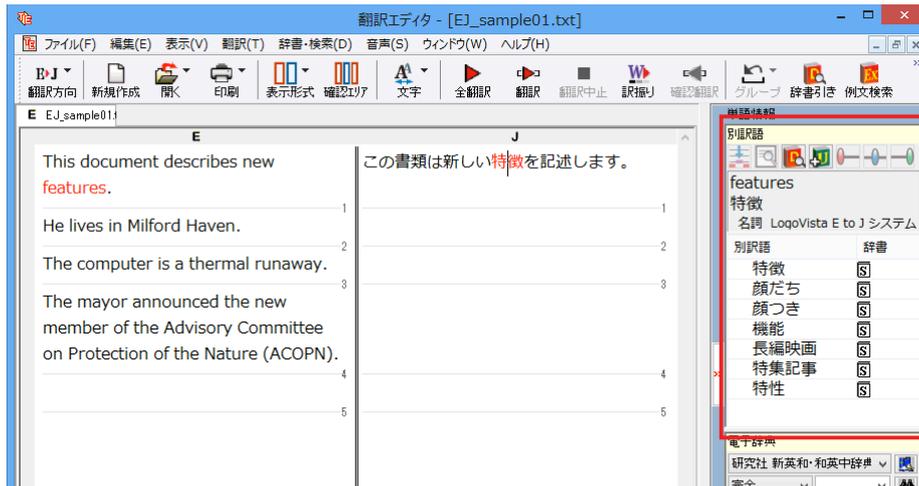
別の訳語を選択する

ある単語の訳語は 1 つだけではありません。コリヤ英和！一発翻訳は、もっとも使用頻度の高い訳語を使って翻訳を行います。別の訳語を選んだ方が、より好ましい訳文になることもあります。そこで翻訳エディタには、翻訳後、任意の単語に対する訳語の一覧を表示して、別の訳語に変更する機能が用意されています。

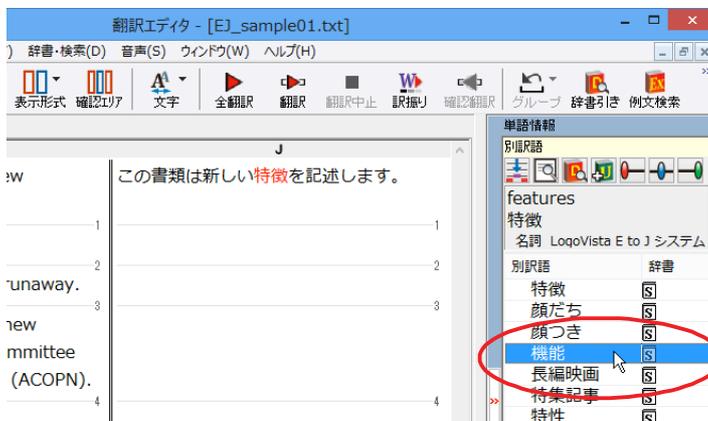


訳文の"特徴"にマウスカーソルを合わせ、マウスをクリックします。

英文の"features"と"特徴"が赤で単語対応表示されます。また、単語情報バーの [別訳語] に"features"に対する訳語の一覧が表示されます。

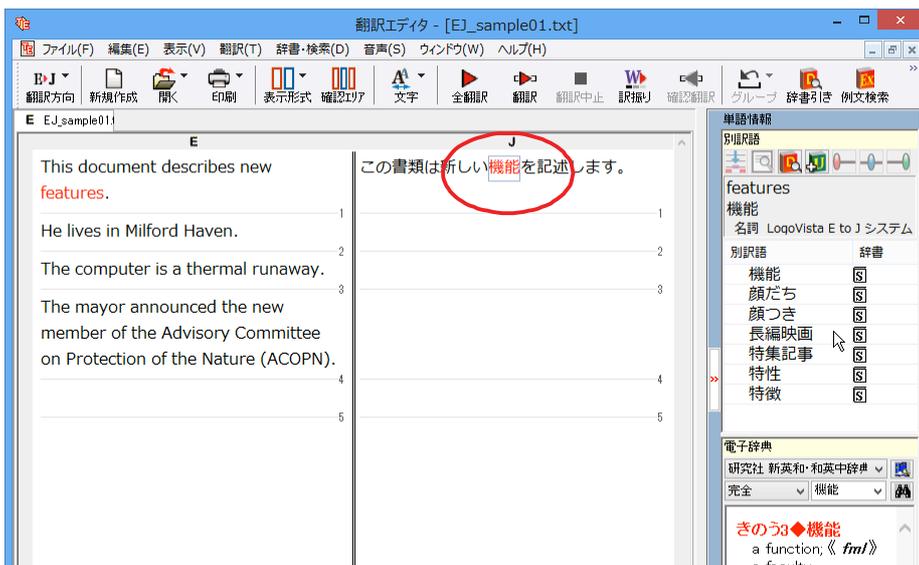


2



別訳語の一覧から、"機能"をダブルクリックします。

訳文の"特徴"が"機能"に変わります。



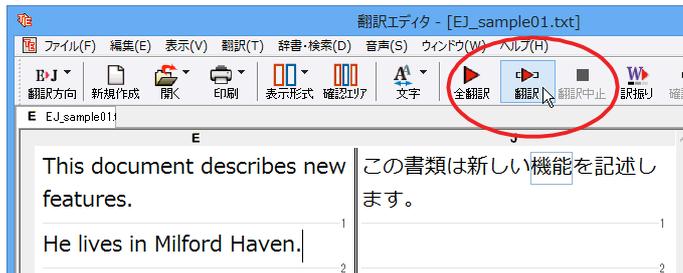
ユーザ辞書を使用する

コリヤ英和！一発翻訳には、ユーザ自身が語句を登録できるユーザ辞書の機能があります。コリヤ英和！一発翻訳が訳せなかった単語や固有名詞などを登録していくことで、翻訳の精度が上がっていきます。コリヤ英和！一発翻訳をインストールした時点では、「ユーザ辞書（標準）」という名称のユーザ辞書が翻訳スタイルに登録されています。ユーザ辞書は、最大5個まで同時に使用できます。また5個以上のユーザ辞書を作っておき、必要に応じて切り替えて使用することもできます。ユーザ辞書の管理は、翻訳スタイルの一部として行います。新規作成、ロード（「コリヤ英和！一発翻訳」で使用するユーザ辞書として指定すること）、アンロード（「コリヤ英和！一発翻訳」で使用するユーザ辞書の指定から外すこと）が行えます。翻訳スタイル「一般」にロードされている「ユーザ辞書（標準）」に語句を登録する方法を紹介します。

辞書にない単語が含まれる文を翻訳してみる

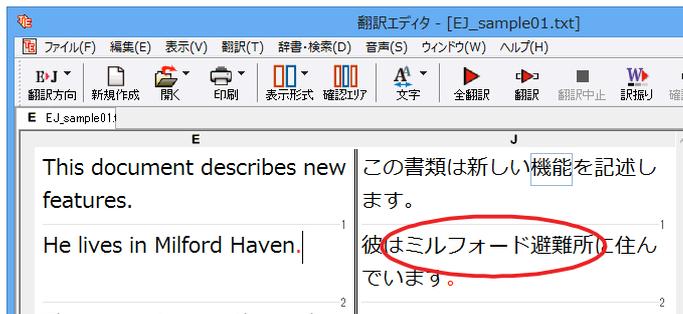
翻訳エディタで、辞書に登録されていない単語が英文に含まれる場合、どのように翻訳されるかを見てみましょう。

1



2文目の原文にポインタをおき、【翻訳】ボタンをクリックします。

英文が翻訳され、翻訳結果が訳文ボックスに表示されます。



"Milford Haven"は地名ですが、辞書に登録されていないため、"ミルフォード避難所"と訳されてしまいました。

ユーザ辞書に語句を登録する

地名として翻訳されなかった"Milford Haven"をユーザ辞書に登録し、再翻訳してみましょう。

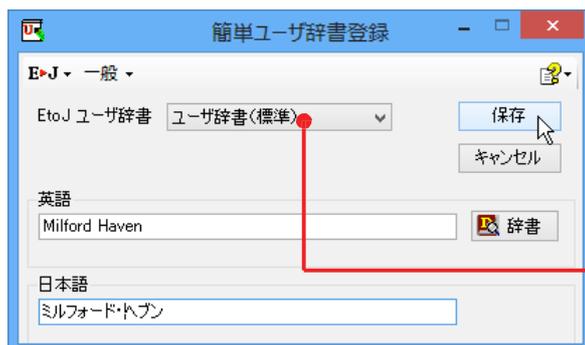
1



"Milford Haven"をマウスドラッグで選択して、【辞書・検索】メニューから【単ユーザ辞書登録】をクリックします。

[簡単ユーザ辞書登録] ダイアログボックスが表示されます。英語の欄には、選択した"Milford Haven"が自動的に入力されます。

2



日本語の欄にミルフォード・ヘブンを入力し、[保存] ボタンをクリックします。

これで"Milford Haven"の登録が終了し、[簡単ユーザ辞書登録] ダイアログボックスが閉じます。

登録先のユーザ辞書名



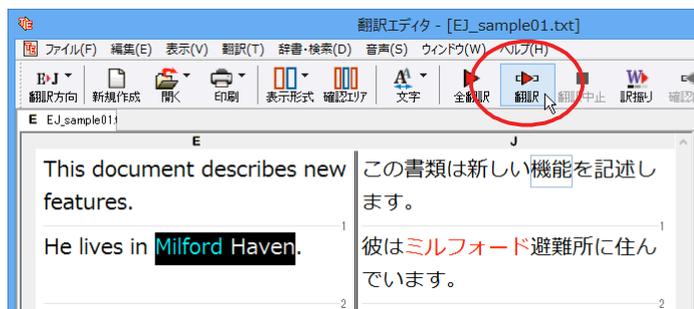
- 翻訳スタイルに複数のユーザ辞書が設定されているときは、優先度が最も高いユーザ辞書が登録先のユーザ辞書名の欄に表示されます。欄の▼をクリックすると、翻訳スタイルに設定されているユーザ辞書の一覧が表示され、登録先の辞書を変更できます。
- [辞書・検索] メニューの [ユーザ辞書に登録] では、品詞などの詳しい情報を設定できます。



詳しくは翻訳エディタのヘルプをご覧ください。

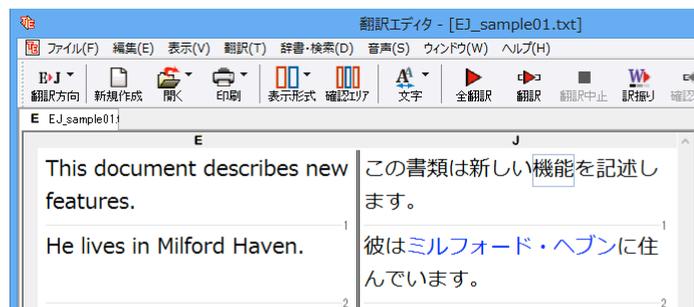
再翻訳する

1



翻訳エディタの [翻訳] ボタンをクリックして、再翻訳してみます。

再翻訳され、以前の訳文が新しい和訳に入れ替わります。"Milford Haven"も正しく翻訳されます。



ユーザ辞書が出典元の語句は、青字で表示されます。

専門辞書・分野辞書を使用する（英日・日英翻訳のみ）

専門辞書や分野辞書は、分野ごとの専門用語が収録された辞書です。翻訳を行う文書に応じて使い分けると、より適切な翻訳結果を得ることができます。ここでは、専門辞書・分野辞書を使うことにより、翻訳結果がどのように変わるかを紹介します。

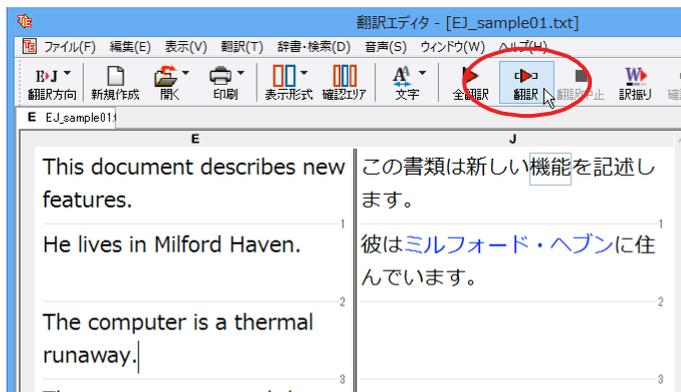


- 翻訳に使用できる専門辞書・分野辞書については、本マニュアル第1章の「コリヤ英和！一発翻訳 2014の翻訳に使用できる辞書について」をご覧ください。
- 分野辞書は、翻訳スタイルの編集ダイアログ上では専門辞書の一種として扱われます。

専門辞書なしで、コンピュータ関連の文章を翻訳してみる

まずは、専門辞書を利用しない場合、どのように翻訳されるかを見てみましょう。

1

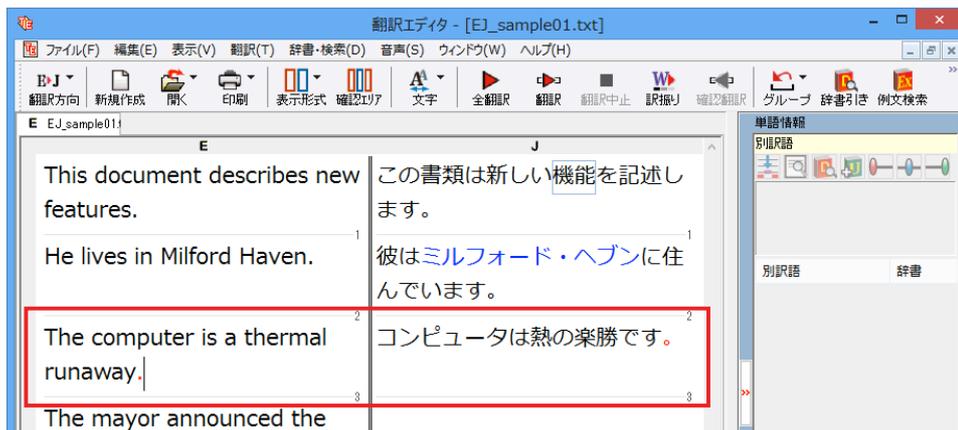


3文目の原文にポインタをおき、【翻訳】ボタンをクリックします。

次の訳文が表示されます。

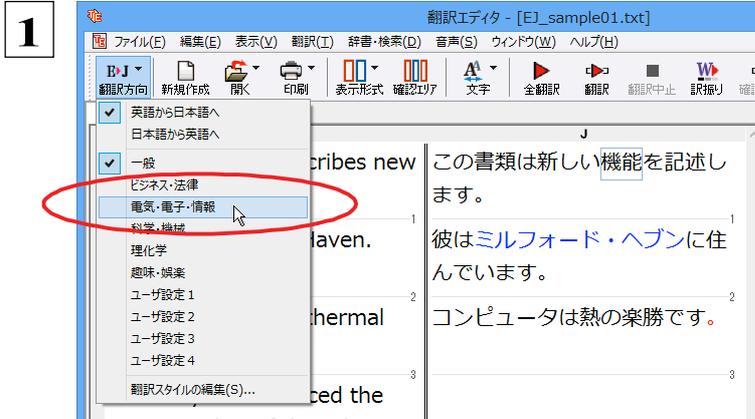
コンピュータは熱の楽勝です。

"thermal"と"runaway"が別々の単語として「熱の」と「楽勝」と訳されていることがわかります。それでは、専門辞書を利用すると、この文がどのように訳されるか見ていきましょう。

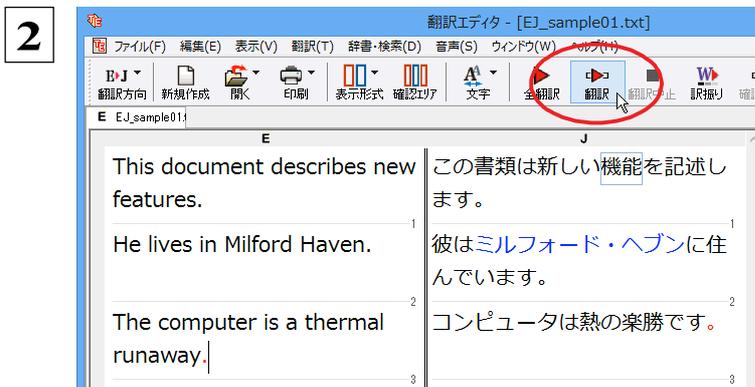


翻訳スタイル「電気・電子・情報」を使って再翻訳する.....

インストールした専門辞書を翻訳に利用するには、専門辞書をロードしておく必要があります。ここではコンピュータの専門辞書を使用します。この専門辞書は、あらかじめセットされている翻訳スタイルの「電気・電子・情報」にロードされています。そこで、翻訳スタイルを「電気・電子・情報」に変更します。



【翻訳方向】 ボタンをクリックし、メニューから【電気・電子・情報】を選択します。これで使用する翻訳スタイルが「電気・電子・情報」に変更されます。



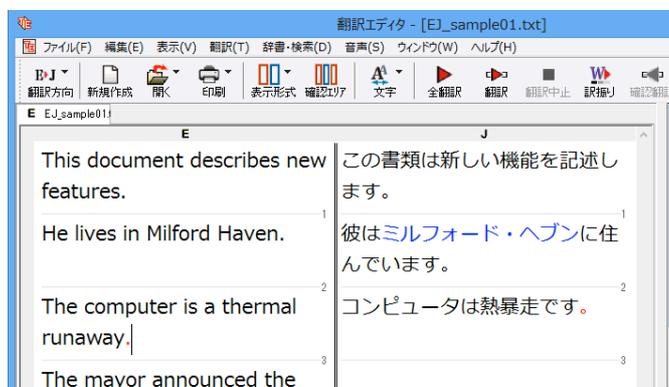
翻訳スタイルを「電気・電子・情報」に変更したことによって、翻訳結果がどのように変わるか、見てみましょう。

翻訳エディタの"The computer is a thermal runaway."にポインタを置き、【翻訳】 ボタンをクリックします。

専門辞書を使って翻訳が行われ、以前の訳文が次の訳文に入れ替わります。

コンピュータは熱暴走です。

以前は別々の単語として「熱の暴走」と訳されていた"thermal runaway"が、ひとまとまりの語句として「熱暴走」と訳されていることがわかります。



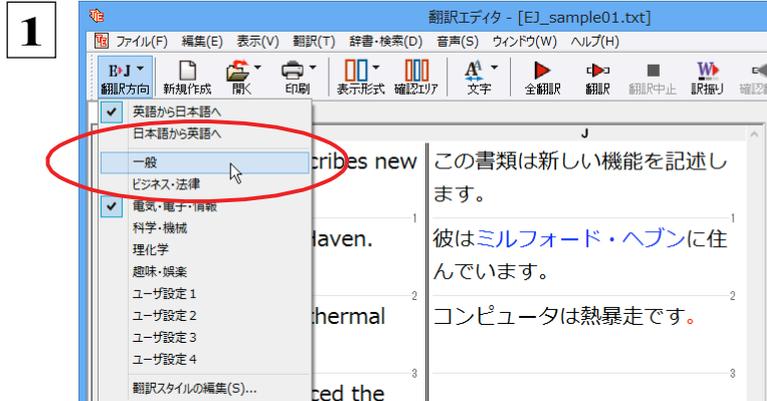
このように、専門辞書・分野辞書を使うことで、専門的な文章をより正しく翻訳することができます。

語句をグループや原語のままにする（英日翻訳のみ）

英日翻訳では、[グループ] ボタンをつかって、グループとしてひとまとまりに翻訳したい語句や、英語のまま訳出したい語句を指定できます。ここでは、[グループ] ボタンを使うことにより、翻訳結果がどのように変わるかを紹介します。

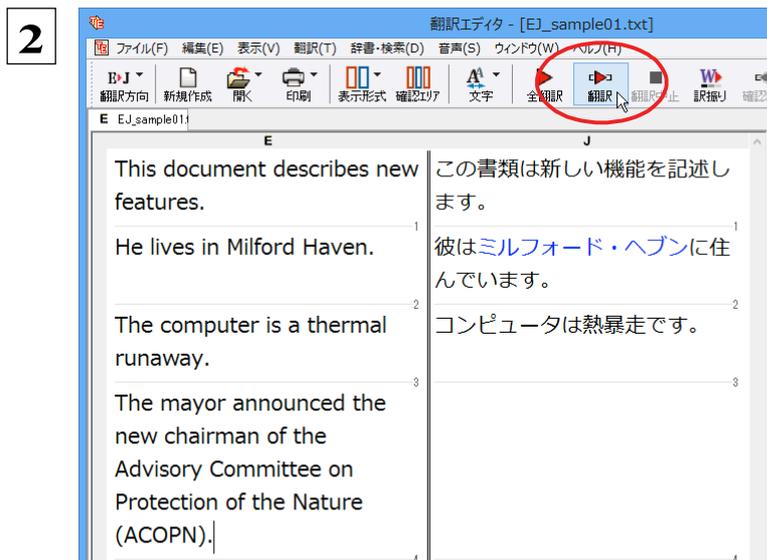
長い組織名を含む英文を、グループ指定をせずに翻訳してみる

まずは、グループ指定をしない場合、どのように翻訳されるかを見てみましょう。

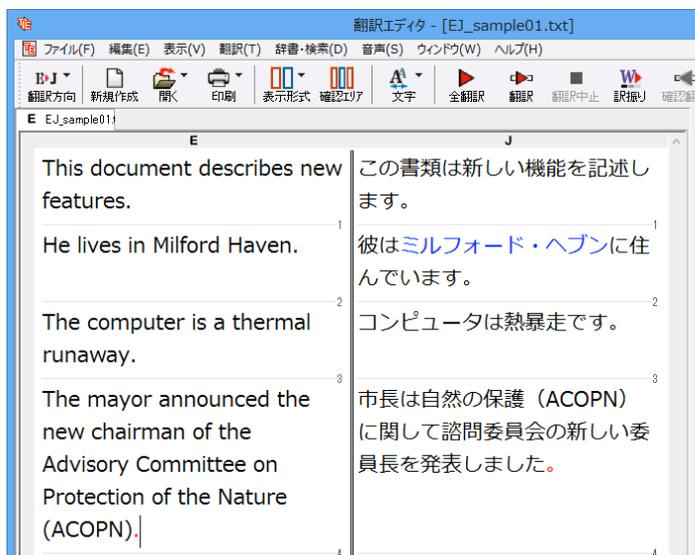


使用する翻訳スタイルを「一般」に戻しておきます。

[翻訳方向] ボタンをクリックし、メニューから [一般] を選択します。



4文目の原文にポインタをおき、[翻訳] ボタンをクリックします。



次の訳文が表示されます。

市長は自然の保護 (ACOPN) について諮問委員会の新しい委員長を発表しました。

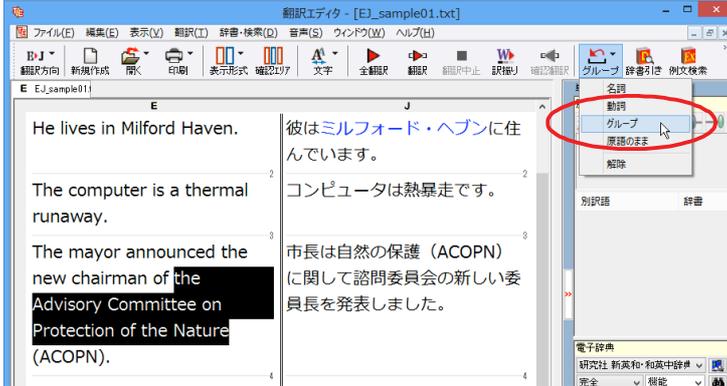
"the Advisory Committee on Protection of the Nature (ACOPN)"が、1つのまとまりとして訳されず、前置詞onの部分で区切られて解釈されることがわかります。

次では、グループを指定すると、この文がどのように訳されるか見ていきましょう。

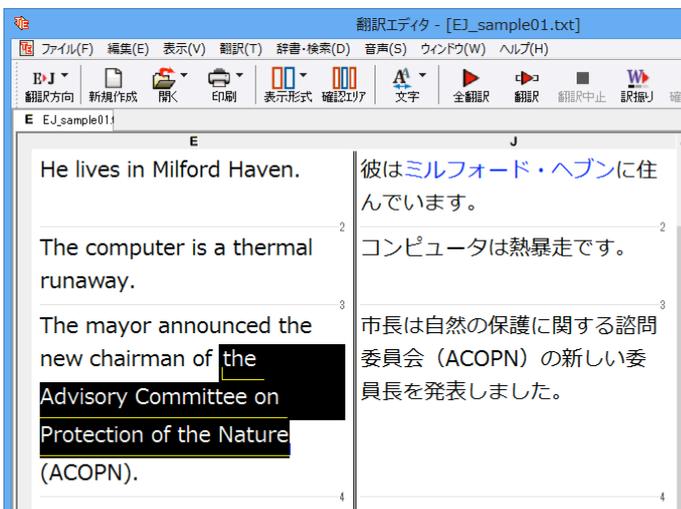
組織名をグループ化する

組織名がひとまとまりに翻訳されるように、グループの指定をしましょう。

1



“ the Advisory Committee on Protection of the Nature” をマウスドラッグで選択して、[グループ] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [グループ] を選択します。



指定した部分がアンダーラインで表示され、再翻訳が行われます。以前の訳文が次の訳文に入れ替わります。

市長は自然の保護に関する諮問委員会 (ACOPN) の新しい委員長を発表しました。

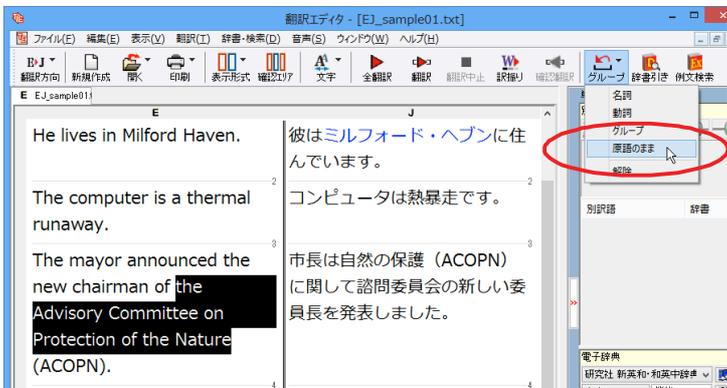
以前は二つに分けられて訳されていた組織名が、ひとまとまりの語句として「自然の保護に関する諮問委員会」と訳されていることがわかります。

このように、複数の語句から成り立つ名称や、複文がうまく翻訳されないときは、グループを指定して翻訳することで、より正確に翻訳することができます。

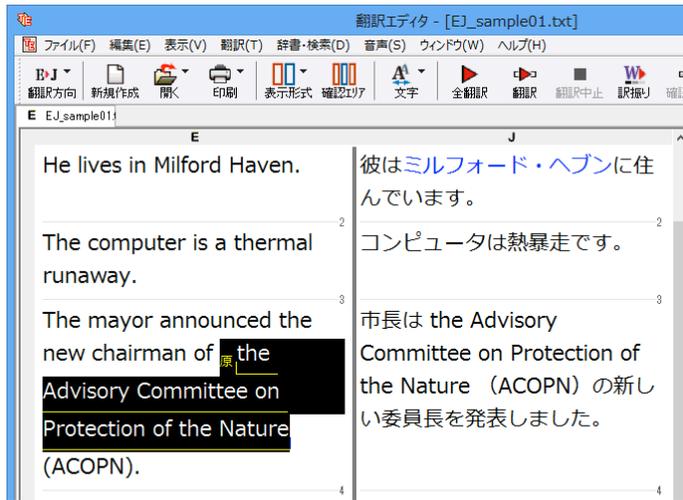
組織名を原語のまま訳出する

名称などは、日本語に訳したくない場合があります。このときは、[原語のまま] を指定します。

1



“ the Advisory Committee on Protection of the Nature” をマウスドラッグで選択して、[グループ] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [原語のまま] を選択します。



指定した部分が、「原」の文字とアンダーラインで表示され、再翻訳が行われます。以前の訳文が次の訳文に入れ替わります。

市長は the Advisory Committee on Protection of the Nature (ACOPN) の新しい委員長を発表しました。

「原文のまま」を指定した部分は翻訳されず、そのまま訳文になります。

このように、名称などで原語のまま訳出したいときは、[グループ] ボタンの [原語のまま] を使います。

よりよい翻訳結果を得るために

左右対訳形式で翻訳を行う対訳エディタでは、原文と訳文を比較検討しながら、翻訳結果を改良していくことができます。ここでは、サンプルのテキストファイル「EJ_sample02.txt」で改良方法を練習してみましょう。

翻訳してチェックする

「EJ_sample02.txt」もコリヤ英和！一発翻訳 2014 (マルチリンガル) をインストールしたフォルダの [Sample] フォルダにあります。これまでは一文ずつ翻訳してきましたが、今度は複数の文章をまとめて翻訳します。このため、各文の切れ目が明確になっていることが、正しい翻訳を得るためのポイントになります。

「英文を読み込んで翻訳する」と同様の方法でサンプルのテキストファイル「EJ_sample02.txt」を読み込みます。以下のテキストが訳文ボックスに入力されます。前半と後半は、ほぼ同じ内容です。どこが違うかを確認するために、まず全文を翻訳してみましょう。

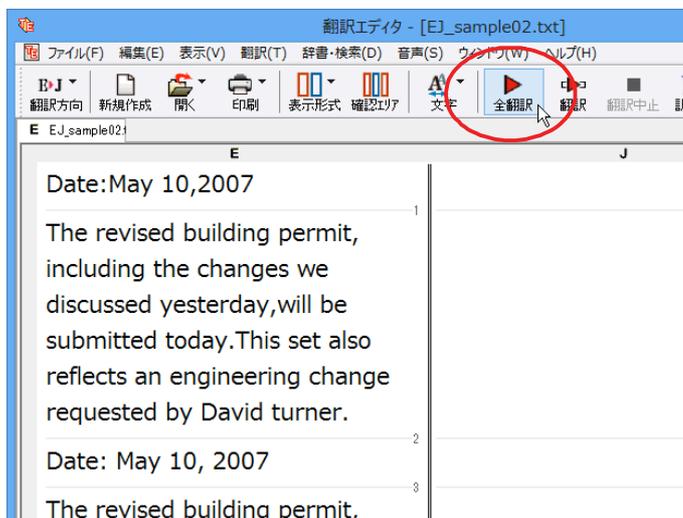
Date:May 10,2007

The revised building permit,including the changes we discussed yesterday,will be submitted today.This set also reflects an engineering change requested by David turner.

Date: May 10, 2007

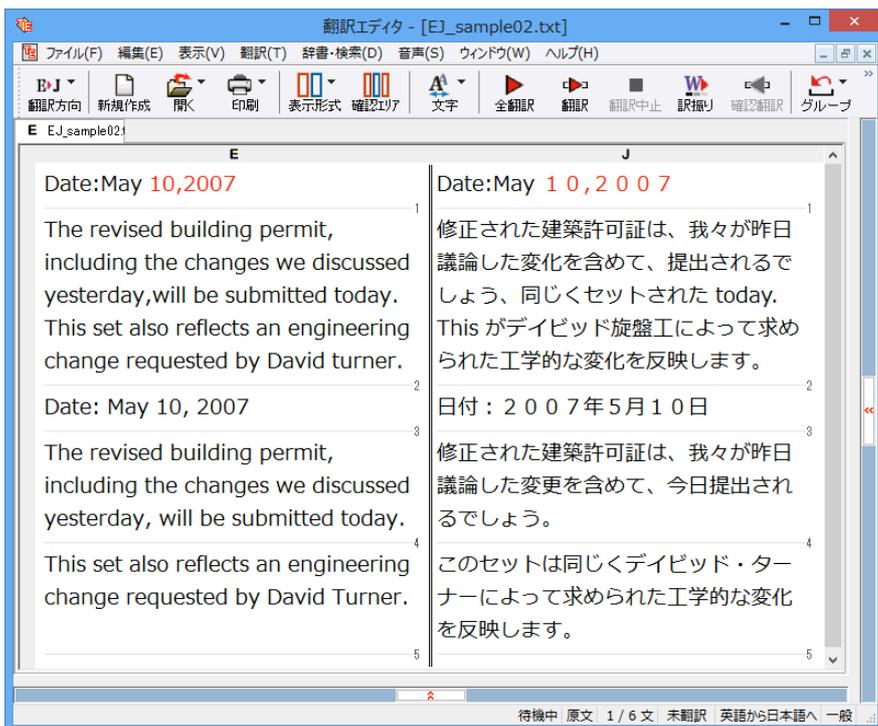
The revised building permit, including the changes we discussed yesterday, will be submitted today. This set also reflects an engineering change requested by David Turner.

1



【全翻訳】 ボタンをクリックします。翻訳が行われ、訳文が表示されます。

これが翻訳の結果です。前半と後半では、全く異なった結果になってしまいました。前半は、和訳が意味を成していないだけでなく、日付けも翻訳されていません。



原文を修正して、文末を再判定する.....

それでは、前半部分も正しい翻訳になるように修正してみましょう。

- 1 前半の英文で、次の△で示した部分にスペースを入力します。

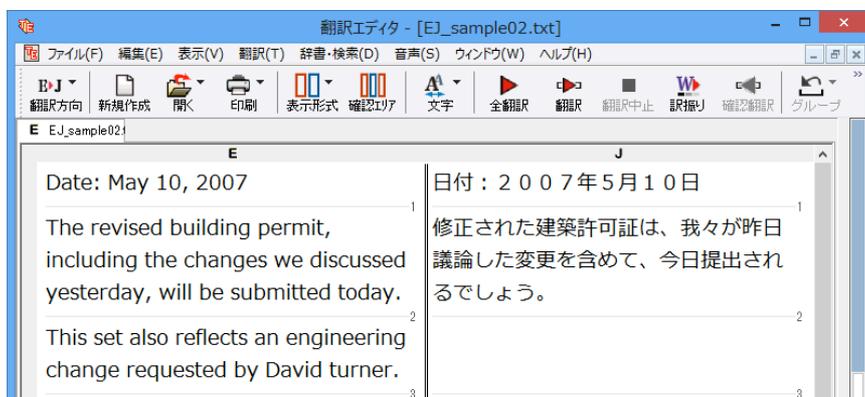
Date:△ May 10,△ 2007

The revised building permit, including the changes we discussed yesterday, will be submitted today.△ This set also reflects an engineering change requested by David turner.

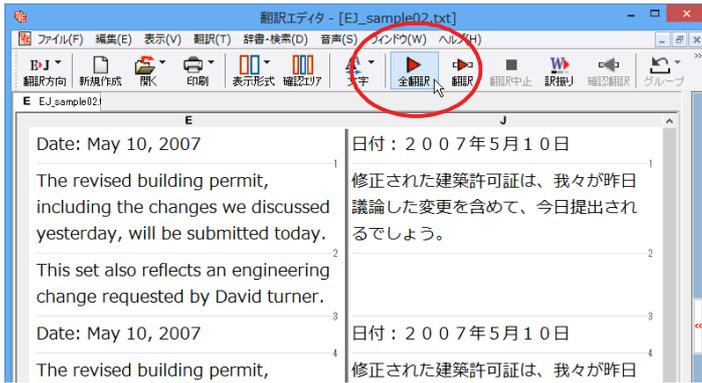
スペースが正しく入力されると、次の図のようになります。

1文目は、スペースが入力されると再翻訳が実行され、日付が正しく翻訳されます。

2文目は、スペースが入力されると行末の再判定が実行され、2つの文に分けられます。以前はピリオドの後に改行またはスペースが入力されていなかったため、この箇所が文末と認識されていなかったことがわかります。スペースを入力したことで、今度は正しく文末として判定され、文が分けられました。



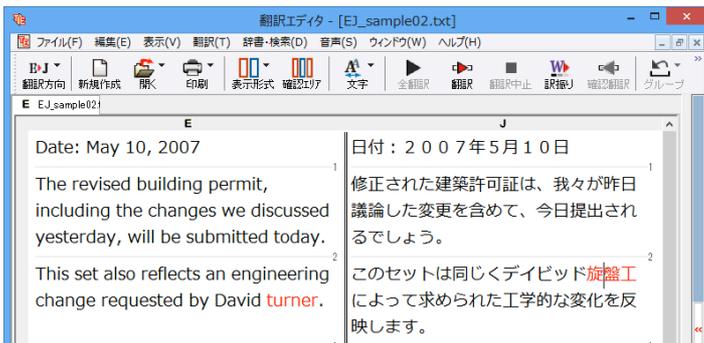
2



それでは、再度翻訳してみましょう。[全翻訳] ボタンをクリックします。

未翻訳の原文だけが再翻訳されます。

3文目の“ デビッド旋盤工 ” という部分を除いて、正しく翻訳されました。

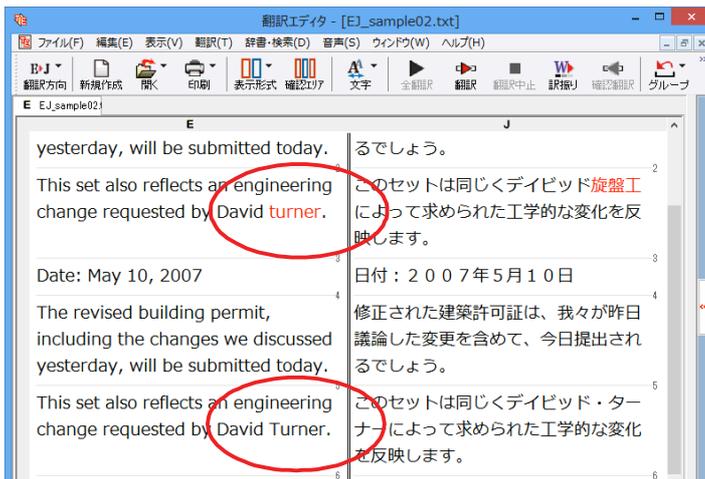


全翻訳した訳文を検討して修正する

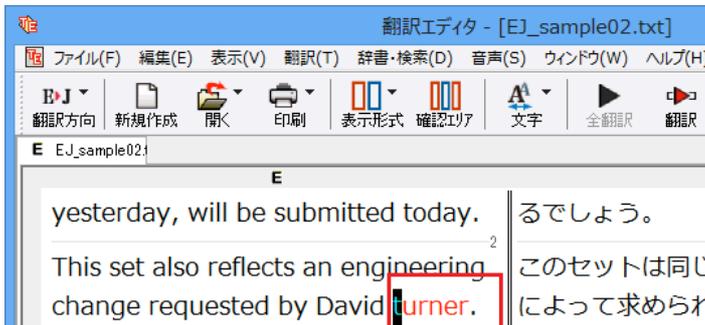
3 文目の原文を修正しましょう。

1

和訳の"旋盤工"をクリックします。"旋盤工"と"turner"が赤で表示され、対応していることがわかります。後半の文とくらべてみると、大文字で始めなければならない人名"Turner"が、小文字で始まっていたために正しく翻訳されていないことがわかります。

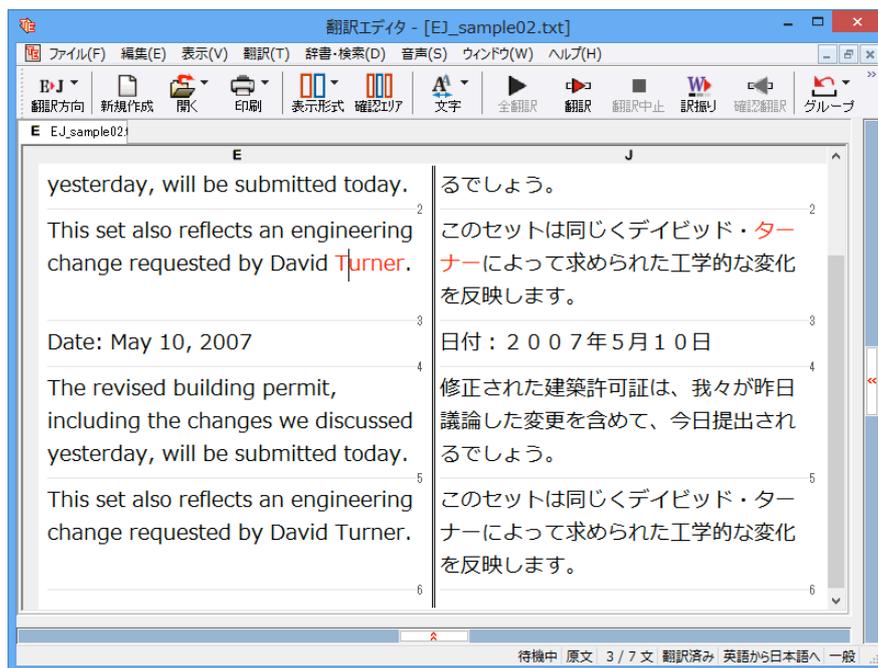


2



"turner"を"Turner"に修正します。

再翻訳が行われ、以前の訳文が新しい訳文に入れ替わります。今度は正しく翻訳されていることがわかります。



4

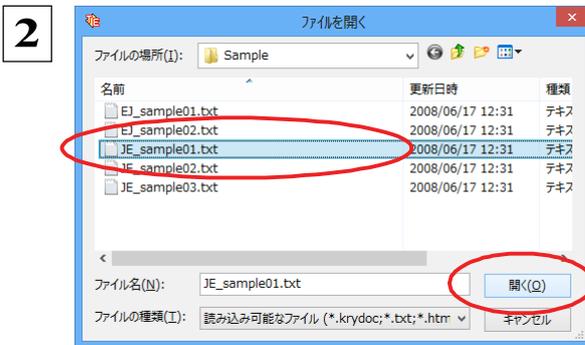
和文を翻訳してみよう

和文から英文に翻訳する場合、文法の違いなどを考慮して和文を作成しておく必要があります。元になる和文によっては意味が通らない英文になってしまうことがあります。また、和文から英文以外の言語に翻訳する場合も、一度英文に翻訳されてからその他の言語に翻訳されますので、意味の通る英文に翻訳する方法を修得しておくことが重要です。翻訳エディタには、より適切な翻訳ができるよう、サポートする機能が用意されています。これらを利用しながら日英翻訳を行う方法を紹介します。

テキストファイルを読み込む

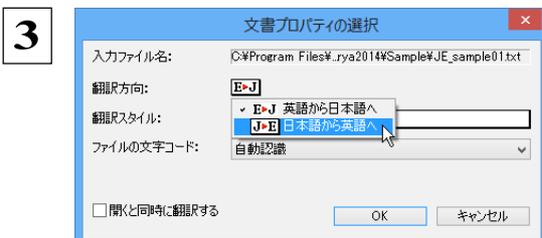
ここでは、サンプルのテキストファイル「JE_sample01.txt」を読み込んで翻訳してみます。サンプルのテキストファイル「JE_sample01.txt」は、コリヤ英和！一発翻訳 2014（マルチリンガル）をインストールしたフォルダの「Sample」フォルダにあります。

- 1 【翻訳エディタ】ウィンドウの【開く】ボタンをクリックし、表示されるメニューから【ファイルを開く】を選択します。
【ファイルを開く】ダイアログボックスが表示されます。



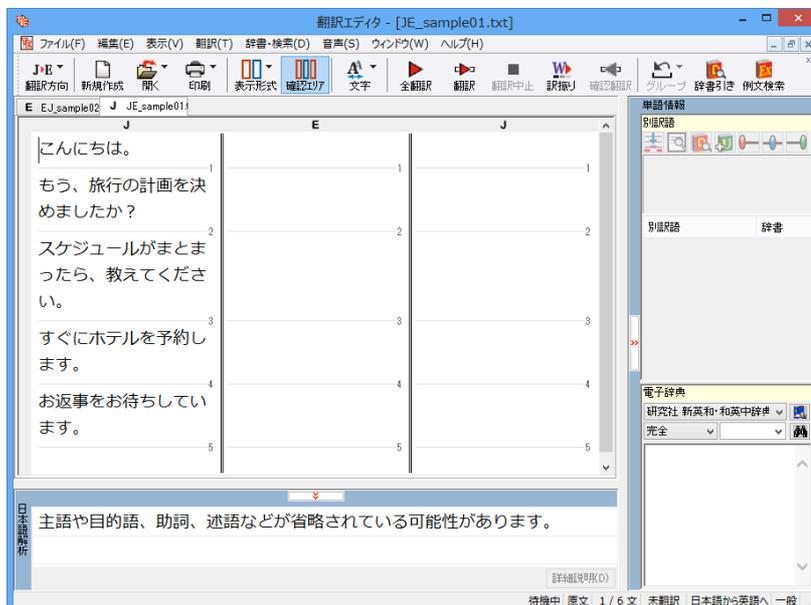
【Sample】フォルダに移動し「JE_sample01.txt」を選択して【開く】ボタンをクリックします。

【文書プロパティの選択】ダイアログボックスが開きます。



翻訳方向で【日本語から英語へ】、翻訳スタイルで【一般】を選択し、【OK】ボタンをクリックします。

和文のサンプルテキストが読み込まれます。

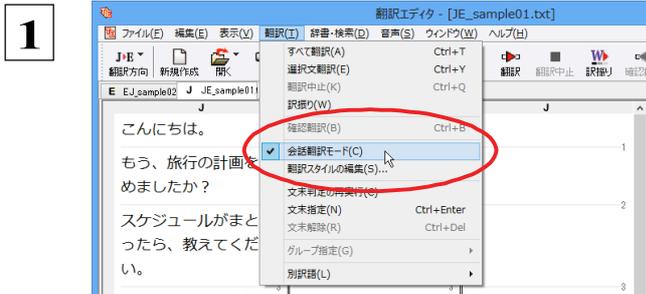


会話モードを活用する

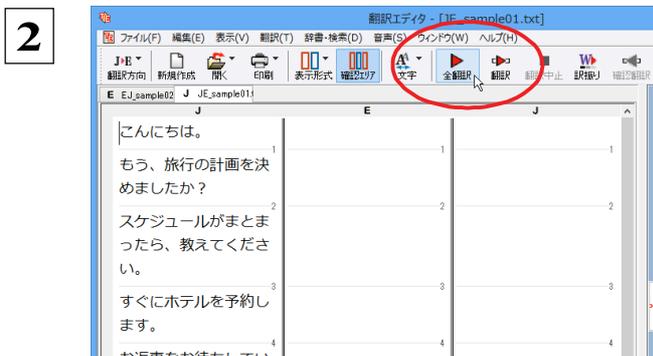
親しい間柄でやりとりするメールや手紙、あるいは日記などの個人的な文章では、口語調の文体がよく使われます。口語調の文では、文語にくらべて、より主語が省略されやすくなります。このような文を翻訳するときは、会話モードを使うと便利です。原文を解析し、主語を補いながら翻訳します。

[会話モード] を使わずに翻訳してみる

まず会話モードを使わずに翻訳し、結果を見てみましょう。

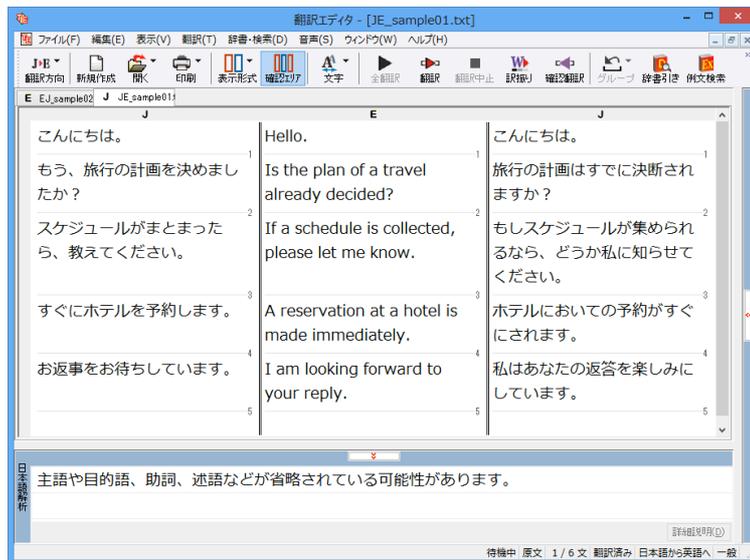


【翻訳】メニューの【会話翻訳モード】をオフ（チェックされていない状態）にします。



【全翻訳】ボタンをクリックします。

すべての文が翻訳され、結果が訳文ボックスに表示されます。



2文目と4文目の翻訳結果に注目してみましょう。

もう、旅行の計画を決めましたか？

→Is the plan of a travel already decided?

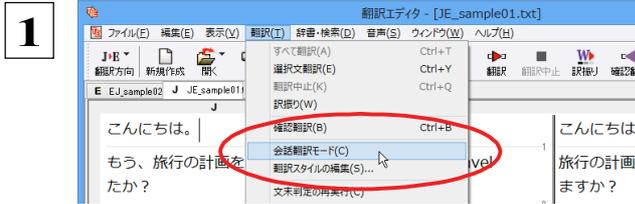
すぐにホテルを予約します。

→A reservation at a hotel is made immediately.

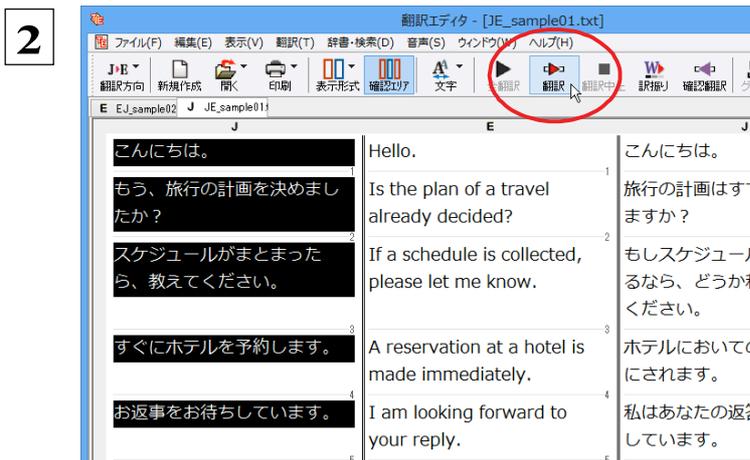
いずれの原文も主語が欠けているため、訳文が受動態の文章になっていることがわかります。

【会話モード】で翻訳する.....

次に会話モードで翻訳し、結果を以前のものと比べてみましょう。

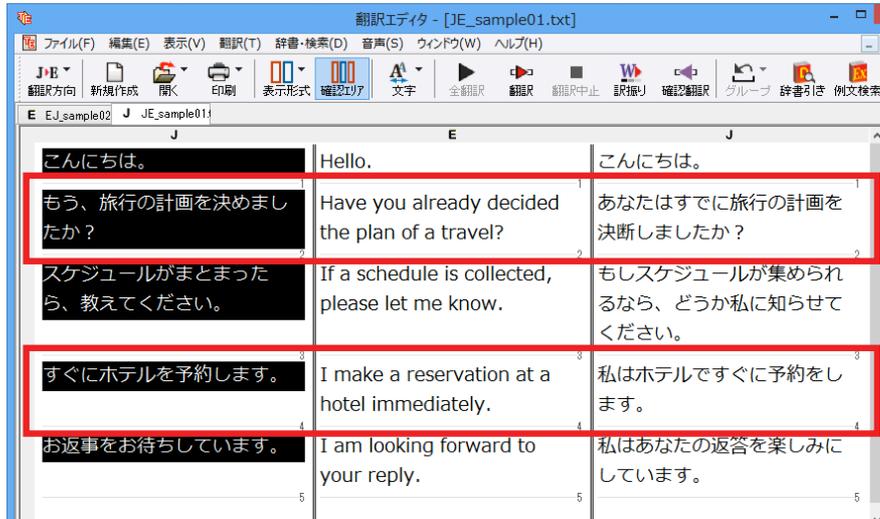


【翻訳】メニュー【会話翻訳モード】をオン（チェックが付いた状態）にします。



すべての原文を選択し、【翻訳】ボタンをクリックします。

再翻訳が行われます。2文目と4文目の訳文が入れ替わります。



2文目と4文目の訳文がどう変わったか見てみましょう。

- もう、旅行の計画を決めましたか？ → 【会話モード】 オフ Is the plan of a travel already decided?
 → 【会話モード】 Have you already decided the plan of a travel?
- すぐにホテルを予約します。 → 【会話モード】 オフ A reservation at a hotel is made immediately.
 → 【会話モード】 I make a reservation at a hotel immediately.

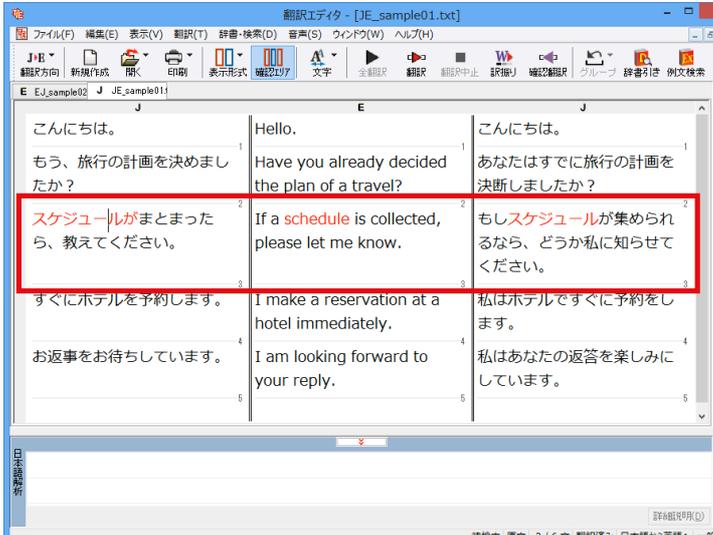
それぞれ、主語が補われてより自然な英文に翻訳されました。

このように、口語調の文章を翻訳するときは、【会話モード】を活用することで、より適切な訳文を得ることが期待できます。ただし省略されている主語が“I”か“you”以外の場合、【会話モード】では正しく翻訳できません。この場合は、原文に主語を補ってから翻訳してください。

[確認翻訳] を利用して原文を修正する

日本語の表現をそのまま翻訳すると、誤訳になってしまったり、ニュアンスが異なってしまったりする場合があります。[確認翻訳]には、訳文を再度日本語に翻訳した文が表示されます。[確認翻訳]の内容と原文の内容がほぼ一致するように原文を別の表現に変えることで、より適切な訳文が得られます。

1



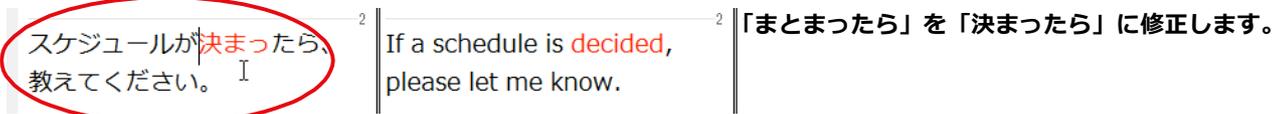
3文目に注目してください。[確認翻訳]表示エリアには3文目の訳文を日本語に翻訳した結果が表示されています。

原文 スケジュールがまとまったら、教えてください。

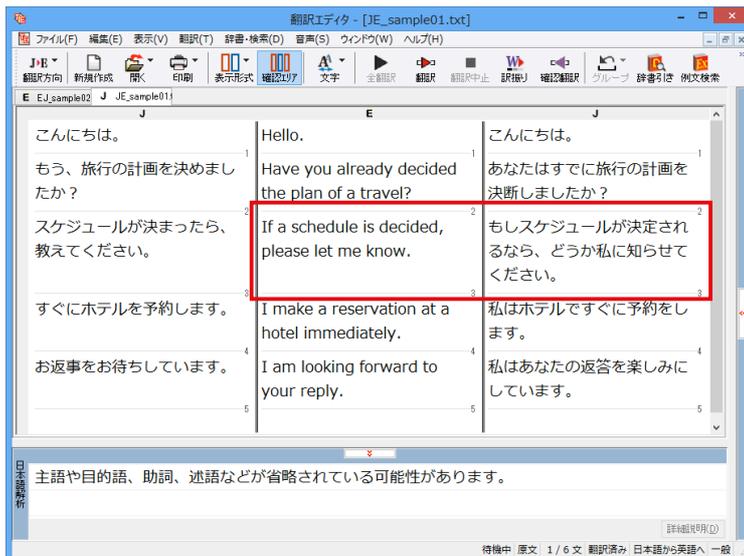
[確認翻訳] もしスケジュールが集められるなら、どうか私に知らせてください。

日本語の“まとめる”が、“ばらばらだったものを1つに整える”という意味で解釈されて訳されていることがわかります。しかし、この文の“まとめる”は、“決着をつける、完成させる”といった意味で使われています。そこで、原文を編集して意味を明確にします。

2



再翻訳が実行され、訳文と[確認翻訳]の内容が入れ替わります。



[確認翻訳] は次のようになります。

原文 スケジュールが決まったら、教えてください。

[確認翻訳] もしスケジュールが決定されるなら、どうか私に知らせてください。

こんどは、両者の意味に大きな違いが無いようです。

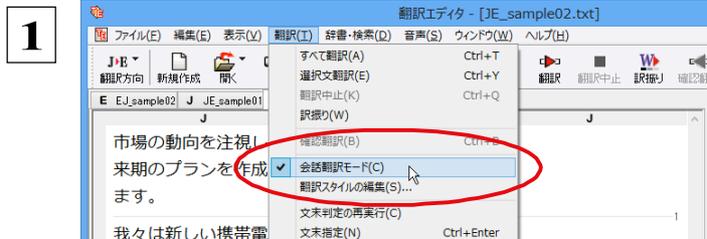
このように確認翻訳を利用することで、適切な内容の訳文に上げることができます。

[日本語解析] を参考にして原文を修正する

原文にあいまいな要素がある場合は、その情報が [日本語解析] に表示されます。[日本語解析] を参考にして原文を修正する方法を、サンプルのテキストファイル「JE_sample02.txt」で練習してみましょう。

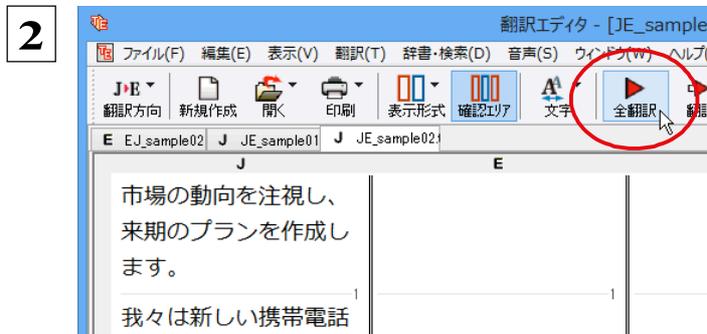
翻訳してチェックする

「JE_sample02.txt」もコリヤ英和！一発翻訳 2014 (マルチリンガル) をインストールしたフォルダの [Sample] フォルダにあります。「テキストファイルを読み込む」と同様の方法で、サンプルのテキストファイル「JE_sample02.txt」を読み込みます。



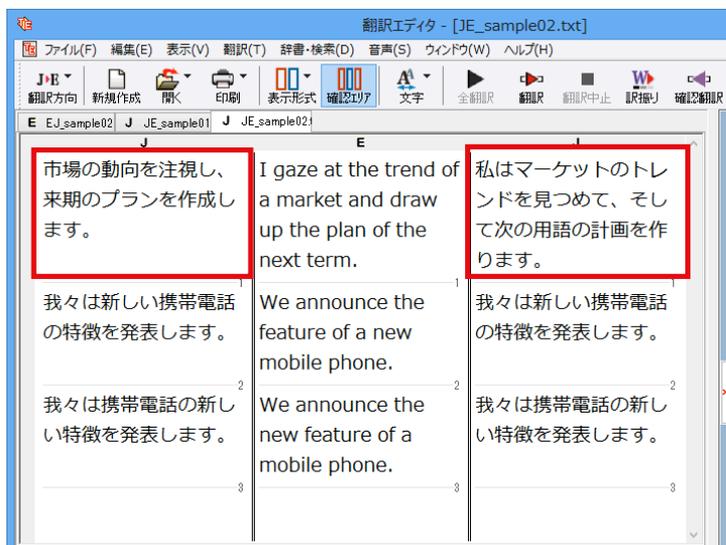
口語調の文体ではないので、会話モードをオフにします。

[翻訳] メニュー [会話翻訳モード] をオフ (チェックされていない状態) にします。



[全翻訳] ボタンをクリックします。

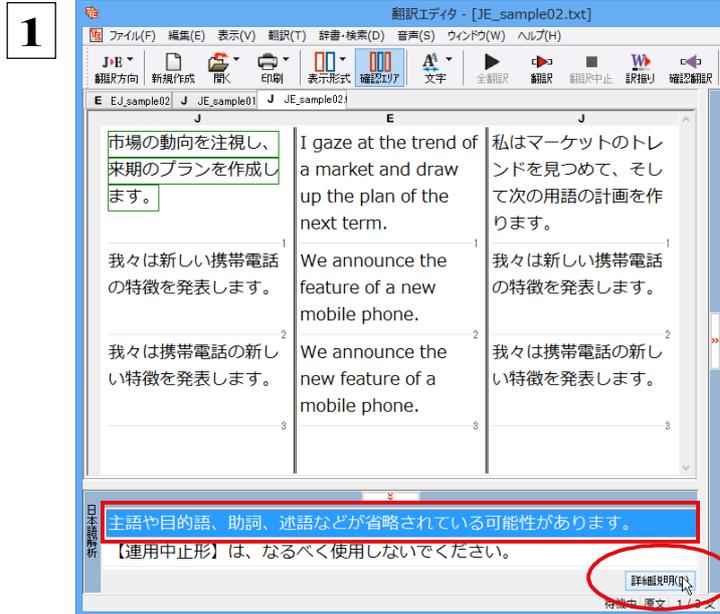
訳文が表示されます。



1 文目の原文と確認翻訳を比較します。不自然な主語が補われ、「そして」で単純に後半とつながっていて、あまり自然な文章とは言えません。どうやら原文に問題がありそうです。

[日本語解析] を参照する.....

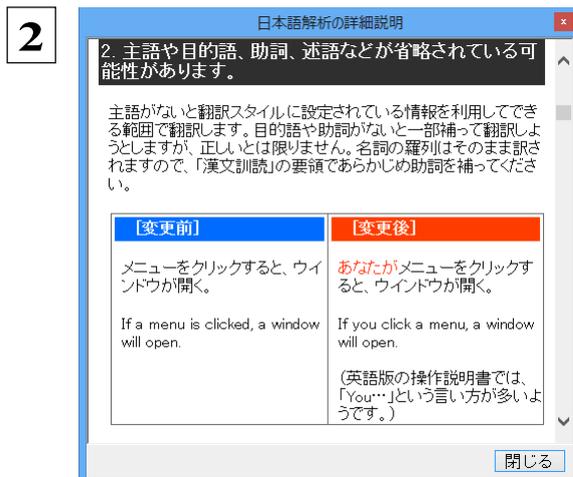
[日本語解析] を参照しながら、原文を修正してみます。



1文目にキャレットを置いてみましょう。

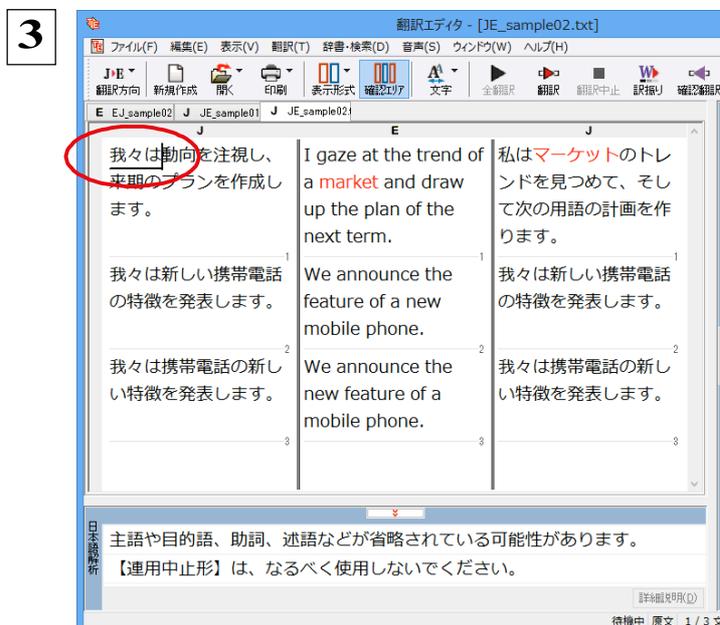
[日本語解析] に2つの情報が表示されます。まず、1つ目の情報をクリックして、[詳細説明] をクリックします。

[日本語解析の詳細説明] ウィンドウが表示され、1つ目の内容が詳しく表示されます。



詳細情報を読み、原文を検討します。主語が省略されていることに問題がありそうです。

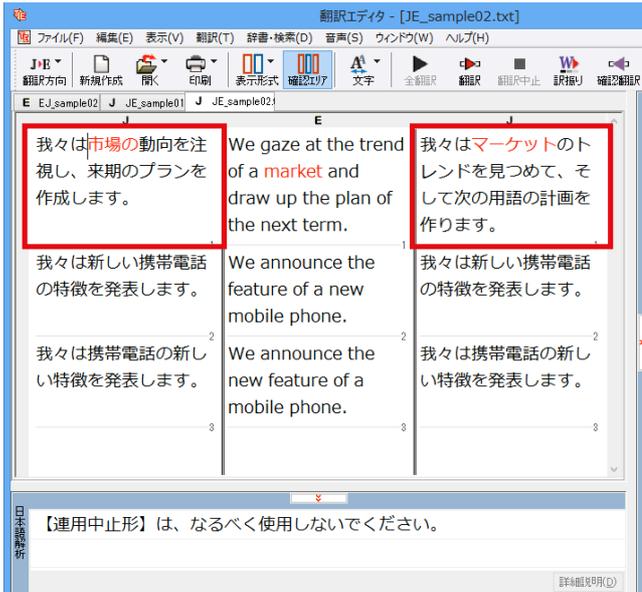
情報を読み終わったら [閉じる] ボタンをクリックします。



主語として「我々は」を入力します。

再翻訳が実行され、翻訳結果が表示されます。

また、【日本語解析】の1つ目が消えます。

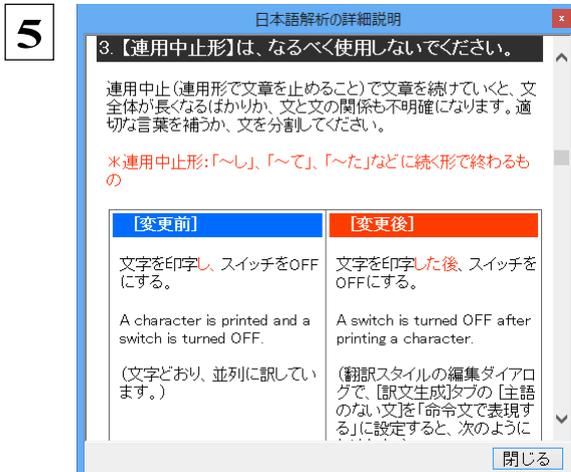


再度【確認翻訳】を検査すると、不自然な主語が解消され、最初より整った文になっています。



続いて、もう1つの【日本語解析】の情報を検討します。残った行をクリックして、【詳細説明】をクリックします。

【日本語解析の詳細説明】ウィンドウが表示され、内容が詳しく表示されます。

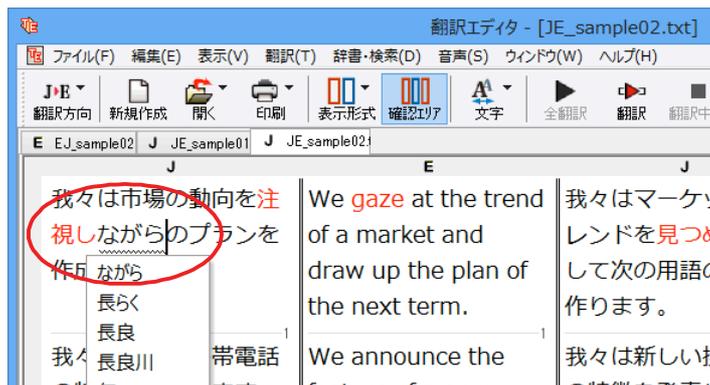


詳細情報を読み、原文を検討します。

「…注視し」と連用中止形になっていることに問題がありそうです。

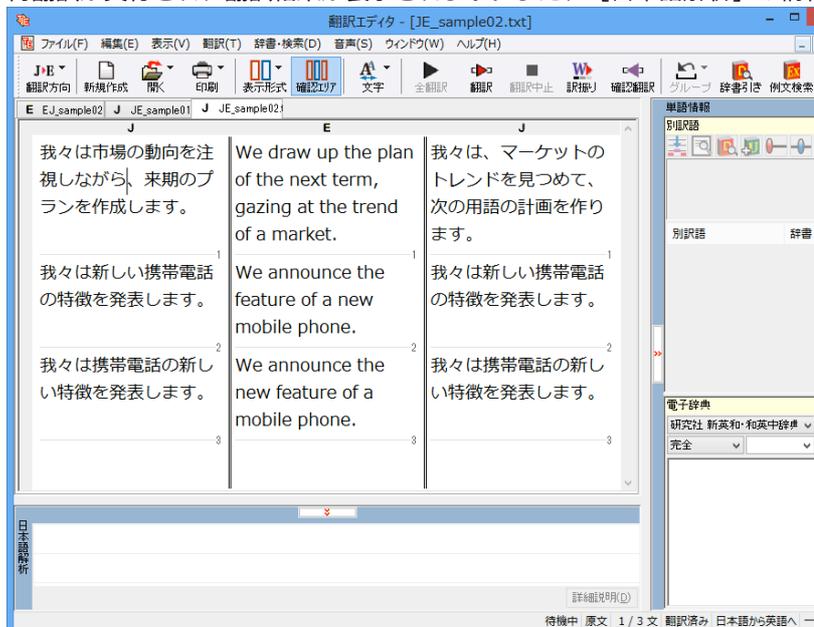
情報を読み終わったら【閉じる】ボタンをクリックします。

【日本語解析の詳細説明】ウィンドウが終了します。



「…注視し」を修正します。ここでは、「注視しながら」に変更します。

再翻訳が実行され、翻訳結果が表示されます。また、[日本語解析]の情報が消えます。

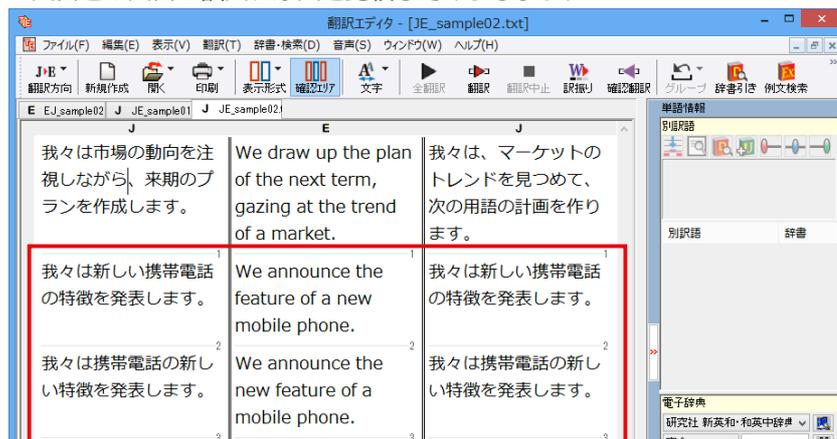


再度[確認翻訳]を検討すると、今まで並列に訳されていた文の関係が、より明確になっています。

修飾語の位置を変えて翻訳する

修飾語の位置によって英訳が変わります。正しい訳を得るためには、できるだけ修飾される語の近くに置いてください。

2文目と3文目の訳文、原文を比較してみましょう。



次のように翻訳されています。

我々は新しい携帯電話の特徴を発表します。

We announce the feature of a new mobile phone.

我々は携帯電話の新しい特徴を発表します。

We announce the new feature of a mobile phone.

これらを検討すると、前者は"新しい"が"携帯電話"の修飾語として翻訳され、後者は"新しい"が"機能"の修飾語として翻訳されていることがわかります。

このように、修飾語の位置に注意して、和文を作成してください。



和文作成のヒント

●1文をできるだけ短くする。

わかりやすく正確な英文を作成するためには、1文を50文字以下に抑えることをお勧めします。複数の文に分けて翻訳してから、後でつなげる等、工夫してください。

●主語や目的語、助詞、述語等を省略しない。

●次のような表現はできるだけ直す。

“～という”、“～のようなもの”等は削除して、明確な表現にする。

“～を行う”、“～をする”は、“～する”にならないか工夫する。

●漢字での表記が自然なものはできるだけ漢字で書く。

「ここではきものをぬいでください。」のように複数の意味を持つ文は、漢字を使い分けることによって区別できます。また、むやみに平仮名で書くと、未知語(翻訳辞書に登録されていない語)になり、翻訳に失敗してしまいます。漢字での表記が自然なものは漢字を使ってください。助詞、助動詞などは仮名表記です。

●体言止め(名詞・代名詞で終わる文章)にしない。

サ変名詞で終わっている文章を日英翻訳プログラムがサ変動詞にして訳すことがあります。このために翻訳に失敗する場合があります。箇条書きの文章に体言止めがよく見られますので、どう訳したいかを考えて日本語を直してください。

●口語文、感情表現、慣用句は避ける。

口語文や感情表現は種類が多く、様々な表現があるので、翻訳ソフトでは十分な対応ができません。また、慣用句は文字どおりの意味と含蓄された意味の二つを持つ場合もあります。入力文を書き直すか、ユーザ辞書に適切な品詞で登録することで対応してください。

ユーザ辞書を使う

人名や地名、商品名等、システム辞書に登録されていない語句があると、訳文に日本語が残り、使われている漢字の意味で翻訳されてしまう場合があります。このような場合は、その語句をユーザ辞書に登録してください。

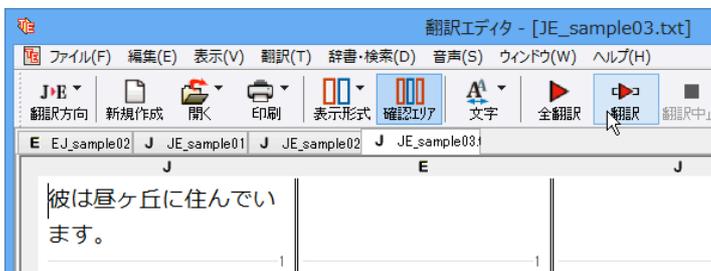


ユーザ辞書は、英日のときと同様に、翻訳スタイルを設定するダイアログボックスで最大5つまでロードしておくことができます。ここでは、デフォルトのユーザ辞書「ユーザ辞書(標準)」に語句を登録します。

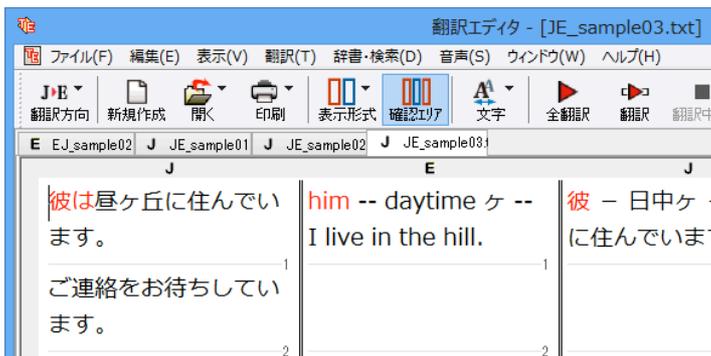
辞書にない語句を含む和文を翻訳する

「JE_sample03.txt」は、コリヤ英和！一発翻訳 2014(マルチリンガル)をインストールしたフォルダの[Sample]フォルダにあります。「テキストファイルを読み込む」と同様の方法で、サンプルのテキストファイル「JE_sample03.txt」を読み込みます。

1



1文目が翻訳されます。



1文目の原文「彼は昼ヶ丘に住んでいます。」にポインタをおき、【翻訳】ボタンをクリックします。

“昼ヶ丘”という地名が登録されていないため、意味を成さない英文になってしまいました。そこで、“昼ヶ丘”をユーザ辞書に登録してみましょう。

ユーザ辞書に登録する.....

ユーザ辞書への登録方法は、英語から翻訳する場合と同様、[簡単ユーザ辞書登録]と[ユーザ辞書に登録]の二種類があります。ここでは、[ユーザ辞書に登録]を使う方法を説明します。

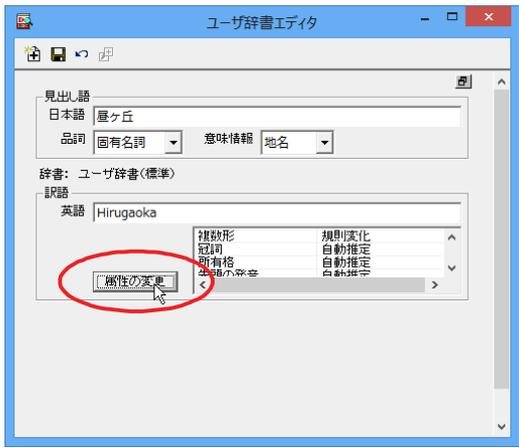
1



和文の"昼ヶ丘"をマウスドラッグで選択し、[辞書・検索]メニューの[ユーザ辞書に登録]で登録先のユーザ辞書（この例では「ユーザ辞書（標準）」）を選択します。

ユーザ辞書エディタが起動し、[ユーザ辞書エディタ]ウィンドウが表示されます。

2



このウィンドウで新しい単語をユーザ辞書に登録できます。すでに「昼ヶ丘」が[見出し語]フィールドの[日本語]入力ボックスに入力されています。ここでは、次のように設定します。

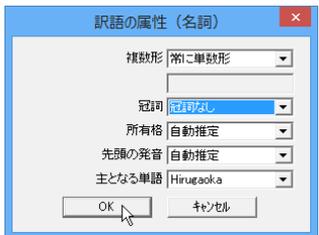
- [見出し語] - [品詞] : 「固有名詞」を選択
- [見出し語] - [意味情報] : 「地名」を選択
- [訳語] - [英語] : 「Hirugaoka」を入力

訳語の属性も編集します。[属性の変更]ボタンをクリックします。

[訳語の属性 (名詞)] ダイアログボックスが開きます。

ヒント [ユーザ辞書エディタ] ウィンドウ属性欄に表示される項目は、選択した品詞によって変わります。各項目の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

3



地名を登録するので、[複数形]で「常に単数形」、[冠詞]で「冠詞なし」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

[ユーザ辞書エディタ] ウィンドウに戻ります。

4



[エン트리保存]ボタンをクリックします。これで"Hirugaoka"の登録が終了します。

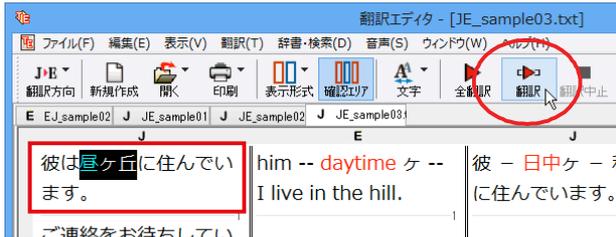
5



[閉じる]ボタンをクリックします。これでユーザ辞書エディタが閉じます。

再翻訳する

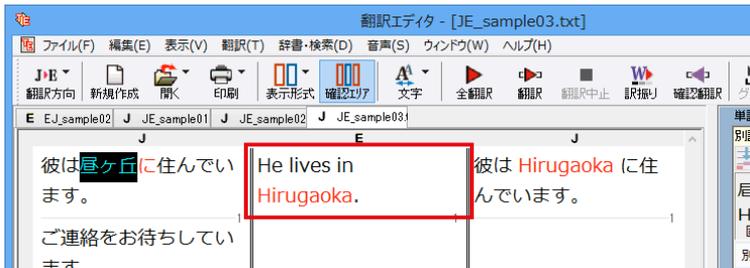
1



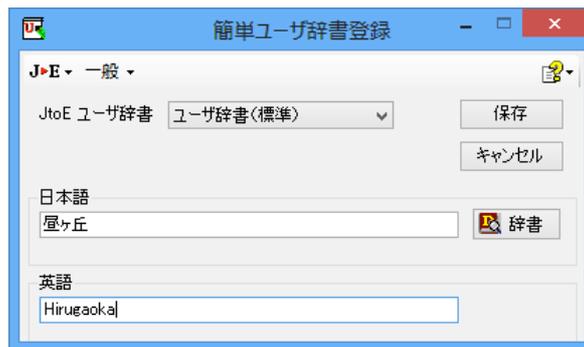
1文目の原文にポインタをおき、[翻訳] ボタンをクリックして、再翻訳してみます。

2

再翻訳され、以前の訳文が新しい英訳に入れ替わります。"昼ヶ丘"が"Hirugaoka"と訳されます。



- キャレットを合わせていないとき、ユーザ辞書が出典元の語句は、青字で表示されます。
- [辞書・検索] メニューの [簡単ユーザ辞書登録] では、訳語を入力するだけで、単語を登録できます。

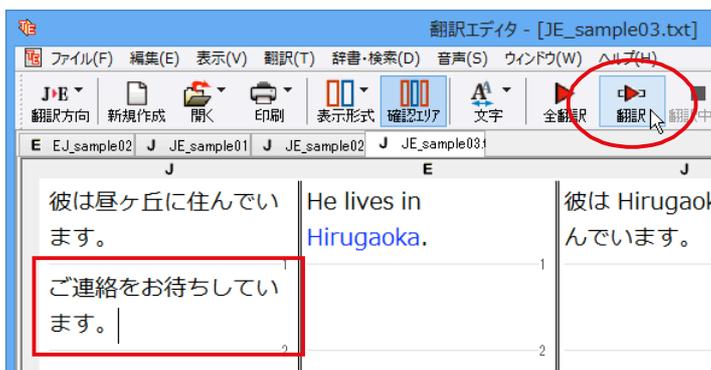


定型文を使う

手紙文やビジネス文書などでは、類似した文が繰り返され、決まり文句が使われることがあります。これらを事例文として登録しておくと、翻訳がスピードアップします。また、あいさつ文など、直訳すると意味が通らなくなってしまう文章も、正確に翻訳できるようになります。事例文を登録するためには、登録先の事例文ファイルを作成し、使用する翻訳スタイルにロードしておく必要があります。

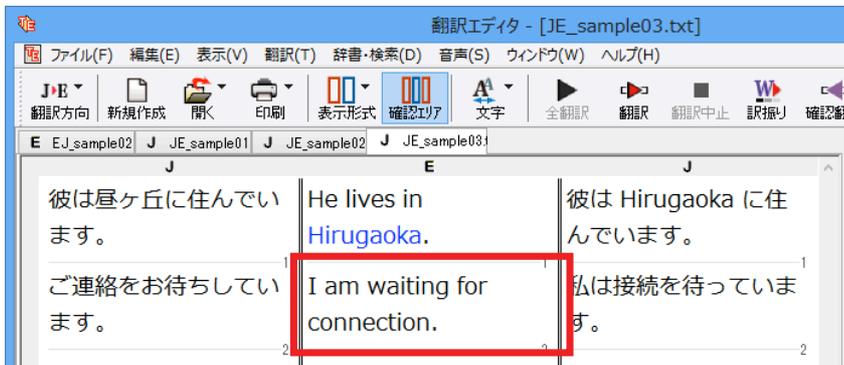
事例文を登録しないで翻訳してみる

1



2文目の原文「ご連絡をお待ちしています。」にポインタをおき、[翻訳] ボタンをクリックします。

翻訳結果が表示されます。



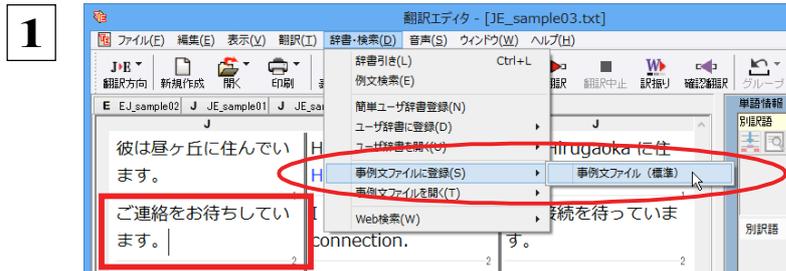
I am waiting for connection.

【確認翻訳】 私は関係を待っています。

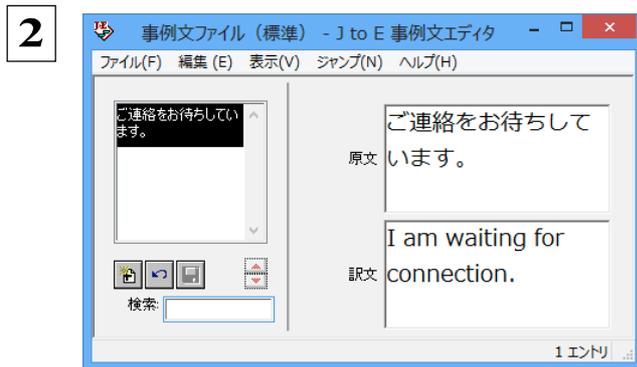
このように、文が直訳されてしまい、元の和文が持つニュアンスからは、かけ離れてしまいました。

事例文を登録する

"ご連絡をお待ちしています。"に相当する結び文として、英語では"I look forward to hearing from you soon."が使われます。この文を事例文として登録してみましょう。



2文目の原文「ご連絡をお待ちしています。」にポインタを置き、【辞書・検索】メニューの【事例文ファイルに登録】を選択し、サブメニューから登録先のファイルを選択します。

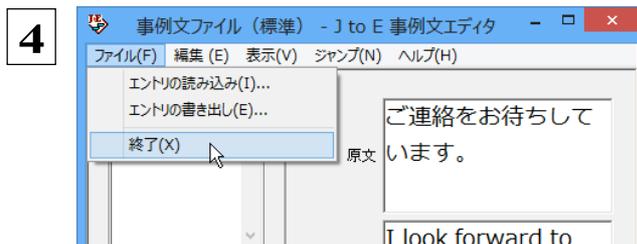


[J to E事例文エディタ] ダイアログボックスが表示されます。[原文]には、選択した「ご連絡をお待ちしています。」が、[訳文]には、翻訳済みの「I am waiting for connection.」が自動的に入力されます。



【訳文】に「I look forward to hearing from you soon.」と入力し、【エントリ保存】ボタン (📁) をクリックします。

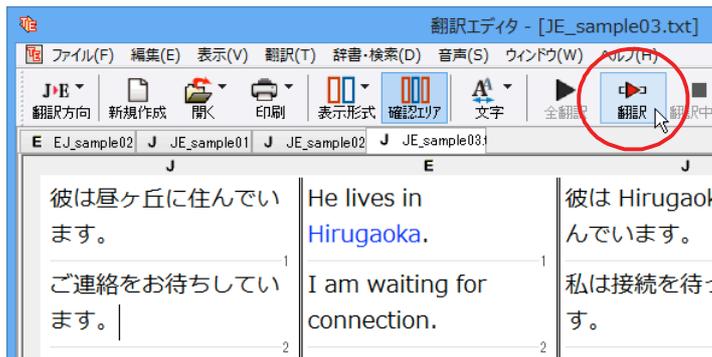
1つの事例文が登録できました。



【ファイル】メニューから【終了】を選択して [J to E事例文エディタ] ダイアログボックスを閉じます。

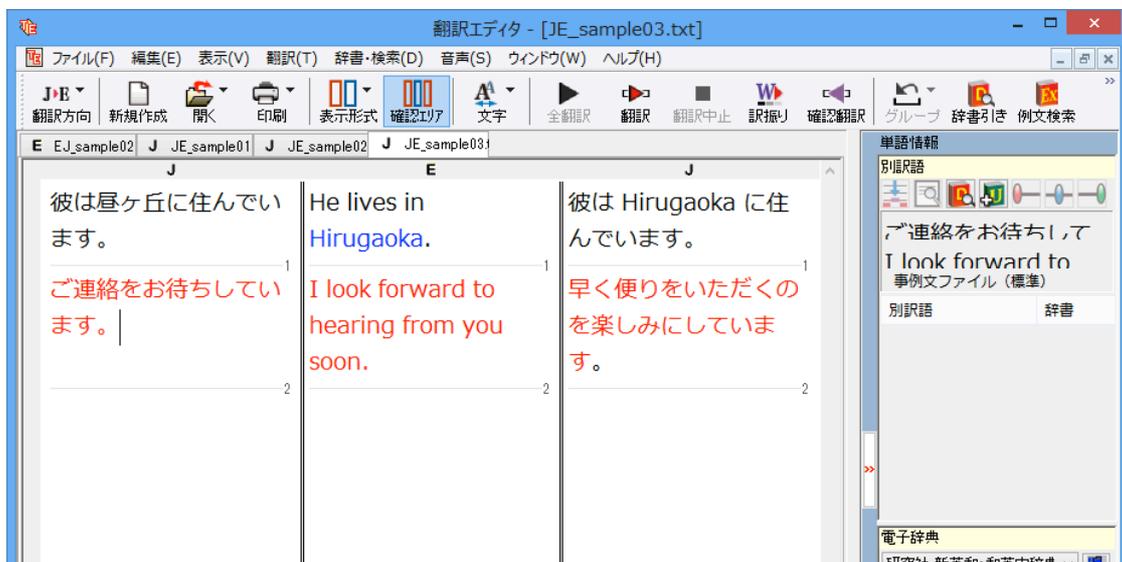
再翻訳する

1



2文目にポインタをおき、翻訳エディタの【翻訳】ボタンをクリックして、再翻訳します。

再翻訳され、以前の訳文が新しい英訳に入れ替わります。今度は事例文に登録した通りに翻訳されました。



このように、事例文を使うと、決まり文句やあいさつ文をより正しく翻訳することができます。

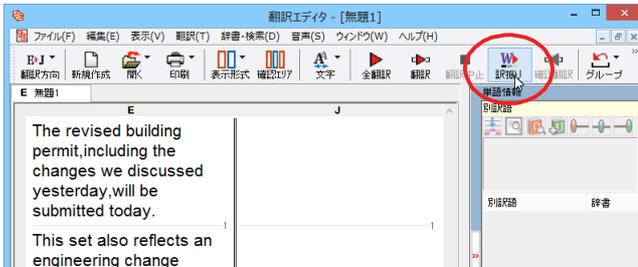
ヒント | ●事例文が適用された訳文は赤で表示されます。

5

訳振り機能を利用する（ロシア語以外）

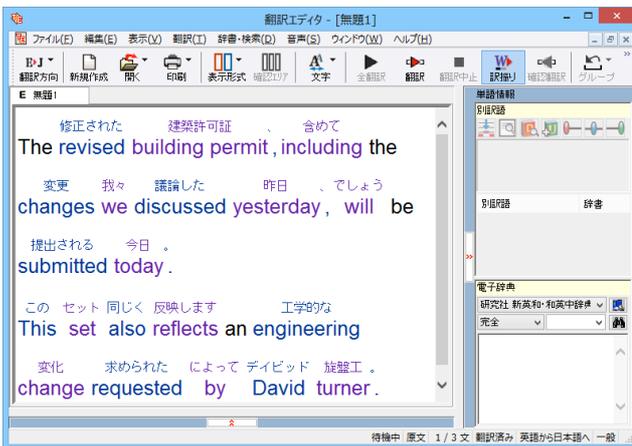
英日翻訳では、原文の主要単語に訳語を振って表示する訳振り機能を利用できます。単語の意味を確認しながら、自分で翻訳したい場合などに便利です。

1



原文を入力し、[訳振り] ボタンをクリックします。

全翻訳が行われ、文書ウィンドウの表示が訳振りモードになります。



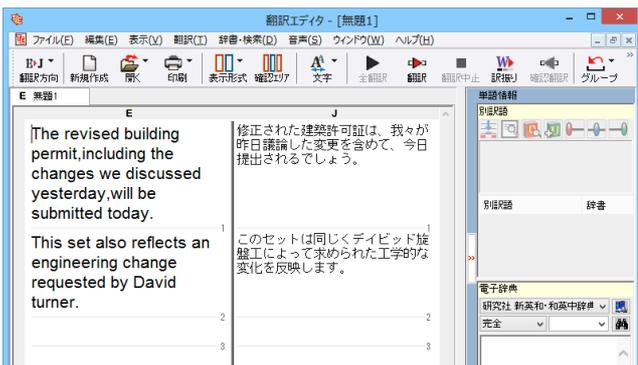
このように訳振りモードでは、冠詞や助動詞などの基本単語を除いた主要な単語の上に、訳語が表示されます。

2



訳文を確認したいときは、[訳振り] ボタンをクリックします。

訳振りモードが終了し、通常の原文ボックスと訳文ボックスの表示に戻ります。

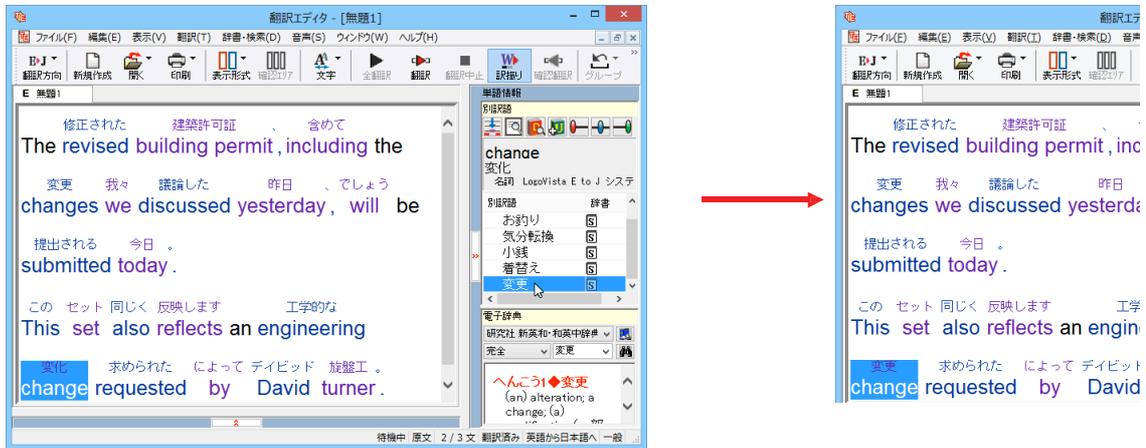


訳振りモード表示中の機能

訳振りモード表示中は、以下の機能を使用できます。

別訳語の選択

訳振りモード画面で単語を選択すると、単語情報バーに別訳語が表示されます。別訳語を選択すると、訳語が入れ替わります。

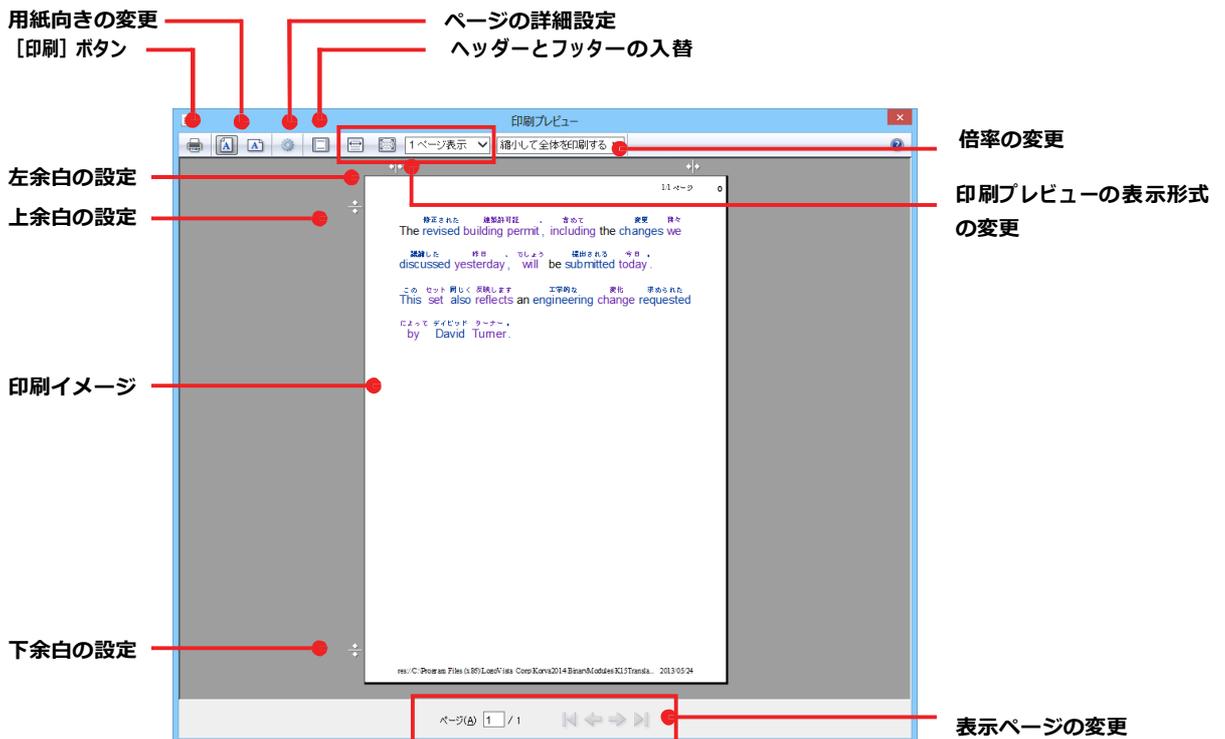


訳振り結果の印刷

訳振りモード画面からは、訳振り結果を印刷できます。印刷プレビュー画面では、余白や倍率の調整ができます。



印刷プレビューが表示されます。印刷プレビューでは、以下の機能が使えます。



2 設定が終わったら、[印刷] ボタンをクリックします。訳振り結果が印刷されます。

6

ひな形や例文を利用しながら作文するには

例文検索には、手紙やビジネス文書に利用できるひな形や例文が豊富に用意されています。これらを検索して翻訳エディタで編集中の文書に入力して利用できます。

翻訳エディタでひな形や例文を利用する方法は2種類あります。

- ・編集中の文書に文や段落の単位で例文を入力する方法
- ・ひな形を文書として開き必要な箇所を編集する方法（日英のみ）

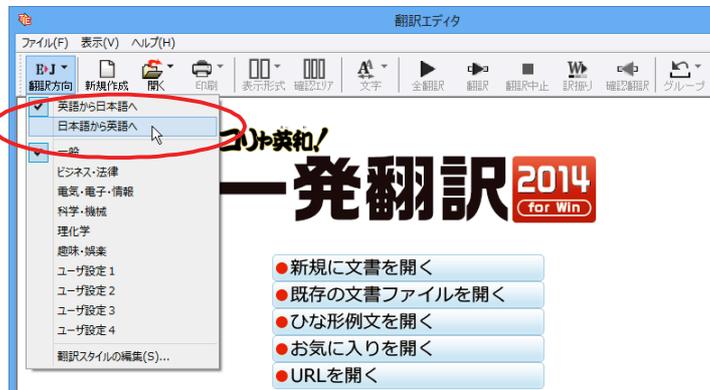


・マルチリンガル版では、日本語から他言語に翻訳するときのみ、それぞれ別の例文データベースを利用できます。

編集中の文書に文や段落の単位で例文を入力するには

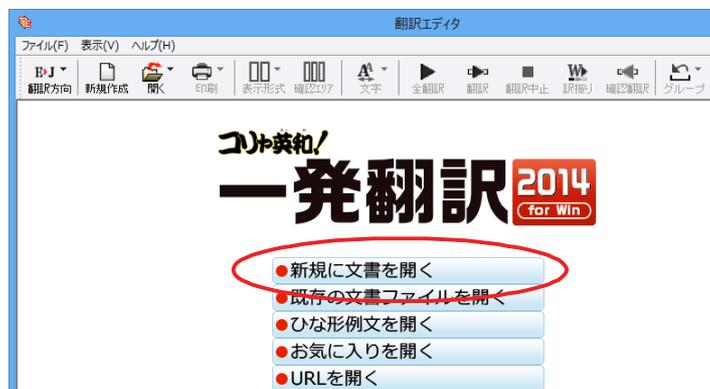
翻訳エディタで入力した語句をもとに例文を検索し、編集中の文書に入力する手順を説明します。

1



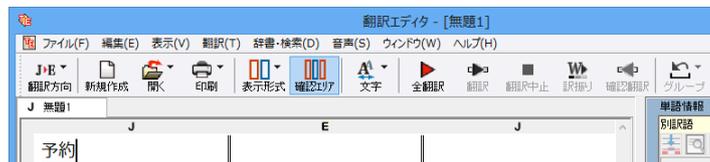
翻訳エディタを起動します。[翻訳方向] ボタンをクリックして、表示されるメニューから翻訳方向を選択します。ここでは、[日本語から英語へ] を選択します。

2



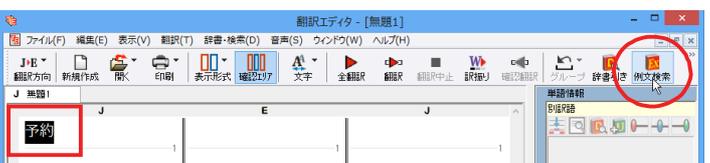
起動メニューから[新規に文書を開く]を選択します。

3



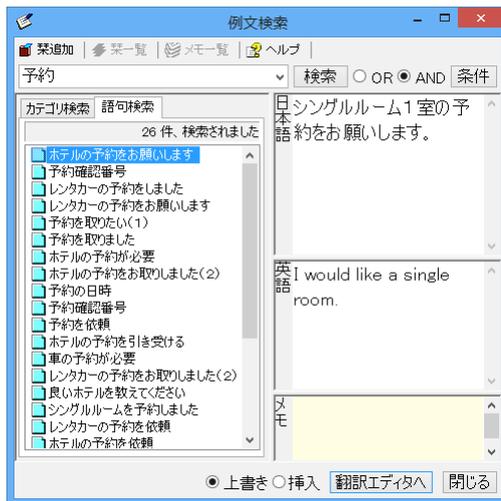
原文に「予約」と入力します。

4

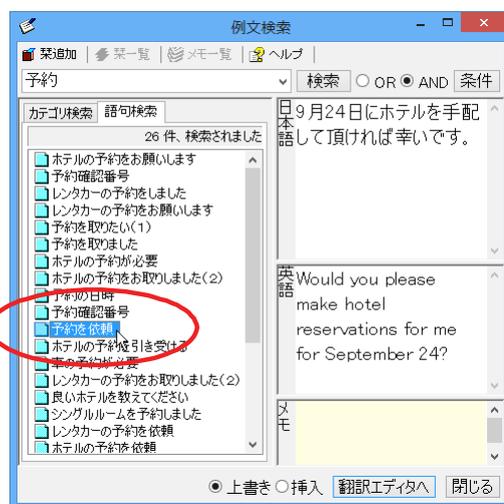


入力した語句をもとに、例文を検索してみます。「予約」を選択し、[例文検索] ボタンをクリックします。

[例文検索] ウィンドウが表示され、検索結果が表示されます。



5

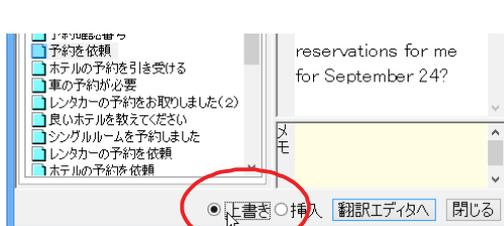


左のボックスにキーワードを含むテーマが一覧表示されます。

テーマをクリックすると、右のボックスに例文が表示され、内容を確認できます。

使いたい例文を表示します。

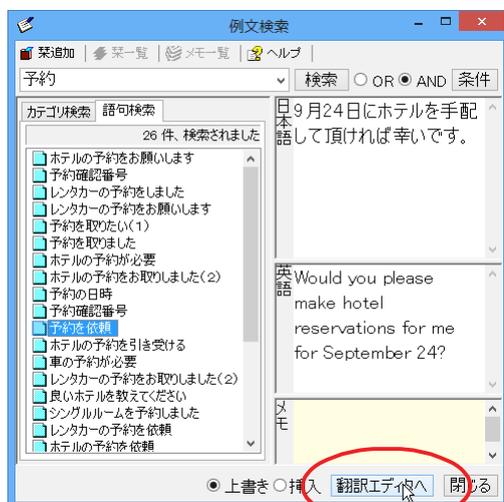
6



【上書き】【挿入】いずれかのラジオボタンをクリックして、入力方法を選択します。

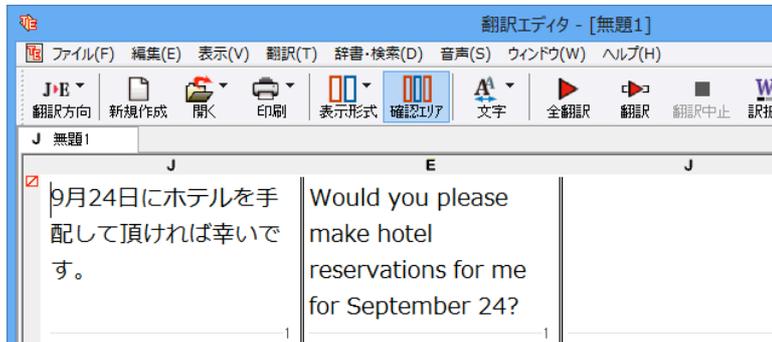
【上書き】を選択したときは、元の文書に上書きされます。【挿入】を選択したときは、ポインタがある文の1つ前に例文が挿入されます。ここでは上書きを選択します。

7



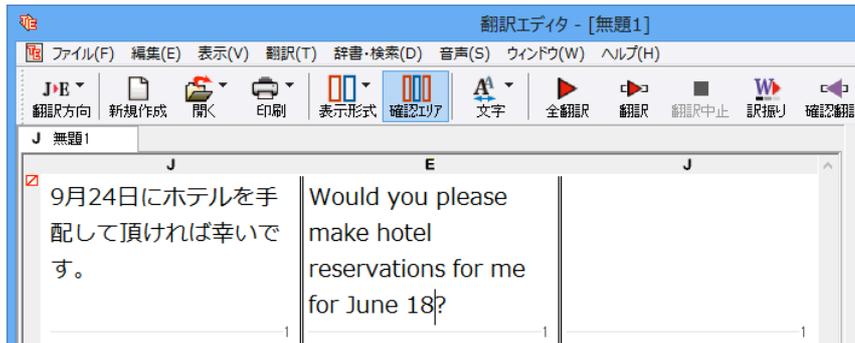
【翻訳エディタへ】ボタンをクリックします。

例文の日本語が原文ボックスに、英語が訳文ボックスに入力されます。



8

訳文ボックスで必要な箇所を編集して文を仕上げます。なお、入力した例文は手入力で編集できますが、再翻訳はできません。



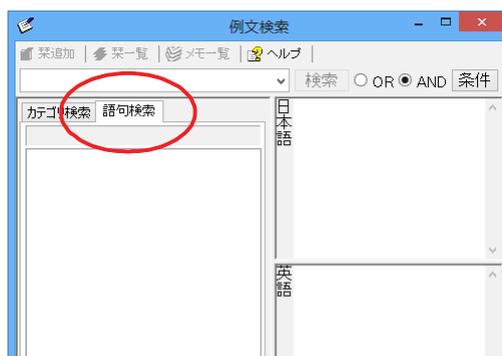
翻訳方向で「英語から日本語へ」が選択されているときは、例文の英語が原文ボックスに、日本語が訳文ボックスに入力されます。

例文検索ウィンドウで例文を検索するには

翻訳エディタで語句を選択せずに「例文検索」ウィンドウを開き、直接例文を検索することもできます。検索方法は2つあります。1つはキーワードで検索していく「語句検索」です。もう1つは、カテゴリにしたがってツリー表示から検索していく「カテゴリ検索」です。

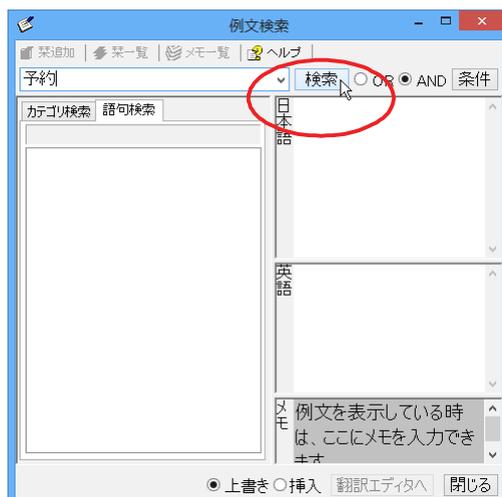
語句で検索する

1

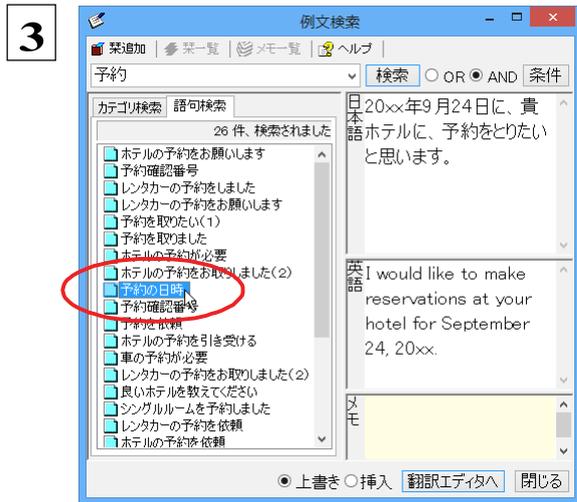


「例文検索」ウィンドウの「語句検索」タブを開きます。

2



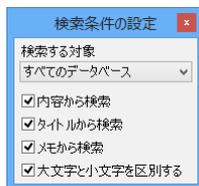
「検索文字列」入力ボックスにキーワードを入力して「検索」ボタンをクリックします。



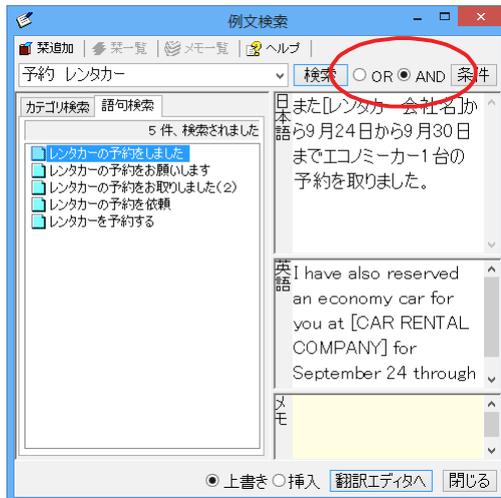
左のボックスにキーワードを含むテーマが一覧表示されます。使いたいテーマをクリックすると、右のボックスに例文が表示されます。このように内容を確認しながら、使いたいテーマを検索します。



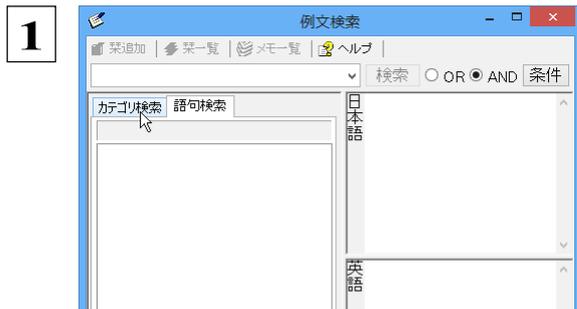
- [条件] ボタンをクリックすると、例文を検索する範囲を設定することができます。



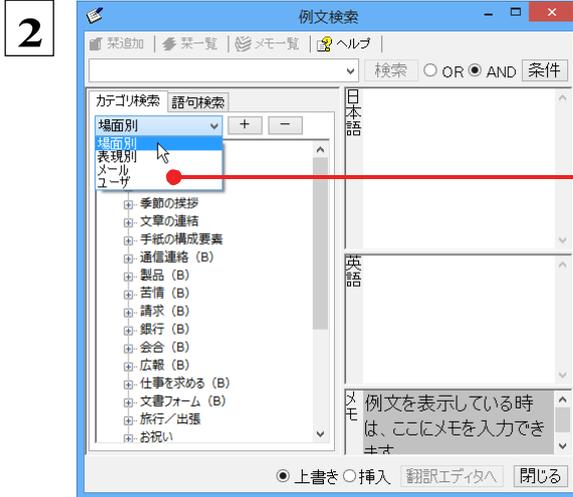
- スペースで区切りながら、複数の語句を検索条件として入力することもできます。[OR] が選択されているときは、入力した条件のいずれかに該当する例文が検索されます。[AND] が選択されているときは、入力したすべての条件に該当する例文が検索されます。



カテゴリで検索する

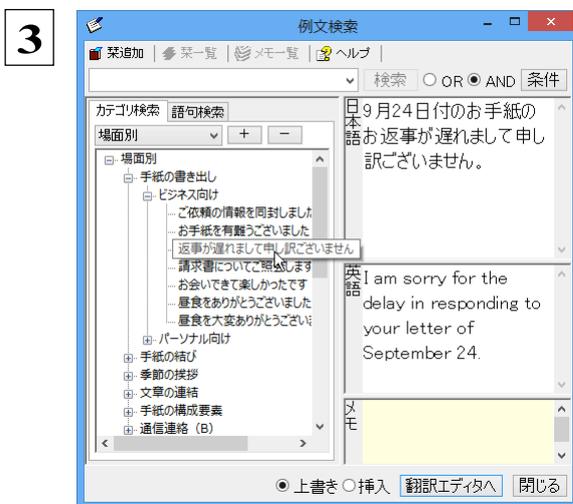


【例文検索】ウィンドウの【カテゴリ検索】タブを開きます。



[カテゴリ検索] タブの最上部のプルダウンメニューで、検索したいデータベースを選択します。上のボックスに、カテゴリと例文タイトルがツリー形式で表示されます。

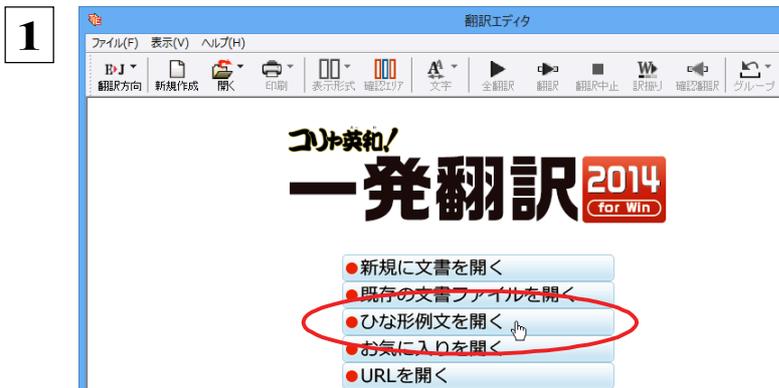
データベースを選択するプルダウンメニュー



ツリー表示から参照したいカテゴリをクリックで選択すると、そのカテゴリに分類されているタイトル一覧が表示されます。タイトルを選択すると、右のボックスに例文が表示されます。

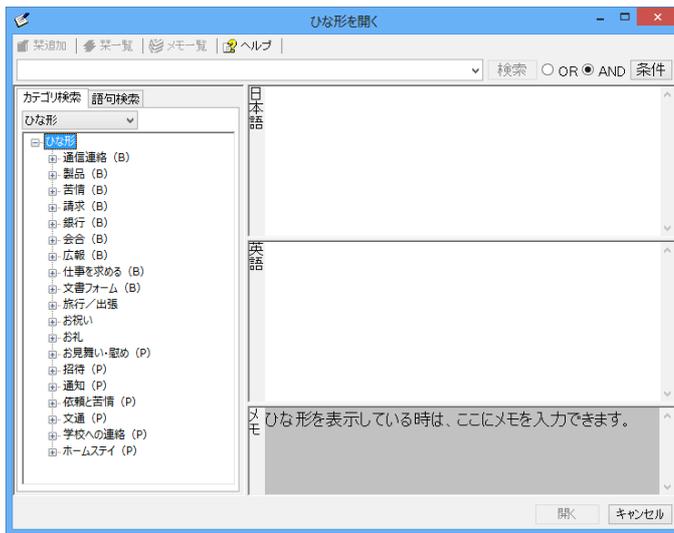
ひな形を文書として開き必要な箇所を修正する方法（日英のみ）

1つの文書としてのひな形を利用して必要な箇所を修正して目的の英文書を作成する手順を説明します。

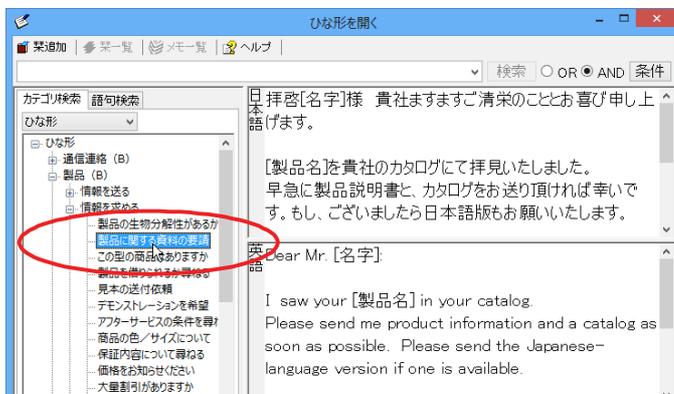


翻訳エディタを起動します。起動メニューから [ひな形例文を開く] を選択します。

[ひな形を開く] ウィンドウが表示されます。



2



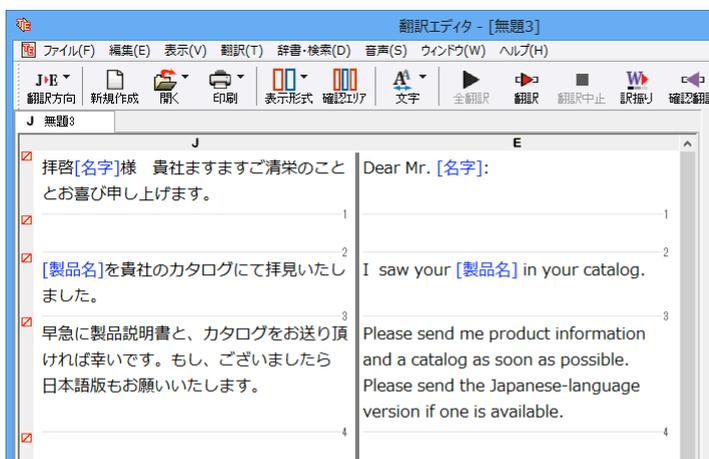
【ひな形を開く】ウィンドウで作成したい英文と似た例文を探して選択します。

3



【開く】を選択します。

【ひな形を開く】ウィンドウが閉じて、選択したひな形例文の文書が開きます。



例文には青い [] で囲まれたフィールドがある場合があります。これらに英語を埋め込むだけで目的の文書が完成させることができます。

7

WebページやPDFファイルを翻訳する

ネット上のWebページや、コンピュータに保存されているPDFファイルは、翻訳エディタのレイアウトビューでレイアウトを確認しながら翻訳できます。

レイアウトビューの機能

レイアウトビューは、翻訳エディタでネット上のWebページや、コンピュータに保存されているPDFファイルを開いたときに表示されます。レイアウト表示のほか、シンプルなWebブラウザ、PDFブラウザとしての機能も備えています。Webページから別のリンク先に移動したり、PDFの別のページを表示したりできます。

レイアウトビューの表示

／非表示の切り替え

Web ページから他のページに移動したときに有効になります。

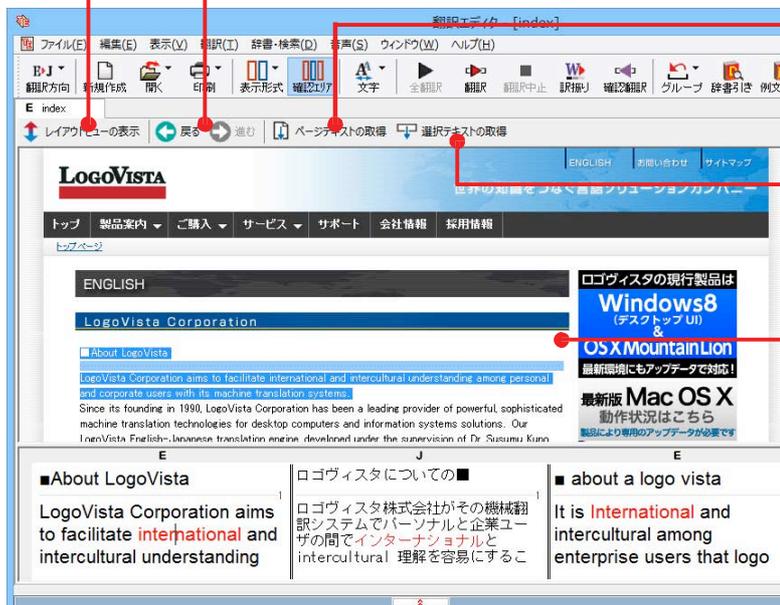
[戻る] をクリックすると、今までの表示履歴を 1 ページさかのぼります

[進む] をクリックすると、[戻る] でさかのぼった表示履歴を、再度、たどります。

表示中のページのテキストを取得して、原文ボックスに上書きします。

選択中のテキストを取得して、原文ボックスに追加します。

レイアウトビュー



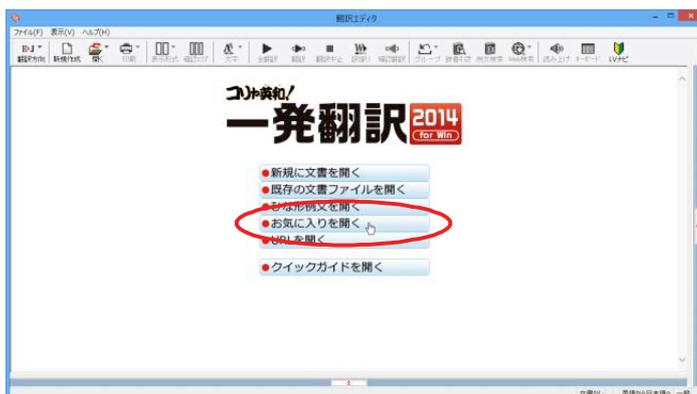
Webページを翻訳するには

翻訳エディタでWebページを開く方法は2種類あります。

お気に入りを開くには.....

Internet Explorerで登録したお気に入りページを、翻訳エディタから指定して開くことができます。

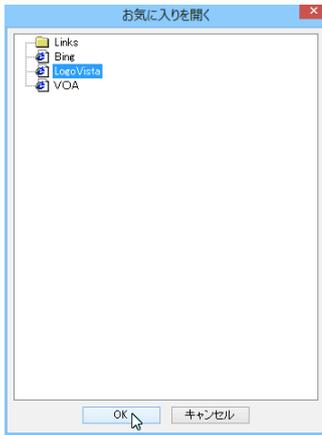
1



翻訳エディタを起動します。
起動メニューから「お気に入りを開く」ボタンをクリックします。

「お気に入りを開く」ダイアログが表示されます。

2



お気に入りの一覧から開きたいWebページを選択し [OK] ボタンをクリックします。

[文書プロパティの選択] ダイアログが表示されます。

3



翻訳方向、翻訳スタイルを設定し、[OK] ボタンをクリックします。選択したお気に入りのページが、レイアウトビューに表示されます。

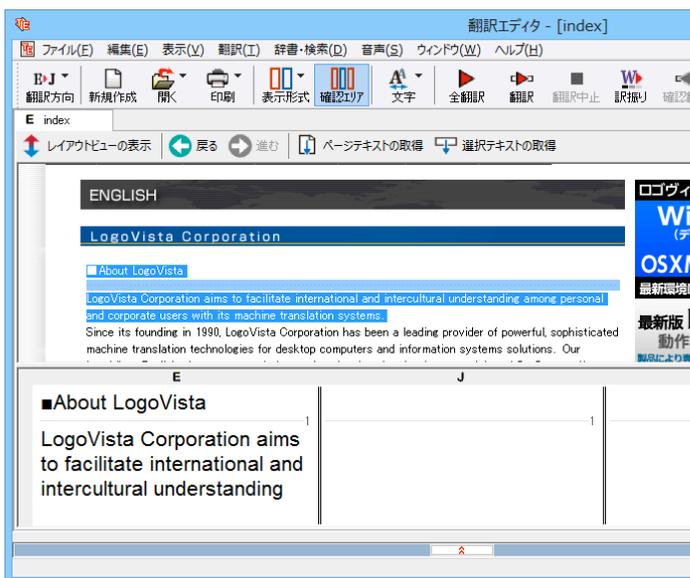
4



Webページのテキストを取得します。ここでは、[ページテキストの取得] ボタンをクリックします。

表示中のページのテキストが原文ボックスに上書きされます。

5



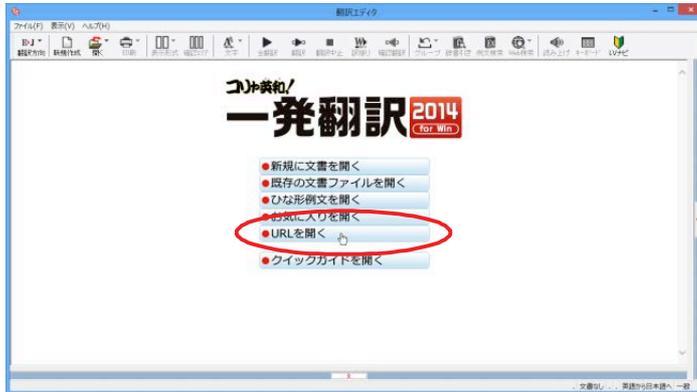
翻訳エディタの機能を使って、翻訳や訳文の編集を行います。

翻訳結果は [テキストの書き出し] で保存できます。

URLを指定してWebページを開くには

翻訳したいWebページのURLがわかっているときは、翻訳エディタで指定して開くことができます。URLはインターネット上のデータを指定するためのアドレスです。「www.logovista.co.jp」といった形式で記述されます。

1



翻訳エディタを起動します。
起動メニューから「URLを開く」ボタンをクリックします。

「URLを開く」ダイアログが表示されます。

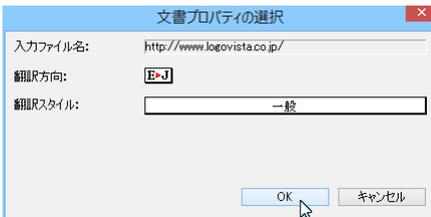
2



URLを入力し「OK」ボタンをクリックします。

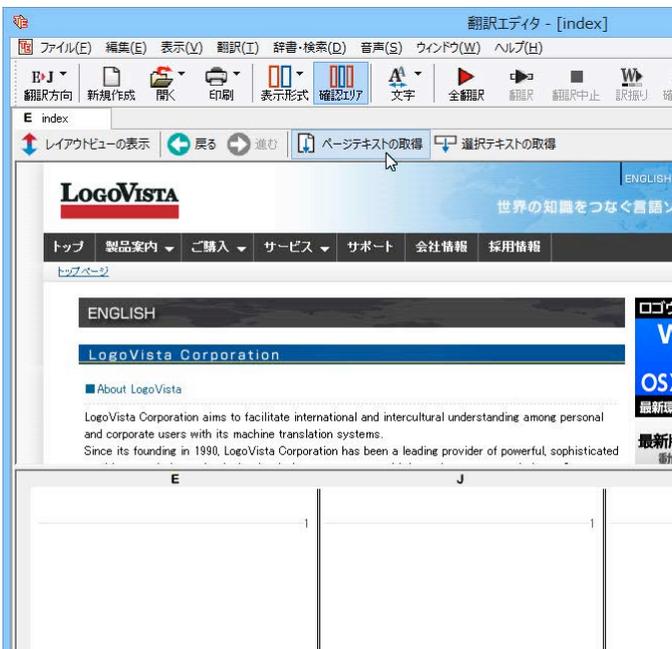
「文書プロパティの選択」ダイアログが表示されます。

3



翻訳方向、翻訳スタイルを設定し、「OK」ボタンをクリックします。入力URLのページが、レイアウトビューに表示されます。

4



以降の操作は、前項「お気に入りのWebページを開くには」の手順4以降と同じです。



● Internet Explorerで表示中のWebページは、Internet Explorerに表示されたコリヤ英和！2014ツールバーの機能を使って翻訳エディタで開くことができます。詳しくは第4章「ホームページを翻訳するには」をお読みください。

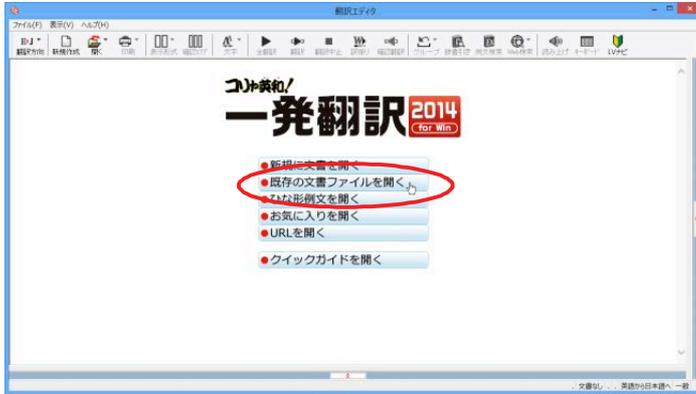
PDF ファイルを翻訳するには

PDFファイルも、Webページ同様にレイアウトビューを利用して翻訳できます。

PDFファイルを開くには

翻訳したいPDFファイルを、翻訳エディタから指定して開くことができます。

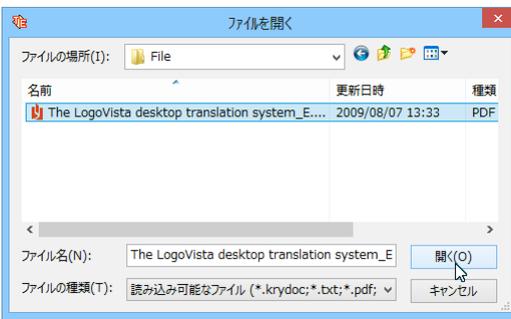
1



翻訳エディタを起動します。
起動メニューから「既存の文書ファイル開く」ボタンをクリックします。

「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

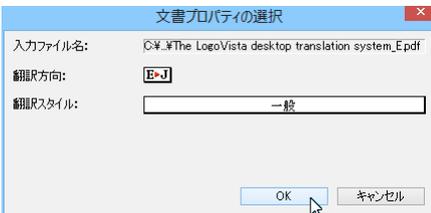
2



「ファイルを開く」ダイアログから翻訳するPDFファイルページを選択し「OK」ボタンをクリックします。

「文書プロパティの選択」ダイアログが表示されます。

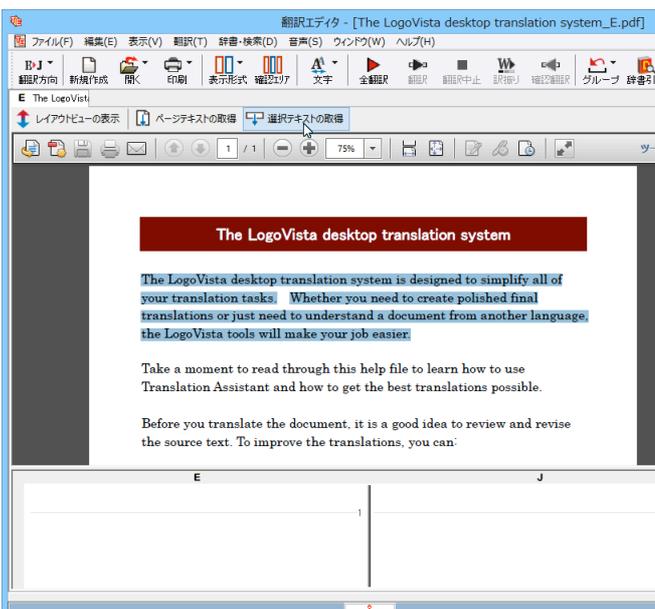
3



翻訳方向、翻訳スタイルを設定し、「OK」ボタンをクリックします。

PDFファイルがレイアウトビューに表示されます。

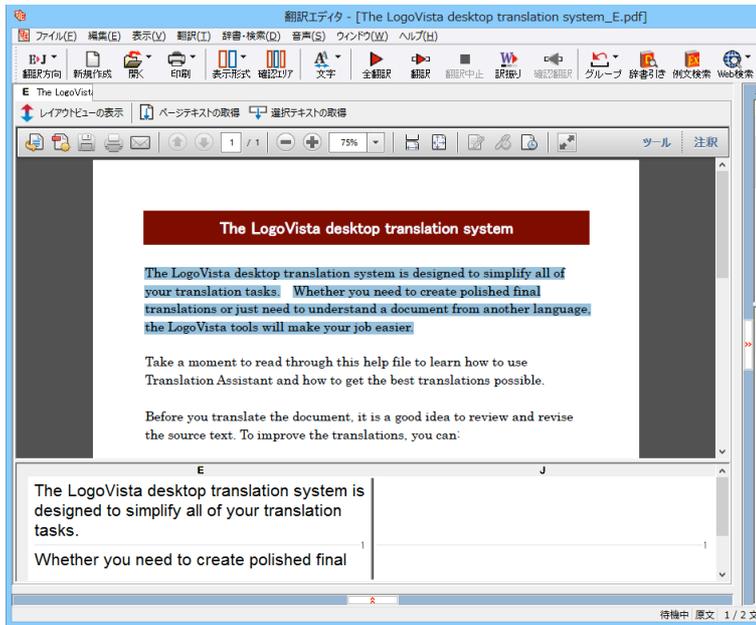
4



PDFファイルのテキストを取得します。ここでは、翻訳したい部分を選択し、「選択テキストの取得」ボタンをクリックします。

選択したテキストが原文ボックスに追加されます。

5



翻訳エディタの機能を使って、翻訳や訳文の編集を行います。



- 翻訳結果は翻訳エディタの文書ファイルへの保存、テキストファイルへの書き出しができます。文書ファイルにはレイアウトビューの内容は含まれません。

Chapter 4

ホームページを翻訳するには

1

Internet Explorer でホームページを翻訳するには

コリヤ英和！一発翻訳をインストールする前に Internet Explorer 10.0 / 9.0 / 8.0 / 7.0 / がインストールされていた場合、コリヤ英和！ 2014 ツールバーが自動的に組み込まれます。ここでは、Internet Explorer 10.0 に 組み込まれた翻訳機能や翻訳方法を紹介します。

注意！

プロバイダなどによりカスタマイズされた Internet Explorer は使用できないことがあります。必ず、カスタマイズされていない Internet Explorer をお使いください。

Internet Explorer に組み込まれた翻訳機能について

翻訳機能が組み込まれた Internet Explorer 10.0 / 9.0 / 8.0 / 7.0 には、コリヤ英和！ 2014 ツールバーが表示されます。



コリヤ英和！ 2014 ツールバー

注意！

ツールバーが表示されていないときは、次の方法でコリヤ英和！ 2014 ツールバーを表示させてください。

- ① Internet Explorer 10.0 / 9.0 / 8.0 / 7.0 をお使いの場合は、[Alt] キーを押してメニューバーを表示させます。(Internet Explorer 6.0 では必要ありません。)
- ② [表示] メニュー → [ツールバー] → [コリヤ英和！ 2014 ツールバー] の順に選択して、[コリヤ英和！ 2014 ツールバー] のチェックマークをオンにします。



この方法だけでは表示されない場合は、操作パネル → [サポート] ボタン → [IEアドインについて] を選択し、表示されるオンラインヘルプの手順に従って設定を行ってください。

コリヤ英和！2014 ツールバーの主な機能.....

コリヤ英和！2014 ツールバーには、主に次のような機能があります。

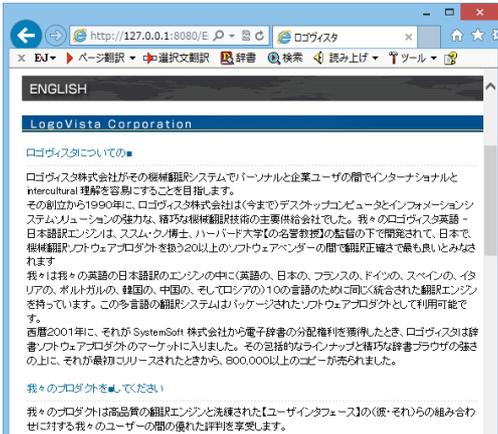
HTML 等で記述された Web ページの翻訳

Web ページを Internet Explorer 上で翻訳

【ページ翻訳】 > 【訳文のみ】 / 【上下対訳】 / 【ヘッダ・リンクタグのみ】

表示中の Web ページを翻訳し、結果を Internet Explorer 上で表示します。

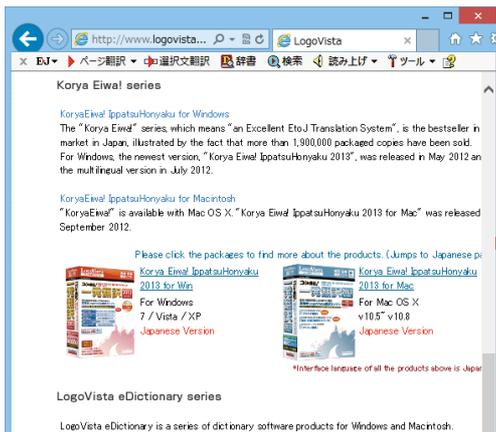
元のレイアウトが保たれるので、素早く Web ページを読み進めていきたいときに便利です。



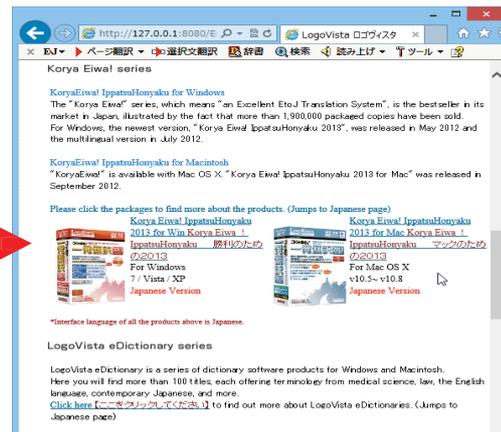
【訳文のみ】



【上下対訳】



【ヘッダ・リンクタグのみ】



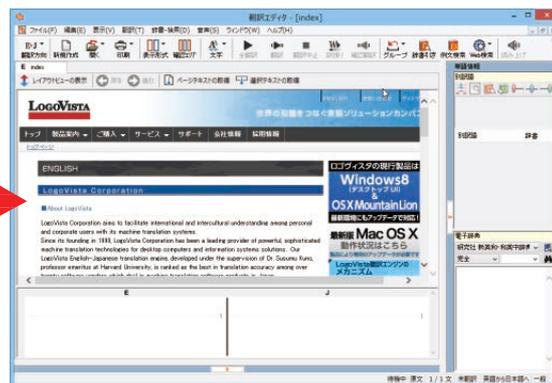
Web ページを翻訳エディタに転送して翻訳

【ページ翻訳】 > 【翻訳エディタで開く】 / 【選択文翻訳】

【翻訳エディタで開く】は、表示中の Web ページを翻訳エディタのレイアウトビューに転送して翻訳します。

【選択文翻訳】は、Internet Explorer 上で選択したテキスト部分を翻訳エディタで翻訳します。

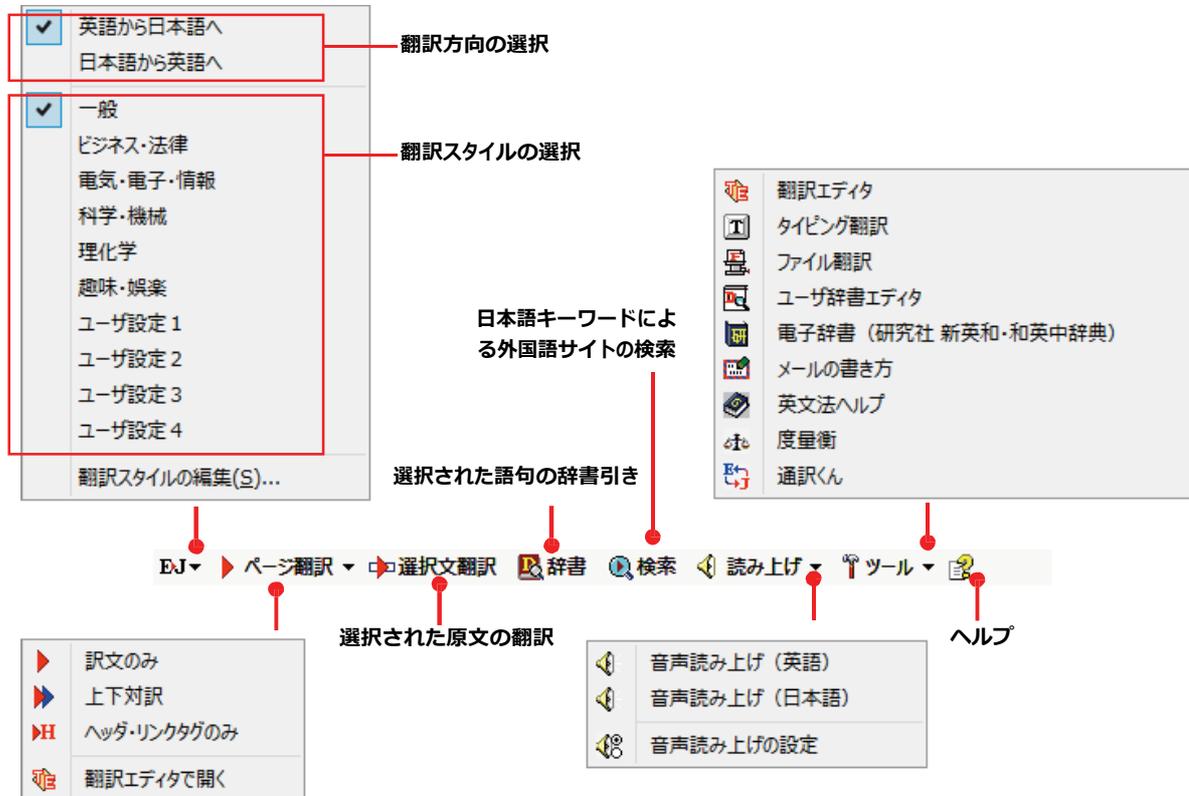
どちらも、より詳細に訳文を検討したいときに便利です。



上記の他、辞書引き、音声読み上げなどの機能が利用できます

コリヤ英和！2014 ツールバーの名称と機能

コリヤ英和！2014 ツールバーには、コマンドボタンが用意されています。ツールバー上のボタンをクリックすると、そのコマンドの機能が実行できます。ボタンの右に▼がある各ボタンにはプルダウンメニューがあります。プルダウンメニューは、それぞれのボタンをクリックすると開きます。プルダウンメニューを開いて、メニューにあるコマンドをクリックすると、そのコマンドを実行できます。



■Internet Explorer 10.0 のコリヤ英和！2014 ツールバー

翻訳方向と翻訳スタイルの選択

翻訳する方向および翻訳スタイルを切り替えるボタンです。

翻訳方向の選択	翻訳したい方向を切り替えることができます。
翻訳スタイルの選択	翻訳する原文の性質にあわせて、よりよい翻訳結果を得るために、使用する翻訳スタイルを切り替えることができます。翻訳スタイルには、あらかじめ「一般」、「ビジネス・法律」、「電気・電子・情報」、「科学・機械」、「理化学」、「趣味・娯楽」などが用意されています。ただし、製品パッケージにより異なります。
翻訳スタイルの編集	翻訳スタイルマネージャを起動します。翻訳スタイルを編集することができます。

ページ翻訳

Internet Explorer に表示されている Web ページ全体を翻訳したり、ページ全体を他の翻訳ツールに転送したりするときに使います。以下の翻訳方法や転送先を選べます。

訳文のみ	Web ページ上の原文をページごと翻訳し、訳文のみを表示します。
上下対訳	Web ページ上の原文をページごと翻訳し、原文と訳文を上下に表示します。
ヘッダ・リンクタグのみ	Web ページ上のヘッダとリンクタグだけを翻訳し、原文に続けて訳文を表示します。
翻訳エディタで開く	【翻訳ブラウザ】を起動し、表示されている Web ページをレイアウトビューに転送します。同時に、転送したページ全体のテキストが原文ボックスに入力されます。

選択文翻訳

Internet Explorer 上で選択したテキストを【翻訳エディタ】に転送して翻訳します。翻訳したい原文テキストを選択してこのボタンをクリックすると、【翻訳エディタ】が起動し、翻訳結果を表示します。

辞書

Internet Explorer 上で選択したテキストを辞書引きします。調べたい語句を選択してこのボタンをクリックすると、【辞書ビューフ】が開き、研究社 新英和・和英中辞典から辞書引きが行えます。コリヤ英和！一発翻訳 2014 で使われている翻訳用の辞書（システム辞書）やクイック辞書からも辞書引きが行えます。

検索

翻訳機能を使いながら、検索エンジンで Web ページを検索するときに使います。検索したい語句を選択してこのボタンをクリックすると、【サーチ翻訳】ダイアログが開き、指定されている検索エンジンで関連する Web ページを検索します。日本語の語句を選択したときは、その訳語がキーワードになります。また、検索結果は日本語に翻訳されます。

読み上げ

音声合成エンジンがインストールされているときに表示されます。音声による読み上げの実行と、音声読み上げの設定ができます。

注意！

● 音声がかえれないときは、Windows の [Volume Control] パネルの音量を確認してください。

ツール

コリヤ英和！一発翻訳 2014 で使用できる各種のツールを呼び出すことができます。

☞ 【ツール】ボタンに登録されている各ツールについては、「第 2 章 操作パネルの使い方」をご覧ください。

ヘルプ

オンラインヘルプを表示します。

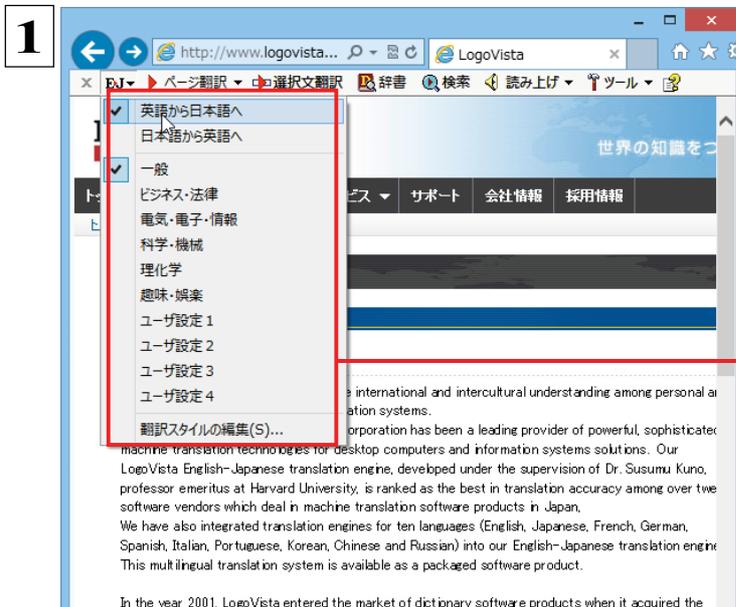
Web ページを Internet Explorer 上で翻訳する

HTML 等で記述された通常の Web ページは、Internet Explorer 上でレイアウトを保ったまま翻訳できます。また、お気に入り翻訳の機能を使えば、頻繁に閲覧するページが自動的に翻訳されるようになります。

ヒント | 以下は英日翻訳の例ですが、マルチリンガル版の場合は、その他の言語の翻訳も同様に行えます。

表示した Web ページを翻訳するときは

Internet Explorer 上に表示されている Web ページの翻訳には、[ページ翻訳ボタン] の [訳文のみ]、[上下対訳]、[ヘッダ・リンクタグのみ] のいずれかを使います。いずれも元のページのレイアウトやリンクを生かしながら、原文を翻訳結果に入れ替えて表示します。訳文のみを表示したい場合は [訳文のみ]、原文と訳文の両方を表示したい場合は [上下対訳]、タイトルやリンク部分だけを確認したい場合は [ヘッダ・リンクタグのみ] を選択します。ここでは、[上下対訳] の場合を例にとって説明します。



インターネットにアクセスし、翻訳したい Web ページを開きます。

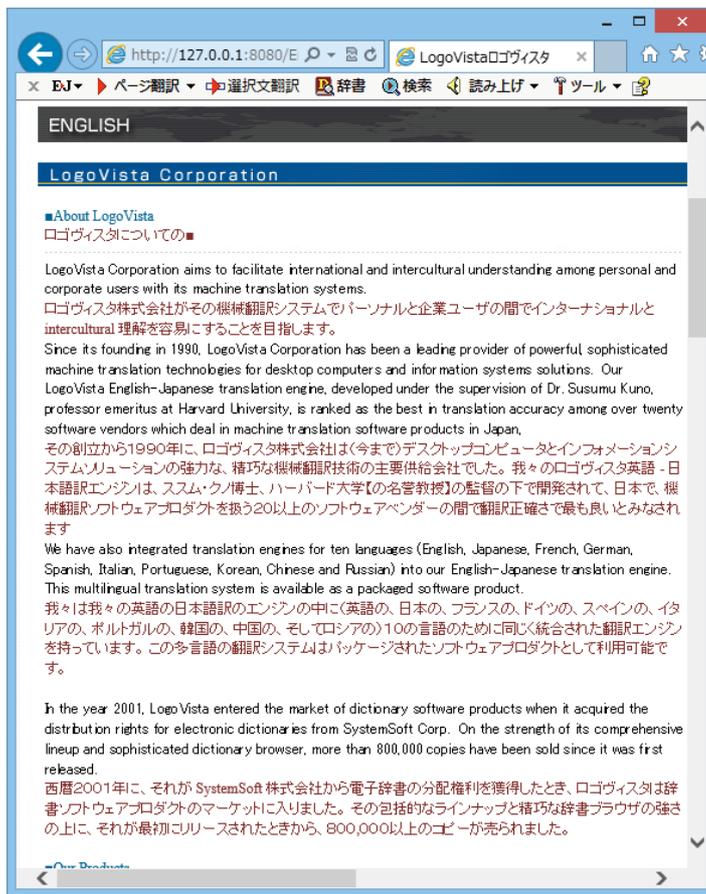
[翻訳方向の選択] ボタンをクリックして、表示されるメニューから翻訳方向を設定します。再度、[翻訳方向の選択] ボタンをクリックし、Web ページの内容に合わせて翻訳スタイルを選択します。この例では、[英語から日本語へ]、[一般] を選択します。

[翻訳方向と翻訳スタイルの選択] ボタン 翻訳するホームページに合わせて翻訳方向や翻訳スタイルを切り替えます。



[ページ翻訳] をクリックし、表示されるメニューから [訳文のみ]、[上下対訳]、[ヘッダ・リンクタグのみ] のいずれかを選択します。この例では、[上下対訳] を選択します。

翻訳が開始され、終了すると、原文と訳文が上下に並んで表示されます。

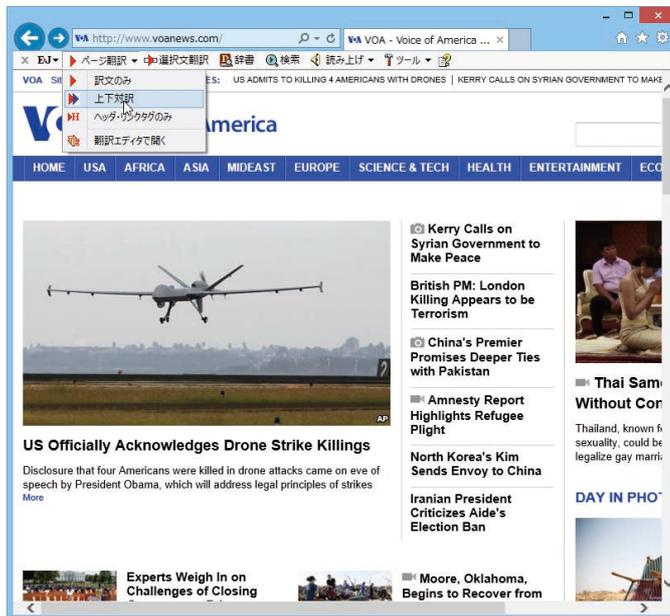


「ページ翻訳」ボタンでページ全体を翻訳する場合、ページの構造によっては、翻訳・表示できない場合があります。その場合は、「Web ページを翻訳エディタに転送して翻訳する」で紹介している「選択文翻訳」コマンドをご利用ください。

お気に入りを翻訳するには

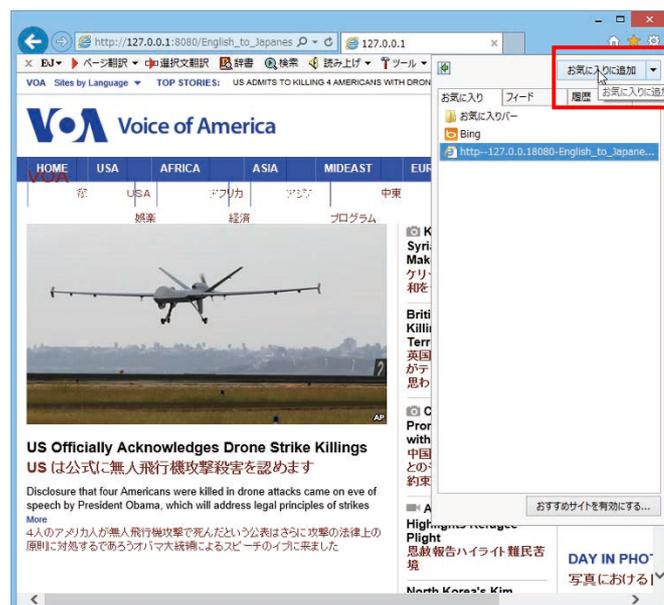
ニュースサイトなど、頻繁に翻訳して閲覧するページは、翻訳したページをお気に入りに追加しておく便利です。お気に入りを選択するたびに、自動的に翻訳が行われ、最新内容の翻訳結果が表示されるようになります。

1



登録するホームページを表示し、ツールバーの「ページ翻訳」からページ翻訳を実行します。「訳文のみ」「上下対訳」「ヘッダ・リンクタグのみ」のいずれでも構いません。

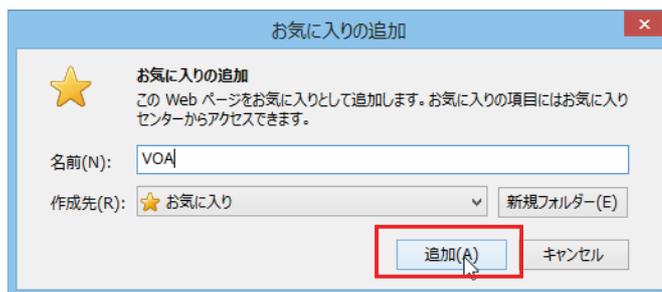
2



IEのお気に入りボタン、またはIE上を右クリックして開くコンテキストメニューから「お気に入りに追加」を選択し、翻訳されたページをお気に入りに追加します。

「お気に入りの追加」ダイアログが表示されます。

3



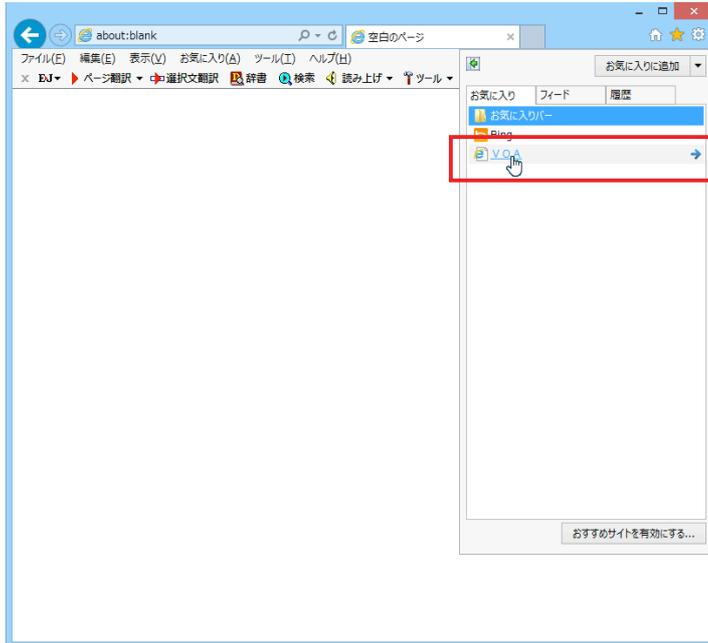
名前を入力し、作成先を選択して、「追加」ボタンをクリックします。

これでお気に入りへ登録されます。

お気に入り翻訳を実行する

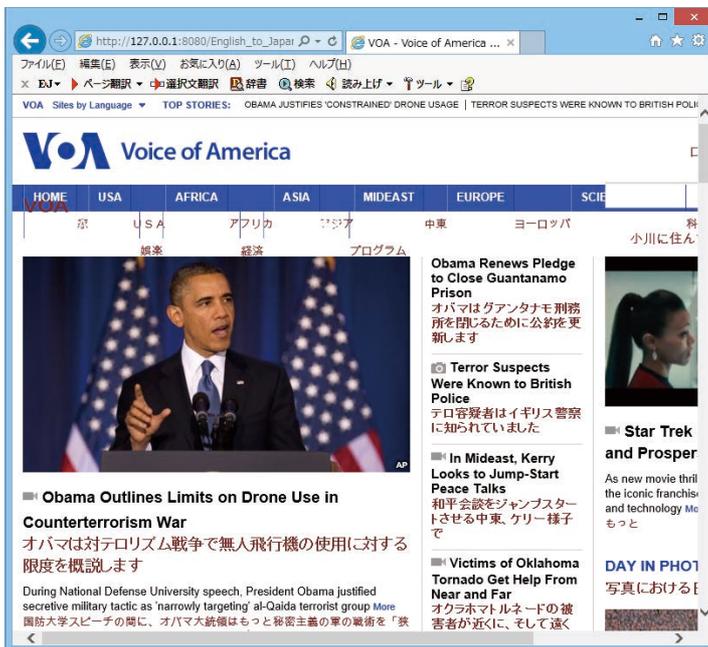
通常のお気に入りページの表示と同じように、お気に入りを選択するだけで最新内容の翻訳結果が表示されます。

1



お気に入りを選択します。

自動的に翻訳が行われ、最新内容の翻訳結果が表示されます。



翻訳方向や翻訳形式は、お気に入りに追加した時点のものが適用されます。

注意！

コリヤ英和！ ツールバーが表示されていない場合、お気に入り翻訳はできません。

Web ページを翻訳エディタに転送して翻訳するには

Internet Explorer で表示中の Web ページを翻訳して、より詳細に訳文を検討したいときは、翻訳エディタに転送します。ホームページに含まれるテキストを、対訳表示で一文一文検討しながら翻訳できます。より適切な訳文が得られるように、原文を編集することもできます。ページ全体を転送して、レイアウトを確認しながら翻訳する方法と、選択したテキストのみ転送する方法があります。

ページ全体を翻訳エディタに転送するときは

翻訳エディタでは、ホームページに含まれるテキストを、対訳表示で一文一文検討しながら翻訳できます。より適切な訳文が得られるように、原文を編集することもできます。



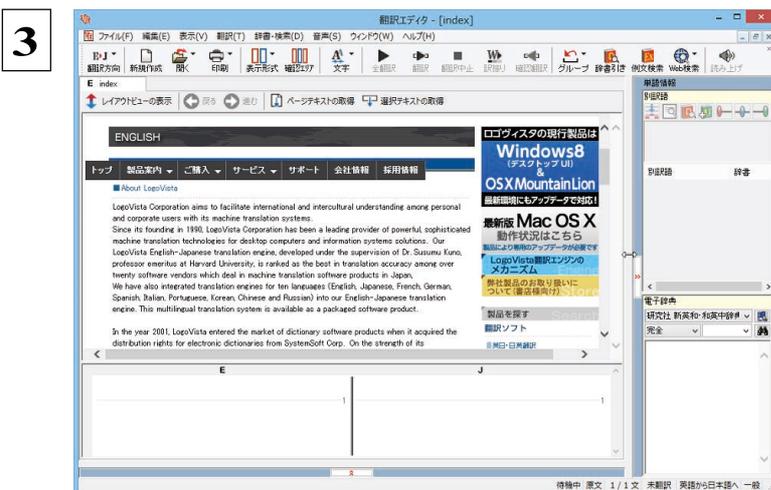
インターネットにアクセスし、翻訳エディタに転送したいページがあったら、[ページ翻訳] ボタンの [翻訳エディタで開く] を選択します。

[文書プロパティの選択] が表示されます。



翻訳方向、翻訳スタイルを設定し、[OK] ボタンをクリックします。

翻訳エディタが起動し、転送したページがレイアウトビューに表示されます。



翻訳エディタの機能を使いながら、翻訳や訳文の修正を行います。

☞ [翻訳エディタ] については、第3章「翻訳エディタで翻訳するには」をご覧ください。

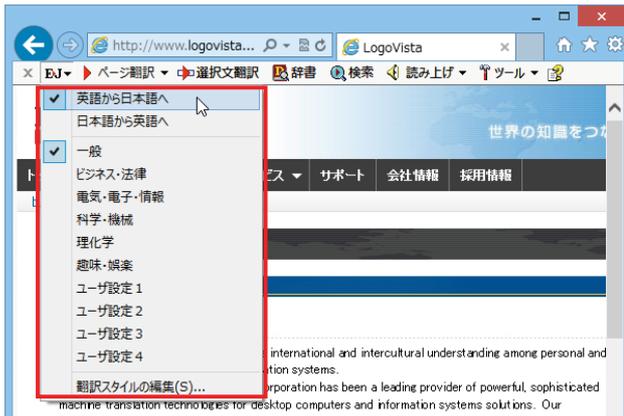
ヒント フレーム機能で画面が分割されている場合など、Web ページによっては Internet Explorer 上での表示中の部分とは別の部分が翻訳エディタのレイアウトビューに表示される場合があります。この場合は、レイアウトビュー内でリンク先を選択するなどの操作を行い、目的の部分を表示してください。

ヒント Web ページによっては、自動的にテキストが取得されないことがあります。このような場合は、レイアウトビュー内で翻訳したいテキストを選択して、「選択テキストの取得」をクリックしてください。

選択したテキストを翻訳するときは

ここでは、「選択文翻訳」で行う翻訳操作の例を紹介します。一部の文章だけを翻訳するときに便利です。

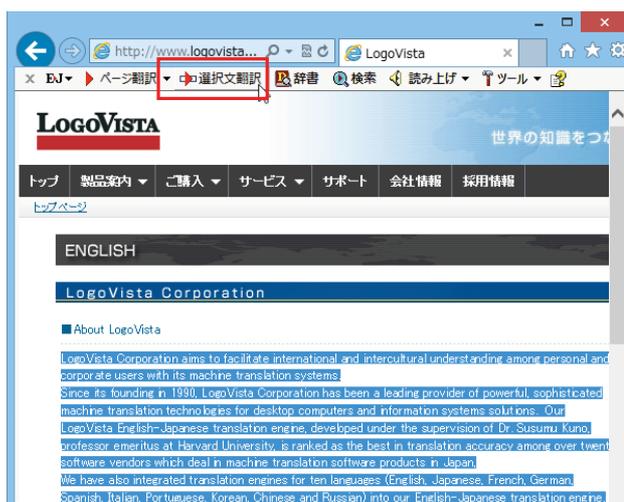
1



インターネットにアクセスし、翻訳したいWeb ページを開きます。

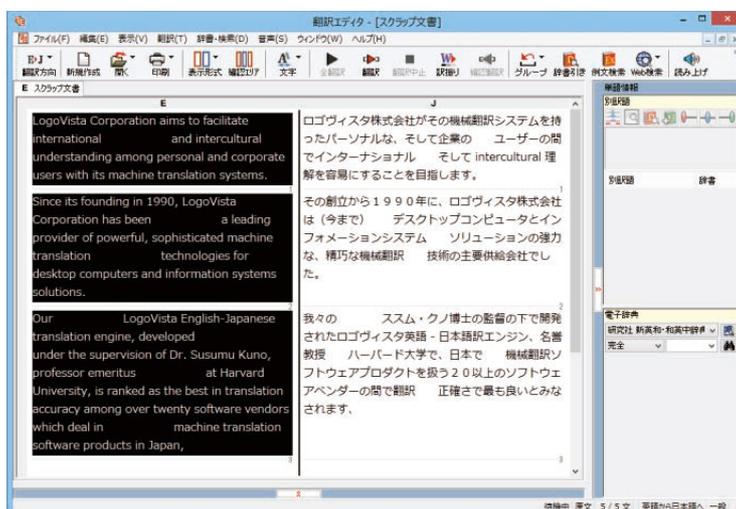
「翻訳方向の選択」ボタンをクリックして、表示されるメニューから翻訳方向を設定します。再度、「翻訳方向の選択」ボタンをクリックし、Web ページの内容に合わせて翻訳スタイルを選択します。この例では、「英語から日本語へ」、「一般」を選択します。

2



翻訳したい文を選択し、「選択文翻訳」ボタンをクリックします。

「翻訳エディタ」が起動し、選択した部分の翻訳が開始されます。終了すると、翻訳結果が対訳で表示されます。



ヒント テキストを選択しないで「選択文翻訳」ボタンをクリックすると原文を入力する状態になります。

日本語を選択し、訳語で Web ページを検索・翻訳する

[検索] コマンドを使うと、選択した日本語を翻訳し、訳語を検索キーワードとして英語の Web ページを検索できます。マルチリンガル版の場合は、キーワードとして入力した日本語をその他の言語の検索キーワードに変換して、外国語の Web ページを検索できます。なお、検索サイトには、「Yahoo!」または「Google」を選択できます。

1



テキストを選択して、[検索] ボタンをクリックします。

[サーチ翻訳] ウィンドウが開きます。選択された原語(ここでは「梅雨」)が翻訳され、訳語(ここでは「rainy season」)をキーワードにサイトが検索されます。検索結果は、日本語に翻訳されて表示されます。これが初期値の状態です。



2



表示したいWebページが見つかったら、クリックします。

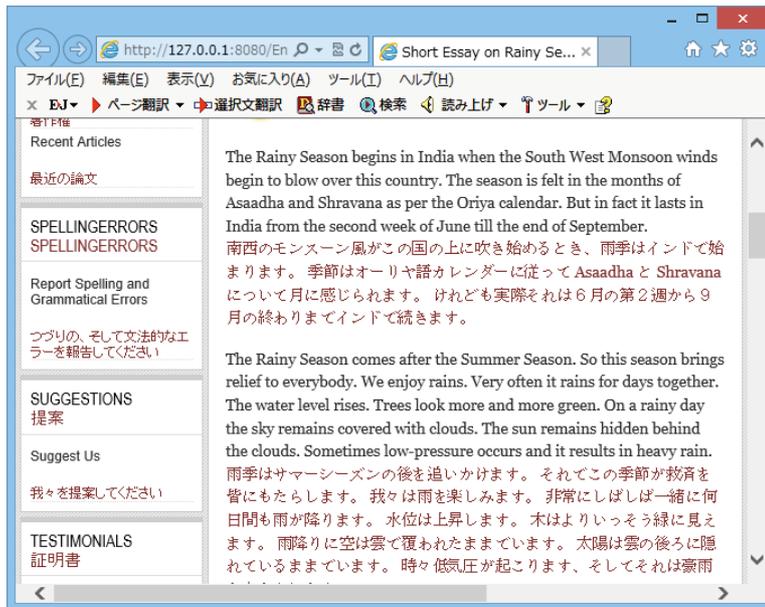
クリックしたページに移動し、指定されている方法で翻訳されます。

3

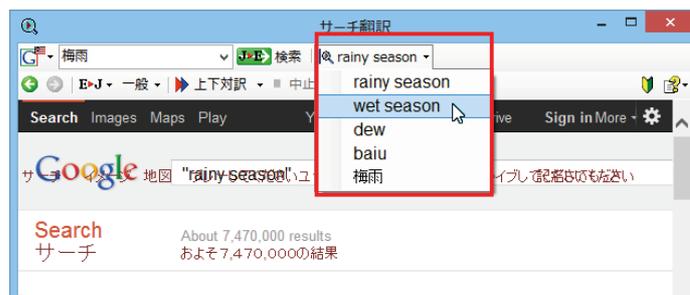


検索結果をInternet Explorerで表示するときは、[Internet Explorerへ転送] ボタンを、クリックします。

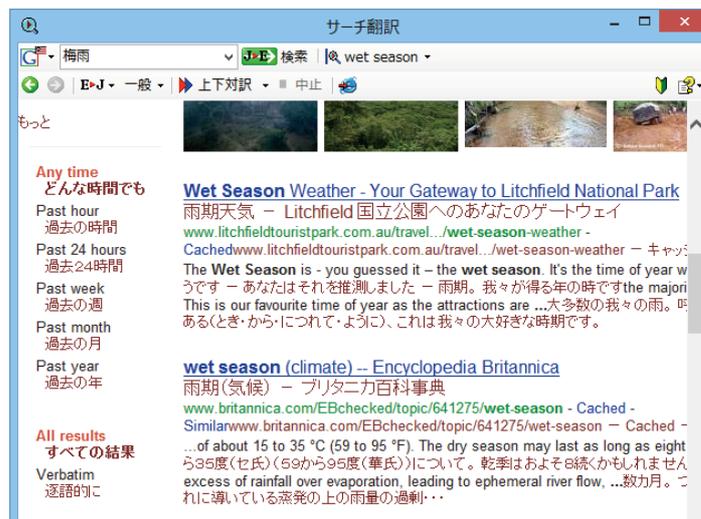
サーチ翻訳に表示されていた内容がInternet Explorerに転送されます。



検索キーワードとその訳語が表示されているとき、訳語の右にある▼をクリックすると、別訳語のリストが表示されます。



このリストで、別訳語を選択すると、選択した訳語で再検索が行われ、結果が日本語に翻訳されて表示されます。



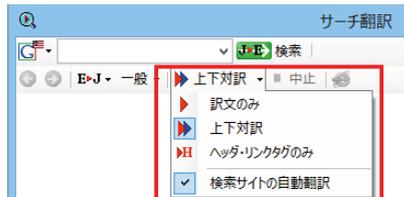
ヒント▶ 【翻訳サーチ】ウィンドウの  【検索サイトの変更】 ボタンの右にある▼をクリックすると、次のリストが出ます。



このリストで、検索サイトを設定しておくことができます。また、【原語のまま検索】をチェックしてオンにしておくと、入力した語句を翻訳できなかったとき、入力した語句をそのまま検索キーワードとして Web 検索を実行します。

オフにすると、翻訳できなかったときには Web 検索が実行されず、ステータスバーに翻訳結果がないと表示されます。

ヒント▶ 【翻訳サーチ】ウィンドウの【ページ翻訳】 ボタンの右にある▼をクリックすると、次のリストが出ます。



このリストで、翻訳方法や検索したサイトを自動的に翻訳するかどうかを設定しておくことができます。

ヒント▶ Internet Explorer でテキストを選択せずに【検索】 ボタンをクリックしたときは、空の【サーチ翻訳】ウィンドウが開きます。

辞書引きするには

ホームページ上の語句を研究社 新英和・和英中辞典や、コリヤ英和！一発翻訳の翻訳辞書、クイック辞書で辞書引きすることができます。

1



【翻訳方向の選択】 ボタンをクリックして辞書引きしたい言語の方向を選択しておきます。辞書引きする語句を選択し、【辞書】 ボタンをクリックします。

【辞書ビュー】 ウィンドウが開き、辞書引き結果が表示されます。

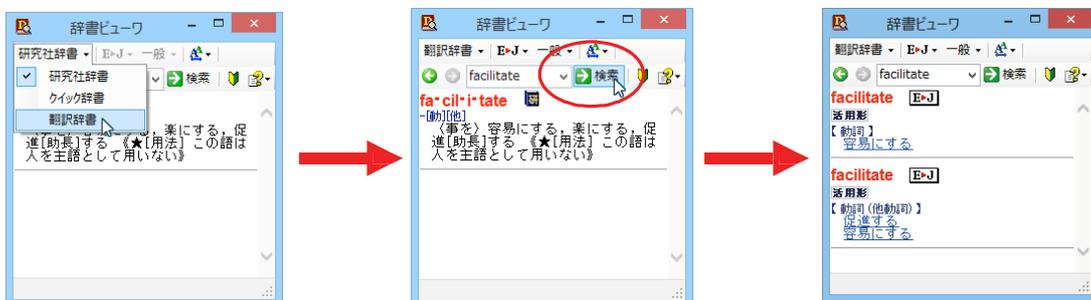
初期値では、研究社 新英和・和英中辞典で辞書引きされます。



ヒント 語句を選択せずに【辞書】 ボタンをクリックしたときは、空の【辞書ビュー】 ウィンドウが開きます。

検索対象の辞書を変更するときは

【辞書ビュー】 ウィンドウの辞書ボタン（上の例では【研究社辞書】 ボタン） をクリックして開くリストから、辞書を選択して変更することができます。辞書を変更したときは、【検索】 ボタンをクリックすると、変更した辞書で辞書引きが行われ、結果が表示されます。



2

HTTP プロキシ翻訳でホームページを翻訳するには

HTTP プロキシ翻訳は Firefox などの、Internet Explorer 以外のブラウザでホームページを翻訳する際に利用する機能です。ここでは、Firefox 21.0 を例にその使い方をご紹介します。

HTTP プロキシ翻訳を有効にする

ここでは、この機能を有効にする方法を説明します。

「HTTP プロキシ翻訳」とは

HTTP プロキシ翻訳は、お使いのコンピュータに翻訳専用のプロキシサーバ（翻訳サーバ）を存在させ、Web ブラウザでホームページにアクセスしたときに、そのホームページを直接 Web ブラウザ上に表示するのではなく、翻訳サーバを通して表示させるという機能です。HTTP プロキシ翻訳では、設定方法により、次のいずれかの方法でホームページを表示します。

- 翻訳せずにそのまま表示する
- 翻訳して上下対訳で表示する
- 翻訳して訳文だけを表示する

注意！

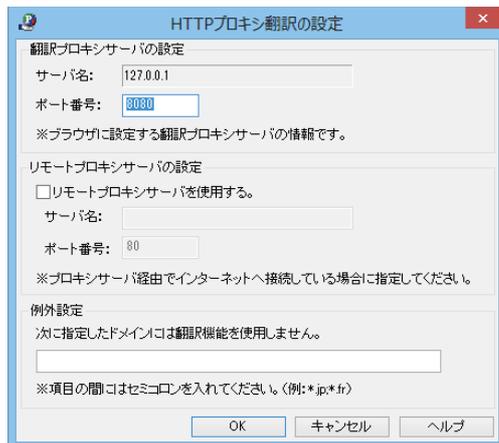
プロバイダが独自に使用しているブラウザでは、ホームページ翻訳は行えません。
プロキシサーバを経由できないファイアウォール環境では、プロキシ方式のホームページ翻訳を利用できない場合があります。
プロキシ方式では、セキュリティで保護されたホームページは翻訳できません。

HTTP プロキシ翻訳機能を有効にするには.....

次の手順で設定します。

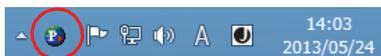
1

操作パネルの [設定] ボタンをクリックして表示されるメニューから [HTTP プロキシ翻訳の設定] を選択します。
[HTTP プロキシ翻訳の設定] ダイアログが表示されます。



必要な設定を行い [OK] ボタンをクリックします。
通常は、このままの設定で [OK] ボタンをクリックします。
これで HTTP プロキシ翻訳機能が有効になります。

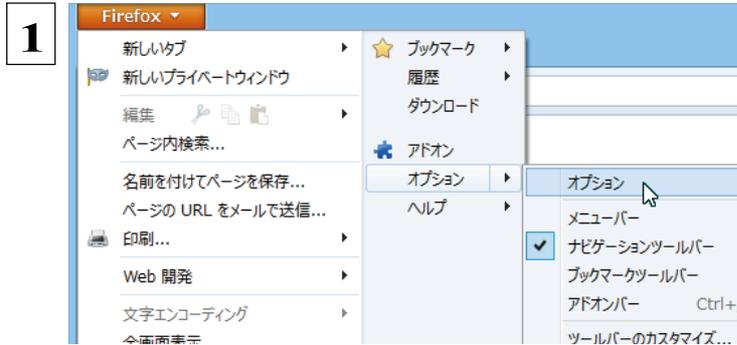
HTTP プロキシ翻訳が有効になると、タスクトレイに [HTTP プロキシ翻訳] アイコンが表示されます。このアイコンがタスクトレイに表示されているときに、HTTP プロキシ翻訳が有効になっています。



[リモートプロキシサーバの設定] は、ネットワークなどを通じプロキシサーバを経由してインターネットに接続している場合などに設定します。通常このプロキシサーバは、別のコンピュータで動作していますので、「リモートプロキシサーバ」と呼ばれます。このサーバが存在する環境では、このサーバがある場所を翻訳サーバに指示しておく必要があります。詳細は、ネットワーク管理者にお尋ねください。

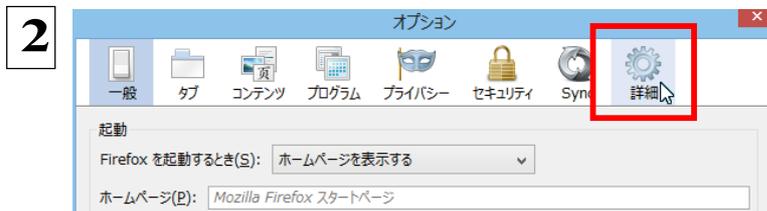
Web ブラウザの設定を行う

HTTPプロキシ翻訳をWebブラウザで利用するためには、Webブラウザに翻訳サーバを使用すること、翻訳サーバがある場所を指示しておく必要があります。

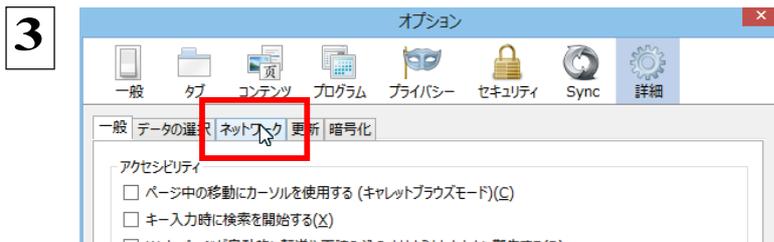


Firefox を起動し、メインメニューまたは [ツール] メニューから [オプション] を選択します。

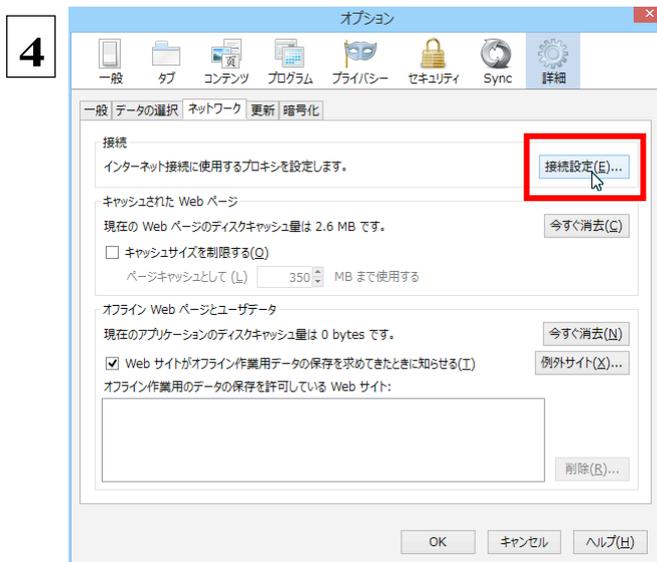
【オプション】 ダイアログが表示されます。



【詳細】をクリックします。



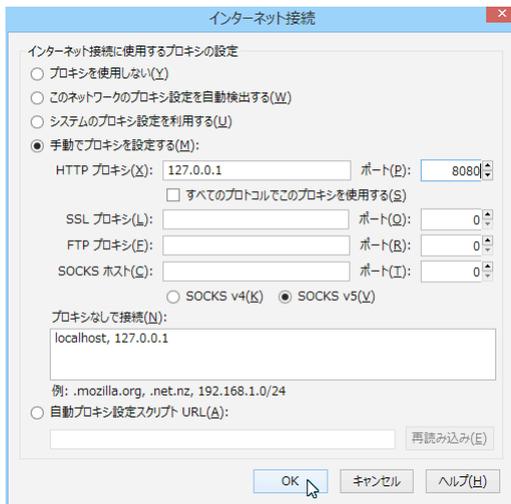
【詳細】の [ネットワーク] タブをクリックします。



【接続】にある [接続設定] ボタンをクリックします。

【インターネットの接続設定】 ダイアログが表示されます。

5



【手動でプロキシを設定する】ラジオボタンを選択し、【HTTPプロキシ】入力ボックスに半角数字で「127.0.0.1」と入力し、その右にある【ポート番号】入力ボックスに「8080」と入力します。入力を終えたら【OK】ボタンをクリックして【インターネット接続の設定】ダイアログを閉じます。

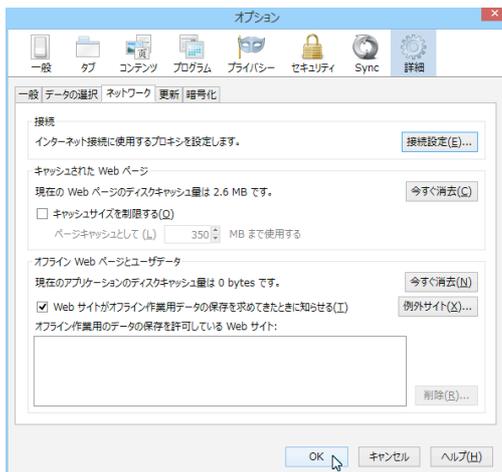


ポート番号は【HTTP プロキシ翻訳の設定】ダイアログの【翻訳プロキシサーバの設定】の【ポート番号】で設定した番号です。通常は、「8080」です。

注意！

手順5を行う前に、【インターネット接続時に利用するプロキシの設定】の【HTTP プロキシ】の設定内容を控えておくようにしてください。翻訳サーバを使わなくなったとき、元に戻す必要があります。

6



【オプション】ダイアログで【OK】ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。

他のブラウザでも同様に翻訳サーバの設定を行うと、HTTP プロキシ翻訳を利用できます。

ホームページを翻訳する

HTTP プロキシ翻訳を有効にし、ブラウザでプロキシサーバ（翻訳サーバ）の設定を行うと、ホームページにアクセスしたときに翻訳サーバが機能し、指定した方法でホームページを翻訳させることができます。

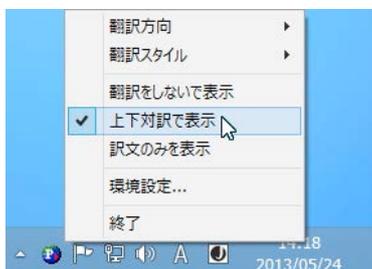
翻訳方法を設定する

ブラウザを起動したら、翻訳方法を設定します。

1

Firefoxを起動します。

2



タスクトレイの【HTTP プロキシ翻訳】アイコンをクリックし、表示されるメニューから翻訳方法を設定します。この例では、「上下対訳で表示」を選択します。

これにより翻訳サーバの動作を設定できます。

ヒント▶ 翻訳方向や翻訳スタイルを選択することもできます。翻訳スタイルについては、第1章の「コリヤ英和！一発翻訳の翻訳エンジンについて」をご覧ください。

ホームページにアクセスする

ホームページにアクセスすると、翻訳サーバは設定された翻訳方法を実行し、その結果をブラウザに表示します。「訳文のみを表示」に設定した場合、元の英文ホームページにアクセスすると、訳文だけがブラウザに表示されます。なお、翻訳を行うと、何もしないでホームページにアクセスする場合よりも表示するまでに時間がかかります。



注意! この方法でホームページを翻訳する場合、ホームページにアクセスした時点で翻訳サーバの機能が実行されますので、「上下対訳で表示」や「訳文のみを表示」にしておく、翻訳する必要がないホームページまで翻訳してしまうことになります。こうした場合は、最初は「翻訳をしないで表示」にしておき、必要に応じて「上下対訳で表示」や「訳文のみを表示」に変更してから、再度同じホームページにアクセスします。

また、[HTTP プロキシ翻訳の設定] ダイアログの [例外設定] 入力ボックスに翻訳対象にしないホームページの URL を入力しておくこともできます。たとえば [* .jp] など、ワイルドカードを使用して、日本語ホームページを翻訳対象外に指定しておくこともできます。詳しくは、[HTTP プロキシ翻訳の設定] ダイアログのオンラインヘルプをご覧ください。

ヒント▶ 翻訳サーバを停止するときは、タスクトレイの [HTTP プロキシ翻訳] アイコンをクリックして開くリストで、「終了」を選択します。この場合は、ブラウザの設定も元に戻してください。

ヒント▶ HTTP プロキシ翻訳でページ全体を翻訳する場合、ページの構造によっては、翻訳・表示できない場合があります。その場合は、操作パネルの [翻訳] ボタンを利用し、選択した文章の翻訳を行ってください。

Chapter 5

メールを翻訳するには

1

Microsoft Outlookでメールを翻訳するには

Microsoft Outlook 2002/2003/2007/2010/2013 には、コリヤ英和！一発翻訳のアドイン機能を使って翻訳機能のツールバーをアドインできます。これにより、操作パネルを使用せずに英文メールを翻訳できます。ここでは、アドインの設定方法と翻訳方法を Outlook 2013の例で紹介します。

Outlook に翻訳機能をアドインするには

Outlook がインストールされているとき、[アドイン設定] ダイアログボックスで翻訳機能をアドインします。

注意！

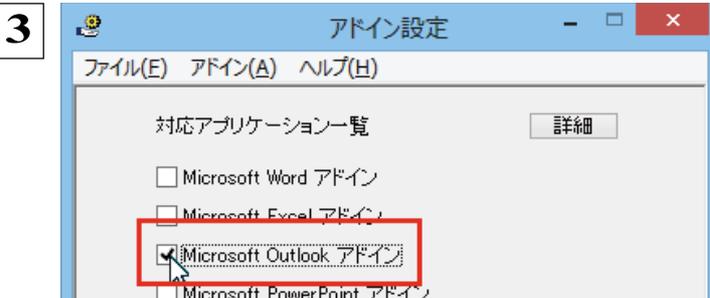
Outlook が起動していると正しくアドインできません。起動している場合、必ず終了させてから作業してください。アドイン機能については、「第6章 アプリケーションで翻訳するには」も参照してください。

1 デスクトップにある [コリヤ英和！2014 (マルチリンガル) 操作パネル] アイコンをダブルクリックして [操作パネル] を表示させます。



操作パネルの [設定] ボタンをクリックし、[アドイン設定] を選択します。

[アドイン設定] ダイアログボックスが表示されます。

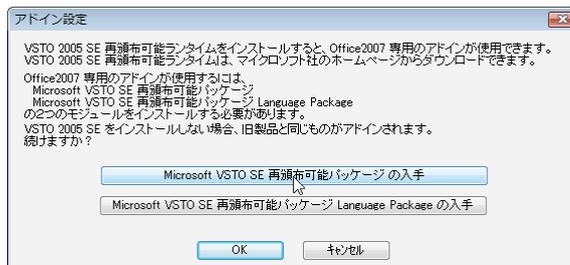


[Microsoft Outlook アドイン] をクリックして ON にし、[アドイン設定] ダイアログボックスを閉じます。

これで、Outlook に翻訳機能が組み込まれます。



Office 2007 をご利用の場合は、次のようなメッセージが表示されることがあります。



この場合、[Microsoft VSTO SE 再頒布可能パッケージの入手]、[Microsoft VSTO SE 再頒布可能パッケージ Language Package の入手] ボタンをクリックしてそれぞれのパッケージ(無償)をインストールすることで、Office 2007 に対応した Office アドインを使えるようになります。インストールせずに [OK] ボタンをクリックすると、他のアドインと同じように、Office2007 コリヤ英和！2013 のアドインが組み込まれます。

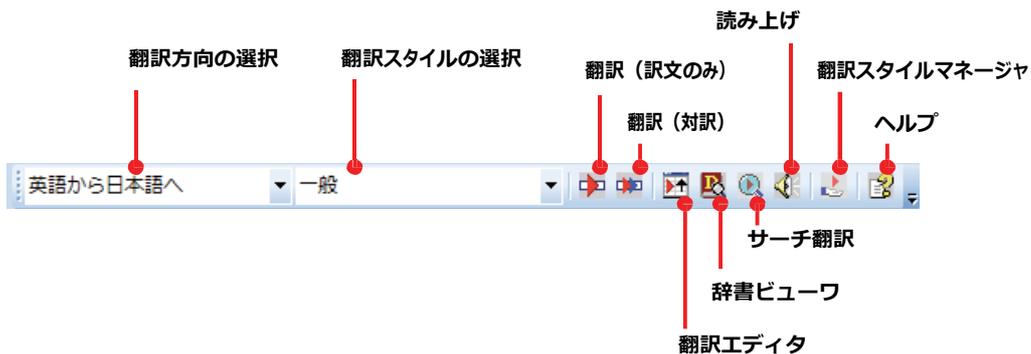
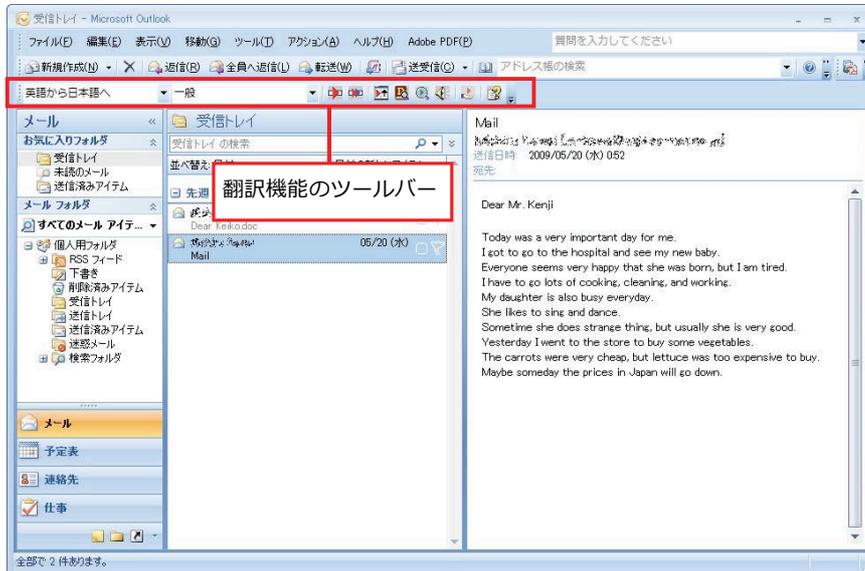


アドインを解除するときは、[Microsoft Outlook アドイン] をクリックして OFF にします。

Microsoft Outlookに組み込まれた翻訳機能

Outlook 2002/2003 に組み込まれた翻訳機能

翻訳機能が組み込まれた Microsoft Outlook2002/2003 では、翻訳機能のツールバーが表示されます。



翻訳方向の選択	▼マークをクリックして開くプルダウンメニューから翻訳方向を選択します。
翻訳スタイルの選択	▼マークをクリックして開くプルダウンメニューから翻訳スタイルを選択します。
翻訳 (訳文のみ)	選択したアイテムの本文を翻訳し、訳文のみのアイテムを作成、表示します。
翻訳 (対訳)	選択したアイテムの本文を翻訳し、原文と訳文が上下対訳になったアイテムを作成、表示します。
翻訳エディタで翻訳	選択したアイテムの本文を翻訳エディタに取り込んで翻訳します。
辞書ビューワ	[辞書ビューワ] ウィンドウを開きます。
サーチ翻訳	[サーチ翻訳] ウィンドウを開きます。
読み上げ	音声エンジンがインストールされているとき、選択したアイテムの本文を読み上げます。
翻訳スタイルマネージャ	翻訳スタイルマネージャを起動します。
ヘルプ	オンラインヘルプを表示します。

Outlook 2013 のリボンに組み込まれた翻訳機能

翻訳機能が組み込まれた Microsoft Outlook2010/2013 では、リボンに [コリヤ英和! 2014] タブが表示されます。

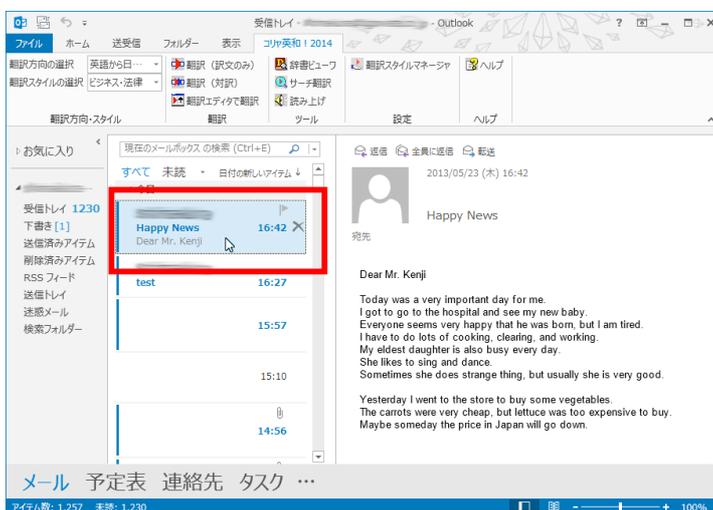


翻訳方向の選択	▼マークをクリックして開くプルダウンメニューから翻訳方向を選択します。
翻訳スタイルの選択	▼マークをクリックして開くプルダウンメニューから翻訳スタイルを選択します。
翻訳 (訳文のみ)	選択した文、アイテムを翻訳し、翻訳結果を翻訳ビューワに表示、または原文と訳文と入れ替えたアイテムを作成します。受信メッセージや RSS フィードを新規ウィンドウで開いた時には利用できません。
翻訳 (対訳)	選択した文、アイテムを翻訳し、原文と訳文を上下対訳形式で表示します。受信メッセージや RSS フィードを新規ウィンドウで開いた時には利用できません。
翻訳エディタ	選択したアイテムの本文を翻訳エディタに取り込んで翻訳します。
辞書ビューワ	[辞書ビューワ] ウィンドウを開き、選択した語句を辞書引きします。
検索翻訳	[検索翻訳] ウィンドウを開き、選択した語句をキーワードにして検索します。
読み上げ	音声エンジンがインストールされているとき、選択した文を読み上げます。
翻訳スタイルマネージャ	翻訳スタイルマネージャを起動します。
ヘルプ	オンラインヘルプを表示します。

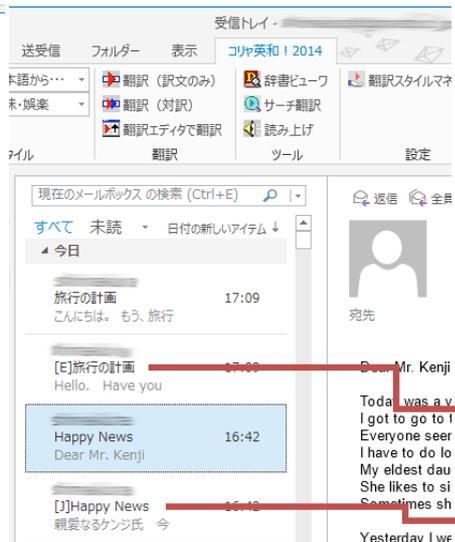
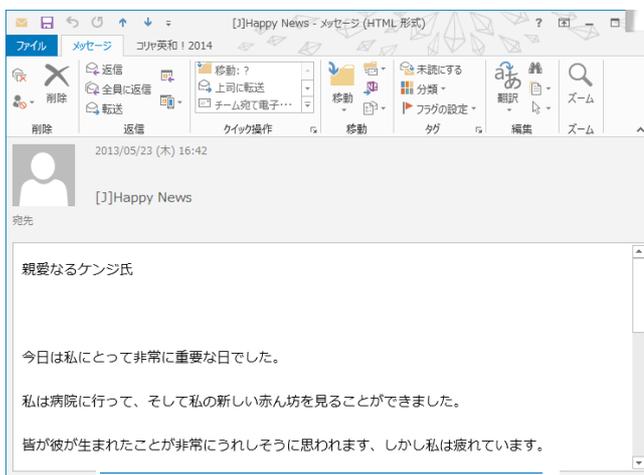
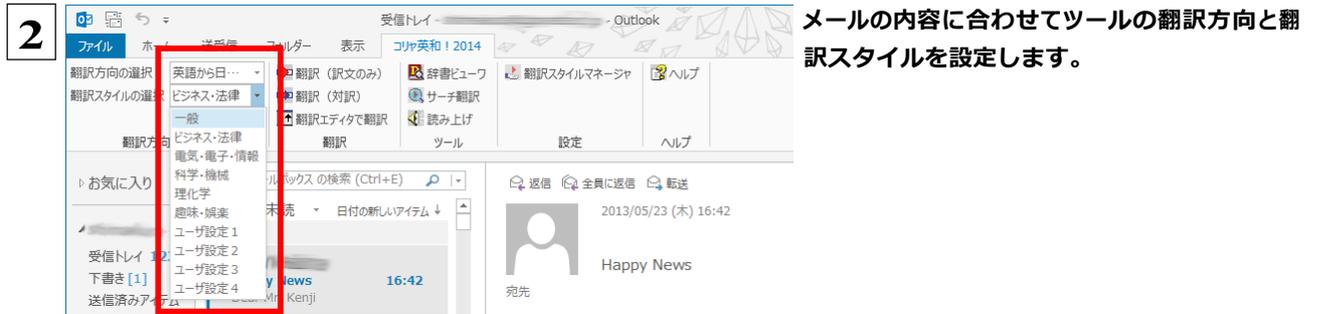
英文メールを翻訳するには

ここでは、[コリヤ英和! 2014] タブの [翻訳 (訳文のみ)] ボタンで行う翻訳操作の例を紹介します。

1



インターネットに接続し、メールを受信します。翻訳を行う英文メールのタイトルを選択します。



注意！

- ・Outlook 2002/2003アドインでは、英日、日英翻訳だけを行うことができます。(2007/2010/2013 は、マルチリンガルに含まれる全言語の翻訳に対応しています。)
- ・Outlook 2002 で HTML 形式のメールを翻訳した場合、翻訳済みメールには書式情報は反映されません。

2

操作パネルを使ってメールを翻訳するには

メールソフトを通常通りに使ってメールを受信し、必要に応じて翻訳したいときは、コリヤ英和！一発翻訳の操作パネルを使います。ここでは、Windows Live メールで受け取ったメールを、操作パネルのツールで翻訳する例を紹介します。Outlook Express など、ほとんどのメールソフトでも同様に翻訳できます。操作パネルの機能と使い方については、「第2章 操作パネルの使い方」を参照してください。

メールを受信し翻訳するには

ここでは、Windows Liveメールで英文メールを受信し、操作パネルの「翻訳」ボタンで翻訳する方法を紹介します。

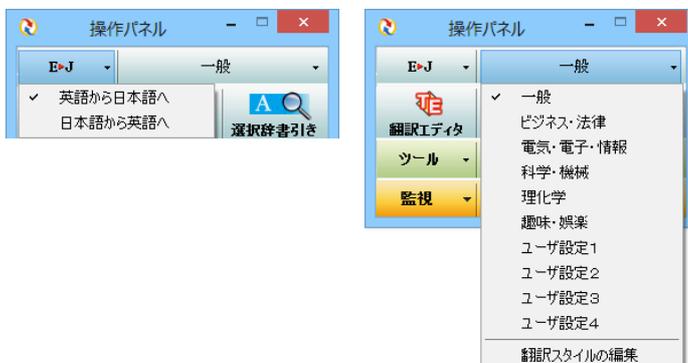
ヒント マルチリンガル版の場合は、その他の言語のメールの翻訳も同様の方法で行えます。

1 デスクトップにある「コリヤ英和！2014(マルチリンガル) 操作パネル」アイコンをクリックして、「操作パネル」を表示させておきます。

2 インターネットに接続し、メールソフトでメールを受信します。



3 翻訳したいメールがあった場合、「操作パネル」でメールの内容と合った翻訳方向と翻訳スタイルを選択します。



4 メールソフトで翻訳したい文を選択します。



選択された文

5



【選択翻訳】 ボタンをクリックします。

6



【翻訳エディタ】 ウィンドウが開き、選択した文の翻訳が開始されます。終了すると、翻訳結果が表示されます。

翻訳エディタでは、さまざまな機能を使って、訳文の検討や改良ができます。

☞ 【翻訳エディタ】 については、第3章「翻訳エディタで翻訳するには」をご覧ください。

Chapter 6

アプリケーションで翻訳するには

1

翻訳機能を組み込めるアプリケーションについて

コリヤ英和！一発翻訳の翻訳機能はいろいろなアプリケーションソフトに組み込んで、アプリケーションから直接翻訳を行えるようにできます。これを「アドイン機能」といいます。ここでは、組み込めるアプリケーションのチェック方法などを説明します。

翻訳機能を組み込めるアプリケーションをチェックするには

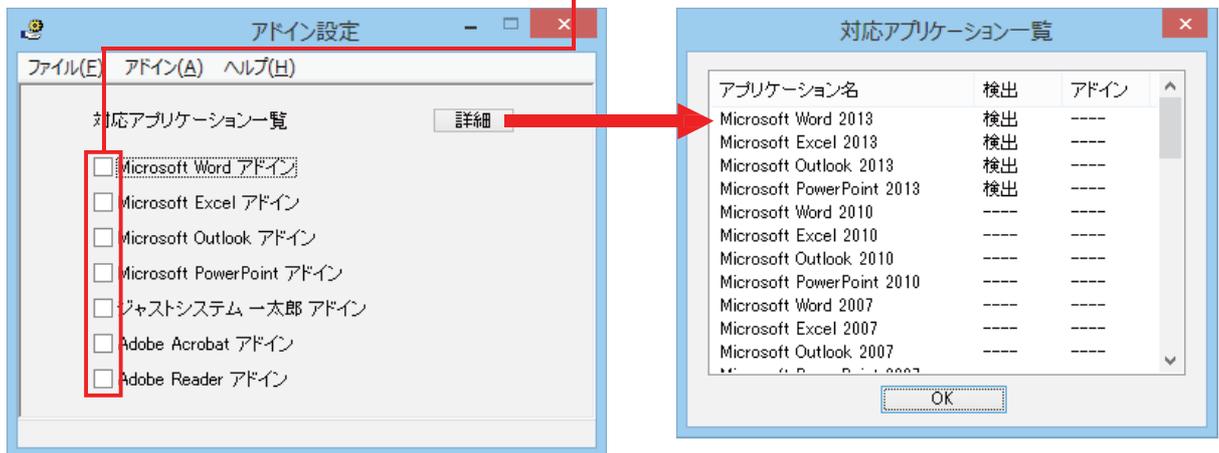
コリヤ英和！一発翻訳が対応しているアプリケーションは以下の通りですが、実際には[対応アプリケーション一覧]ダイアログボックスで検出されたアプリケーションに組み込むことができます。

Microsoft Word 2002/2003/2007/2010/2013
 Microsoft Excel 2002/2003/2007/2010/2013*¹
 Microsoft PowerPoint 2002/2003/2007/2010/2013
 Microsoft Outlook 2002/2003/2007/2010/2013*²
 ジャストシステム-太郎 2009/2010/2011/2012/2013
 Adobe Acrobat 6.0/7.0/8.0/9.0/X/XI
 Adobe Reader 6.0/7.0/8.0/9.0/X

※3：Microsoft Outlook 2002/2003では英日・日英翻訳のみご利用になれます。2007/2010/2013ではマルチリンガルに含まれる全言語の翻訳に対応しています。

[対応アプリケーション一覧] ダイアログボックスは、[スタート] (→ [(すべての) プログラム] → [コリヤ英和！一発翻訳 2014 (マルチリンガル)]) → [操作パネル] → [設定] → [アドイン設定] を選択し、[アドイン設定] ダイアログボックスを開き、[詳細] ボタンをクリックして開きます。

翻訳機能を組み込むときは、チェックボックスをクリックしてチェックマークをつけます。解除するときは、チェックマークを外します。



アドイン対象のソフトの状態が一覧で確認できます。

翻訳機能を組み込むときは.....

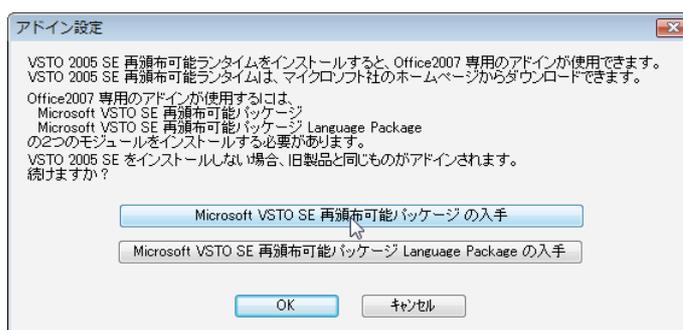
[アドイン設定] ダイアログボックスで翻訳機能を組み込むアプリケーション名の左側のチェックボックスをクリックしてチェックマークをつけます（「ON にする」といいます）。これで、翻訳機能が組み込まれます。



Office 2010 / 2013 をご利用の場合、[Microsoft Office]製品のチェックボックスにチェックを入れると、次のようなメッセージが表示されます。[インストール]をクリックしてください。



Office 2007 をご利用の場合は、次のようなメッセージが表示されることがあります。



この場合、[Microsoft VSTO SE 再頒布可能パッケージの入手]、[Microsoft VSTO SE 再頒布可能パッケージ Language Package の入手] ボタンをクリックしてそれぞれのパッケージ(無償)をインストールすることで、Office 2007 のリボンUI に対応した Office アドインを使えるようになります(次ページ参照)。インストールせずに [OK] ボタンをクリックすると、他のアドインと同じように、Office2007 のアドインタブにコリヤ英和！2014 のアドインが組み込まれます。



アドインを解除するときは、チェックマークを外します（「OFF にする」といいます）。

2

Microsoft Word で翻訳を行うには

ここでは、Microsoft Word 2013 に翻訳機能を組み込んで翻訳を行う方法を説明します。Microsoft Word 2002/2003/2007/2010/2013 でも同様です。

注意!

制限ユーザで Microsoft Office アプリケーション (Word, Excel, PowerPoint, Outlook) のアドイン機能をご使用になる場合は、コリヤ英和！一発翻訳 2014 (マルチリンガル) がインストールされる前に Office アプリケーションがインストールされている必要があります。後から Office アプリケーションのインストールを行った場合、コリヤ英和！一発翻訳 2014 (マルチリンガル) の修正インストールを行ってください。修正インストールについては、インストールガイド「11 [重要] コリヤ英和！一発翻訳の変更と削除を行うには」をご覧ください。

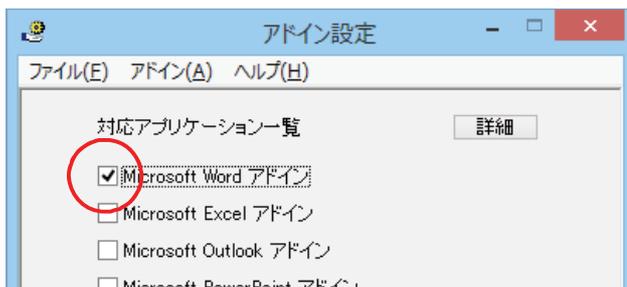
Microsoft Word 2013 に翻訳機能を組み込むには

翻訳機能を組み込む手順を説明します。

1 [スタート] (→ [(すべての) プログラム] → [コリヤ英和！一発翻訳 2014 (マルチリンガル)]) → [操作パネル] → [設定] → [アドイン設定] の順に選択します。

[アドイン設定] ダイアログボックスが開きます。

2



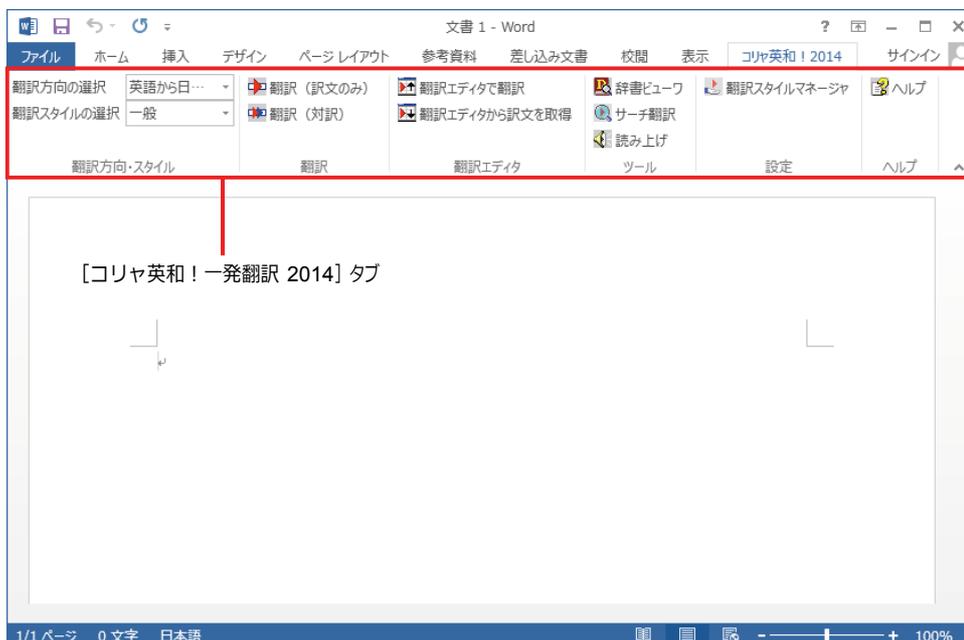
[Microsoft Word アドイン] をONにし、[ファイル] メニューから [終了] を選択し、ダイアログボックスを閉じます。

Office 2010 / 2013 をご利用の場合、[Microsoft Office]製品のチェックボックスにチェックを入れると、次のようなメッセージが表示されます。[インストール]をクリックしてください。

ヒント [Microsoft Word アドイン] を OFF にすると、翻訳機能を解除できます。

Microsoft Word 2013 に組み込まれた翻訳機能

翻訳機能が組み込まれた Microsoft Word 2013 では、リボンに翻訳機能のタブが表示されます。



タブのコマンドの名称と機能

コリヤ英和！一発翻訳 2014 タブ



翻訳方向の選択	クリックして開くプルダウンメニューから翻訳方向を選択します。
翻訳スタイルの選択	クリックして開くプルダウンメニューから翻訳スタイルを選択します。
翻訳 (訳文のみ)	選択されたテキストを翻訳し、訳文のみを表示します。
翻訳 (対訳)	選択されたテキストを翻訳し、原文と訳文を表示します。
翻訳エディタで翻訳	翻訳エディタを起動し、選択されたテキストを翻訳します。
翻訳エディタから訳文を取得	[翻訳エディタで翻訳] ボタンで原文を翻訳したのち、翻訳エディタから訳文を取得し、選択したテキストと入れ替えます。
辞書ビューフ	辞書ビューフを起動し、研究社新英和・和英中辞典、クイック辞書、翻訳辞書で選択したテキストの辞書引きを行います。
読み上げ	音声合成エンジンがインストールされているとき、選択されたテキストを読み上げます。
サーチ翻訳	[サーチ翻訳] ウィンドウを表示します。
翻訳スタイルマネージャ	翻訳スタイルマネージャを起動します。
ヘルプ	オンラインヘルプを表示します。

基本的な翻訳操作

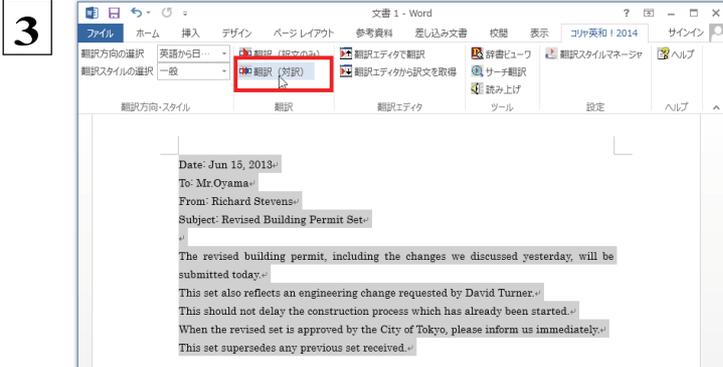
ここでは「翻訳 (対訳)」ボタンで翻訳を行う例を紹介します。



Wordに文書を入力し、翻訳方向を設定します。



必要に応じて翻訳スタイルを選択します。



翻訳するテキストをマウスの左ボタンを押しなが
らなぞって強調表示させます (この操作を「選択す
る」といいます)。次に【翻訳 (対訳)】ボタンをクリ
ックします。

翻訳が開始されます。



終了すると、原文と訳文が上下に表示されます。

このように、Wordの文書を簡単に翻訳すること
ができます。

3

Microsoft Excel で翻訳を行うには

ここでは、Microsoft Excel 2013に翻訳機能を組み込んで翻訳する方法を説明します。Excel 2002／2003／2007／2010 でも同様です。なお、Excel での翻訳は、セル単位で行われます。

注意！

制限ユーザで Microsoft Office アプリケーション (Word, Excel, PowerPoint, Outlook) のアドイン機能をご使用になる場合は、コリヤ英和！一発翻訳 2014 (マルチリンガル) がインストールされる前に Office アプリケーションがインストールされている必要があります。後から Office アプリケーションのインストールを行った場合、コリヤ英和！一発翻訳 2014 (マルチリンガル) の修正インストールを行ってください。修正インストールについては、インストールガイドの「11 [重要] コリヤ英和！一発翻訳の修正と削除を行うには」をご覧ください。

Microsoft Excel 2013 に翻訳機能を組み込むには

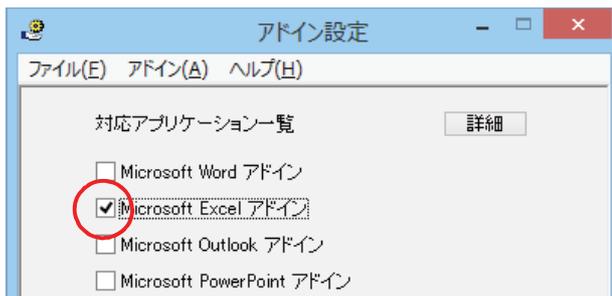
翻訳機能を組み込む手順を説明します。

1

[スタート] (→ [(すべての) プログラム] → [コリヤ英和！一発翻訳 2014 (マルチリンガル)]) → [操作パネル] → [設定] → [アドイン設定] の順に選択します。

[アドイン設定] ダイアログボックスが開きます。

2



[Microsoft Excel アドイン] をONにし、ダイアログボックスを閉じます。

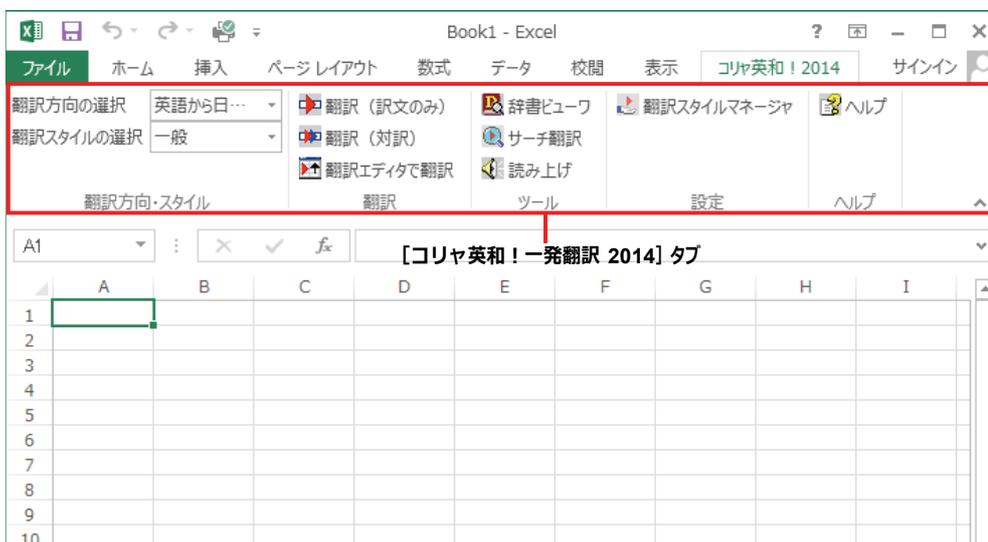
Office 2010 / 2013 をご利用の場合、[Microsoft Office]製品のチェックボックスにチェックを入れると、次のようなメッセージが表示されます。[インストール] をクリックしてください。

ヒント

[Microsoft Excel アドイン] を OFF にすると、翻訳機能を解除できます。

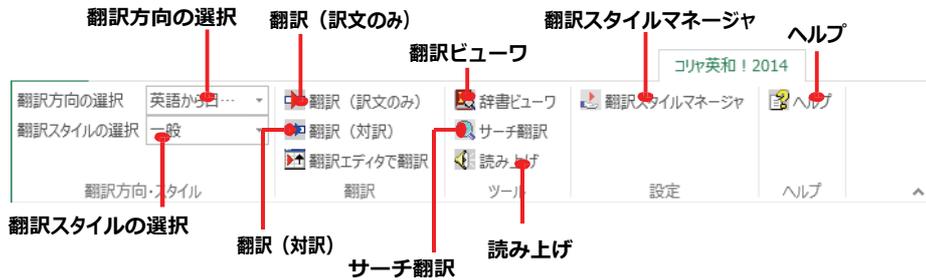
Microsoft Excel 2013 に組み込まれた翻訳機能

翻訳機能が組み込まれた Microsoft Excel 2013 では、リボンに翻訳機能のタブが表示されます。



ツールバーの名称と機能

コリヤ英和！一発翻訳 2014 タブ

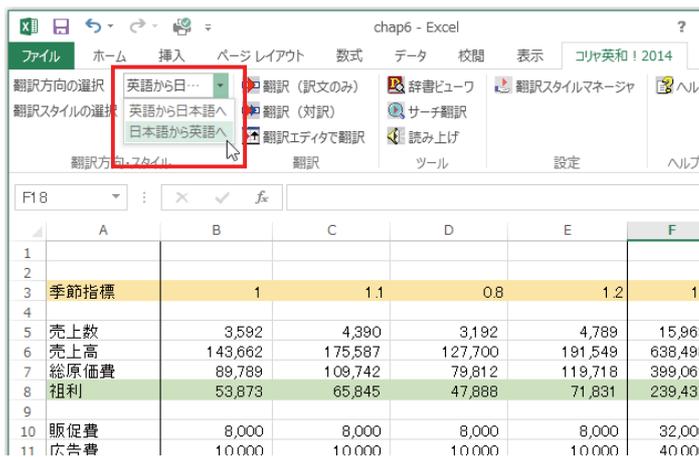


それぞれのコマンドの機能については、「2 Microsoft Word で翻訳を行うには」を参照してください。

基本的な翻訳操作

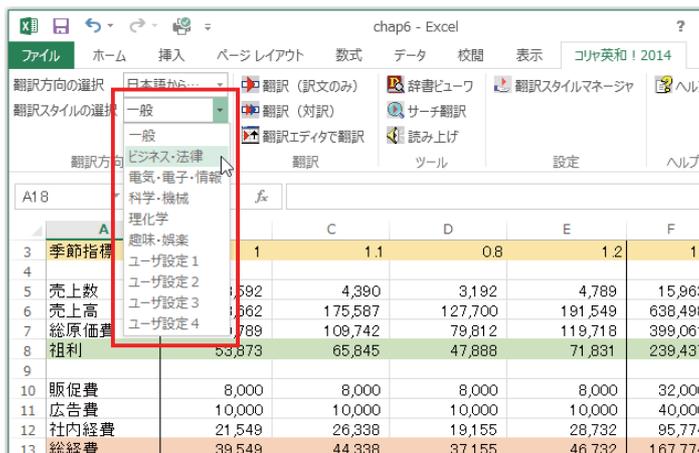
ここでは【翻訳 (訳文のみ)】ボタンで翻訳を行う例を紹介します。

1



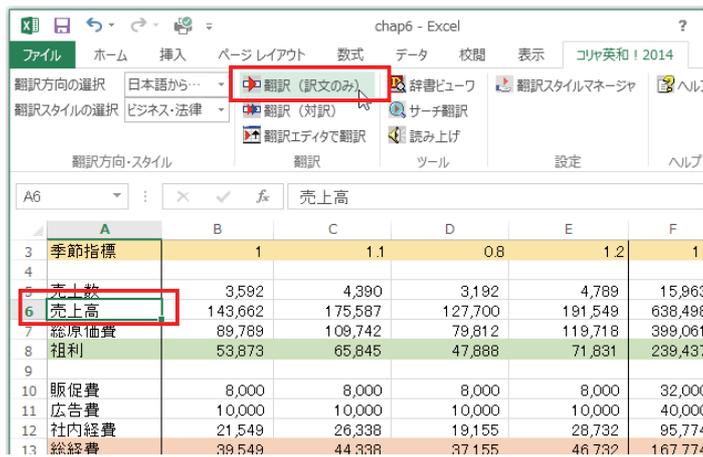
Excelにデータを入力し、翻訳方向を設定します。

2



必要に応じて翻訳スタイルを選択します。

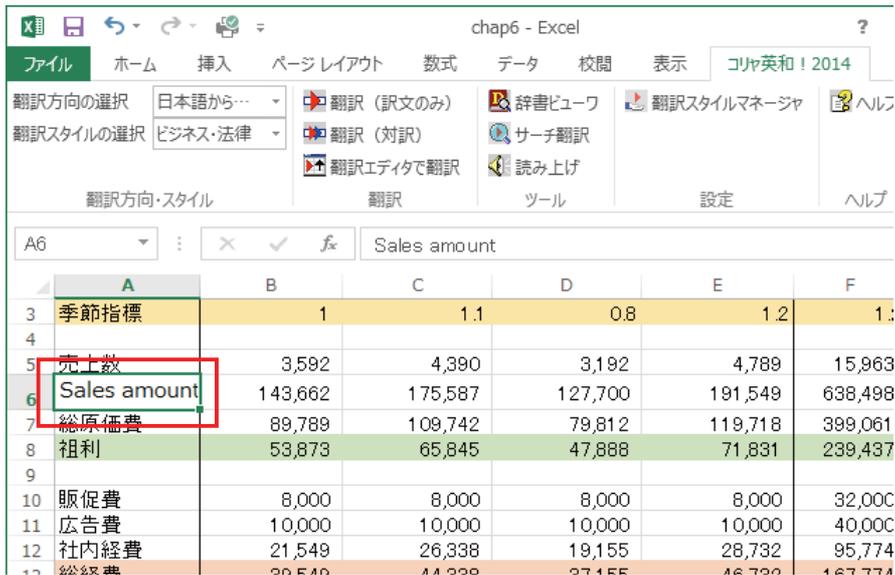
3



翻訳するセルを選択します。次に【翻訳（訳文のみ）】ボタンをクリックします。

翻訳が開始されます。

終了すると、原文が訳文に入れ替わります。



このように、Excel のセルを簡単に翻訳することができます。なお、複数のセルを選択して翻訳することもできます。

4

ジャストシステム一太郎で翻訳を行うには

ジャストシステムの「一太郎」に翻訳機能を組み込んで活用することができます。組み込める一太郎のバージョンは、2009/2010/2011/2012/2013です。ここでは、一太郎 2013に翻訳機能を組み込んで翻訳を行う方法を説明します。一太郎 2009/2010/2011/2012でも同様です。

一太郎2013に翻訳機能を組み込むには

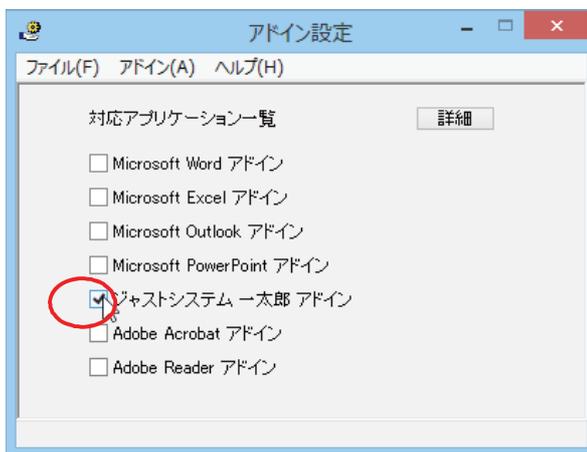
翻訳機能を組み込む手順を説明します。

1

【スタート】(→ [(すべての) プログラム] → [コリヤ英和！一発翻訳 2014 (マルチリンガル)]) → [操作パネル] → [設定] → [アドイン設定] の順に選択します。

【アドイン設定】ダイアログボックスが開きます。

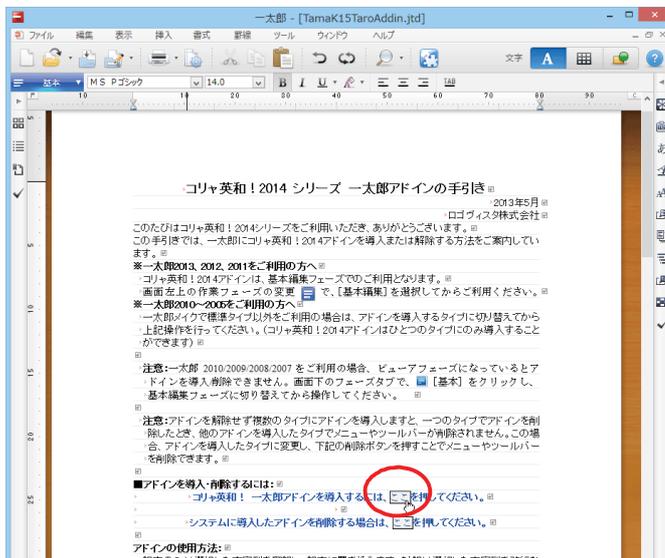
2



【ジャストシステム一太郎アドイン】をONにします。

一太郎が起動し、「コリヤ英和！一発翻訳2014 一太郎アドインの手引き」が開きます。

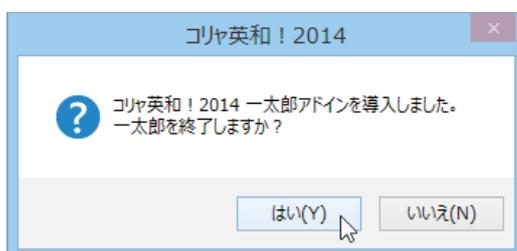
3



「コリヤ英和！一発翻訳 2014 一太郎アドインを導入するには～」の【ここ】ボタンをクリックします。

これで、翻訳機能の組み込みが開始され、確認メッセージが表示されます。

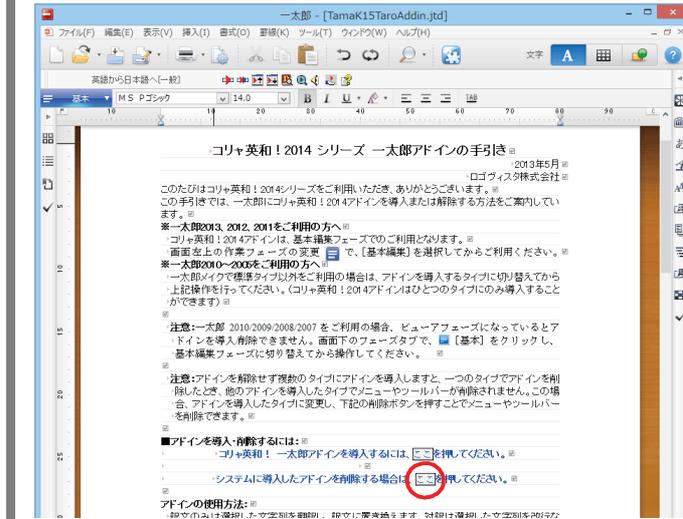
4



【はい】ボタンをクリックして終了します。

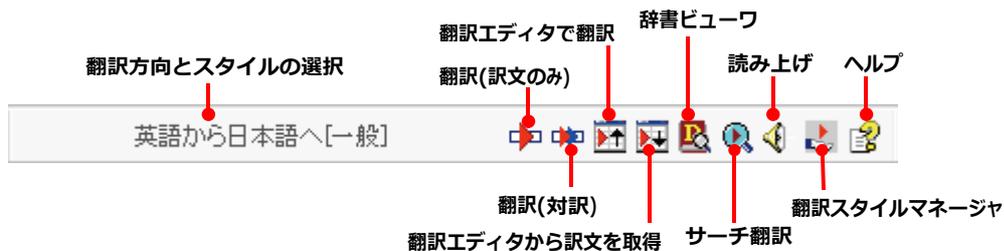


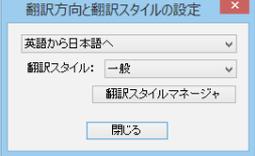
翻訳機能を解除するときは、一太郎を終了してから [アドイン設定] ダイアログボックスを開き、[ジャストシステム一太郎アドイン] を OFF にします。一太郎が起動し、「コリヤ英和！ 一発翻訳 2014 一太郎アドインの手引き」が開きます。「システムに導入したアドインを削除する場合は～」の [ここ] ボタンをクリックし、画面の表示にしたがって操作します。



一太郎2013に組み込まれた翻訳機能

翻訳機能が組み込まれた一太郎2013 では、翻訳機能のツールバーおよびメニューが表示されます。

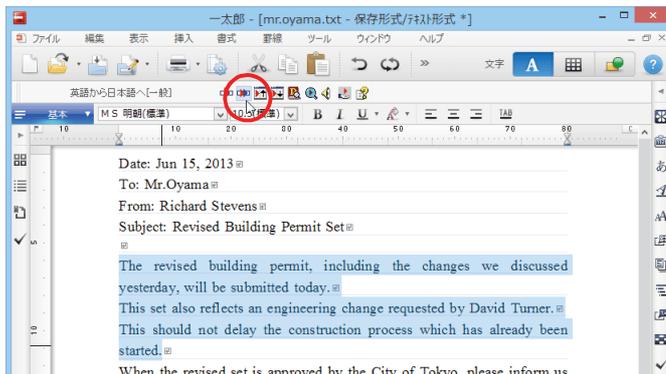


翻訳方向とスタイルの設定	<p>[翻訳エンジンとスタイルの設定] ダイアログを開きます。翻訳方向の変更、翻訳スタイルの変更、選択した翻訳スタイルの編集を行えます。</p>  <p>翻訳スタイルについては、第1章の「2 コリヤ英和！一発翻訳の翻訳スタイルについて」をご覧ください。</p>
翻訳 (訳文のみ)	<p>選択されているテキストの翻訳を行い、訳文のみを表示します。</p>
翻訳 (対訳)	<p>選択されているテキストの翻訳を行い、上下対訳形式で表示します。</p>
翻訳エディタで翻訳	<p>翻訳エディタを起動し、選択されたテキストを翻訳します。</p>
翻訳エディタから訳文を取得	<p>[翻訳エディタで翻訳] ボタンで原文を翻訳したのち、翻訳エディタから訳文を取得し、選択したテキストと入れ替えます。</p>
辞書ビューワ	<p>辞書ビューワを起動し、研究社 新英和・和英中辞典、クイック辞書、翻訳辞書で選択したテキストの辞書引きを行います。</p>
サーチ翻訳	<p>[サーチ翻訳] ウィンドウを表示します。</p>
読み上げ	<p>音声合成エンジンがインストールされているとき、選択されたテキストを読み上げます。</p>
翻訳スタイルマネージャ	<p>翻訳スタイルマネージャを起動します。</p>
ヘルプ	<p>一太郎アドイン翻訳機能のオンラインヘルプを表示します。</p>

基本的な翻訳操作

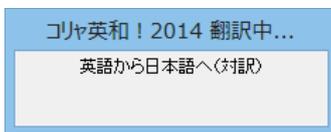
ここでは、[コリヤ英和! 2014 翻訳 (対訳)] ボタンで行う翻訳操作の例を紹介します。

1

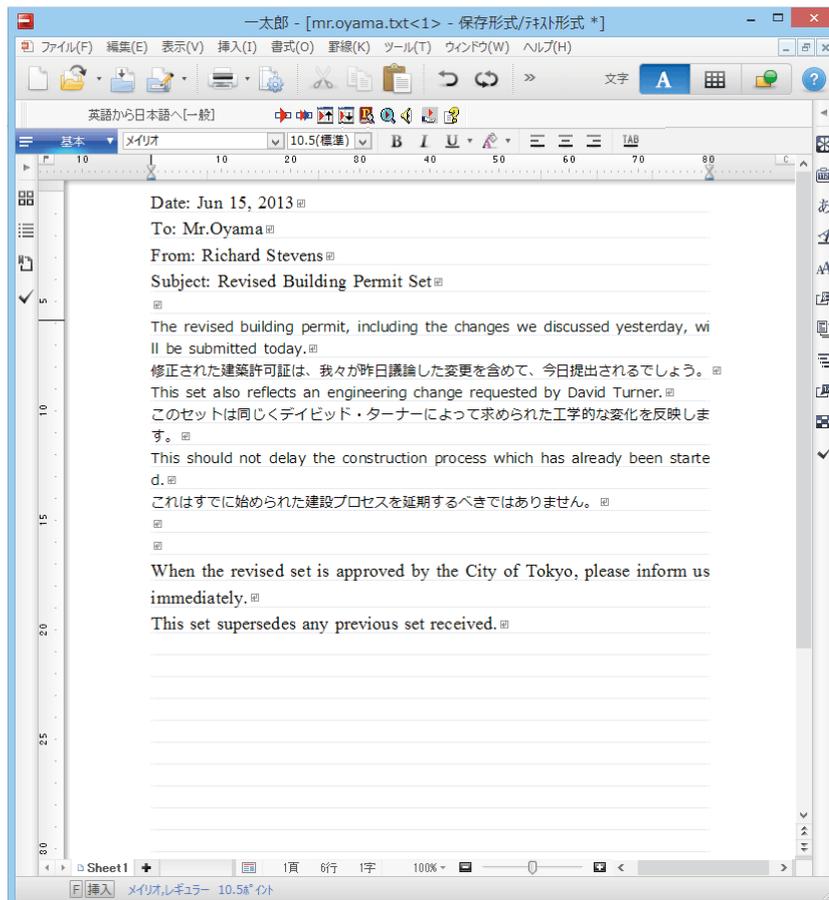


一太郎に文書を入力し、翻訳する文を選択します。次に[コリヤ英和! 2014 翻訳 (対訳)] ボタンをクリックします。

翻訳が開始され、翻訳中を示すダイアログが表示されます。



終了すると、翻訳結果が表示されます。



5

Adobe Acrobat/Adobe Reader で翻訳を行うには

ここでは、Adobe Acrobat や Adobe Reader に翻訳機能を組み込んで翻訳する方法を説明します。

注意！

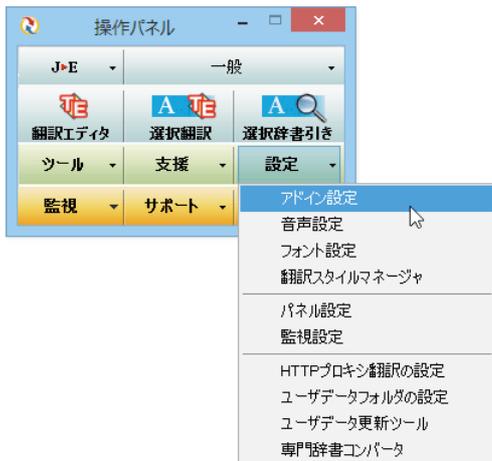
- 他の LogoVista 製品に含まれる Adobe Acrobat または Reader アドインとコリヤ英和！一発翻訳 2014 (マルチリンガル) の Adobe Acrobat または Reader アドインを併用することはできません。コリヤ英和！一発翻訳 2014 のアドインを利用する場合は、他の LogoVista 製品に含まれるアドインを解除してください。
- 制限ユーザの場合、そのままではアドイン機能を利用できないことがあります。Adobe Acrobat または Reader アドインが機能するためには、コリヤ英和！一発翻訳 2014 のモジュールが Adobe Acrobat または Reader の [plug_ins] フォルダにコピーされる必要があります。この処理をコリヤ英和！のアドイン設定機能が実行しています。制限ユーザの場合、システムドライブ (起動ディスク) の [Program Files] フォルダへの書き込み権限がありません。このため、Adobe Acrobat または Reader をシステムドライブの [Program Files] フォルダにインストールしている場合は、制限ユーザの権限ではアドイン設定機能でアドインを設定できません。あらかじめ、管理者権限を持ったユーザでアドインを設定しておく必要があります。

Adobe Acrobat/Adobe Reader に翻訳機能を組み込むには

翻訳機能を組み込む手順を説明します。

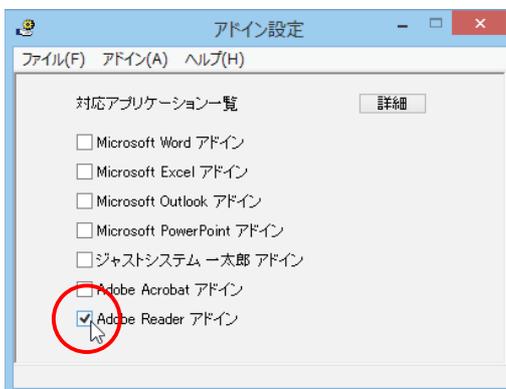
1

[スタート] (→ [(すべての) プログラム] → [コリヤ英和！一発翻訳 2014 (マルチリンガル)]) → [操作パネル] → [設定] → [アドイン設定] の順に選択します。



[アドイン設定] ダイアログボックスが開きます。

2



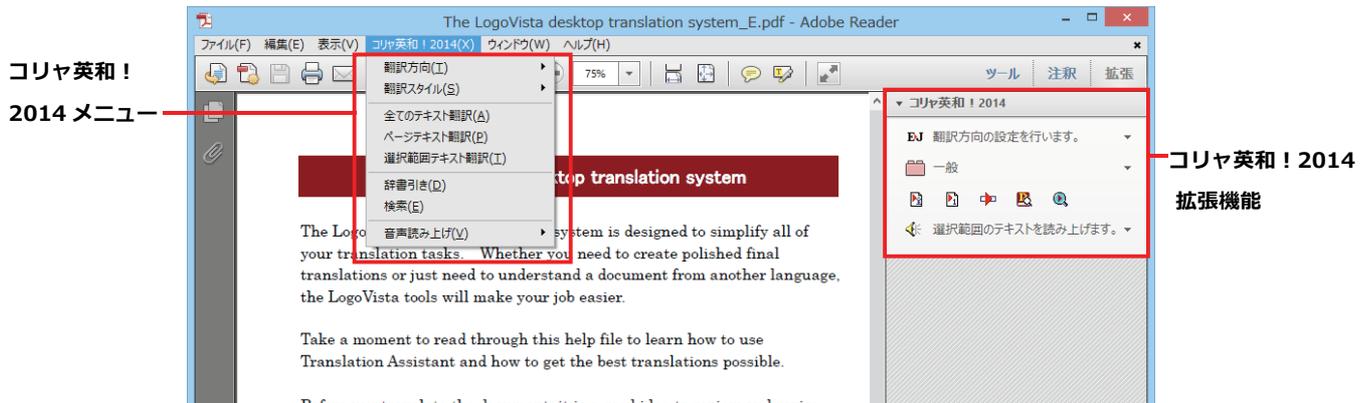
[Adobe Acrobat アドイン] または [Adobe Reader アドイン] を ON にし、ダイアログボックス を閉じます。



[Adobe Acrobat アドイン] または [Adobe Reader アドイン] を OFF にすると、翻訳機能を解除できます。

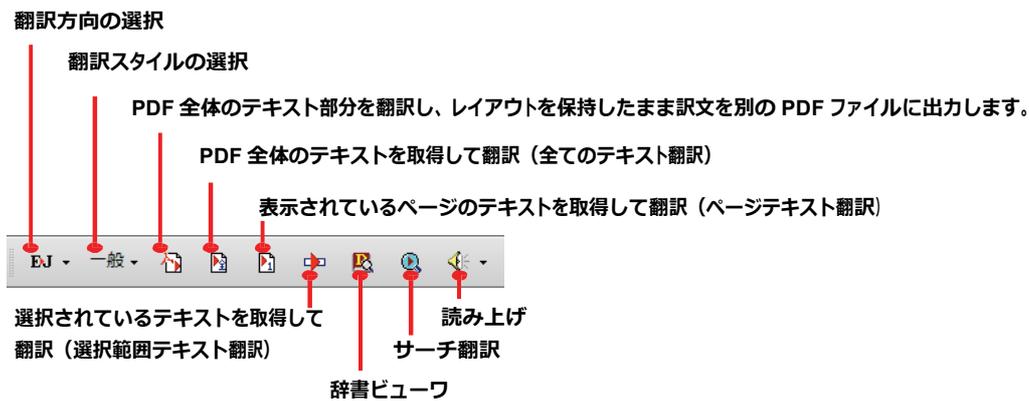
Adobe Acrobat / Adobe Reader に組み込まれた翻訳機能

翻訳機能が組み込まれた Adobe Acrobat / Adobe Reader は、コリヤ英和！ 2014のツールバーや拡張機能が表示されます。Adobe Reader 9 以前はツールバーとして、Adobe Reader X 以降は拡張機能として翻訳メニューが表示されます。



ツールバーのコマンドの名称と機能

Adobe Acrobat に組み込まれたコリヤ英和！ 一発翻訳 2014 ツールバー



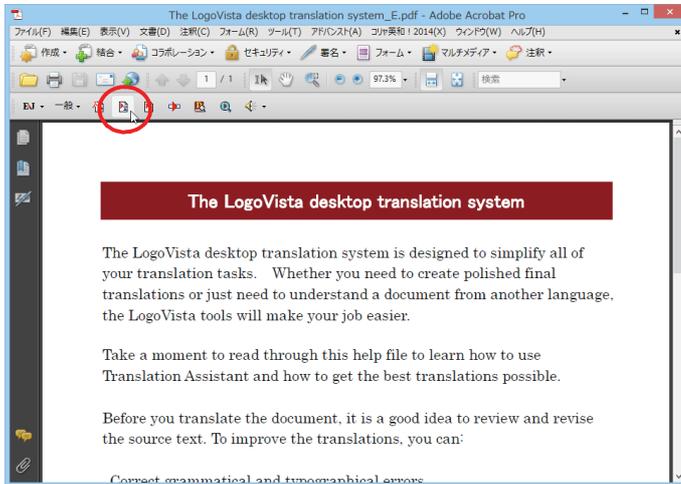
Adobe Reader に組み込まれたコリヤ英和！ 一発翻訳 2014 拡張機能



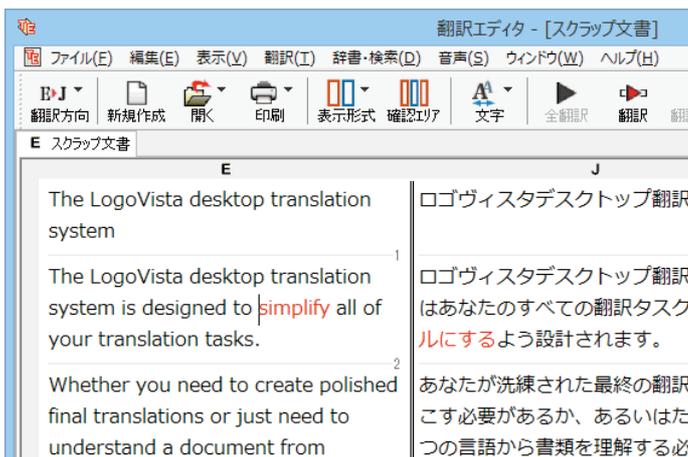
基本的な翻訳操作

PDF のテキストを取得して翻訳することができます。この場合、翻訳対象を、PDF 全体のテキスト、表示ページのテキスト、選択されたテキストのいずれかにすることができます。ここでは、Adobe Acrobat で PDF 全体のテキストを取得して翻訳する方法を紹介します。Adobe Reader でも同様の操作で翻訳することができます。

1



【全てのテキスト翻訳】 ボタンをクリックします。



翻訳エディタが起動し、テキストが取得されます。
次いで、翻訳が開始されます。

終了すると、翻訳結果が表示されます。

このように、PDFのテキストをコリヤ英和！2014 翻訳エディタを使って簡単に翻訳できます。翻訳結果は、翻訳エディタの機能を使って保存することができます。

注意！

Adobe Readerで翻訳する場合は、Adobe Reader専用の「コリヤ英和！2014 for Adobe Reader」が起動します。この場合、翻訳結果のテキストをメモ帳などにコピー＆ペーストして保存します。詳細はオンラインヘルプをご覧ください。

☞ 翻訳エディタの詳細については、「第3章 翻訳エディタで翻訳するには」をご覧ください。

制限事項

翻訳アドインには、次のような制限事項があります。

- 翻訳が可能なのは本文だけです。しおりやサムネイル、注釈、署名、PDF フォームの入力文字列など、特殊な文字列は翻訳の対象となりません。
- セキュリティのかかったドキュメントに対してはいかなる処理も行おうことができないため、翻訳を行うことはできません。
- ヘッダ・フッタを含む文書やページをまたいだ文など、一部の文書において単語の区切りおよび翻訳が部分的に正常でないことがあります。

Chapter 7

ファイル単位で翻訳するには

1

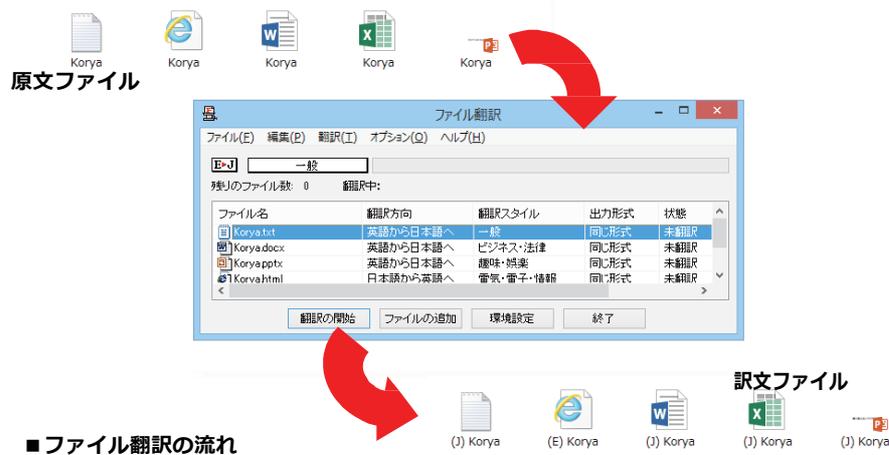
ファイル単位で翻訳するにはー ファイル翻訳の使い方

ファイル翻訳は、指定された原文ファイルを翻訳し、別の訳文ファイルを生成する翻訳アプレットです。テキストファイル、HTML ファイル、Word、Excel、PowerPoint の文書ファイルを翻訳できます。

ファイル翻訳で行える翻訳

ファイル翻訳では、原文となるファイルを翻訳し、訳文を別のファイルに保存します。

- 一度に複数の原文ファイルを翻訳できます。
- ファイルごとに、適用する翻訳方向、翻訳スタイルを設定できます。
- テキストファイル、HTML ファイルなど、異なるタイプのファイルを一括して翻訳できます。



翻訳できるファイル

ファイル翻訳では、次のファイルを翻訳できます。

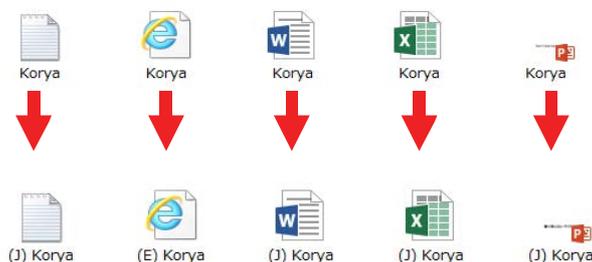
- テキストファイル
- HTML ファイル (Web ブラウザで保存されたファイル、拡張子「htm」、[html] など)
- Word 文書ファイル (拡張子「doc」、[docx]、[rtf]) ※¹
- Excel 文書ファイル (拡張子「xls]、[xlsx]) ※¹ ※²
- PowerPoint 文書ファイル (拡張子「ppt]、[pptx]) ※¹

※¹ 対応しているアプリケーションのバージョンは、2000/2002/2003/2007/2010/2013 です。

※² 英口・口英以外で翻訳する場合は、Excel 2002/2003/2007/2010/2013 がインストールされている必要があります。(マルチリンガル版の場合)

翻訳されたファイル

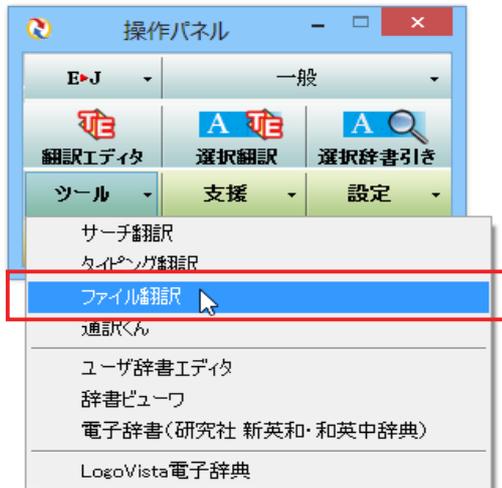
翻訳結果は、それぞれに同じ種類 (同じ拡張子) の別のファイルに書き出され、初期値では、元のファイルがあるフォルダと同じフォルダに保存されます。



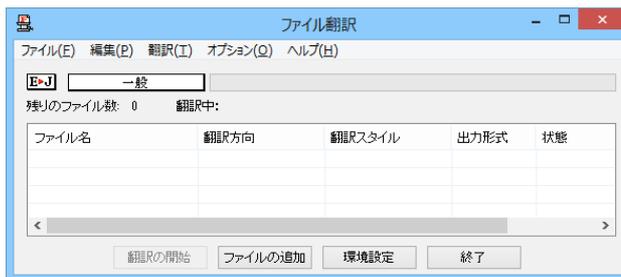
ファイル翻訳を起動するには

ファイル翻訳は、次のいずれかの方法で起動することができます。

- デスクトップの「コリヤ英和！ 2014（マルチリンガル）パネル」をダブルクリックして操作パネルを起動し、「ツール」ボタンから「ファイル翻訳」を選択します。

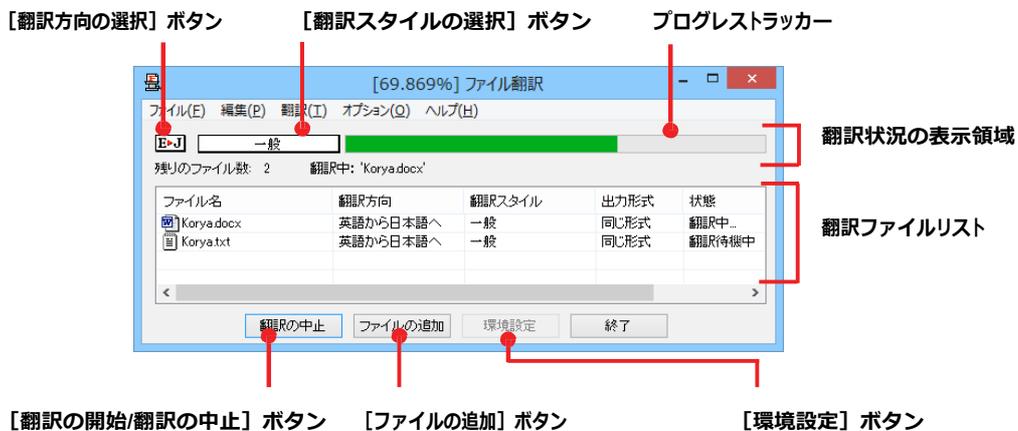


「ファイル翻訳」ウィンドウが表示されます。



「ファイル翻訳」ウィンドウの各部の名称と機能

「ファイル翻訳」ウィンドウの主な各部には、次の名称と機能があります。



【翻訳方向の選択】 ボタン

原文ファイルを追加したときに適用される翻訳方向が表示されます。何もしないと、最後に翻訳したときに使われた翻訳方向が表示されます。変更するときは、クリックしてポップアップリストから目的の翻訳方向を選択します。

【翻訳スタイルの選択】 ボタン

原文ファイルを追加したときに適用される翻訳スタイルが表示されます。何もしないと、最後に翻訳したときに使われた翻訳スタイルが表示されます。変更するときは、クリックしてポップアップリストから目的の翻訳スタイルを選択します。

翻訳状況の表示領域

ファイルの翻訳中に、以下の情報を表示します。

プログレストラッカー	翻訳の進行状況を表示します。翻訳が開始されると、左から右にバーが進み、進行状況を示します。
残りのファイル数	複数のファイルを翻訳するとき、まだ翻訳していないファイルの数を表示します。すべてのファイルを翻訳し終わると「0」になります。
翻訳中	翻訳中のファイル名を表示します。

翻訳ファイルリスト

原文ファイルを追加すると、このリストに表示されます。以下の情報が表示されます。フ

ファイル名	翻訳方向	翻訳スタイル	状態
(未翻訳／翻訳待機中／翻訳中／翻訳済み)		ファイルサイズ	

各行を右クリックすると、コンテキストメニューでそれぞれ翻訳方向や翻訳スタイルを変更できます。

【翻訳の開始】 / 【翻訳の中止】 ボタン

翻訳ファイルリストに表示されているファイルの翻訳を開始します。翻訳中は【翻訳の中止】ボタンになり、クリックすると翻訳を中止します。

【ファイルの追加】 ボタン

翻訳ファイルリストにファイルを追加します。クリックすると、【ファイルを開く】ダイアログが表示されます。

【環境設定】 ボタン

ファイル翻訳の環境を設定します。このボタンをクリックすると、【ファイル翻訳の環境設定】ダイアログが開きます。

コンテキストメニュー

ファイルリストの上でマウスの右ボタンをクリックすると、次のコンテキストメニューが表示されます。ファイルごとに翻訳方向や翻訳スタイルを変更できます。また、リストから削除する際にもコンテキストメニューを使います。

翻訳方向(T)	▶
翻訳スタイル(S)	▶
出力形式(O)	▶
リストから削除(D)	

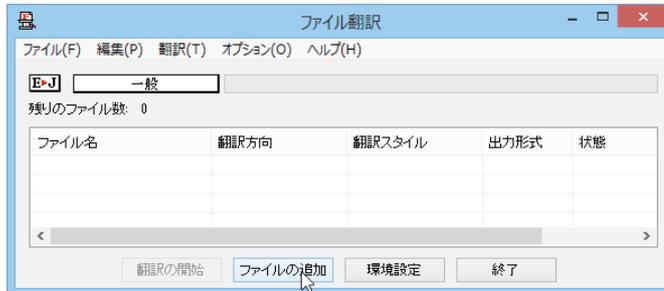
翻訳を実行するには

翻訳するファイルの登録

まず、翻訳する原文ファイルを [ファイル翻訳] ウィンドウのファイルリストに登録します。[ファイルの追加] ボタンで登録する方法と、ドラッグ&ドロップして登録する方法があります。

[ファイルの追加] ボタンで登録する

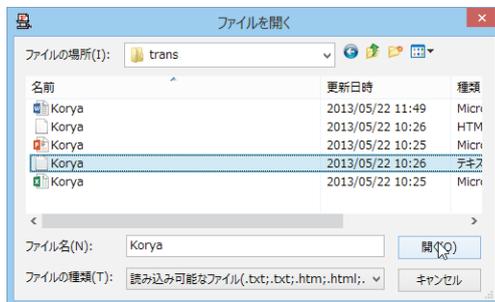
1



[ファイルの追加] ボタンをクリックします。

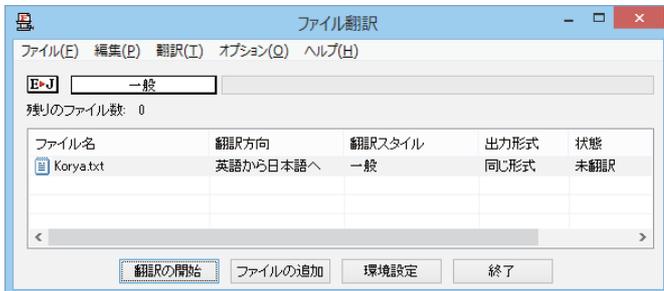
[ファイルを開く] ダイアログが開きます。

2



登録するファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。

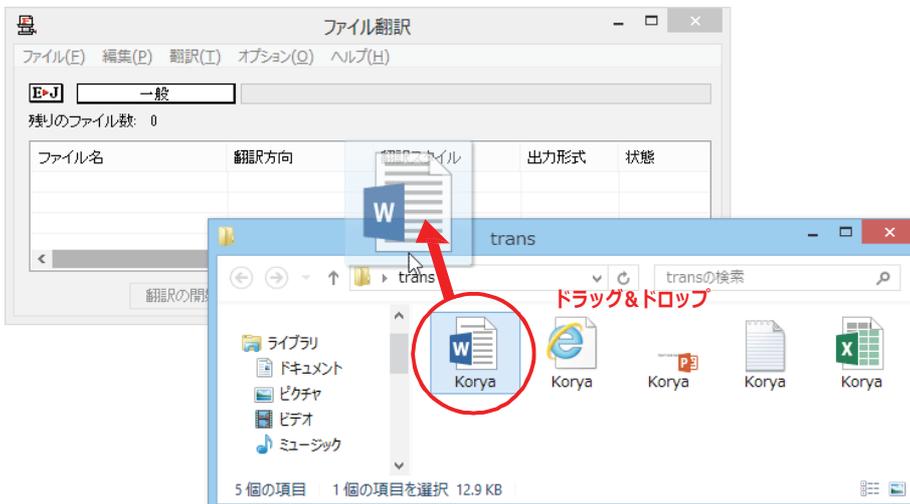
3



原文ファイルがリストに登録されます。

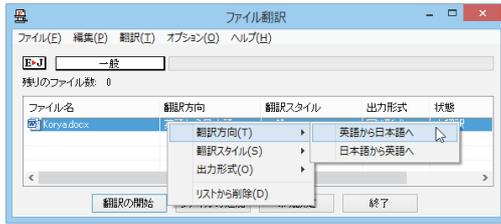
ドラッグ&ドロップして登録する

Windows のエクスプローラで原文ファイルを選択し、[ファイル翻訳] ウィンドウにドラッグ&ドロップします。これで、原文ファイルがリストに登録されます。複数のファイルをいちどにドラッグ&ドロップして登録することもできます。



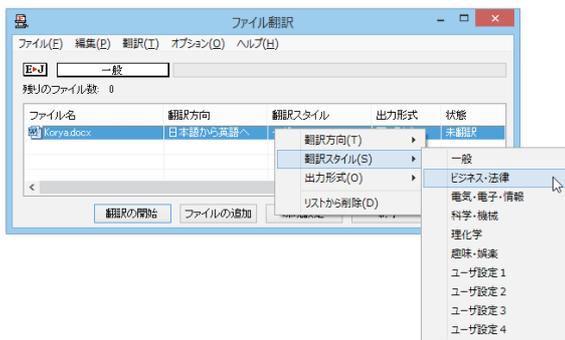
翻訳方向の変更

ファイルリストに登録した原文ファイルの個別の翻訳方向は、コンテキストメニューで個々に変更します。例えば、英日から日英に変更するときは、対象の原文ファイルを選択し、右クリックして開くメニューから【翻訳方向】→【日本語から英語へ】を選択します。



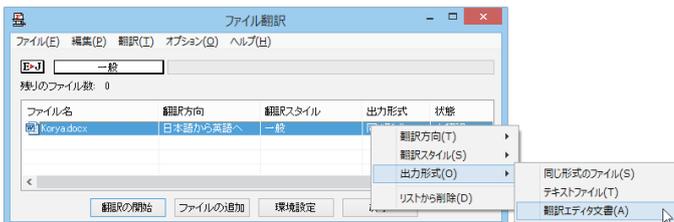
翻訳スタイルの変更

ファイルリストに登録した原文ファイルの個別の翻訳スタイルは、コンテキストメニューで個々に変更します。例えば、「一般」から「ビジネス・法律」に変更するときは、対象の原文ファイルを選択し、右クリックして開くメニューから【翻訳スタイル】→【ビジネス・法律】を選択します。



出力形式の変更

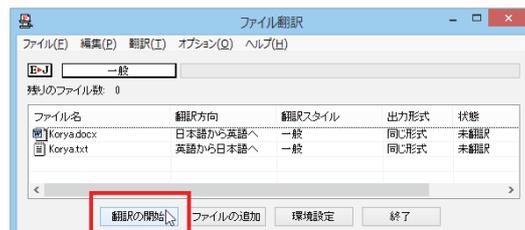
ファイルリストに登録した原文ファイルの出力形式は、コンテキストメニューで個々に変更します。例えば、翻訳エディタ文書に変更するときは、対象の原文ファイルを選択し、右クリックして開くメニューから【出力形式】→【翻訳エディタ文書】を選択します。



翻訳の実行

翻訳方向や翻訳スタイルが設定できたら、【翻訳の開始】ボタンで翻訳を開始します。

1



【翻訳の開始】ボタンをクリックします。



先頭のファイルから翻訳が実行されます。翻訳中は、プログレストラッカーが伸び、【状態】の列に「翻訳中」と表示されます。

翻訳された訳文ファイルは、初期値では、原文ファイルと同じフォルダに生成されます。

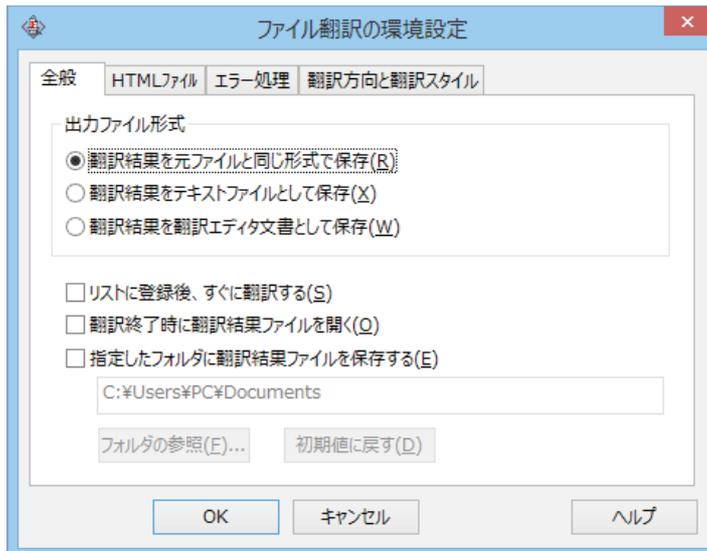
2

ファイル翻訳の環境を設定するには

ファイル翻訳の動作を変更したり、翻訳対象の HTML ファイルを指定したりすることができます。ファイル翻訳の環境設定は、[ファイル翻訳] ウィンドウの [環境設定] ボタンをクリックするか、[オプション] メニューから [ファイル翻訳の環境設定] を選択し、[ファイル翻訳の環境設定] ダイアログを表示させて行います。

ファイル翻訳の動作を設定する — [全般] タブ

[ファイル翻訳の環境設定] ダイアログの [全般] タブでは、以下の設定を行い、ファイル翻訳の動作を変更することができます。



[出力ファイル形式]

翻訳ファイルリストに原文ファイルを追加したときに設定される出力形式を選択します。初期値では、このラジオボタンは [翻訳結果を元のファイルと同じ形式で保存] になっています。

[リストに登録後、すぐに翻訳する]

翻訳ファイルリストに原文ファイルを追加すると、すぐに翻訳を開始します。翻訳方向と翻訳スタイルは、[ファイル翻訳] ダイアログの [翻訳方向の選択] ボタンおよび [翻訳スタイルの選択] ボタンで設定されているものが適用されます。初期値では、このチェックボックスはオフになっています。

[翻訳終了時に翻訳結果ファイルを開く]

翻訳が終了すると、翻訳結果のファイル形式に従ってアプリケーションソフトを起動し、翻訳結果を表示します。初期値では、このチェックボックスはオフになっています。

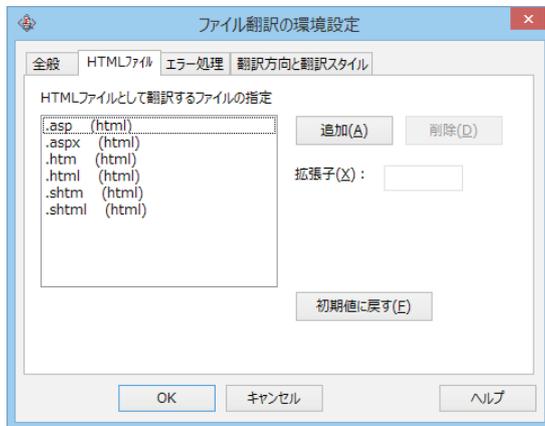
[指定したフォルダに翻訳結果ファイルを保存する]

チェックボックスがオンになっていると、翻訳結果のファイルまたはフォルダが保存先指定ボックスに入力したフォルダに保存されます。オフになっていると、訳文ファイルが原文ファイルと同じフォルダに保存されます。初期値では、このチェックボックスはオフになっています。

[保存先指定] ボックス	訳文ファイルを保存するフォルダを指定します。
[フォルダの参照] ボタン	クリックすると [フォルダの参照] ダイアログが表示されます。保存したいフォルダを選択して [OK] ボタンをクリックすると、そのフォルダのディレクトリが [保存先指定] ボックスに入力されます。
[初期値に戻す] ボタン	クリックすると、保存先が My Documents に戻ります。

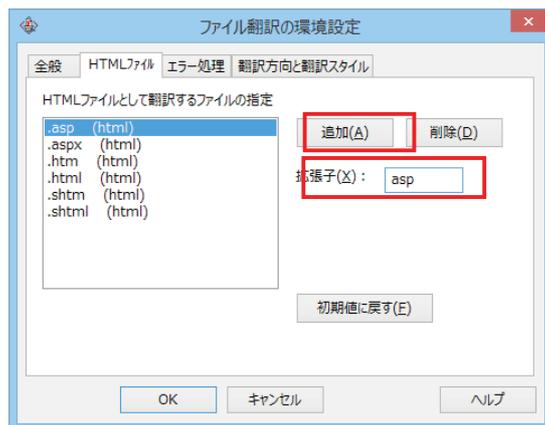
翻訳対象のHTMLファイルを指定する — [HTMLファイル] タブ

[HTML ファイル] タブでは、ファイル翻訳で HTML ファイルとして識別させたい拡張子の追加登録または削除ができます。ここに登録されている拡張子を基準にファイルを識別し、HTML ファイルと判断した場合、自動的にタグを正しく処理して翻訳します。



拡張子の追加と削除

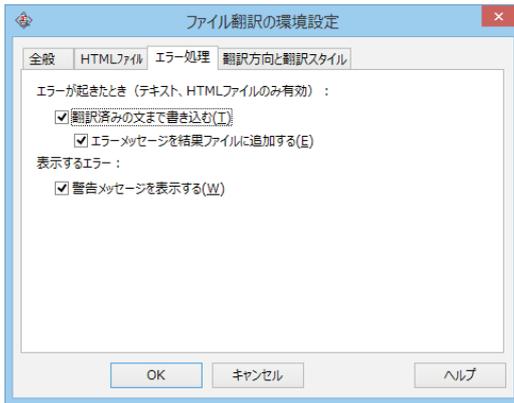
拡張子を追加する場合は、[追加] ボタンをクリックします。新しい項目が作成され、[拡張子] 入力ボックスが表示されますので、キーボードから拡張子を入力して登録します。



拡張子を削除する場合は、対象の拡張子を選択してから [削除] ボタンをクリックします。

エラー時の処理方法を変更するには- [エラー処理] タブ

[エラー処理] タブでは、翻訳を行っているときに起きたエラーの処理方法を設定します。



[エラーが起きたとき]

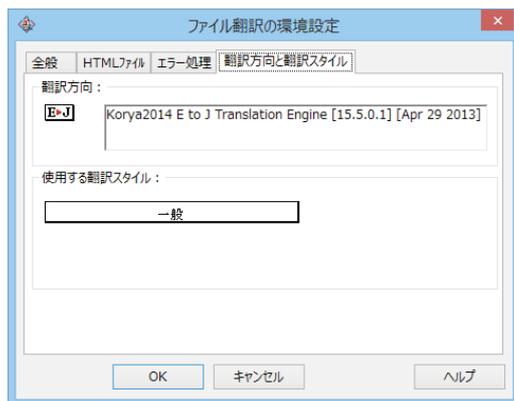
[翻訳済みの文まで書き込む]	エラー発生時以前に翻訳を終了していた文までを保存先のファイルに書き込みます。オフにすると、翻訳済みの文は保存されません。初期値では、このチェックボックスがオンになっています。
[エラーメッセージを結果ファイルに追加する]	エラーの内容を保存先のファイルに書き込みます。このタブは、[翻訳済みの文まで書き込む] チェックボックスがオンになっているときに有効です。初期値では、このチェックボックスがオンになっています。

[表示するエラー]

[警告メッセージを表示する]	エラーが発生したときにダイアログを開き、警告メッセージを表示します。初期値では、このチェックボックスがオンになっています。
-----------------------	---

翻訳方向と翻訳スタイルを設定するには- [翻訳方向と翻訳スタイル] タブ

原文ファイルを追加したとき、デフォルトで適用される翻訳方向と翻訳スタイルを設定します。



[翻訳方向]

デフォルトの翻訳方向が表示されます。クリックするとリストから別の翻訳方向を選択して変更できます。

[使用する翻訳スタイル]

原文ファイルを追加したときにデフォルトで適用される翻訳スタイルが表示されます。クリックするとリストから別の翻訳スタイルを選択して変更できます。